

豊島区

長崎一丁目周辺遺跡 2

— 都道補助第172号線整備事業に伴う調査 —



2024・3

東京都埋蔵文化財センター

長崎一丁目周辺遺跡の調査

長崎一丁目周辺遺跡は、豊島区长崎一丁目に所在し、武蔵野台地北東部にあたる豊島台と呼ばれる台地に立地しています。周囲には、豊島区要町に位置する粟島神社境内の弁天池を水源とし、現在は暗渠化している谷端川^{やばた}が流れています。谷端川は遺跡の西側を南流したのち西武池袋線椎名町駅付近で大きくU字を描いて北上に転じますが、この屈曲部分に囲まれた半島状の台地の先端部分が、本遺跡の範囲にあたります。

本遺跡は中世・近世の散布地（包蔵地）と把握されており、これまでも試掘調査や本調査が行われてきています。その成果としては、主に中世から近世にかけての礎石建物跡・溝・畝間溝^{うね}・井戸などの土地利用の痕跡などが検出されており、これらは旧長崎村に関連するものと考えられています。

今回の発掘調査は、東京都第四建設事務所による都道補助第172号線（長崎）整備事業に伴う事前調査の第2期調査として行われました。調査地点は、本遺跡の北部から北西部にかけて大きく3地点に分かれて点在します。発掘調査は令和4年7月から令和5年3月まで、整理調査は令和5年4月から11月まで行われました。

検出された遺構・遺物は、主に近世から近代以降に属します。主な遺構は溝・畝間溝・井戸・土坑・ピットなど、遺物は縄文土器・石器・近世以降の陶磁器・土製品・瓦・金属製品・ガラス製品・骨角製品・動物骨などです。ウマの骨1個体分が土坑から出土しており、死亡後に埋葬や処理が行われたようです。第二次世界大戦期の貯水施設の可能性があるコンクリートタイル・モルタル製の構造物や、焼夷弾の部品など、戦争に関係する可能性のある遺構・遺物が検出されたことも特筆されます。

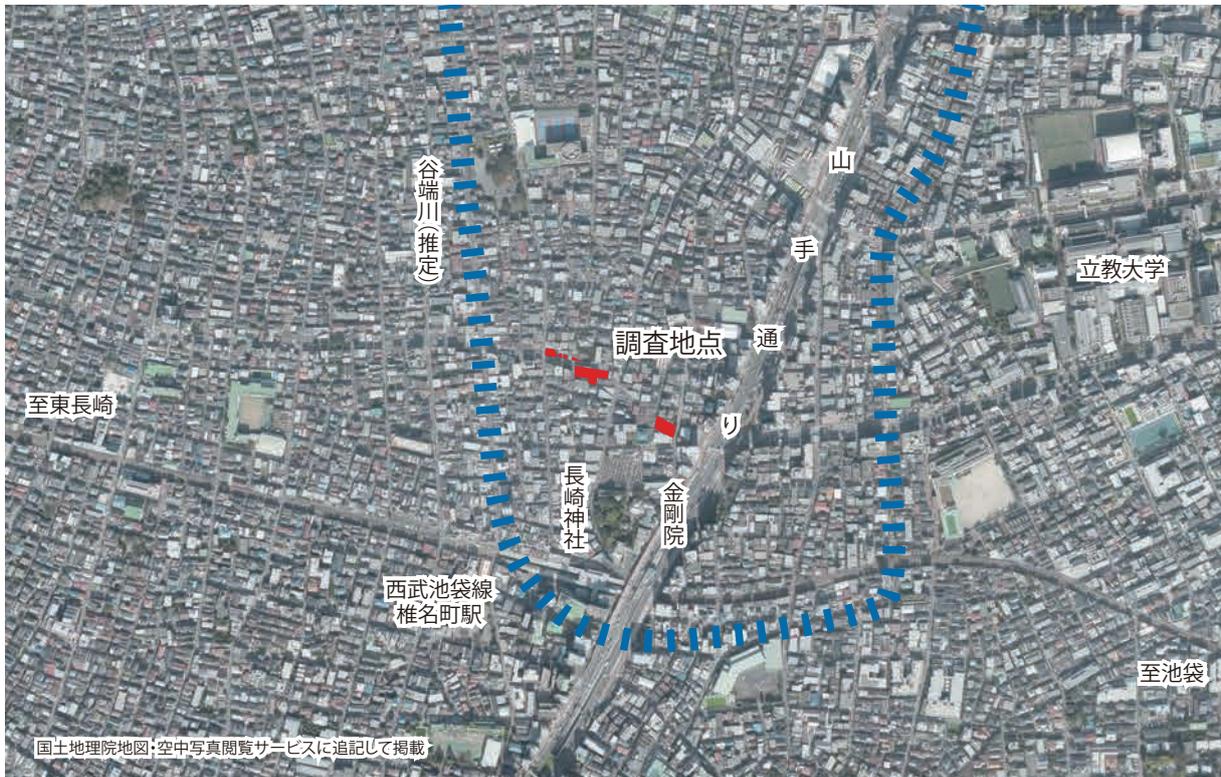


写真1 今回の調査地点

令和2年度の第1期調査では、古代朝鮮の寺院の基壇の瓦である埴^{せん}が出土しました。これは、調査地周辺で昭和初期から戦前期にかけて芸術活動や交流の場となった「長崎アトリエ村」に関連すると考えられる遺物ですが、今回の調査ではそれに類する遺物は確認されませんでした。

縄文時代

縄文時代の遺物は、早期から前期の土器片や石鏃が出土しています。いずれも近世以降の遺構の覆土から出土しており、耕作などに巻き込まれて原位置から動いているものと考えられます。縄文時代に属すると明確に判断できる遺構は、今回の調査では検出されませんでした。

古代

古代の遺物は、奈良・平安時代の土器片が出土していますが、これも後世の遺構の覆土から出土しています。長崎一丁目周辺遺跡では、過去の調査で古墳時代末から奈良時代初頭の竪穴住居跡が1軒検出されていますが、今回の調査では近世より遡ると考えられる遺構は検出されませんでした。

近世以降

D-1・2区では、主に近世に属する遺構・遺物が検出されています。土坑（98号遺構）からは、ウマの上あご・下あご・足などの骨や歯が出土しました。遺存状態が悪く、元の形状があまり残っていなかったことや、土坑が調査範囲外に及ぶため覆土全てを掘削できなかったことから断定はできませんが、ウマ1個体分の骨が埋められていたと考えられます。江戸の近郊の農村では、全身骨格が揃った状態のウマが遺跡から出土する例が知られており、これらは死亡した牛馬を埋葬もしくは処理した痕跡であると考えられます。98号遺構から出土したウマも、こうした当時の動物利用の一例を示しているのかもしれませんが、骨に共伴する遺物から、遺構の年代の上限は幕末と考えられます。

D-3・4区はローム層まで現代の掘削が及んでおり、遺構・遺物はほとんど検出されませんでした。D-5区では植栽痕と溝の可能性のある遺構が検出されています。

E区では主に近世・近代に属する遺構・遺物が検出されています。E-1a区では、ピット（252p）から緑泥片岩製の板碑片及び多数の播鉢片が出土しました。板碑片は表面や側面に摩耗がみられ、表面に刻まれた銘文などは明瞭ではありません。砥石などに転用されたと考えられます。長崎地区は豊



写真2 出土した縄文土器



写真3 98号遺構出土のウマ (1)



写真4 98号遺構出土のウマ (2)

島区内でも現存する板碑数が最も多い地域で、E区では他のピットからも板碑片の可能性のある緑泥片岩片が出土しているほか、長崎一丁目周辺遺跡の過去の調査でも板碑片が数多く出土しています。播鉢は17世紀後半の丹波産です。

また、E-1区の中央部では、一辺が7mを超える大規模なコンクリート構造物（127号遺構）を検出しました。東側約半分を攪乱によって失っていますが、平面形はほぼ方形だったと考えられます。壁はいずれも斜めに立ち上がり、底面は平坦です。遺構の上端から底面までは0.76mを測ります。壁・底面共にコンクリート製の正方形のタイルを敷き詰めてモルタルを塗って構築されていますが、北壁・西壁・底面と南壁で用いられているタイルの大きさが異なります。北西の角には階段のような突出部が存在しています。第二次世界大戦期にこの場所に池が存在していたという証言から、空襲による火災に備えて築かれた貯水施設であったのかもしれませんが。

E-1b区は大半が攪乱され、遺構は部分的に畝間溝の下端が検出された程度に留まっています。E-2区も北側は攪乱されて遺構・遺物の検出が乏しいものの、南側では浅い溝・土坑・ピットが検出されています。ピットは南北方向に延びる溝（114・115号遺構）に沿うように列状に分布しており、中には何基ものピットが集中し重複しているところもあります。



写真5 252p出土の板碑片・播鉢



写真6 127号遺構



写真7 127号遺構南壁断面タイル



写真8 127号遺構北西角突出部



写真9 E-2区南側の溝状遺構とピット列

F区では、主に近代に属する遺構・遺物が検出されています。土坑の多くは、焼けた土や被熱して変形したり発泡した遺物を覆土に含んでいるのが特徴的です。F区は昭和20年4月13日の空襲で焼失した範囲にほぼ隣接しており、焼けた土や遺物は空襲による火災後の片付けの際に埋められたと考えられます。表土からは、焼夷弾を束ねて収めた親爆弾の弾頭のノーズブロック（重り）も出土しています。

耕作土もしくは盛土と考えられる黒褐色の土層の面では東西方向の畝間溝が検出されており、耕作地としての土地利用をうかがわせます。ローム面上では、F-1・2区を貫く東西方向の浅い溝（18・45号遺構）に沿って、複数の深いピットが群集しています。これらが何の痕跡であるのかは明確ではありませんが、土地を区画する溝が、時期によっては柵に作り替えられていたのかもしれませんが。



写真10 焼夷弾ノーズブロック



写真11 被熱で変形したガラス製品



写真12 10号遺構から焼土と共に出土した遺物



写真13 9号遺構出土の火鉢等



写真14 F-2 区の畝間溝

< Nagasaki-itchome-shuhen site - English Summary >

This report is on the recent excavation survey of the Nagasaki-itchome-shuhen site, which date back to the early modern period and the modern times or later.

These ruins are located at Nagasaki 1-chome, Toshima Ward, on a plateau called Toshimadai, which is in the northeastern part of the Musashino Plateau. Our previous surveys mainly detected traces of land use such as foundation stone building ruins, ditches, ridges, and wells from the early modern period or later.

This was a preliminary excavation investigation for the Tokyo Metropolitan Government No. 4 Construction Office's prefectural road No. 172 (Nagasaki) maintenance project. The area covered by the excavation is near the zone of the excavation survey conducted in FY2020.

This survey revealed earthenware and stone tools from the Jomon period, as well as earthenware from ancient times and remains and relics from the early modern period or later. Among the remains found were ditch-like remains, earthen pits, furrows, wells, and pit groups. The excavated relics include ceramics, earthenware, roof tiles, earthenware products, metal products, and glass products. Most of these findings were remains and relics, presumably from modern times. It is therefore expected to reflect the way people lived in those days.

Other remains and relics revealed are considered to be related to air raids towards the end of WWII.

序 言

豊島区長崎一丁目に所在する「長崎一丁目周辺遺跡（豊島区No. 10 遺跡）」は、武蔵野台地東端部の豊島台と呼ばれる台地上に位置しています。U字を描いて台地上を流れる谷端川に囲まれた半島状の台地の先端部分が、本遺跡の範囲にあたります。

今回の発掘調査は、東京都第四建設事務所による都道補助第 172 号線（長崎）整備事業に伴う事前調査であり、合計 1,363㎡を調査しました。令和 2 年度に行われた発掘調査に継続する形で、前回調査の近隣の範囲を調査対象としています。

今回の調査では、縄文時代の土器・石器、古代の土器、近世以降の遺構と遺物が検出されました。主体となるのは近世以降の遺構と遺物で、遺構としては溝状遺構や土坑、畝間溝、井戸、ピット群などが、遺物としては陶磁器、土器、瓦、土製品、金属製品、ガラス製品などが主に検出されています。特に近代に属すると考えられる遺構・遺物が大半を占めており、当時の生活の復元の一助となることが期待されます。また、調査地点は第二次世界大戦末期に空襲を受けた範囲にも近く、調査の中では空襲に関連すると考えられる遺構・遺物も検出されています。

今回の調査成果をまとめた本報告書が多くの方々に広く活用され、地域の歴史を復元する資料として学術研究の一助となることを期待しています。また、本報告書が埋蔵文化財に対する都民の皆様の関心とご理解を深めていただく上でお役に立てば幸いです。

本報告書の刊行にあたり、ご協力とご指導を賜りました東京都第四建設事務所、東京都教育庁地域教育支援部、豊島区教育委員会に厚く御礼申し上げます。ならびに、調査期間中にご理解とご協力をいただいた近隣住民の皆様をはじめ、調査の内容に関して、様々なご教示をいただきました研究者の方々に心より感謝を申し上げます。

令和 6 年 3 月

公益財団法人東京都教育支援機構
理事長 坂東 眞理子

例 言

- 1 本書は、都道補助第 172 号線（長崎）整備事業に伴う豊島区长崎一丁目周辺遺跡（豊島区 No.10 遺跡）の調査報告（東京都埋蔵文化財センター調査報告第 383 集）である。
- 2 発掘調査及び整理調査事業は、東京都第四建設事務所、東京都教育庁地域教育支援部、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団（現公益財団法人東京都教育支援機構）で協定を締結し、東京都第四建設事務所の委託を受け、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センターが調査を実施した。なお、東京都埋蔵文化財センターは、令和 5 年 4 月 1 日に公益財団法人東京都スポーツ文化事業団から公益財団法人東京学校支援機構（現公益財団法人東京都教育支援機構）に事業移管されている。
- 3 試掘調査は、令和 3 年 12 月 6 日～令和年 12 月 15 日にかけて、東京都第四建設事務所の委託を受け、豊島区教育委員会の指導により特定非営利活動法人としま遺跡調査会が実施した。
- 4 遺跡所在地：東京都豊島区长崎一丁目地内
- 5 調査面積：1,363㎡
- 6 発掘調査：令和 4 年 7 月 20 日～令和 5 年 3 月 16 日
一次整理：令和 4 年 8 月 23 日～令和 5 年 3 月 31 日
二次整理及び報告書作成期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
- 7 本事業における事業者との事業調整等は東京都教育庁地域教育支援部管理課が担当・指導した。
埋蔵文化財担当統括課長代理 鈴木徳子
埋蔵文化財係担当学芸員 石井香代子
- 8 調査担当者
調査課課長 西山博章
調査研究員 橋本望
- 9 調査協力
株式会社ジオダイナミック、生田建設株式会社
- 10 本報告書の執筆は、西山・橋本が担当し、執筆者を文末に記した。編集は西山・橋本が行った。遺物等に関しては、長佐古真也・大網信良の助言を得た。
- 11 本報告に関わる現地指導および委託等は以下のとおりである。なお、山根洋子氏と株式会社パレオ・ラボからは、本件に係る玉稿を賜った。
動物遺体の同定：山根洋子（港区立郷土歴史館）
土壌サンプルのテフラ分析：株式会社パレオ・ラボ
文献資料：渋谷葉子（財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所）
- 12 遺構写真については調査研究員が、遺物写真については調査研究員の指導の下、株式会社ジオダイナミック柳谷・長佐古真也が撮影した。金属製品の X 線写真撮影は長佐古真也が行った。
- 13 金属製品・木製品の保存処理については、長佐古真也が行った。
- 14 出土遺物及び発掘調査・整理に関する図面・写真記録類は、豊島区教育委員会で保管している。

目次

長崎一丁目周辺遺跡の調査

序言

例言

目次

巻頭写真目次

挿図目次

表目次

I 発掘調査の概要

- 1 調査に至る経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 調査の方法と経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - 1) 調査の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - 2) 発掘調査の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - 3) 整理調査の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

II 遺跡の環境

- 1 地理的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 2 歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

III 層序・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

IV 遺構と遺物

- 1 中世以前の遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 2 近世以降の遺構・遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - 1) 遺構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - 2) 遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

V 自然科学分析

- 1 長崎一丁目周辺遺跡出土の動物遺体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
- 2 豊島区长崎一丁目周辺遺跡のテフラ分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99

VI 調査の成果

- 1 中世以前・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
- 2 近世以降・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106

引用・参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 111

写真図版・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113

報告書抄録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135

巻頭写真目次

写真1	今回の調査地点	i	写真8	127号遺構北西角突出部	iv
写真2	出土した縄文土器	ii	写真9	E-2区南側の溝状遺構とピット列	iv
写真3	98号遺構出土のウマ(1)	ii	写真10	焼夷弾ノーズブロック	v
写真4	98号遺構出土のウマ(2)	ii	写真11	被熱で変形したガラス製品	v
写真5	252p出土の板碑片・播鉢	iii	写真12	10号遺構から焼土と共に出土した遺物	v
写真6	127号遺構	iii	写真13	9号遺構出土の火鉢等	v
写真7	127号遺構南壁断面タイル	iv	写真14	F-2区の畝間溝	v

挿 図 目 次

第1図	遺跡の位置	3	第30図	植栽痕(4)(1/40)	47
第2図	グリッド設定図(1/800)	6	第31図	植栽痕(5)・井戸(1)(1/40)	48
第3図	遺跡周辺の地形分布図(1/15,000)	7	第32図	井戸(2)・レンガ枡(1/40)	49
第4図	遺跡の位置と周辺の遺跡(1/25,000)	8	第33図	コンクリート構造物(1)(1/50)	50
第5図	長崎一丁目周辺遺跡調査履歴	10	第34図	コンクリート構造物(2)(1/60)	51
第6図	D区基本層序(1/80)	13	第35図	ピット(1)(1/40)	52
第7図	E区基本層序(1/80)	14	第36図	ピット(2)(1/40)	53
第8図	F区基本層序(1/80)	15	第37図	ピット(3)(1/40)	54
第9図	全体図(1/600)	25	第38図	ピット(4)(1/40)	55
第10図	D-1・2区全体図(1/80)	27	第39図	ピット(5)(1/40)	56
第11図	D-3～5区全体図(1/150)	28	第40図	ピット(6)(1/40)	57
第12図	E区全体図(1/200)	29	第41図	ピット(7)(1/40)	58
第13図	F区全体図(1/150)	30	第42図	ピット(8)(1/40)	59
第14図	溝状遺構(1)(1/40・1/100)	31	第43図	ピット(9)(1/10・1/40)	60
第15図	溝状遺構(2)(1/40)	32	第44図	ピット(10)(1/40)	61
第16図	溝状遺構(3)(1/40)	33	第45図	遺構出土の遺物(1)(1/1・1/3)	71
第17図	土坑(1)(1/40)	34	第46図	遺構出土の遺物(2)(1/3・1/6)	72
第18図	土坑(2)(1/40)	35	第47図	遺構出土の遺物(3)(1/3)	73
第19図	土坑(3)(1/40)	36	第48図	遺構出土の遺物(4)(1/3)	74
第20図	土坑(4)(1/40)	37	第49図	遺構出土の遺物(5)(1/3・1/6)	75
第21図	土坑(5)(1/40)	38	第50図	遺構出土の遺物(6)(1/3・1/6)	76
第22図	土坑(6)(1/10・1/40)	39	第51図	遺構出土の遺物(7)(1/3・1/6)	77
第23図	土坑(7)(1/40)	40	第52図	遺構出土の遺物(8)(1/3・1/6)	78
第24図	土坑(8)(1/40)	41	第53図	遺構出土の遺物(9)(1/3)	79
第25図	土坑(9)(1/40)	42	第54図	遺構出土の遺物(10)(1/3・1/6)	80
第26図	土坑(10)(1/40)	43	第55図	遺構出土の遺物(11)(1/3・1/6)	81
第27図	植栽痕(1)(1/40)	44	第56図	遺構出土の遺物(12)(1/3・1/6)	82
第28図	植栽痕(2)(1/40)	45	第57図	遺構出土の遺物(13)(1/3・1/6)	83
第29図	植栽痕(3)(1/40)	46	第58図	遺構出土の遺物(14)(1/1・1/3・1/6)	

.....	84	89
第 59 図 遺構出土の遺物 (15) (1/1・1/3) …	85	第 64 図 遺構外出土の遺物 (4) (1/3・1/6) …	90
第 60 図 遺構出土の遺物 (16) (1/3・1/6) …	86	第 65 図 分析試料中の鉍物の顕微鏡写真 ……	104
第 61 図 遺構出土の遺物(17)・遺構外出土の遺物(1) (1/3・1/6) ……	87	第 66 図 1 φ 篩残渣中のスコリア粒子の顕微鏡写真	105
第 62 図 遺構外出土の遺物 (2) (1/1・1/3) …	88	第 67 図 鹿絵図 ……	109
第 63 図 遺構外出土の遺物 (3) (1/1・1/3・1/6)		第 68 図 鹿絵図トレース ……	109

表 目 次

第 1 表 全体工程表 ……	2	第 8 表 遺物観察表 ……	91
第 2 表 周辺の遺跡一覧表 ……	9	第 9 表 出土動物一覧 ……	98
第 3 表 長崎一丁目周辺遺跡調査履歴一覧表 …	11	第 10 表 分析試料とその特徴 ……	99
第 4 表 遺構観察表 ……	62	第 11 表 試料の湿式篩分け・重液分離の結果 …	102
第 5 表 ピット観察表 ……	66	第 12 表 4 φ 篩残渣中の鉍物組成 ……	102
第 6 表 ピット出土遺物一覧表 ……	70	第 13 表 篩残渣中のスコリア・軽石 ……	102
第 7 表 一括出土・合計遺物一覧表 ……	70		

図版目次

- 図版 1 1. 調査区 D-1 区 2 面東側全景 (東から) 2. 32 号遺構土層断面 (南から)
2. 調査区 D-2 区全景 (西から) 3. 33 号遺構土層断面 (南から)
- 図版 2 1. 調査区 D-1 区 2 面西側全景 (北から) 4. 34 号遺構土層断面 (南から)
2. 調査区 D-3 区全景 (南から) 5. 40 号遺構土層断面 (西から)
3. 調査区 D-4 区全景 (南から) 6. 44 号遺構完掘 (南から)
4. 調査区 D-5 区全景 (東から) 7. 52 号遺構土層断面 (北から)
5. 調査区 E-1a 区 2 面全景 (西から) 8. 53 号遺構土層断面 (北から)
- 図版 3 1. 調査区 E-1b 区 2 面全景 (東から) 図版 10 1. 54 号遺構・55 号遺構完掘 (東から)
2. 調査区 E-2 区 2 面全景 (西から) 2. 56 号遺構完掘 (東から)
- 図版 4 1. 調査区 F-1 区全景 (東から) 3. 79 号遺構・80 号遺構完掘 (東から)
2. 調査区 F-2 区 2 面全景 (東から) 4. 90・94・108・144 号遺構完掘 (南から)
- 図版 5 1. D-1 区北壁土層断面 (南から) 5. 97 号遺構完掘 (南から)
2. E-2 区南西部南壁土層断面 (北から) 6. 98 号遺構動物骨出土状況 2 回目 (北から)
3. F-1 区北壁土層断面西側 (南から) 7. 98 号遺構動物骨出土状況 6 回目 (北から)
4. E-2 区旧石器時代調査坑北壁土層断面 (南から) 8. 99 号遺構完掘 (東から)
5. E-2 区旧石器時代調査坑西壁土層断面 (東から) 図版 11 1. 102 号遺構完掘 (東から)
6. F-1 区旧石器時代調査坑東壁土層断面 (西から) 2. 104 号遺構完掘 (西から)
7. 18 号遺構・45 号遺構土層断面 A-A' (東から) 3. 105 号遺構完掘 (北から)
8. 18 号遺構土層断面 B-B' (西から) 4. 109 号遺構土層断面 (北から)
- 図版 6 1. 18 号遺構・45 号遺構土層断面 D-D' (西から) 5. 110 号遺構完掘 (南から)
2. 18 号遺構土層断面 E-E' (西から) 6. 113 号遺構完掘 (南から)
3. 18 号遺構土層断面 F-F' (西から) 7. 117 号遺構・119 号遺構完掘 (東から)
4. 45 号遺構土層断面 G-G' (西から) 8. 121 号遺構完掘 (東から)
- 図版 7 1. F-1 区 18 号遺構・45 号遺構完掘 (東から) 図版 12 1. 125 号遺構完掘 (南から)
2. F-2 区 18 号遺構完掘 (西から) 2. 126 号遺構完掘 (東から)
3. 74 号遺構完掘 (北から) 3. 128 号遺構完掘 (東から)
4. 77 号遺構・78 号遺構完掘 (西から) 4. 139 号遺構完掘 (南から)
5. 114 号遺構・115 号遺構・ピット群全景 (南から) 5. 35 号遺構土層断面 (北から)
6. 57 号遺構完掘 (西から)
- 図版 8 1. 84 号遺構完掘 (北から) 7. 64 号遺構・73 号遺構完掘 (南から)
2. 2 号遺構完掘 (南から) 8. 65 号遺構・103 号遺構完掘 (西から)
- 図版 9 1. 31 号遺構完掘 (東から) 図版 13 1. 72 号遺構完掘 (南から)
2. 6 号遺構完掘 (西から) 2. 106 号遺構完掘 (東から)
3. 8 号遺構完掘 (北から) 3. 11 号遺構完掘 (西から)
4. 9 号遺構遺物出土状況 (北から) 4. 1 号遺構完掘 (南から)
5. 10 号遺構土層断面 (南から) 5. 59 号遺構蓋撤去後完掘 (南から)
6. 14 号遺構遺物出土状況 (西から) 6. 131 号遺構完掘 (北から)
7. 17 号遺構完掘 (北から) 7. 143 号遺構完掘 (北東から)
8. 3 号遺構土層断面 (南から)
- 図版 14 1. 127 号遺構完掘 (東から)
2. 127 号遺構南西角突出部構造検出状況 (南東

から)

3. 127号遺構掘方(北から)
- 図版 15
1. 12p 土層断面(西から)
 2. 20p・21p 土層断面(北から)
 3. 22p 完掘(南から)
 4. 23p・25p・26p 完掘(北から)
 5. 24p 完掘(東から)
 6. 27p 完掘(南から)
 7. 30p 完掘(南から)
 8. 31p 完掘(南西から)
 9. 37p 土層断面(西から)
 10. 37p 完掘(西から)
 11. 39p 完掘(西から)
 12. 40p 土層断面(西から)
 13. 40p 完掘(西から)
 14. 41p 土層断面(東から)
 15. 41p 完掘(東から)
 16. 43p 完掘(西から)
 17. 44p 土層断面(西から)
 18. 50p 完掘(西から)
- 図版 16
1. 51p 完掘(西から)
 2. 54p・56p・57p 土層断面(西から)
 3. 56p 土層断面(北西から)
 4. 54p 完掘(西から)
 5. 56p 完掘(西から)
 6. 55p・86p 土層断面(北西から)
 7. 86p 完掘(北から)
 8. 58p・18・45号遺構土層断面(西から)
 9. 59p 完掘(西から)
 10. 67p 土層断面(西から)
 11. 67p 完掘(西から)
 12. 70p 土層断面(西から)
 13. 70p 完掘(西から)
 14. 78p 土層断面(東から)
 15. 78p 完掘(東から)
 16. 79p 土層断面(東から)
 17. 79p 完掘(東から)
 18. 81p 土層断面(北西から)
- 図版 17
1. 81p 完掘(北西から)
 2. 82p・83p 土層断面(南から)
 3. 82p・83p 完掘(南から)

4. 84p 土層断面(西から)
5. 84p 完掘(西から)
6. 95p 土層断面(東から)
7. 95p 完掘(東から)
8. 108p 完掘(東から)
9. 109p 完掘(東から)
10. 130・131p 他土層断面(北から)
11. 155p・156p 土層断面(北から)
12. 130p・158p 他完掘(北から)
13. 163p 土層断面(東から)
14. 177p・178p 土層断面(南から)
15. 181p 土層断面(北西から)
16. 184p 土層断面(北から)
17. 195p 完掘(南東から)
18. 197p 完掘(南東から)

- 図版 18
1. 204p 土層断面(南西から)
 2. 204p 完掘(南西から)
 3. 206p・211p 土層断面(北から)
 4. 207p・211p 他土層断面(北から)
 5. 206p・223p 完掘(北から)
 6. 207p・211p・212p 完掘(北から)
 7. 209p 土層断面(西から)
 8. 235p～237p 土層断面(西から)
 9. 246p・247p 土層断面(西から)
 10. 209p 他完掘(西から)
 11. 229p・231p 土層断面(東から)
 12. 252p 土層断面(南から)
 13. 252p 遺物出土状況(南から)
 14. 252p 完掘(南から)
 15. 256p 完掘(北から)
 16. 257p 完掘(北から)
 17. 259p 完掘(西から)
 18. 263p 完掘(北から)

- 図版 19
1. 近世遺物集合写真
 2. 40号遺構出土近代以降遺物集合写真
 3. 2号遺構出土近代以降遺物集合写真
 4. 2号遺構出土ガラス製品集合写真
 5. 金属製品集合写真
 6. 銭貨集合写真
 7. 代用陶器集合写真
 8. 電気製品集合写真

I 発掘調査の概要

1 調査に至る経緯

東京都の木造住宅密集地域改善のための不燃化プロジェクトの策定により、特定整備路線として、東京都建設局（以下、建設局）による補助第 172 号線の整備事業が進められている。当該事業地の一部は周知の埋蔵文化財包蔵地である長崎一丁目周辺遺跡（豊島区 No.10 遺跡）に該当するため、東京都第四建設事務所（以下、四建）は豊島区教育委員会（以下、区教委）と協議し、令和元（2019）年 10 月から 11 月にかけて試掘調査を実施した。試掘調査の結果、区教委により本調査が必要との判断がなされ、本調査対象範囲のうち 903㎡の範囲について、第 1 期の発掘調査が令和 2 年 8 月から令和 3 年 1 月にかけて公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター（以下、埋文センター）によって実施され、同年 10 月に発掘調査報告書（東京都埋蔵文化財センター調査報告第 364 集）が刊行されている。

その後、残りの周知の埋蔵文化財包蔵地についても調査可能な範囲が確保できたことにより、改めて区教委による試掘が令和 3 年 12 月に実施され、1,363㎡が本調査の対象範囲となった。

これを受け、事業者である四建より令和 4 年 3 月 7 日付で東京都教育委員会（以下、都教委）に埋蔵文化財の取扱いに関する照会（3 四建工一第 218 号）があり、都教委は同年 3 月 8 日付で第四建設事務所長宛に、本調査は都教委が対応する旨の回答（3 教地管第 2902 号）を通知している。本調査の実施については同日付で埋文センター所長宛に、埋蔵文化財調査の取扱いについての通知が出され、埋文センターが調査を実施することとなった。

上記の手続きを経たのちに第 2 期の本調査実施の協議が進められ、令和 4 年 3 月 30 日付で建設局、都教委、埋文センターの 3 者による「補助第 172 号線（長崎）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関する協定書その 2」が締結された。調査委託については建設局（四建）と埋文センターとの間で、令和 4 年 5 月 13 日に委託契約が締結され、実施に向けての準備に着手した。

委託契約締結の後、埋文センターは令和 4 年 5 月 30 日付で株式会社ジオダイナミックと「豊島区長崎一丁目その 2 地区埋蔵文化財発掘調査工事」（4 ス文事埋文第 168 号）の請負契約を締結し、現地での準備作業に着手した。

調査着手に先立ち、令和 4 年 6 月 13 日付で埋文センターは都教委宛に発掘届（4 ス文事埋文第 2138 号）を提出し、令和 4 年 7 月 13 日付で都教委より発掘調査についての通知文（4 教地管理第 1505 号）を受けている。

これらの手続き及び準備作業が完了した令和 4 年 7 月 20 日より発掘調査を開始した。（西山）

2 調査の方法と経過

1) 調査の方法

発掘調査の方法（第 2 図）

（1）グリッドの設定：調査区全域に、令和 2 年度に行われた調査に準じて世界測地系の第 IX 系国土

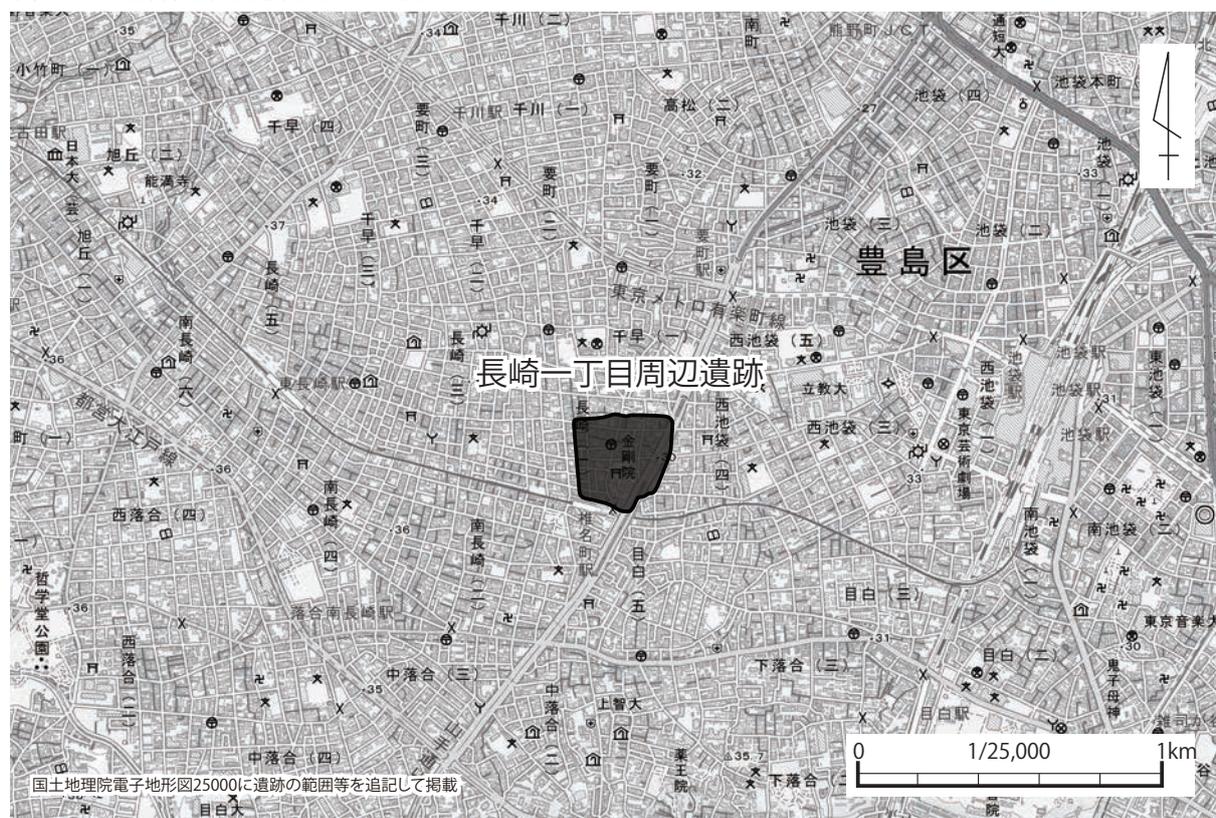
整理調査の方法

(1) 遺構図面整理：現場作成図面と遺構台帳の確認・整理を行った後、遺構の種別・遺存状態・出土遺物・年代等を勘案し、報告書に個別掲載するものを抽出した。個別報告の遺構に関しては、平面図・土層断面・土層説明・エレベーション図・写真を用意し、デジタルデータによる図版作成を行った。

(2) 遺物整理：出土遺物は水洗作業後注記作業を手書きで行ったが、一部の遺物についてはインクジェット式注記用機器を用いた作業を実施した。遺物の注記は、冒頭に補助第172号線（長崎）整備事業二期目の調査を表す「長172Ⅱ」を記入し、その後に遺構・ピット番号・調査区（一括の場合）の別、さらに点上げの場合は点上げ番号を記入した。遺物は、遺構別に分けた後に材質別（陶器、磁器、土器、瓦、ガラス製品、骨角製品、骨、石器・石製品、木製品、金属製品、レンガ、電気製品）に分類した。掲載遺物の写真撮影および集合写真の撮影は株式会社ジオダイナミックが行った。

(3) 遺物の抽出：遺物の抽出については、復元率の高いもの、遺構の年代を判断する上で重要な物や希少性に富むものを基準とした。一括資料については、復元率の高いものや希少性が高いものを中心に掲載した。また、出土量の多い遺構や遺存度の高い遺物がまとまっている遺構、特徴的な遺物を伴う遺構については、遺物の集合写真を掲載した。

(4) 図版の掲載：遺構図版については種別ごとに番号順に図面を掲載し、個別図版を掲載しない遺構については全体図のみに掲載した。種別が異なる遺構が重複しレイアウト上一括して掲載する必要がある場合は、先に掲載される遺構の側にまとめて掲載した。遺構観察表は番号順に掲載した。遺構写真については断面写真か完掘写真、もしくはその両方を掲載した。遺物図版は冒頭に中世以前の遺物を掲載し、近世以降の遺物は遺構出土遺物については遺構別に、一括遺物については調査区別に掲載した。遺物観察表も同様である。



第1図 遺跡の位置

2) 発掘調査の経過（第1表）

発掘調査は、令和4年7月から令和5年3月までの予定で開始した。四建・都教委・区教委、ならびに工事請負会社である株式会社ジオダイナミックとの事前協議、周辺住民への挨拶と「埋蔵文化財発掘調査のお知らせ」の配布を経て、7月より現地での調査事務所設置作業や仮設道路工等の準備工を開始した。

調査は令和4年7月20日にF-2区の掘削作業から開始した。前日までに地表面を被覆する舗装を切断・撤去し、2層と呼ばれる黒褐色土層（1面）までの表土を重機で掘削した。なおD-3～5区は調査区及び周辺のスペースが狭小なため人力で表土掘削を行った。遺構確認及び精査と包含層の調査は、人力で行った。1面の調査終了後、人力でソフトローム層上面（2面）までの掘削を行い、遺構確認及び精査を人力で行った。

発掘調査実施期間中には、四建・都教委・区教委・埋文センターによる定例会を月一度開催し、調査の進捗ならびに協議事項の確認を行った。また各区の終了時には、前記4者による終了確認作業を行い調査の完了書類を作成した。

以下、調査実施順に記載する。F-2区は令和4年7月20日より発掘調査を開始し、発生残土はF-1区に仮置きした。238.7㎡を調査して8月31日までに終了し、F-1区に仮置きしていた発生残土を用いて埋め戻した（終了確認日令和4年8月31日）。検出された遺構は、近代以降の溝状遺構・畝間溝・土坑・井戸・植栽痕等29基、ピット30基である。出土した遺物は、近代以降の瓦・陶器・磁器・金属製品・ガラス製品・レンガ等である。なお、F-2区南東角付近のネットフェンス外の範囲は、近接した調査範囲ではローム層まで削平が及び遺構・遺物の検出も乏しく、それと同様の遺存状況と考えられたため都教委によって調査不要と判断された。

D-4区は令和4年9月1日より発掘調査を開始し、発生残土は調査区の仮囲いの内側に仮置きした。39.8㎡を調査して9月29日までに終了し、仮置きしていた発生残土を用いて埋め戻した（終了確認日令和4年9月29日）。検出された遺構は近代以降のコンクリートブロック塀1基である。出土した遺物は近代以降の陶器・磁器・ガラス製品・瓦等である。

D-5区は令和4年9月1日より発掘調査を開始し、発生残土は調査区の仮囲いの内側に仮置きした。34㎡を調査して9月29日までに終了し、仮置きしていた発生残土を用いて埋め戻した（終了確認日令和4年9月29日）。検出された遺構は近代以降の溝状遺構の可能性のある遺構・植栽痕2基、ピット3基である。出土した遺物は近代以降の陶器・磁器・ガラス製品・瓦等である。

F-1区は令和4年9月6日より発掘調査を開始し、発生残土はF-2区に仮置きした。211.3㎡を調査して10月28日までに終了し、F-2区に仮置きしていた発生残土を用いて埋め戻した（終了確認日令和4年10月28日）。検出された遺構は近代以降の溝状遺構・畝間溝・土坑・井戸・植栽痕等31基、ピット71基である。出土した遺物は縄文時代の土器・石器、近代以降の陶器・磁器・金属製品・ガラス製品・レンガ・瓦等である。なお、F区北側のネットフェンス外の範囲は、範囲が狭小かつネットフェンス内の調査区から続く重要な遺構等が検出されなかったことから、都教委によって調査不要と判断された。

D-1区は令和4年10月11日より発掘調査を開始し、発生残土はE-1区に搬出し仮置きした。116.8㎡を調査して11月22日までに終了し、D-2区掘削の発生残土を用いて埋め戻した（終了確

認日令和4年11月22日)。検出された遺構は近世以降の溝状遺構・土坑・植栽痕等27基、ピット52基である。出土した遺物は縄文時代の土器、古代の土器、近世以降の陶器・磁器・金属製品・ガラス製品・レンガ・瓦等である。

D-3区は令和4年10月26日より発掘調査を開始し、発生残土は調査区の仮囲いの内側に仮置きした。37.6㎡を調査して11月22日までに終了し、仮置きしていた発生残土を用いて埋め戻した(終了確認日令和4年11月22日)。検出された遺構は時代不明のピット3基である。出土した遺物は近代以降の陶器・磁器・金属製品・ガラス製品等である。

E-2区は令和4年11月14日より発掘調査を開始し、発生残土はE-1区に仮置きした。306.567㎡を調査して令和5年1月30日までに終了し、仮置きしていた発生残土を用いて埋め戻した(終了確認日令和5年1月30日)。検出された遺構は近世以降の土坑・溝状遺構・植栽痕等28基、ピット71基である。出土した遺物は近世以降の陶器・磁器・金属製品・ガラス製品・レンガ・瓦等である。

D-2区は令和4年12月2日より発掘調査を開始し、発生残土はD-1区に埋め戻した。48.8㎡を調査して令和4年12月20日までに終了し、E-1区に仮置きしていた発生残土を用いて埋め戻した(終了確認日令和4年12月20日)。検出された遺構は近世以降の土坑・植栽痕等6基、ピット17基である。出土した遺物は近世以降の陶器・磁器・瓦・動物骨等である。

E-1区は令和5年2月7日より発掘調査を開始し、コンクリートブロック構造物(127号遺構)及びそれを破壊する大規模な攪乱を検出した。127号遺構及びその周囲の遺構を先行して調査するため、攪乱が127号遺構を切っているラインでE-1区をE-1a区・E-1b区に区分した。E-1a区の発生残土はE-2区に仮置きした。94.594㎡を調査して令和5年2月28日までに終了し、E-1b区と合わせてE-2区に仮置きしていた発生残土を用いて埋め戻した(終了確認日令和5年2月28日)。検出された遺構は近世以降の土坑・溝状遺構・植栽痕・コンクリートブロック構造物・井戸等9基、ピット24基である。出土した遺物は近世以降の陶器・磁器・瓦・金属製品・石製品等である。

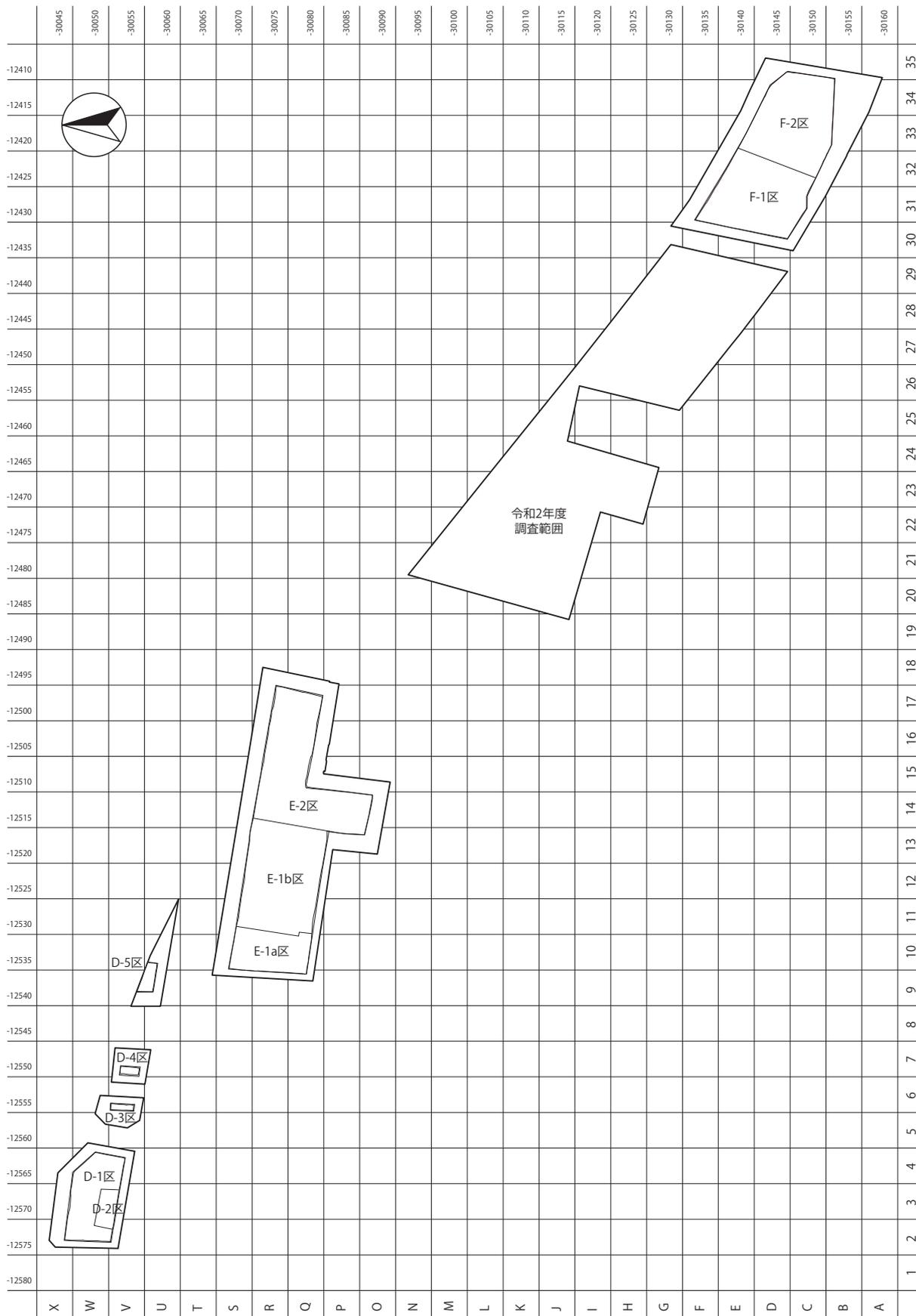
E-1b区は令和5年2月9日より発掘調査を開始し、発生残土はE-2区に仮置きした。234.839㎡を調査して令和5年3月16日までに終了し、E-1a区と合わせてE-2区に仮置きしていた発生残土を用いて埋め戻した(終了確認日令和5年3月16日)。検出された遺構は近世以降の土坑・畝間溝・井戸等8基、ピット8基である。出土した遺物は近世以降の陶器・磁器・瓦・金属製品・ガラス製品等である。

上記の調査工程を完了したのち、令和5年4月5日までに全ての発掘作業を終了した。なお、全ての調査区において埋め戻し後に防塵舗装を復旧している。

3) 整理調査の経過

発掘調査と併行して、令和4年8月23日から令和5年3月31日まで遺物の水洗と注記を中心とする一次整理作業を現地長崎一丁目2分室で行った。令和5年4月1日～11月17日まで長崎一丁目2分室にて、報告書作成のための二次整理作業を行った。なお令和5年4月14日から19日にかけて、現地事務所を移転している。二次整理作業は、主に遺構図版の作成と遺物図版の作成、原稿執筆、およびこれに係る編集作業である。令和5年11月27日には、都教委を經由して区教委に遺物・記録図面等に移管した。令和5年11月21日より埋文センター本部事務所にて報告書編集作業を実施した。

(橋本)

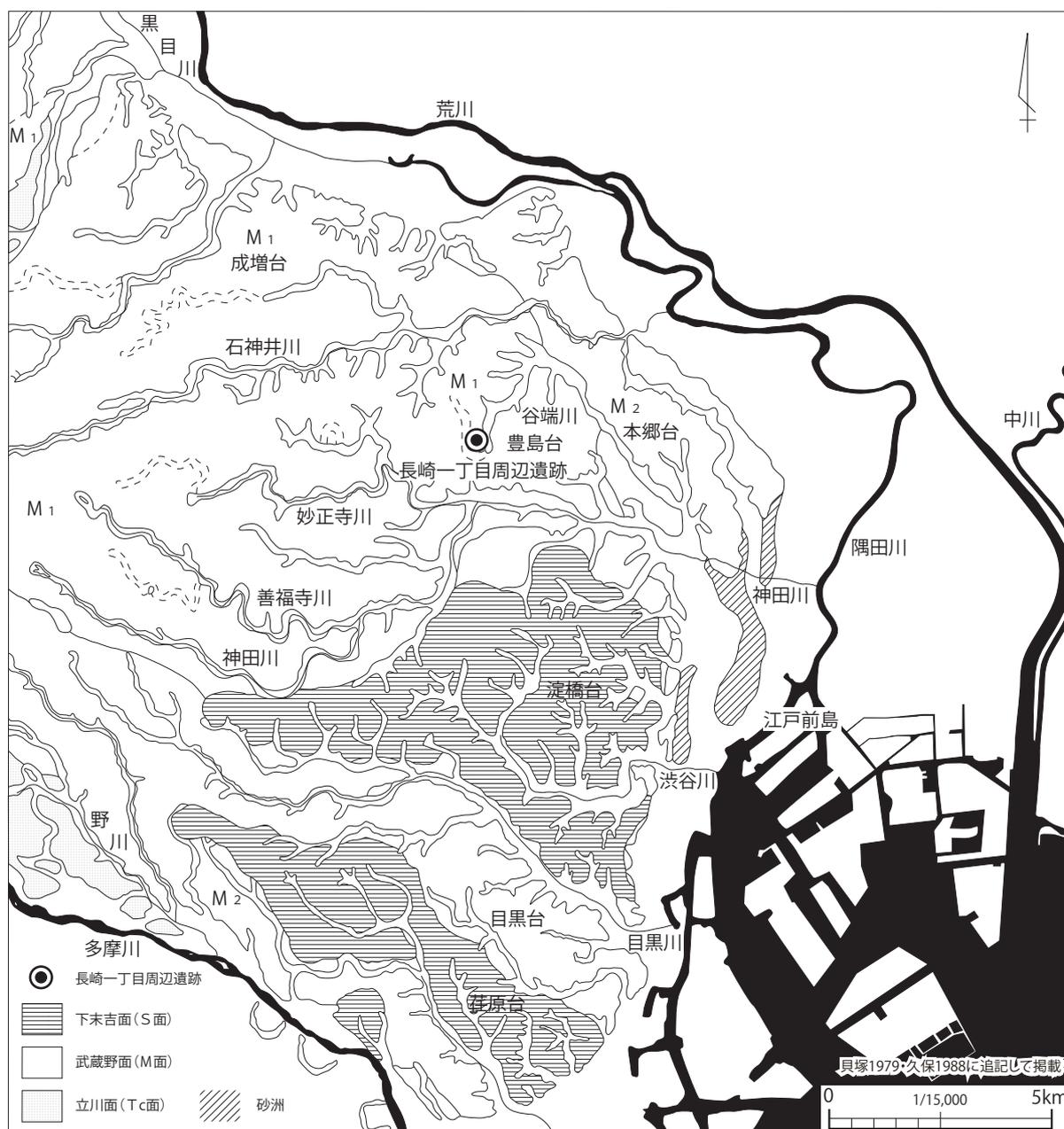


第2図 グリッド設定図 (1/800)

II 遺跡の環境

1 地理的環境

長崎一丁目周辺遺跡は、武蔵野台地北東部にあたる石神井川と妙正寺川・神田川に挟まれた豊島台と呼ばれる台地上に位置しており（第3図）、調査地点付近の標高は32m前後を測る。本遺跡の西側には、豊島区要町に位置する粟島神社境内の弁天池を水源とする谷端川が南流している。谷端川は、西武池袋線椎名町駅付近で大きくU字を描き北上に転ずる。この屈曲部分に囲まれた半島状の台地の先端部分が、本遺跡の範囲にあたる。谷端川は現在暗渠化しており、かつては水量の少ない河川で



第3図 遺跡周辺の地形分布図 (1/15,000)

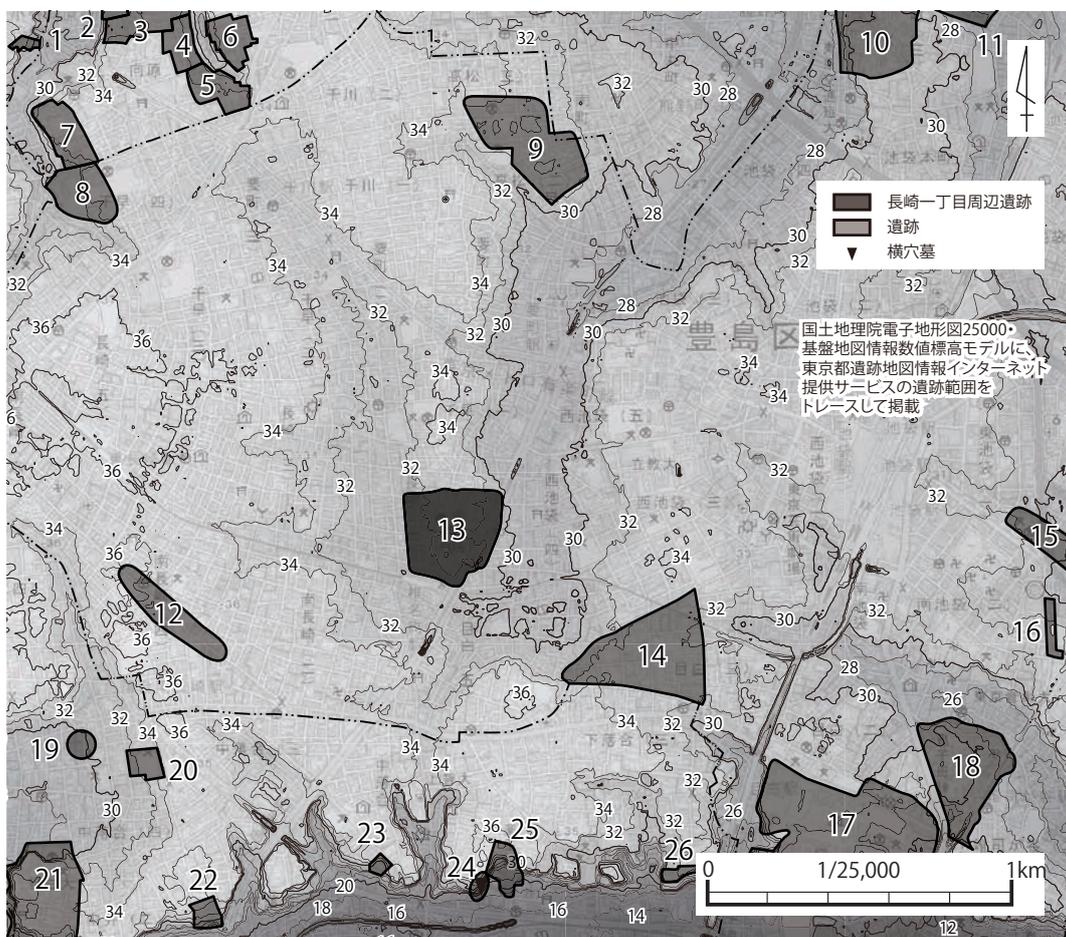
あったとみられる。谷端川の流量が増加するのは千川上水から分水を得た18世紀以降で、谷端川周辺の低地が水田として利用されていた時期には、これらの水田への農業用水の供給源として機能していたと考えられる（第67・68図）。

長崎地域は、中世には「長崎村」として成立していたことが知られている。第67・68図は幕末期の長崎村周辺を描いた鹿絵図の一部とみられ、土地利用の在り方や各ランドマーク間の距離、他村との境界などが記されている。現在と同じ位置に「金剛院」や「鎮守十羅刹（長崎神社）」が位置しているほか、徳川将軍家の御鷹場であった「鼠山」「御用地」の記述も見える。南側には「目白坂通往来道」が描かれ、これは近世に江戸と武蔵国多摩郡清戸を結んでいた清戸道にあたると思われる。清戸道は、現文京区の江戸川橋付近を起点とし、目白坂を上って台地上に出たのち長崎村を通過して現清瀬市に至る道で、近郊農村から江戸への商品作物の輸送や、尾張藩主の鷹場への往来に使われていた（豊島区教育委員会2004『椎名町I』）。

2 歴史的環境

旧石器時代

谷端川沿いにおいては旧石器時代の遺跡は知られておらず、近隣で旧石器時代の遺物が出土している板橋区向原遺跡（5）は石神井川沿い、豊島区学習院大学周辺遺跡（17）、新宿区落合遺跡（21）は妙正寺川・神田川沿いに位置している。向原遺跡では皿層で剥片や礫が集中する遺物ブロックが検



第4図 遺跡の位置と周辺の遺跡（1/25,000）

出されているほか、IV層上部・下部から剥片が出土している。学習院大学周辺遺跡ではV層～VI層上面、VI層下部～VII層、IX層の三つの文化層からブロック1基、礫群2基をはじめとする石器や礫が出土している。

縄文時代

谷端川沿いでは長崎地区より下流の池袋本町周辺に位置する氷川神社裏貝塚(10)、池袋東貝塚(11)が知られている。氷川神社裏は近年の調査では縄文土器が出土したのみにとどまるものの、池袋東貝塚ではハマグリを多く含む貝層が検出され、縄文時代後期の集落が存在していたと考えられている。

弥生時代

弥生時代においても、谷端川沿いの遺跡の検出は低調である。妙正寺川沿いの落合遺跡は旧石器時

第2表 周辺の遺跡一覧表

区	No.	遺跡名	所在地	時代	種別	主な遺構	主な遺物	
板橋	1	小竹東遺跡	小竹町2	縄文(早・中)	包蔵地	[不] 土坑	縄文土器/石器	
	2	No.128 遺跡	向原3	縄文(中～後)/古墳	包蔵地		縄文土器	
	3	No.127 遺跡	向原3	縄文(中～後)	包蔵地		縄文土器	
	4	No.125 遺跡	向原1	縄文(早・中)	包蔵地			
	5	向原遺跡	向原1/大谷口2	旧石器/縄文(草・前)/弥生(後)/近世	包蔵地/集落	[旧] ブロック/[縄] 炉/ピット/[弥] 住居/ピット/[近] 土坑/溝状遺構	ナイフ形石器/尖頭器/石核/縄文土器/打斧/有舌尖頭器/石鏃/石錐/楔形石器/磨石/スタンプ形石器/土製けつ状耳飾/土製耳飾/土製品/弥生土器/土師器/紡錘車/陶磁器/瓦/砥石/金属製品/銭貨	
	6	No.129 遺跡	大谷口2	縄文	包蔵地		縄文土器	
	7	No.126 遺跡	向原2	縄文(早)/古墳	包蔵地		縄文土器/土師器	
豊島	8	千早遺跡	千早4	縄文/古墳	包蔵地	土坑	縄文土器/陶磁器	
	9	高松遺跡	高松2・3	縄文(中?) / 平安? / 近世	包蔵地		縄文土器/打斧/陶器/ナイフ形石器/弥生土器/磁器/陶器/土器/土製品/瓦/石製品/金属製品/硝子製品	
	10	氷川神社裏貝塚	池袋本町2・3	縄文(前～晩)/弥生/平安/中世/近世	包蔵地/貝塚		縄文土器/石斧/石鏃/玉類/土偶/弥生土器/土師器/須恵器/陶磁器/土器/土製品/石製品/金属製品/渡来銭/硝子製品/動物遺体	
	11	池袋東貝塚	池袋本町3・4	縄文(前)/古墳/奈良/平安/中世	包蔵地	竪穴住居跡/ピット/溝状遺構/畝畝/礎石/道	縄文土器/弥生土器/石斧/石皿/凹石/敲石/土師器/須恵器/陶磁器/瓦/金属製品	
	12	椎名町遺跡	南長崎3～5	近世	集落	区画溝/畝跡/イモ穴/建物基礎/鍬跡/ゴミ穴/半地下式土坑/採土坑/ピット/柱穴/土坑/畝跡	縄文土器/土師器/磁器/陶器/陶磁器/土器/瓦/石製品/金属製品/ガラス瓶/板ガラス	
	13	長崎一丁目周辺遺跡	長崎1/西池袋4	中世/近世	包蔵地	富士塚留石/大型溝/溝状遺構/長方形土坑/硬化面/円形土坑/畝跡/ゴミ穴/井戸/畝/植栽痕/礎石/建物群	縄文土器/土師器/須恵器/板碑/近・現代陶磁器/富士講石碑群/縄文土器/金属製品/瓦/ガラス/金属器/銭貨/木製品	
	14	旧感応寺境内遺跡	目白3・4/西池袋2	近世	社寺/屋敷	[近] 建物礎石/畝状遺構/大型遺構/土坑/ピット/方形竪穴/塀/生垣/畝	陶磁器/煉瓦/土器/金属製品/銭貨/須恵器/鉄製品	
	15	東池袋遺跡	東池袋1・4	縄文/近世	包蔵地	礎石建物/ゴミ穴/ピット/道/生垣/溝状遺構/門/塀/井戸/地下室/竈蔵/室状遺構/花壇植栽痕/畝畝/埋め桶以降/階段状遺構/版/柱穴/ピット/畝跡/貯水遺構/水路状遺構/木杭列/護岸跡	ナイフ形石器/スクレイパー/縄文土器/剥片/陶磁器/縄文時代屑石/磁器/陶器/土器/瓦磁器製品/陶製品/土製品/石製品/硝子製品/金属製品/骨角製品/樹脂製品/舶載陶磁器/石製品/銭貨/木製品	
	16	南池袋遺跡	南池袋2	縄文/近世	包蔵地/屋敷	[縄] 陥穴/[近] 大型土坑/堀/溝	[近] 陶磁器/近世土器	
	17	学習院大学周辺遺跡	目白1・2	旧石器/縄文(後)	包蔵地	整地層/土坑/溝状遺構/石組遺構/畝状遺構	縄文土器/剥片/土師器/陶磁器/土器/土製品/石製品/瓦/硝子製品/金属製品	
	18	雑司が谷遺跡	雑司が谷2・3	縄文(早)/平安/中世/近世	包蔵地/その他(町屋)	[近] 掘立柱建物/方形竪穴/地下室/門/植栽痕/ゴミ穴/井戸/溝/柵列/ピット/胞衣埋納遺構/糞埋設遺構/石積/溝状遺構/礎石建物/土坑	題看板碑/縄文土器/土師器/板碑/陶磁器/土器/舶載磁器/土製品/石製品/金属製品/銭貨/瓦/石製品/硝子製品/金属製品/動物遺体	
	新宿	19	No.5 遺跡	西落合1	縄文	包蔵地		縄文土器
		20	西落合一丁目遺跡	西落合1	縄文	包蔵地		
21		落合遺跡	中落合4/中井1・2	旧石器/縄文(早～後)/弥生(後)/古墳/奈良/平安/近世	包蔵地/集落/屋敷	[旧] 礫群/[縄] 竪穴住居/土坑/炉跡/集石/土器/焼成坑/ピット/[弥] 竪穴住居/掘立柱建物跡/方形周溝墓/[古] 住居/[奈] [平] 掘立柱建物/竪穴住居跡/土坑/[近] 杭列/焼土/溝状遺構/ピット/[不] 建物/住居/ピット/溝	石器/ナイフ形石器/石核/剥片/碎片/縄文土器/打斧/石槍/石鏃/石核/弥生土器/石包丁/土師器/須恵器/鉄製品/陶磁器/刀子/砥石/環	
22		No.3 遺跡	中井2	奈良/平安	集落	[奈・平] 竪穴住居跡	土器/土師器/須恵器/鉄滓	
23		中落合二丁目遺跡	中落合2	旧石器/縄文(早)	包蔵地		石器/縄文土器/弥生土器/磁器/陶器	
24		落合横穴墓群	下落合4	奈良	横穴墓	[奈] 横穴墓	人骨/鉄製直刀/貝類	
25		No.4 遺跡	下落合4	縄文	包蔵地	[旧] ブロック/[縄] 礫群/[縄] 溝状遺構/集石/炉穴/土坑/小穴/[弥] 竪穴建物跡/方形周溝墓/[弥～古] 方形周溝墓/溝状遺構/小穴	[旧] 石器/礫/[縄] 土器/石器/礫/[弥] 土器/石製品/[弥～古] 土器/礫	
26	下落合二丁目遺跡	下落合2	旧石器/縄文/弥生/古墳	包蔵地	土坑/住居跡	[弥] ～ [古] 土器/[近] 陶磁器・土器・瓦		

代から奈良時代に及ぶ複合遺跡であるが、弥生時代後期には竪穴建物跡や方形周溝墓が検出されており、拠点的な集落が形成されていたと考えられる。

古墳時代～古代

落合遺跡では、古墳時代後期から奈良時代にかけて再び集落形成がなされ、出土した土師器に「落合型坏」の型式名が付されている。長崎一丁目周辺遺跡（13）では、ほぼ同時代である古墳時代末から奈良時代初頭のカマドを伴う竪穴住居跡が1軒検出されており、律令国家形成期に短期間の人類活動が営まれた可能性が指摘されている。また、第1期調査では古代朝鮮の寺院の敷瓦である埴が出土しているが、これは後述する「長崎アトリエ村」に関連する遺物と考えられる。

中世

長崎一丁目周辺遺跡では、中世後期の井戸や土坑が検出されており、これらは水場遺構として位置づけられている。16世紀には長崎をはじめとした豊島区の各地名が成立していることから、水利の不便さからかそれまで人類活動が低調だった豊島台にこの時期から村落が定着し始めたと考えられる。また、中世の供養塔である板碑は、板碑の分布が薄い豊島区において、長崎地区に例外的に多数



第5図 長崎一丁目周辺遺跡調査履歴

現存することが知られている。

近世

先述の通り、長崎地域は中世に成立した長崎村として知られていた。長崎一丁目周辺遺跡では近世中期の溝状遺構や畑作関連以降の検出から、屋敷地の成立に伴って既存の遺構が廃絶し、集落の再編や畑地・区画の造成が一斉に行われた可能性が指摘されている。椎名町遺跡（12）では近世以降の区画溝や建物跡等が検出され、長崎村の一角に位置する椎名町の清戸道に面した路村としての土地利用の一端が明らかになっている。旧感応寺境内遺跡（14）では大名安藤家下屋敷や感応寺などの消長が近世以降の土地利用の変遷として把握されている。

近代以降

第1期の長崎一丁目周辺遺跡の調査では、「長崎アトリエ村」に関連すると考えられる遺物が数多く出土している。アトリエ村は、昭和初期から戦前期にかけて長崎・千早町・要町などに建てられたアトリエ付きの借家が集まる地域で、若手の芸術家などの活動や交流の場となったことで知られている。また、防空壕と考えられる遺構や統制陶器など第二次世界大戦期の遺構・遺物も数多く検出されている。（橋本）

第3表 長崎一丁目周辺遺跡調査履歴一覧表

No	地区名	所収報告書	調査種別	主な時代	主な遺構及び出土遺物
1	長崎 1-15-14 地区	『長崎並木Ⅲ』	試掘	近世	耕作土中より石籬が出土
2	ライオンズシティ椎名町地区（旧名：西池袋 4-40-17 地区）	『長崎並木Ⅲ』	試掘	近世	畝
3	エスポア 2 地区	未報告	試掘		
4	長崎 1-27-1 地区	未報告	試掘		
5	中江マンション地区	未報告	試掘		(古代) 土師器
6	研学会社宅地区	未報告	試掘	近世	畝、植栽痕、土坑 / (中近世) 灰釉丸皿 (近世) かわらけ
7	長崎 1-13-12 地区	『長崎並木Ⅲ』	確認	中世～近世	溝状遺構 / (中近世) 緑釉皿
8	山手通り地区	『長崎並木Ⅰ』	本調査	中世～近世	(古代) 土師器 (中近世) 井戸、ピット群 (近代) 礎石建物など
9	長崎 1-9-21 地区	未報告	試掘		
10	ユアプロジェクト分譲住宅地区	未報告	試掘	近世	方形土坑、植栽痕、溝状遺構 / (近世) 陶磁器
11	長崎 1-5-13 地区	未報告	試掘		
12	一音会長崎女子寮地区	未報告	試掘	近世	植栽痕
13	長崎 1-17-16 地区	『豊島区文化財年報 1』	本調査	近世	植栽痕、溝状遺構、長方形土坑 / (縄文) 土器 (近世) 陶磁器
14	西池袋 4-38-7 地区	未報告	確認	近世	段切 / (近世) 陶磁器
15	グランフォース西池袋地区（旧名：ホンダアメリカ地区）	『長崎並木Ⅲ』	本調査	近世～近代	畝、植栽痕、井戸 / (縄文) 土器 (近世) 銭貨
16	長崎 1-2-10 地区	未報告	試掘		(縄文) 土器
17	福岡家地区	『長崎並木Ⅱ』	本調査	古墳～奈良	竪穴住居跡 / (古代) 土師器、須恵器
18	長崎 1-15-6 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 6』	試掘	近世以降	溝状遺構 / (縄文) 土器
19	長崎 1-28-3 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 6』	試掘	近世以降	植栽痕 / (近代) 瓦
20	長崎 1-11-7 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 6』	試掘	近代以降	溝状遺構、畝状遺構 / (現代) 磁器
21	栄光運輸集合住宅地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 7』	試掘	近世～近代	ピット群、植栽痕、長方形土坑 / (近世～近代) 陶磁器、土器
22	ドミールさくら地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 8』	試掘	近世～近代	井戸、ピット群
23	オープンハウスディベロップメント分譲住宅地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 9』	試掘	近代	(古代) 土師器 (近世～近代) 陶磁器、土器
24	長崎 1-18-19 地区	未報告	試掘	近世～近代	植栽痕、礎石建物跡 / (古代) 土師器 (近世) 陶磁器 (近現代) 陶磁器
25	金剛院地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 9』	試掘	近世	段切 / (近世) 陶磁器、土器、金属製品
26	長崎 1-17-3 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 10』	試掘	近世	植栽痕 / (縄文) 土器 (近世) 陶磁器、銭貨
27	長崎 1-28-2 地区	未報告	試掘	近世～近代	(近世) 磁器
28	長崎 1-6-6 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 13』	試掘	古墳～近世	土坑、植栽痕 / (古墳) 土器 (近世) 陶磁器
29	長崎 1-5 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 13』	試掘	縄文～近世	溝状遺構 / (縄文) 土器 (近世) 陶器
30	長崎 1-18-19 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 14』	試掘	中世～近代	不明遺構 / (中世) 陶磁器 (近世) 陶磁器、土器 (近代) ガラス製品
31	長崎 1-10-22 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 14』	試掘	近世	溝状遺構 / (縄文) 土器
32	長崎 1-6-4 地区	『豊島区文化財年報 18』	試掘	近代	(近代) 陶磁器、金属製品
33	長崎 1-26-6 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 16』	試掘	近世	不明遺構 / (中世) 陶器 (近世) 陶器、土器 (近代) 陶磁器
34	長崎 1-9 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 16』	試掘	近世	溝状遺構 / (近世) 磁器 (近代) 陶磁器、土器、ガラス製品
35	長崎 1-12 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 16』	試掘	該当なし	該当なし
36	長崎 1-14-2 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 16』	試掘	近世	柱穴状遺構、溝状遺構 / (近世) 磁器
37	長崎 1-14-14 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 16』	試掘	近世	溝状遺構 / (近代) 陶磁器、土器、ガラス製品
38	補助 172 号線 (長崎) 整備事業	『長崎一丁目周辺遺跡』	本調査	中世～近代	溝状遺構、土坑 / (古代) 埴 (近世) 陶磁器等 (近代) 陶磁器等
39	長崎 1-15-9 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 17』	試掘	近世	溝状遺構 / (近世) 陶磁器、土器、金属製品 (近代) 磁器、土器
40	長崎 1-15-14 地区	『豊島区埋蔵文化財調査概報集 18』	試掘	近世	不明遺構 / (近世) 陶磁器、土器
41	補助 172 号線 (長崎) 整備事業	本書	本調査	近世～近代	溝状遺構、土坑 / (近世) 陶磁器等 (近代) 陶磁器等

Ⅲ 層序

調査区層序断面図（第6～9、10～13図）

第6図にはD区、第7図にはE区、第9図にはF区の層序断面図を掲載した。E-2・F-1区では旧石器時代の遺物の存否確認と土層堆積を観察するため、深い遺構や攪乱を利用して旧石器時代調査坑を掘削し、層序断面の記録を行った。

調査区は、多くの範囲でローム層まで攪乱が及んでいる。特にD-3・4区やE-2区の北半は地表面から1m前後の深度まで攪乱されており、遺構・遺物の検出も乏しかった。各調査区では、表土である1層の下に均質で混入物の少ない黒褐色土層（2層）が部分的に確認されている。また、ソフトローム層（Ⅲ層）直上の漸移層であるⅡd層も、攪乱のため確認された範囲は限られている。以下、各層位の特徴について記述する。

1層

1層はアスファルト・砕石を除去した後に現れる表土層である。礫・レンガ片・コンクリート片・ロームブロックなどを多量に含み、近現代の攪乱層と考えられる。

2層

2層は表土とローム層の間に位置する黒褐色土を基調とする土層である。D・E・F全ての調査区で、攪乱が深くまで及んでいない範囲で部分的に2層が確認されていることから、ローム層に及ぶ攪乱を受ける以前は調査区の全域に2層が堆積していた可能性が考えられる。上部はより暗色で混入物が少ないのに対し、下部はローム粒・ブロックをより多く含み明色である。2層上面で畝間溝が確認できることから、盛土・耕作土と考えられる。

Ⅲ層

Ⅲ層はソフトローム層である。E-2区では遺存状況が悪く区分できなかったが、F-1区では締りや混入物で2層に区分された。Ⅳ層との境は波状を呈するが、E-2区では北東に向かって緩やかに傾斜している。

Ⅳ層

Ⅳ層はハードローム層である。E-2区では締りや混入物によって2層に区分され、北に向かってわずかに傾斜している。

Ⅴ層

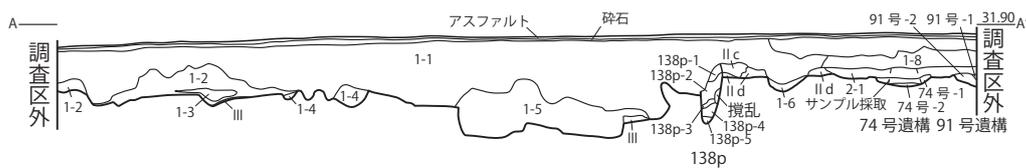
Ⅴ層は第一黒色帯である。Ⅳ・Ⅵ層と比較して土色はわずかに暗い程度で、混入物も大差はない。

Ⅵ層

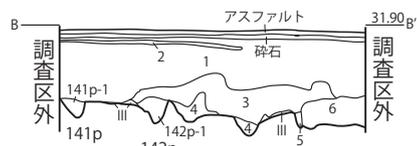
Ⅵ層はATを含むハードローム層である。上下の層との層界はほぼ平坦である。

Ⅶ層

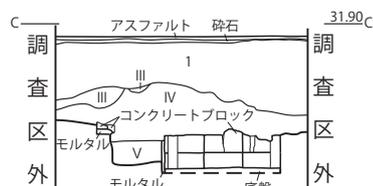
Ⅶ層は第二黒色帯である。今回の調査の旧石器時代調査坑ではⅦ層まで確認したが、旧石器時代に帰属する遺物は出土しなかった。 (橋本)



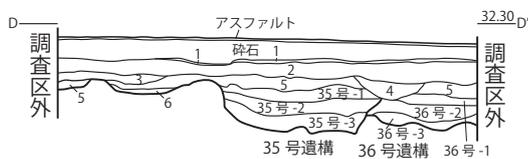
- D-1区北壁
- 1-1 10YR3/2 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや弱い。径10-50mmの礫10%、径5-100mmのコンクリート片5%、径1-4mmのローム粒3%、径1-2mmの白色粒子1%、径30-50mmのガラス片1%を含む。
 - 1-2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-4mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック5%、径2-3mmの炭化物3%、径3-40mmの礫3%を含む。
 - 1-3 10YR4/2 灰黄褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒10%、径2-3mmの5%を含む。
 - 1-4 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒10%、径3-10mmの礫10%、径5-20mmのロームブロック5%、径10-20mmの炭化物1%、径1-2mmの白色粒子1%を含む。
 - 1-5 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り極めて強い。径1-2mmのローム粒15%、径5-40mmのロームブロック10%、径2-20mmの礫10%、径1-10mmの炭化物5%、径3-4mmの焼土粒3%、径1-2mmの白色粒子3%、径50mmの瓦片1%を含む。
 - 1-8 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り極めて強い。径2-4mmの炭化物3%、径2-3mmのローム粒2%、径5mmのロームブロック1%、径5mmの礫1%を含む。
 - 2-1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒10%、径5-20mmのロームブロック5%を含む。
 - II c 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土3%、径1-2mmのローム粒2%を含む。
 - II d 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土5%、径1-2mmのローム粒3%を含む。
 - III 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%、黒褐色土3%、黒色スコリア1%を含む。



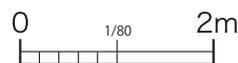
- D-3東壁
- 1 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径10-100mmのコンクリート片15%、砂10%、径2-3mmのローム粒5%、径5-50mmのロームブロック5%、径10-20mmの礫3%、径2-3mmの炭化物1%を含む。
 - 2 N4 灰色土層 粘性極めて強く、締り極めて弱い。径10-20mmの礫20%を含む。
 - 3 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒10%、砂10%、径5-20mmのロームブロック5%、径5-30mmの礫3%、径1-55mmの炭化物1%を含む。
 - 4 10YR5/6 黄褐色土層 粘性強く、締りやや強い。黒褐色土20%、径40mmの礫1%、径30mmのレンガ片1%を含む。
 - 5 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り弱い。径1mm以下のローム粒3%を含む。
 - 6 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒3%を含む。褐色土とローム土が互層、整地土か。
 - III 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%、黒褐色土3%、径1mm以下の黒色スコリア1%を含む。



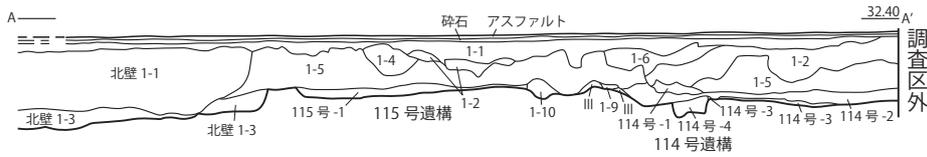
- D-4東壁
- I 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締り極めて強い。径10-100mmの礫20%、径2-3mmのローム粒10%、径20-50mmのロームブロック10%、径10-20mmのコンクリート片5%を含む。
 - III 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い。径10-20mmのロームブロック3%、径1mmの黒色スコリア1%、径1mmの赤色スコリア1%、黒褐色土わずかを含む。ソフトローム層。立川ローム第三層。
 - IV 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り極めて強い。径1mmの黒色スコリア2%、径1mmの赤色スコリア1%を含む。
 - V 10YR4/4 褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。径1mmの黒色スコリア3%、径1mmの赤色スコリア1%を含む。



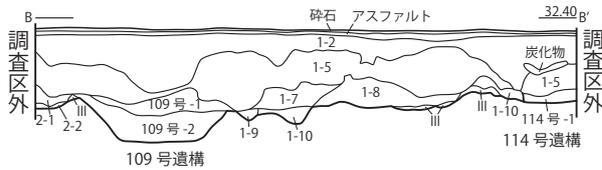
- D-5北壁
- 1 10YR1.7/1 黒色土層 粘性強く、締り極めて強い。径2-3mmの礫10%、径1mm以下のローム粒5%、径1-3mmの白色粒子5%を含む。
 - 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り極めて強い。径1-2mmのローム粒10%、径2-5mmの炭化物10%、径2-4mmの礫5%を含む。
 - 3 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1mm以下のローム粒15%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
 - 4 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い。にぶい黄褐色砂30%、径2-4mmのローム粒10%、径5mmのロームブロック3%を含む。
 - 5 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径30-100mmのロームブロック10%、径1-2mmのローム粒5%、径2-3mmの炭化物1%を含む。
 - 6 10YR3/1 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1mm以下のローム粒10%、黒褐色土5%、径5mmのロームブロック3%を含む。



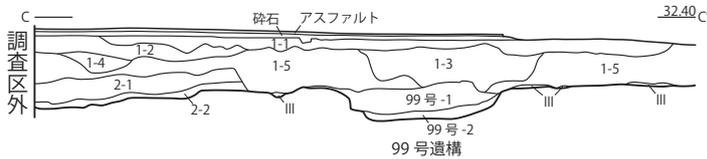
第6図 D区基本層序 (1/80)



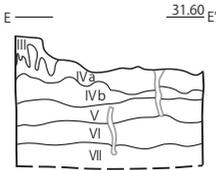
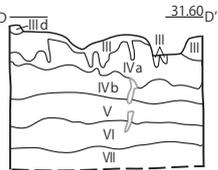
層番号	土質	説明
E-2南西部 東壁		
1-1	10YR3/3 暗褐色土層	粘性弱く、締り極めて強い。径1-4mmのローム粒10%、径5-20mmのロームブロック5%、径2-10mmの礫5%、径1-2mmの砂2%、径1-2mmの炭化物1%を含む。
1-2	10YR3/2 黒褐色土層	粘性やや強く、締り極めて強い。径1mm以下のローム粒3%、径2-10mmの礫1%、径3-5mmの炭化物わずかを含む。
1-4	10YR3/3 暗褐色土層	粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒5%、径2-10mmの炭化物3%、径5-10mmのロームブロック1%、径1mm以下の焼土粒わずかを含む。
1-5	10YR2/3 黒褐色土層	粘性強く、締り極めて強い。径1-2mmのローム粒5%、径2-3mmの礫3%、径1mmの白色粒子3%、径5mmのロームブロック1%、径2-10mmの炭化物わずかを含む。
1-6	10YR3/2 黒褐色砂質土層	粘性極めて弱く、締りやや弱い。径1mm以下の砂30%、径1mm以下のローム粒5%、径10-20mmの礫1%、径1mm以下の焼土粒わずかを含む。
1-9	10YR2/3 黒褐色土層	粘性強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒15%、径10-20mmのロームブロック1%を含む。
1-10	10YR4/4 褐色土層	粘性やや強く、締り強い。黒褐色土25%、径2-3mmのローム粒15%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
Ⅲ	10YR4/6 褐色土層	粘性やや強く、締り強い。黒褐色土10%、径1mm以下の赤色スコリア1%を含む。
北壁1-1	10YR3/4 暗褐色土層	粘性弱く、締りやや強い。径10-50mmの礫10%、径2-3mmのローム粒5%、径5-100mmのコンクリート片5%、径5-30mmのロームブロック3%、径1mm以下の砂3%、径30-50mmのレンガ片1%を含む。
北壁1-3	10YR4/6 褐色土層	粘性強く、締りやや弱い。径5-50mmのロームブロック30%、黒褐色土20%、径3-4mmのローム粒10%を含む。



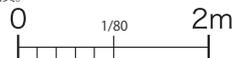
層番号	土質	説明
E-2南西部 南壁		
1-1	10YR3/3 暗褐色土層	粘性弱く、締り極めて強い。径1-4mmのローム粒10%、径5-20mmのロームブロック5%、径2-10mmの礫5%、径1-2mmの砂2%、径1-2mmの炭化物1%を含む。
1-2	10YR3/2 黒褐色土層	粘性やや強く、締り極めて強い。径1mm以下のローム粒3%、径2-10mmの礫1%、径3-5mmの炭化物わずかを含む。
1-3	10YR2/3 黒褐色土層	粘性やや弱く、締り強い。径5-20mmの礫5%、径1mm以下のローム粒3%、径1mm以下の白色粒子3%、径1-2mmの焼土粒2%、径50-60mmのロームブロック1%、径30-50mmの木片1%、径20-30mmのレンガ片1%を含む。
1-4	10YR3/3 暗褐色土層	粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒5%、径2-10mmの炭化物3%、径5-10mmのロームブロック1%、径1mm以下の焼土粒わずかを含む。
1-5	10YR2/3 黒褐色土層	粘性強く、締り極めて強い。径1-2mmのローム粒5%、径2-3mmの礫3%、径1mmの白色粒子3%、径5mmのロームブロック1%、径2-10mmの炭化物わずかを含む。
1-6	10YR3/2 黒褐色砂質土層	粘性極めて弱く、締りやや弱い。径1mm以下の砂30%、径1mm以下のローム粒5%、径10-20mmの礫1%、径1mm以下の焼土粒わずかを含む。
1-7	10YR2/3 黒褐色土層	粘性やや強く、締り強い。径1-4mmのローム粒15%、径10-40mmのロームブロック10%を含む。
1-8	10YR3/2 黒褐色土層	粘性やや弱く、締り強い。径1-3mmのローム粒20%、径5mmのロームブロック1%を含む。
1-9	10YR2/3 黒褐色土層	粘性強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒15%、径10-20mmのロームブロック1%を含む。
1-10	10YR4/4 褐色土層	粘性やや強く、締り強い。黒褐色土25%、径2-3mmのローム粒15%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
2-1	10YR2/3 黒褐色土層	粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒5%、径5-20mmのロームブロック3%、径1-2mmの炭化物1%を含む。
2-2	10YR3/3 暗褐色土層	粘性強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒15%、径5-40mmのロームブロック10%を含む。
Ⅲ	10YR4/6 褐色土層	粘性やや強く、締り強い。黒褐色土10%、径1mm以下の赤色スコリア1%を含む。



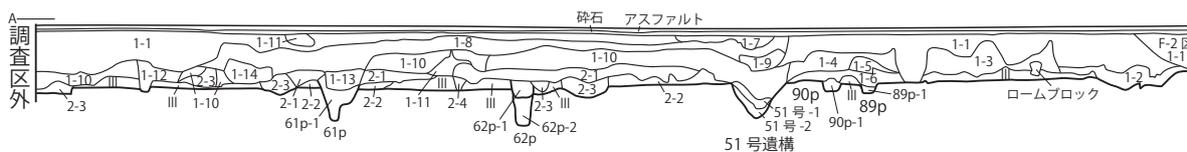
層番号	土質	説明
E-2南西部 西壁		
1-1	10YR3/3 暗褐色土層	粘性弱く、締り極めて強い。径1-4mmのローム粒10%、径5-20mmのロームブロック5%、径2-10mmの礫5%、径1-2mmの砂2%、径1-2mmの炭化物1%を含む。
1-2	10YR3/2 黒褐色土層	粘性やや強く、締り極めて強い。径1mm以下のローム粒3%、径2-10mmの礫1%、径3-5mmの炭化物わずかを含む。
1-3	10YR2/3 黒褐色土層	粘性やや弱く、締り強い。径5-20mmの礫5%、径1mm以下のローム粒3%、径1mm以下の白色粒子3%、径1-2mmの焼土粒2%、径50-60mmのロームブロック1%、径30-50mmの木片1%、径20-30mmのレンガ片1%を含む。
1-4	10YR3/3 暗褐色土層	粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒5%、径2-10mmの炭化物3%、径5-10mmのロームブロック1%、径1mm以下の焼土粒わずかを含む。
1-5	10YR2/3 黒褐色土層	粘性強く、締り極めて強い。径1-2mmのローム粒5%、径2-3mmの礫3%、径1mmの白色粒子3%、径5mmのロームブロック1%、径2-10mmの炭化物わずかを含む。
2-1	10YR2/3 黒褐色土層	粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒5%、径5-20mmのロームブロック3%、径1-2mmの炭化物1%を含む。
2-2	10YR3/3 暗褐色土層	粘性強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒15%、径5-40mmのロームブロック10%を含む。
Ⅲ	10YR4/6 褐色土層	粘性やや強く、締り強い。黒褐色土10%、径1mm以下の赤色スコリア1%を含む。



層番号	土質	説明
E-2区旧石器時代調査坑北壁・西壁		
Ⅱd	10YR4/6 褐色土層	粘性やや強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒3%、径2-4mmの炭化物1%を含む。
Ⅲ	10YR4/6 褐色土層	粘性やや強く、締りやや強い。径5-20mmのロームブロック5%、径2-4mmのローム粒3%、径1-4mmの炭化物1%、黒褐色土1%を含む。根の攪乱か。海汰悪い。IVa層との境は波状を呈する。
Ⅳa	10YR5/6 黄褐色土層	粘性強く、締り強い。径3-4mmのローム粒5%、径10-30mmのロームブロック5%、径1-3mmの黒色スコリア3%、径3-4mmの炭化物1%、径1mm以下の赤色スコリア1%を含む。
Ⅳb	10YR5/6 黄褐色土層	粘性強く、締り極めて強い。径2-3mmの黒色スコリア3%、径3-5mmの炭化物2%、径1-3mmの赤色スコリア1%を含む。
V	10YR4/6 褐色土層	粘性極めて強く、締り極めて強い。径1-3mmの黒色スコリア2%、径2-3mmの炭化物1%、径1mm以下の赤色スコリア1%を含む。
Ⅵ	10YR5/6 黄褐色土層	粘性極めて強く、締り極めて強い。径1-2mmの黒色スコリア5%、径1mm以下の赤色スコリア3%を含む。
Ⅶ	10YR4/6 褐色土層	粘性極めて強く、締り極めて強い。径1-2mmの黒色スコリア1%、径1mm以下の赤色スコリアわずかを含む。Ⅶ層よりわずかに軟質。

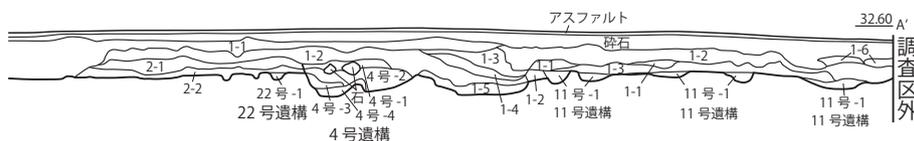


第7図 E区基本層序 (1/80)



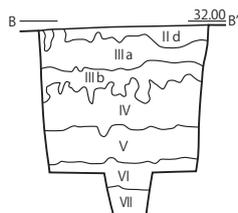
F-1区北壁

- 1-1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性極めて弱く、締り強い。径1-4mmのローム粒10%、径10-100mmのコンクリート片10%、径10-30mmのロームブロック5%、径5-30mmの礫5%、径1mm以下の白色粒子1%、径5mmの炭化物わずかなを含む。
- 1-2 10YR3/3 暗褐色土層 粘性弱く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒15%、径5-50mmのロームブロック5%、径10-20mmのコンクリート片3%、径3-4mmの礫1%を含む。
- 1-3 10YR2/3 黒褐色土層 粘性弱く、締り強い。径1-2mmのローム粒5%、径10mmのロームブロック3%、径10mmの炭化物1%、径2-3mmの礫1%を含む。
- 1-4 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り極めて強い。径2-3mmのローム粒10%、径10mmのロームブロック1%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。
- 1-5 10YR2/3 黒褐色土層 粘性弱く、締り強い。径1-4mmのローム粒15%、径5-30mmのロームブロック10%を含む。
- 1-6 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒10%、径5-40mmのロームブロック3%、径1-2mmの炭化物1%を含む。根乱(根?)を受けた土層か。
- 1-7 10YR2/3 黒褐色土層 粘性弱く、締り極めて強い。径5-20mmのロームブロック40%、径1-2mmのローム粒10%、径1-10mmの炭化物3%を含む。
- 1-8 10YR3/3 暗褐色土層 粘性弱く、締り極めて強い。径3-10mmの焼土粒15%、径1mm以下のローム粒10%、径5-10mmのロームブロック5%、径1-2mmの炭化物3%を含む。
- 1-9 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて弱く、締り極めて弱い。径10-300mmの瓦片40%、径1-10mmの焼土粒10%、径1mmの炭化物わずかなを含む。
- 1-10 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い。径1mm以下のローム粒3%、径5-10mmの礫3%を含む。
- 1-11 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒5%、径1mm以下の焼土粒3%を含む。根の根乱を受けた1-10層。
- 1-12 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒5%、径1-5mmの礫5%、径1mm以下の焼土粒3%、径1mm以下の白色粒子3%、径4-5mmの炭化物1%を含む。
- 1-13 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒5%、径5-10mmの礫5%、径1-2mmの炭化物3%、径1mm以下のレンガ片1%を含む。
- 1-14 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや弱い。径1mm以下のローム粒3%、径2-5mmの礫3%、径1mm以下の焼土粒1%、径10mmのレンガ片1%を含む。
- 1-15 7.5YR5/6 明褐色土層 粘性極めて弱く、締り極めて弱い。黒褐色土20%、径5-20mmの焼土粒10%を含む。
- 2-1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1-2mmのローム粒5%を含む。
- 2-2 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1-2mmのローム粒10%、黒褐色土10%、径5-10mmのロームブロック5%を含む。根根乱。
- 2-3 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1mm以下のローム粒25%、黒褐色土15%、径5-10mmのロームブロック5%を含む。
- 2-4 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒15%、径5mmのロームブロック10%を含む。根乱。
- III 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。黒褐色土10%、径1mm以下のローム粒3%を含む。



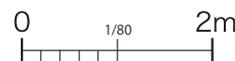
F-2区北壁

- 1-1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや弱く、締り強い。径10-20mmの礫20%、径3-5mmのローム粒10%、砂10%、径20-30mmのロームブロック5%、径40-50mmのレンガ片1%を含む。
- 1-2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性弱く、締り強い。径1mm以下のローム粒20%、砂5%、径1mmの焼土粒3%を含む。
- 1-3 10YR3/4 暗褐色土層 粘性弱く、締り強い。径10-50mmのロームブロック30%、径1-2mmのローム粒10%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。
- 1-4 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1-5mmのローム粒10%、径1mm以下の白色粒子10%、径1mm以下の焼土粒3%、径10-50mmの礫3%、径20mmのガラス片1%を含む。
- 1-5 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径5-10mmのロームブロック30%、径2-3mmのローム粒20%、径1-2mmの礫5%、径1mm以下の焼土粒3%を含む。
- 1-6 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや弱く、締り極めて強い。径5-10mmのロームブロック20%、径2-3mmのローム粒10%、径3-20mmの礫10%、径2-3mmの炭化物5%、径1-2mmのレンガ片1%を含む。
- 1-7 10YR3/4 暗褐色土層 粘性弱く、締り極めて強い。径1-2mmのローム粒20%、径1-2mmの炭化物5%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。
- 1-8 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い。径5-20mmのロームブロック30%、径1mm以下のローム粒10%、黒褐色土10%を含む。
- 2-2 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い。径10-20mmのロームブロック10%、径1mm以下のローム粒5%を含む。
- 2-3 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い。径10-30mmのロームブロック30%、径1mm以下のローム粒10%を含む。



F-1区旧石器時代調査坑東壁

- II d 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土5%を含む。
- III a 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土3%、径1mmの赤色スコリア1%を含む。均質なシルト。
- III b 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径10-30mmのロームブロック10%、黒褐色土5%、黒色スコリア2%、赤色スコリア1%を含む。IV層との境は波状を呈する。III-2層に比べややもろい。ローム中下部にブロックが点在する。
- IV 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。黒褐色土5%、径1-2mmの黒色スコリア3%、径1mm以下の赤色スコリア2%を含む。
- V 10YR4/4 褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。径1-2mmの黒色スコリア5%、黒褐色土3%、径1mm以下の赤色スコリア3%を含む。
- VI 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。径1-2mmの黒色スコリア5%、径1mm以下の赤色スコリア3%、径1mmの灰白色スコリア1%を含む。
- VII 10YR4/4 褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。径1mmの黒色スコリア3%、径1mm以下の赤色スコリア2%、径1mm以下の灰白色スコリア1%を含む。



第8図 F区基本層序 (1/80)

IV 遺構と遺物

1 中世以前の遺構・遺物（第45図、第8表）

中世以前の遺構・遺物の検出は乏しい。土坑の中には、覆土の観察から縄文時代など古い時代の遺構である可能性が考えられるものもあるが、いずれも遺物を伴わなかったためそれらの帰属時期は確定できていない。遺物は縄文土器の小片が主で、接合するものはない。いずれも近世以降の遺構の覆土に混入する形で出土した。第45図1は撚糸文系、2～4は条痕文系、5は諸磯a式と考えられる。

2 近世以降の遺構・遺物

遺物が出土しない遺構や、後世の攪乱により近世と近代以降の遺物が共伴して出土する遺構が多いため、本報告書では近世と近代以降の遺構・遺物を一括して扱う。近現代の中形碗の分類は長佐古(2007)に基づき観察表に記載した。

1) 遺構

A 溝状遺構

18・45号遺構（第14図、第4表）

2面（ローム面）上で検出された、F区を東西に貫く浅い溝状遺構である。18号遺構はF区の東西の調査区外に、45号遺構はF区の西側の調査区外にそれぞれ延びる。第1期調査においてC-2区南東端で検出された4・11号遺構（溝状遺構）は、方位や深度等から同一の遺構であろうか。45号遺構はF-1・2区の境界付近で深度が浅くなり、F-2区では検出されなかった。両遺構の境界は明瞭ではないが、45号遺構が18号遺構を切る。他の遺構との切り合いでは、44p・52p・54p・56p・70pを切り、55p・67～69p・78～84p・86p・87p・94p・95pを切る可能性がある。また6・40号遺構・12p・24p・41p・50p・57p・58p・59pに切られ、37p・39p・40p・43pに切られる可能性がある。16p・27～29p・74p・76p・91～93p・97pとは前後関係が不明である。帰属時期は、40号遺構から代用陶器が出土しているため第二次世界大戦期以前と考えられる。

36号遺構（第15図、第4表）

溝状遺構の可能性のある遺構である。大半が調査区外に位置するため全容は定かではないが、調査区東壁で緩やかな立ち上がりが確認される。35号遺構（植栽痕）に切られる。

74号遺構（第15図、第4表）

2面で検出された南北方向の浅い溝状遺構である。調査区外に延びる北半が段状に低くなっているほか、南半も遺構中央部が溝状にやや低くなる。75号遺構との前後関係は不明だが、68号遺構（植栽痕）には切られているか。覆土は2層に分けられ、2層は段状に下がった北半のみで確認される。

77号遺構（第15図、第4表）

東西方向の溝状遺構で、他の溝状遺構と比較して深度が深く、断面は三角形を呈する。調査区の際から約2.8mの位置で南側にほぼ直角に屈曲し、65号遺構に切られる。近世の陶磁器の碗や皿、瓦質の焙烙などが出土している。

78号遺構（第15図、第4表）

77号遺構と同様の東西方向の溝状遺構と思われるが、攪乱に切られ本来の平面形は詳らかではない。近世の陶器の皿が出土している。

88号遺構（第16図、第4表）

74号遺構に平行するように南北に走る浅い溝状遺構である。18世紀代に属する陶器の挿鉢や碗、徳利などが出土している。土壌のテフラ分析では、87号遺構と共に74号遺構と同様の結果が示されている（第V章第2節）。

114・115号遺構（第16図、第4表）

南北方向の浅い溝状遺構である。調査区の際にかかり本来の幅は詳らかではない。114号遺構は南側の調査区外に延び、北端が浅い土坑状に落ち込む。磁器の皿や瓦質土器などが出土し、近世に帰属する可能性がある。両遺構共に直上に2層が確認されず、表土掘削後のローム面上で検出されているため、削平によって遺構の上位部分を失っているものとみられる。

B 土坑

2号遺構（第17図、第4表）

平面形がほぼ正方形を呈し、一辺や深度が1mを超える大型の土坑である。壁面は比較的丁寧に整形され平坦だが、底面は工具痕とみられる凹凸が多数みられ、起伏が著しい。北壁上部には開口部の幅約20cm、高さ約15cm、奥行き約10cmのくぼみがあり、昇降時の足かけであろうか。2号遺構の覆土からは多数の遺物が出土しているが、主体となるのはガラス製品で、完形や復元率の高いガラス瓶が多数出土しているのが特徴的である。遺物は近代以降の幅の広い時代に帰属し、特定のタイミングで一括して廃棄されたものと考えられる。

6号遺構（第17図、第4表）

長方形の土坑で、18号遺構（溝状遺構）を切る。磁器製の湯たんぽが出土している。

8号遺構（第17図、第4表）

楕円形の土坑である。鉄製の蹄鉄や引手が出土している。

9号遺構（第17図、第4表）

平面形が円形を呈する土坑である。堆朱風の火鉢や七輪の破片が多数出土した。覆土は単層で、遺物の復元率も高いことから一括して廃棄された可能性が高い。

10号遺構（第17図、第4表）

平面形が長方形を呈する土坑である。割れた瓦やガラス片など多量の遺物が出土した。覆土は焼土粒を含み、多くの遺物が被熱していることから近代の火事後の片づけ遺構であろう。

14号遺構（第18図、第4表）

常滑製の甕が斜位で出土した土坑である。遺構の周囲は著しく攪乱され、甕も上半を壊されていることから、本来の位置を保っていない可能性が高い。復元された甕の口縁部にはモルタルが付着していることから、便槽である可能性がある。

17号遺構（第18図、第4表）

一部が突出した長方形を呈する土坑で、西壁はオーバーハングする。床面に極めて硬い範囲がある。覆土に焼土粒を含み、遺物も被熱していることから火事後の片づけ遺構であろう。

31号遺構（第18図、第4表）

円形の土坑である。磁器の碗の他、電気製品が多く出土している。

32号遺構（第18図、第4表）

方形の土坑で、底面のピット状の落ち込みは、32号遺構構築前に存在したピットの底部の可能性はある。覆土は単層で焼土粒を含み、遺物も被熱していることから近代の火事後の片づけ遺構であろう。

33号遺構（第19図、第4表）

不整楕円形の土坑で、西側が段状を呈し北側の壁面がオーバーハングする。近代の廃棄土坑か。

34号遺構（第19図、第4表）

方形の土坑で、底面にピット状の落ち込みがみられる。覆土は単層で焼土粒を含み、遺物も被熱していることから近代の火事後の片づけ遺構であろう。

40号遺構（第19図、第4表）

長方形の土坑で、底面に溝状の落ち込みがみられる。近代の廃棄土坑と考えられる。

44号遺構（第19図、第4表）

不整形の土坑で、瓦質土器の植木鉢が出土している。

52～56号遺構（第20図、第4表）

方形の土坑群である。当初単一の遺構として調査したため前後関係は詳らかではないが、覆土及び出土遺物の様相は共通している。覆土は単層で焼土粒を含み、遺物も被熱していることから近代の火事後の片づけ遺構であろう。

80号土坑（第21図、第4表）

大型の土坑と思われるが、調査区際に位置し平面形は不明である。覆土は東から西に向かって傾斜して堆積しており、79号遺構（植栽痕）を切る。79号遺構と共に陶磁器の碗や皿など多数の遺物が出土しているが、遺物の年代の下限は79号遺構が18世紀後半、80号遺構が17世紀後半となっている。

90・94・108・144号遺構（第22図、第4表）

土層断面の観察から、94→144→108→90の順に土坑が複数重複しているとみられる。

97・107号遺構（第22図、第4表）

97号遺構は長方形を呈するが、南側は攪乱に切られている。底面が一部方形に落ち込んでいる。

107号遺構は97号と覆土が相似している。

98号遺構（第22図、第4表）

深度約1mに迫る大型の土坑である。調査区外に延びるため遺構全体の平面形は不明だが、調査区内では隅丸方形を呈する。覆土中位～下位からウマが出土した。遺存状態が悪く、原形をとどめない四肢骨が多かったが、ウマの上顎骨・下顎骨・中足骨・距骨などが同定されている。上顎歯・下顎歯は比較的遺存状態が良い。これらは解剖学的位置を保っていた同一個体のウマの骨と考えられ、調査区外に残りの部位の骨が存在する可能性が高い。第59図2は動物骨とほぼ同じ標高から出土しており、その帰属時期から遺構の上限年代は幕末であると考えられる。

99号遺構（第23図、第4表）

大半が調査区外に位置する土坑である。底面には複数の小規模なピットが散発的に位置している。

102号遺構（第23図、第4表）

中央部が落ち込み、段状を呈する土坑である。第 59 図 3 は覆土中位から出土した。

104 号遺構（第 23 図、第 4 表）

不整形の土坑で、中央部底面にはバックホーの爪跡が残る。近代の廃棄土坑とみられ、陶磁器や瓦片などが出土している。

105 号遺構（第 24 図、第 4 表）

不整形の土坑で、中央部が長方形に落ち込む。落ち込みの底面には周縁付近に小規模なピットが分布している。近代の廃棄土坑とみられ、陶磁器や土管、ガラス製品などが出土している。第 59 図 4 は落ち込み部分の覆土から出土した。

109 号遺構（第 23 図、第 4 表）

大半が調査区外に位置するが、121 号遺構と認識した落ち込みよりさらに深くなると思われたため、別遺構とした土坑である。磁器が出土したが帰属時期は不明である。

110 号遺構（第 24 図、第 4 表）

一部を攪乱に切られた不整形の土坑である。陶磁器の碗や土器の土鍋、泥面子（第 59 図 5～7）などが出土し、19 世紀から幕末に帰属する。

113 号遺構（第 24 図、第 4 表）

壁面の一部がオーバーハングする土坑である。覆土はほぼ単層であるとみられ、青磁の小片や土器のかわらけなどが出土し、19 世紀から幕末に帰属する。

117・119 号遺構（第 25 図、第 4 表）

壁面の大半がほぼ垂直に立ち上がる長方形の土坑である。平面形及び床面のレベルによって 2 基の土坑に区分した。土器・陶器・金属片などが出土したが帰属時期は不明である。

121 号遺構（第 25 図、第 4 表）

E-2 区の南西端が広範囲で落ち込んでおり、遺物も多数出土したことから土坑とした。覆土は調査区西壁で観察された 2 層が南に傾斜して堆積している。

125 号遺構（第 25 図、第 4 表）

不整形楕円形の土坑で一部は調査区外に位置する。陶磁器の碗や播鉢など近世に帰属する遺物が主体的だが、近代の磁器の端反碗（第 59 図 10）なども出土したため近代に区分した。

126 号遺構（第 26 図、第 4 表）

E-1b 区の大規模な攪乱に切られる土坑である。廃棄土坑とみられ、磁器の碗やガラス製品などが出土した。遺物から近代に帰属する。

128 号遺構（第 26 図、第 4 表）

浅い土坑である。肥前系の磁器碗などが出土しており、遺物から近世に帰属する。

139 号遺構（第 26 図、第 4 表）

長方形の土坑で、底面が段状に落ち込むほかピット状に落ち込む場所もある。近世の磁器の碗や皿、ガラス製品、金属製品などが出土した。

C 植栽痕

35 号遺構（第 27 図、第 4 表）

ローム面で検出された植栽痕である。遺構底面中央が盛り上がり、36 号遺構を切る。

57号遺構（第27図、第4表）

34・49号遺構に切られる植栽痕である。第45図2・3は縄文土器である。

64・72・73号遺構（第28・31図、第4表）

3基の植栽痕が重複する。64号遺構からは近世の二合半タイプの徳利（第58図9）のほか、第58図10～12など小型のインク瓶の可能性のあるガラス製品が多数出土している。72号遺構からは近世の陶磁器の碗や徳利などの他、ウシもしくはウマの脛骨が出土している。

65・103・106号遺構（第29・30図、第4表）

3基の植栽痕が重複していると考えられる。65号遺構からは第58図13・14など近世の遺物が主体的に出土している。

D 畝間溝

11・15・25～28・37～39・41～43・48・50・61～63号遺構（第13図、第4表）

F区で検出された東西方向の畝間溝である。11号遺構a～f・37号遺構は1面（2層）の黒褐色土上で確認されたが、それ以外は2層が削平されたローム面上で確認された。

136～138・141・142号遺構（第12図、第4表）

E-1b区で検出された東西方向の畝間溝である。本来は1面上の遺構だと思われるが、E-1b区は全体的にローム面まで削平が及んでおり、溝の底面付近のみが遺存している。136号遺構からは近世の陶器の灯明受け皿などが出土している。

E 井戸

1号遺構（第31図、第4表）

埋め戻されていた井戸である。攪乱によって本来の平面形は定かではないが、大谷石の切石を用いた枠が一部遺存する。断ち割り調査を行い、埋土を検出面より約2.7mの深度まで確認したが、埋土下位は滞水しており安全を考慮して底面までは調査していない。

59号遺構（第31図、第4表）

コンクリート製の蓋と埋土によって埋め戻されていた井戸である。蓋より下位は埋め戻されておらず、下半は湛水していた。蓋から水面までは約2m、水面から底面までは約2.7mを測る。蓋より上位の平面形は隅丸方形を呈するが、蓋より下位はほぼ円形である。蓋の平面形はほぼ正八角形を呈し、2枚に分割されている。蓋は接合部に沿って二か所に穿孔され、一つには塩ビ管が通されて井戸底部に達していた。埋め立てた後もポンプ等で水を汲み上げていたと考えられる。安全上、確認面より約2mの深度までしか調査していないが、蓋より下位の壁面には工具痕が残されている。蓋から約50cmの範囲までは横位に近い斜位、それ以下は縦位の手斧状の工具によるとみられ、斜位の工具痕が縦位の工具痕を切っている。

131号遺構（第32図、第4表）

埋め戻されていた井戸である。E-1b区の大規模な攪乱底面で検出したが、位置関係から127号遺構（コンクリート構造物）の掘方に位置していたと考えられる。断ち割り調査を行い、埋土を検出面より約1.5mの深度まで確認した。近世の陶器の皿などが出土している。

143号遺構（第32図、第4表）

埋め戻されていた井戸である。127号遺構（コンクリート構造物）の掘方から検出された。断ち割

り調査を行い、埋土を検出面より約 2.5m の深度まで確認した。近世の磁器の碗が出土している。

F レンガ柵・コンクリート構造物・コンクリートタイル柵・礎石・建物基礎

3号遺構（第 32 図、第 4 表）

レンガとモルタルで構築された柵と考えられる構築物である。型枠の痕跡が確認できないことから、掘削した掘方に直接レンガとモルタルを埋設したと考えられる。用いられているレンガは刻印が刻まれている割合が多く、刻印のバリエーションも豊かであることから別の構築物に使われていたレンガを再利用している可能性がある。本遺構に隣接する南側の掘り込みは調査区外まで伸びており、配管等が接続されていたと考えられる。

127号遺構（第 33・34 図、第 4 表）

底面は水平に、壁面は斜めに配置されたコンクリートタイルがモルタルで覆われた構造物である。東半分を大規模な攪乱によって失っているが、本来の平面形は正方形に近い方形だったと考えられる。現存する遺構上端の最大長は 7.58m、上端から底面表面までは 0.76 m を測るが、さらに上段のタイルが存在していた可能性もあり、本来の深度はさらに深くなるであろう。掘方を掘削した後、盛土→碎石→モルタルの順に埋設し、コンクリートタイルを敷き詰めてその隙間や表面にモルタルを塗布することで構築されたと考えられる。底面北西角では垂直に据えられたタイルの内側にモルタルを充填し、階段状の突出部を作り出している。ローム混じりの客土で埋め立てられており、覆土からはガラス製品・金属製品などが出土した。掘方では溝状の掘り込みがみられ、131・143 号遺構（井戸）が検出されている。第 60 図 9・10 は本遺構の掘方から出土した。

30号遺構（第 11 図、第 4 表）

D-4 区の調査区の大半を占める、コンクリートブロック柵である。内部は南北に分かれ、南側がやや大きく底盤がより深い。上半が破壊され、ブロック内側の鉄筋が確認できる。遺構南北に隣接する攪乱は配管等が接続されていた痕跡であろう。

69・70・71号遺構（第 10 図、第 4 表）

D-1 区 2 面（ローム面）上で検出された礎石の可能性のある礎である。配置は散発的で他の遺構との関連は見いだせない。

4号遺構（第 13 図、第 4 表）

F-2 区 1 面上で検出された建物基礎の可能性のある遺構である。花崗岩の角礫が集中して検出され、調査区外へ延びる。角礫は整形された痕跡がみられず、栗石や他の遺物も検出されていない。他に同様の遺構は検出されず、配置の傾向などは見いだせない。

G ピット

252p（第 43 図、第 5・6 表）

陶器片 34 点及び板碑片 1 点が出土した。陶器は丹波産の播鉢で、大半の破片が板碑片と共に折り重なるように覆土中位に位置していた。接合すると復元率は 7 割前後となり、遺構間接合はみられなかった。覆土は単層で、遺物は意図的に埋納された可能性が考えられる。

2) 遺物

2号遺構（第 45～48 図、第 8 表）

第 45 図 8～11 は磁器である。8 は小碗で、ゴム印・手描で達磨と蚊を描き、「京□（司？）」は

作家名か。9・10はセットとみられる小碗と蓋である。11は底面に統制番号が記されたいわゆる統制陶器である。12は七輪、13は焜炉の目皿である。第46図1は行火の火入れで、脚部の底面が摩耗している。2は土製の十能で、底面に文字と数字が刻まれている。3は2と近似した形状だが、内部が目皿状で底面が中空になっている。4・5・第47図1～7・第48図1～4はガラス製品である。5のパトローネの内部にはフィルムが遺存していた。6は英語のプリントされた缶である。

3号遺構（第48・49図、第8表）

第48図7は磁器の小碗である。8は陶器の植木鉢かと思われるが、表裏面が著しく敲打されている。9～11は対となる真鍮製の捻締である。第49図1～7はレンガで、3号遺構の構造材である。

5号遺構（第48図、第8表）

第48図12は磁器の小皿で、底面に陽刻銘とゴム印による番号の双方がみられる。

6号遺構（第48・50図、第8表）

第48図13は磁器製の湯たんぽである。第50図1は電気部品と考えられる。

8号遺構（第50図、第8表）

第50図2は蹄鉄で、前側に蹄鉄のずれを防止する三角形の鉄唇がある。3は筆筒の引手である。

9号遺構（第50・51図、第8表）

第50図4は堆朱風の火鉢である。上げ底の底面のトンネル状の部位は空気の取り込み口と思われる。第51図1の底部の切り欠きはトンネルに合致する形状で、第50図4の内部に第51図1、さらにその内部に2が収まる。3も含めて一体の暖房器具として使用されていたか。4は香水瓶であろう。

10号遺構（第51・52図、第8表）

第51図5・6はティーカップで、5は鉄道動輪と「弘」を組み合わせたマークがプリントされ、鉄道弘済会に関係する可能性がある。6は半纏の紋章がある。7はクロム青磁の小碗、8はコバルト釉で染付された小碗である。9・10は陶器、11はゾウをかたどった土器のペン立てか。第52図1は砥石、2は代用陶器の卸金である。

14号遺構（第52図、第8表）

第52図3は常滑焼の大甕で、口縁部内側にモルタルが付着し返し状に膨らむことから便槽か。

17号遺構（第52・53図、第8表）

第52図4～7は磁器である。6は外面の口縁部に1mm単位の目盛りや体部にメートル法の換算表がプリントされていることから、メートル法の普及用の製品であろうか。第53図1は陶器の火鉢、2は置き時計の一部、3は電気部品で第53図8とネジピッチが一致する。

31号遺構（第53図、第8表）

第53図4・5は磁器の中碗、6～8は電気部品である。6はスイッチ、7は被覆碍子か。

32号遺構（第53～55図、第8表）

第53図9～11は磁器で、11は本来は一对の稻荷か。第54図1は硬質陶器の水盤、2はガスコンロのミニチュア、3は菓子瓶である。4・5は鯨髭製の可能性がある歯ブラシである。6～9は鉄製品、10・11・第55図1は電気部品である。

33号遺構（第55図、第8表）

第55図2は陶器の火鉢で、内面底部に被熱による発泡がみられる。

34号遺構（第55図、第8表）

第55図3～6は磁器で、3はクロム青磁の小碗である。4は鉄帽や旭日旗が描かれ、第二次世界大戦後の復員に、5は油槽船泰南丸の昭和17年の進水に関連するか。7は硬質陶器の中皿、8は陶器の火鉢で外面底部に「信」と数字が刻まれている。9は硯、10は電気部品か。

40号遺構（第56・57図、第8表）

第56図1～3は磁器で、3は輸出向けか。4は万古焼の急須である。5は代用陶器のガスコンロのバーナー部分で、本来は一回り大きい台座部と一体だったと思われる。6は煙道部を持つ土器の焔炉である。7は丸瓦、8・10は染料瓶、9は薬瓶である。第57図1は鉄製品の十能、2は電気部品であろうか。

44号遺構（第57図、第8表）

第57図3は瓦質土器の植木鉢で、内面が被熱していることから火鉢に転用されたか。

52号遺構（第57・58図、第8表）

第57図4・5は統制陶器で、4は小碗、5はソーサーである。6・7は陶器で、6は火鉢で底面の穿孔は下部の台との固定用か。8は代用陶器のガスコンロ、9は平瓦、第58図1は棧瓦である。

53号遺構（第58図、第8表）

第58図2は磁器の中碗、3は土器の帯留め、4は象牙製の箸、5・6は真鍮で5は蚊帳の吊輪、6は校章で帽子などにあしらわれるものか。

54号遺構（第58図、第8表）

第58図7はピストル状のスターターである。

64号遺構（第58図、第8表）

第58図8は磁器の小碗、9は二合半の徳利である。10～12は口縁部を意図的に破損していると思われるガラス瓶で、インク瓶の可能性はある。

65号遺構（第58図、第8表）

第58図13・14は磁器で、13は皿、14は香油瓶である。

79号遺構（第59図、第8表）

第59図1は三島手の鉢である。

98号遺構（第59図、第8表）

第59図2は磁器の小碗で、呉須で染付されている。

102号遺構（第59図、第8表）

第59図3は五合徳利の底部である。

105号遺構（第59図、第8表）

第59図4は磁器の中皿で、いわゆるイゲ皿である。

110号遺構（第59図、第8表）

第59図5～7は泥面子である。5の文様は笠もしくは「十」、「小」などが考えられる。

121号遺構（第59図、第8表）

第59図8は火打石の小片で、火打石の形状を整えた際の剥片であろう。9は仕上げ砥石である。

125号遺構（第59図、第8表）

第59図10は磁器の小碗、11は丸瓦を転用した持砥か。12は寛永通宝、13は炭素棒か。

126号遺構（第60図、第8表）

第60図1～3は磁器の碗である。4は陶器の便器で、丹治製陶所のマークが刻まれている。5・6はガラス瓶で、6は薬瓶か。

127号遺構（第60図、第8表）

第60図7は陶器の便器部品で、外面が青磁色、断面が赤色の西瓜便器と呼ばれる。8～10はガラス製品で、9は目薬瓶である。10は著しく摩耗していることから石蹴り遊び用か。

139号遺構（第60図、第8表）

第60図11は5面を使用している荒砥石である。

252p（第61図、第8表）

第61図1は陶器の播鉢で、成形後手びねりで注口部を作り出している。2は緑泥片岩製の板碑片で、側縁を著しく欠損しているほか、碑面や側縁の一部に研磨痕がみられる。刻まれている内容は判然としないが、天蓋や主尊種子、蓮座の一部か。

D-1区一括（第61図、第8表）

第60図3・4は磁器瓶で、統制陶器である。5は土器のベゴマ、6は瓦を転用した持砥、7は電気部品である。

D-4区一括（第61図、第8表）

第61図8・9は文様の近似した磁器で、8は中碗、9は小皿である。10・11はガラス瓶で、10は香水瓶、11は醤油瓶である。

D-5区一括（第61図、第8表）

第61図12は磁器の仏飯器であろう。

E-1区一括（第62図、第8表）

第62図1・2は磁器で、1は中碗、2は糊瓶である。3・4はガラス瓶で、3は三ツ矢サイダー瓶、4は化粧品瓶である。5～9は銭貨で、5・7は半銭硬貨、6は二十銭銀貨、8は寛永通宝、9は文久永宝である。10は電気部品で、コンセントの差込口を備えた電球のソケット部である。11は木製の下駄で、裏面に斜位～横位の加工痕が残る。

E-2区一括（第63図、第8表）

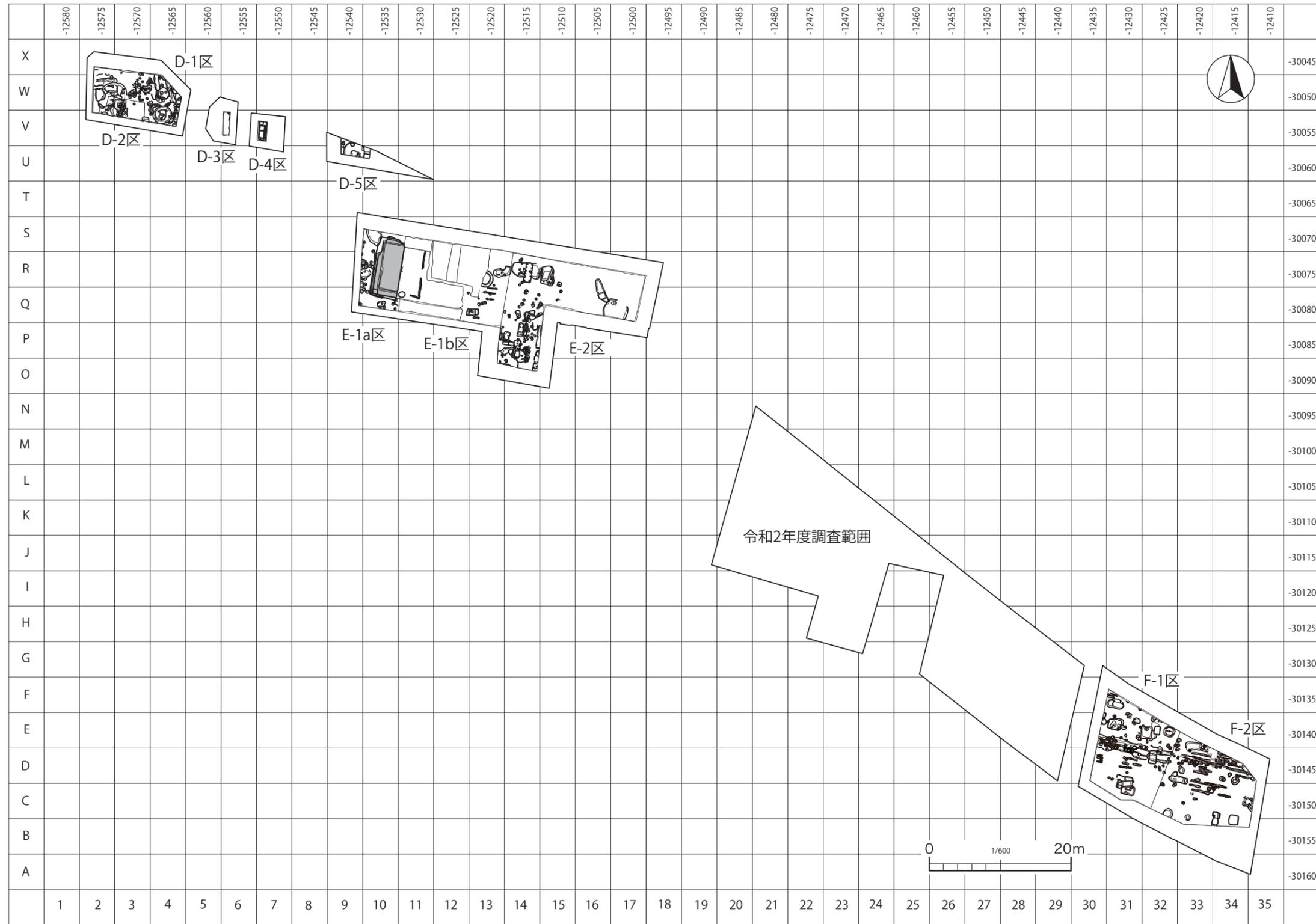
第63図1は陶器の貯金箱で、郵便ポストを模している。2は模倣ジェラル瓦である。3～5はガラス製品で、3はインク瓶、4はラムネ瓶、5は犬？を模した箸置きか。6は寛永通宝である。

F-1区一括（第63・64図、第8表）

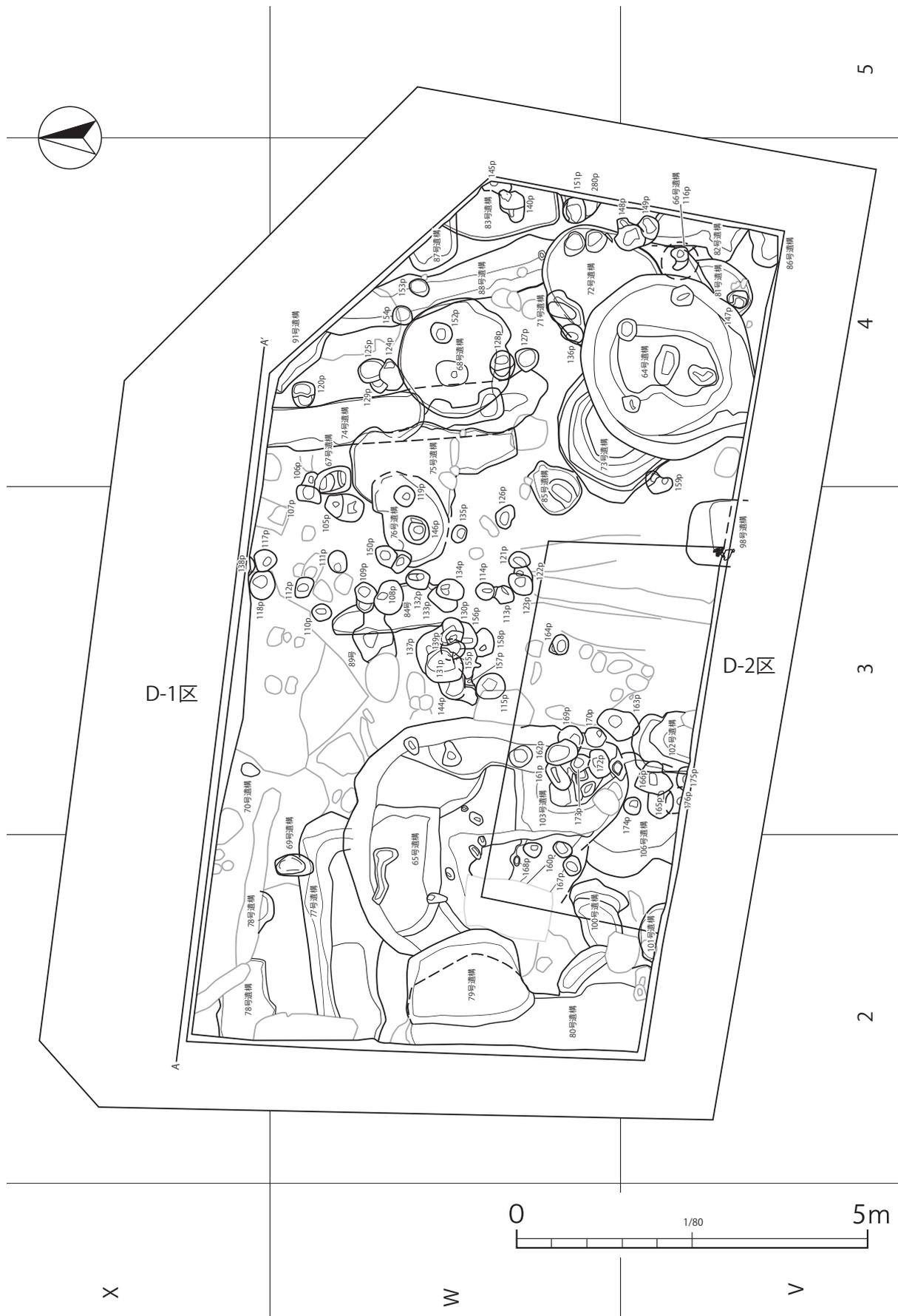
第63図7～9は磁器で、8は統制陶器の中碗である。10はガラス瓶で、11・12は鉄製品、第64図1は焼夷弾のノズブロック（弾頭部の重り）、2は電気部品である。

F-2区一括（第64図、第8表）

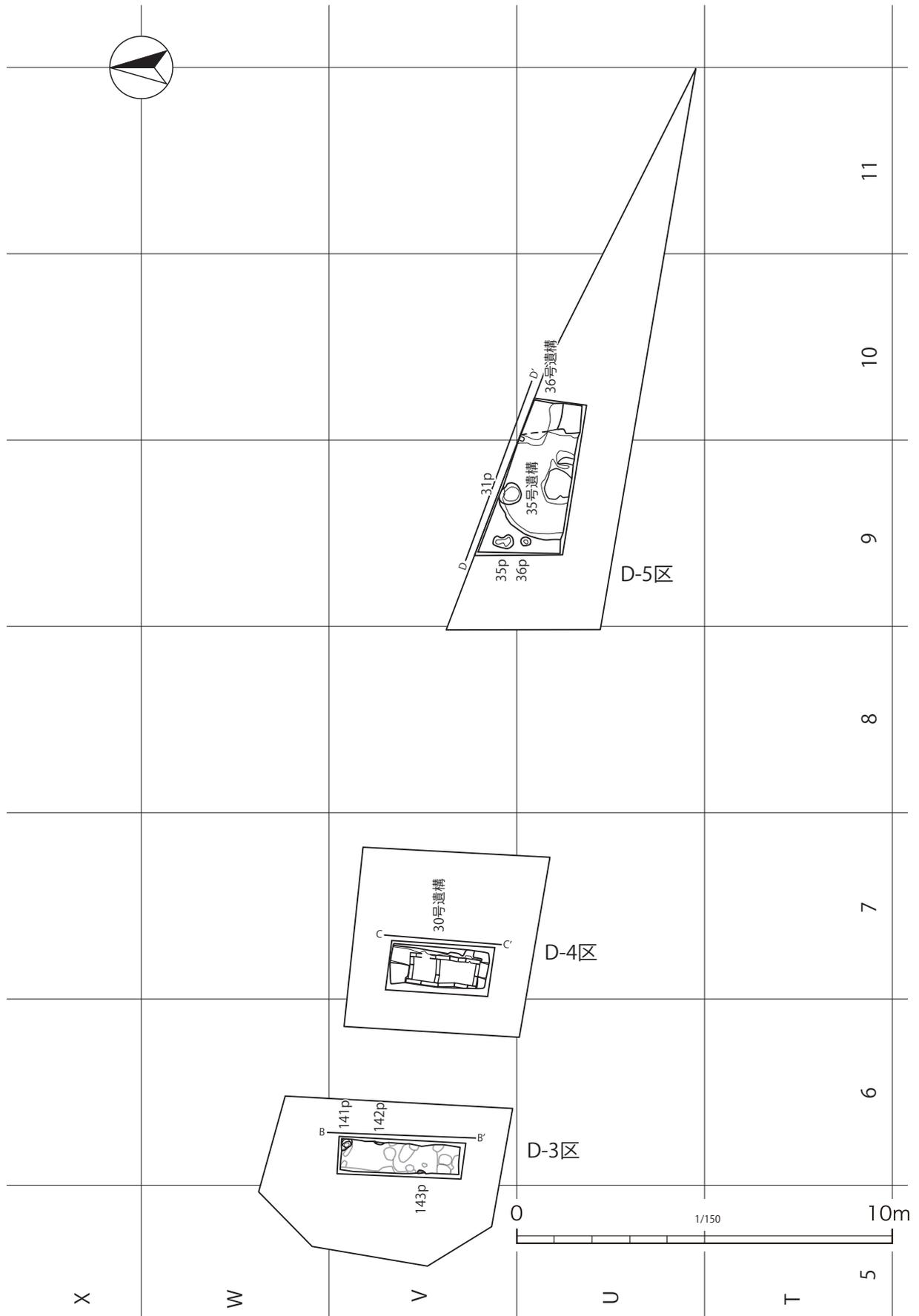
第64図3は磁器の小碗で、第52図6と同一の製品である可能性がある。4は薬瓶であろうか。5は二枚のガラス板の間に紙が挟まれたコースターで、本来は枠となる部品も存在していたと思われる。6は真鍮製のペーパーナイフである。日本タイプライター株式会社の建物新築を記念して配られたと考えられ、刃部にインチとセンチメートルの目盛りが刻まれている。7～9は電気部品で、9は被覆碍子か。
(橋本)



第9図 全体図 (1/600)



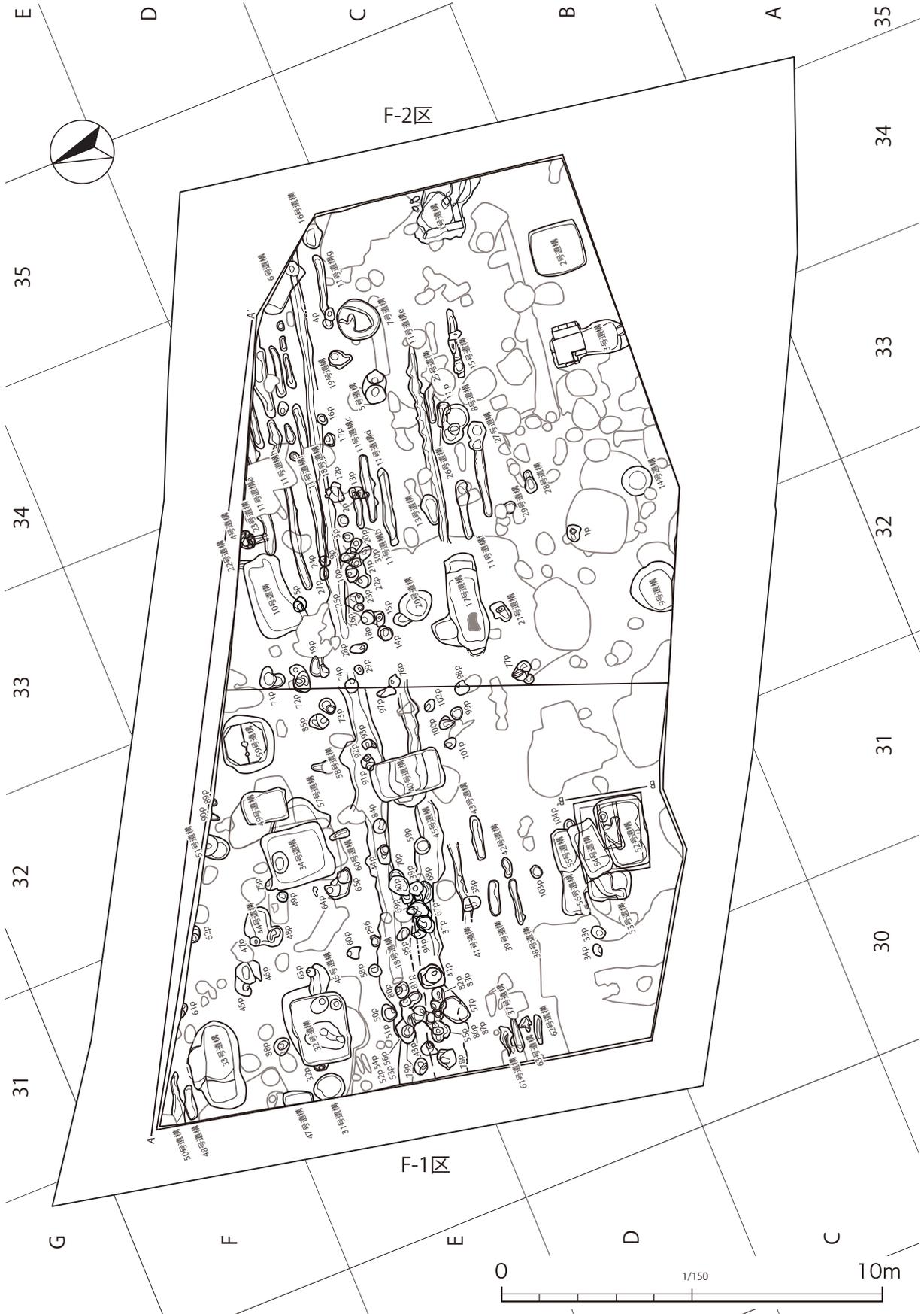
第10図 D-1・2区全体図 (1/80)



第11図 D-3～5区全体図 (1/150)

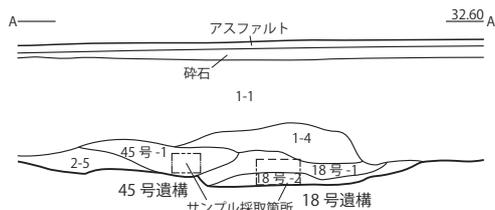
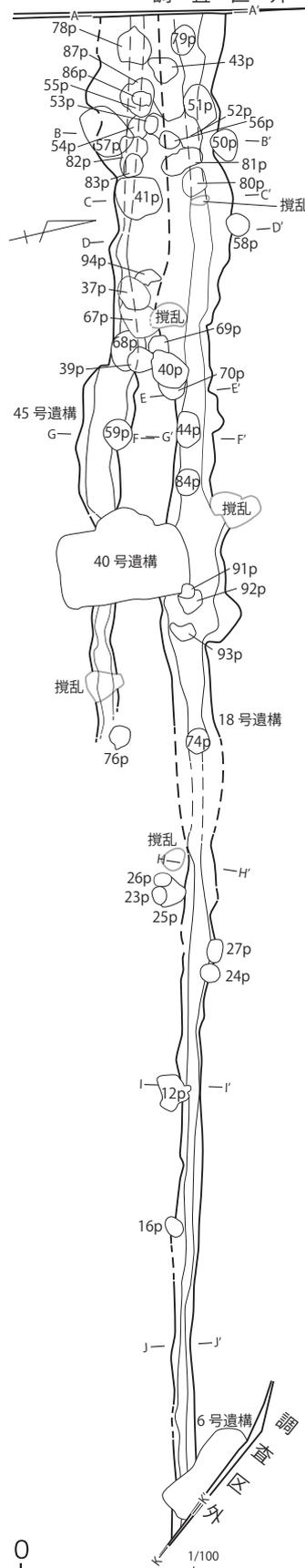


第12図 E区全体図 (1/200)



第13图 F区全体图 (1/150)

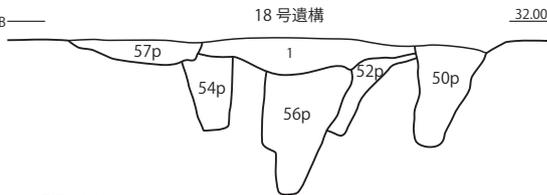
18・45号遺構 調査区外



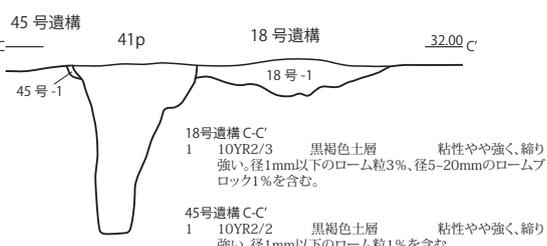
18号遺構 A-A'
 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径1-2mmのローム粒5%、径5-20mmのロームブロック1%を含む。
 2 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い、黒褐色土20%、径1-4mmのローム粒10%、径5mmのロームブロック5%を含む。掘り過ぎか。

45号遺構 A-A'
 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径1mm以下のローム粒3%を含む。

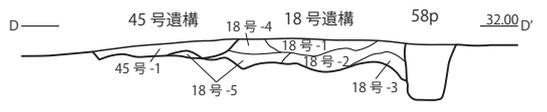
F-1西壁 A-A'
 1-1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性弱く、締り極めて強い、径1-3mmのローム粒5%、径30-100mmの礫5%、径30-50mmのロームブロック3%、径1-2mmの白色粒子3%、径2-3mmの炭化物1%、径100-110mmの土管片1%、径10-20mmのレンガ片1%を含む。
 1-4 10YR2/2 黒褐色土層 粘性弱く、締り極めて強い、径1-2mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック1%、径1mmの焼土粒1%を含む。
 2-5 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径1-2mmのローム粒10%、径10-30mmのロームブロック5%を含む。2層か攪乱覆土か。



18号遺構 B-B'
 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径1-3mmのローム粒3%を含む。



18号遺構 C-C'
 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1mm以下のローム粒3%、径5-20mmのロームブロック1%を含む。
 45号遺構 C-C'
 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1mm以下のローム粒1%を含む。



18号遺構 D-D'
 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径1-3mmのローム粒3%を含む。
 2 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径1mm以下のローム粒10%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
 3 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い、黒褐色土10%、径1-2mmのローム粒10%を含む。
 4 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1-2mmのローム粒10%を含む。
 5 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径2-3mmのローム粒5%、黒褐色土5%を含む。
 6 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1mm以下のローム粒5%を含む。
 45号遺構 D-D'
 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1mm以下のローム粒1%を含む。

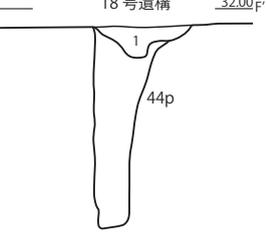


18号遺構 J-J'
 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径2-5mのローム粒5%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。

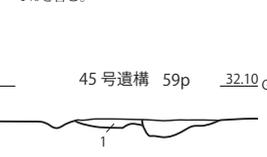
F-2北壁 K-K'
 1-6 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや弱く、締り極めて強い、径5-10mmのロームブロック20%、径2-3mmのローム粒10%、径3-20mmの礫10%、径2-3mmの炭化物5%、径1-2mmのレンガ片1%を含む。
 1-7 10YR3/4 暗褐色土層 粘性弱く、締り極めて強い、径1-2mmのローム粒20%、径1-2mmの炭化物5%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。



18号遺構 E-E'
 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1mm以下のローム粒1%を含む。



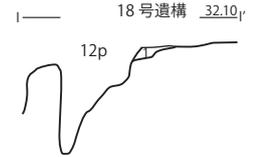
18号遺構 F-F'
 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1mm以下のローム粒1%を含む。



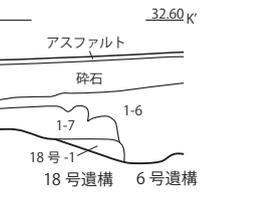
45号遺構 G-G'
 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1mm以下のローム粒1%を含む。



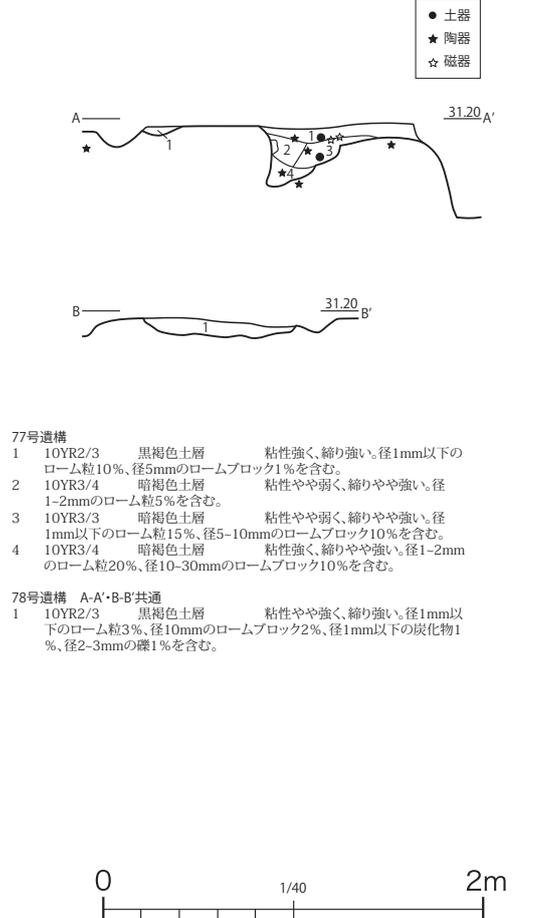
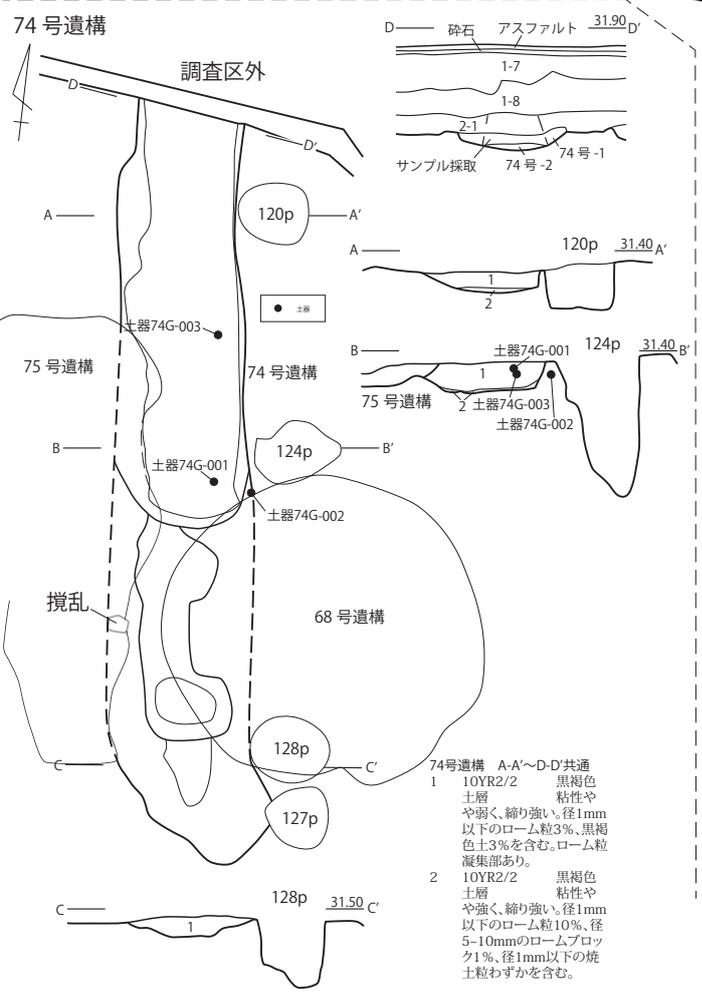
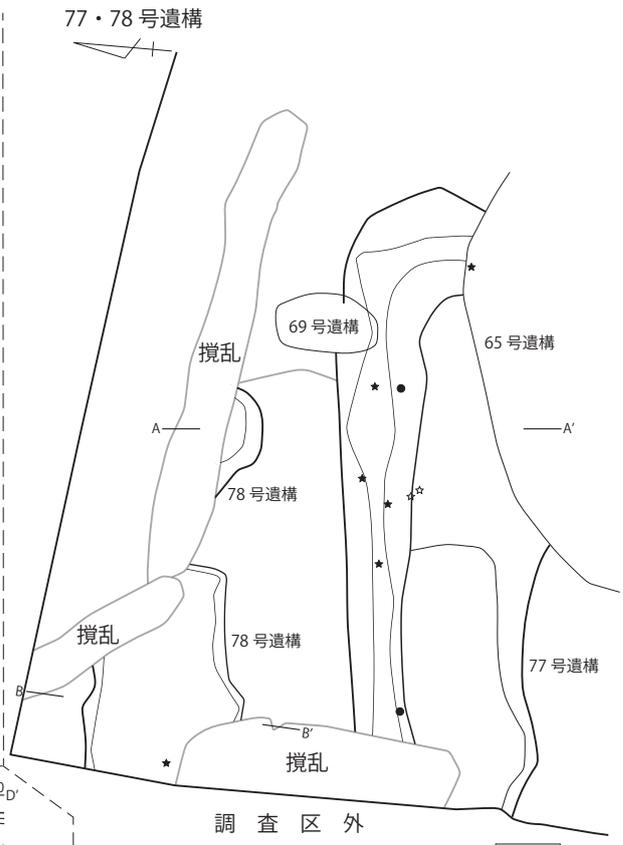
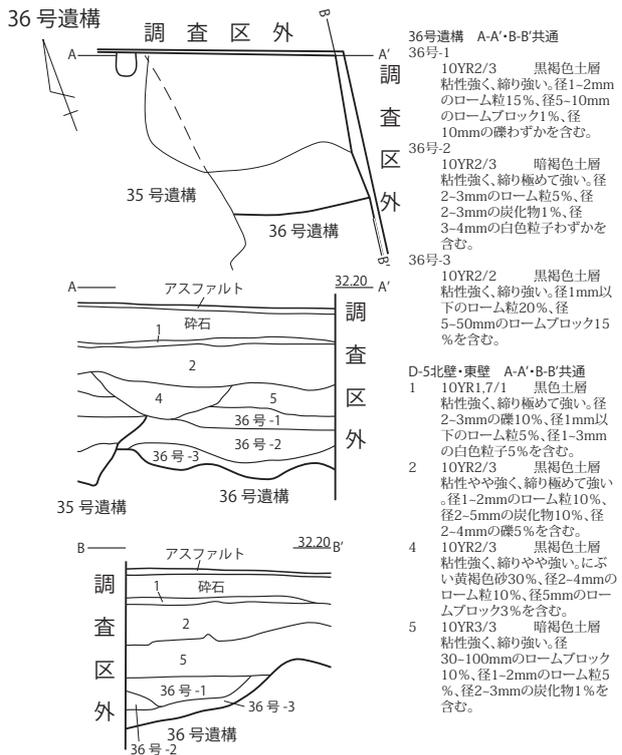
18号遺構 H-H'
 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径2-5mのローム粒5%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。



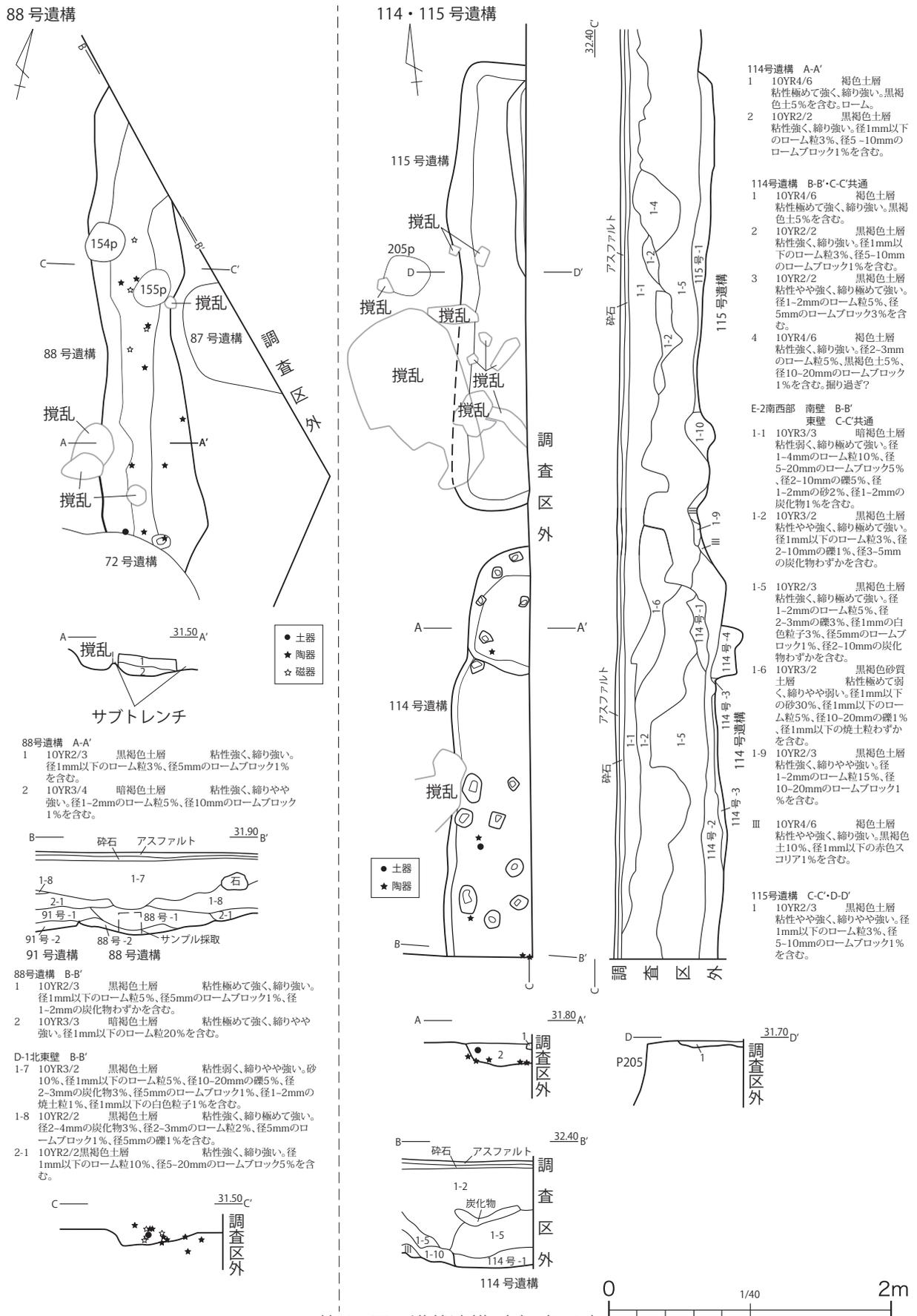
18号遺構 I-I'
 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径2-5mのローム粒5%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。



第14図 溝状遺構 (1) (1/40・1/100)

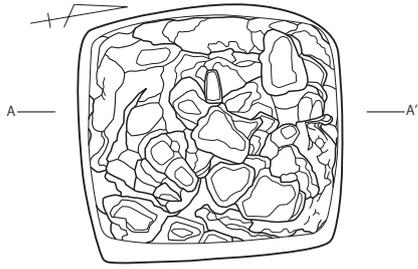


第15図 溝状遺構 (2) (1/40)

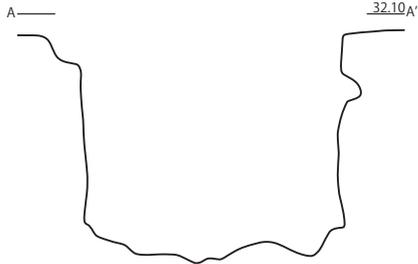


第16図 溝状遺構 (3) (1/40)

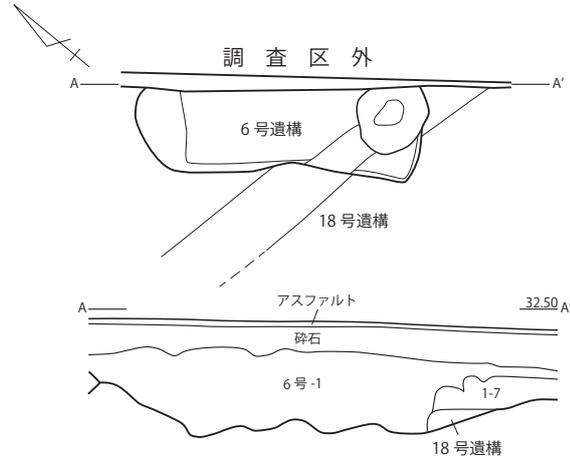
2号遺構



2号遺構



6号遺構



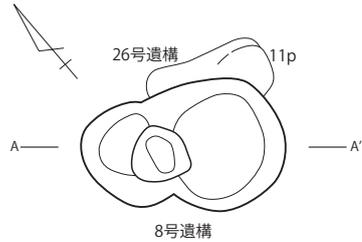
6号遺構

1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや弱く、締り極めて強い、径5-10mmのロームブロック20%、径2-3mmのローム粒10%、径3-20mmの礫10%、径2-3mmの炭化物5%、径1-2mmのレンガ片1%を含む。

F-2北壁

1-7 10YR3/4 暗褐色土層 粘性弱く、締り極めて強い、径1-2mmのローム粒20%、径1-2mmの炭化物5%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。

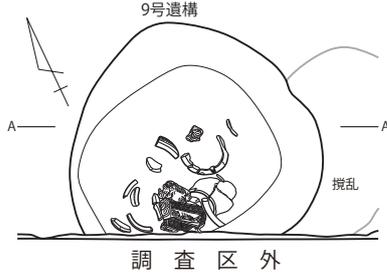
8号遺構



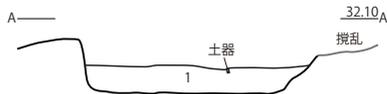
8号遺構



9号遺構



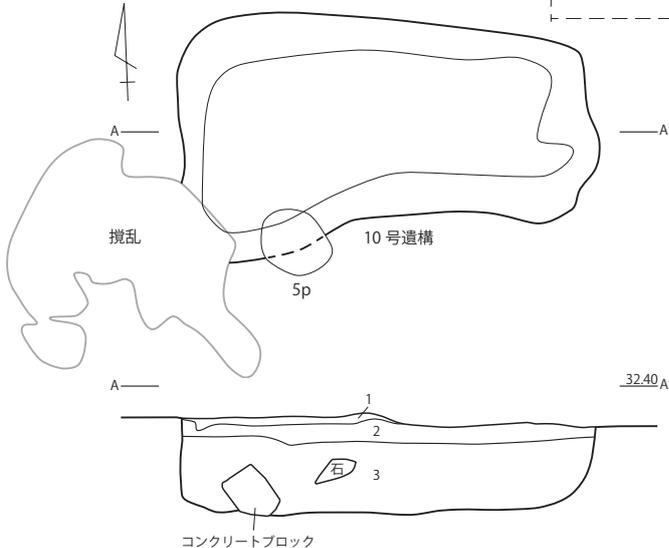
調査区外



9号遺構

1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性弱く、締りやや弱い、径1-5mmの白色粒子15%、径1-4mmのローム粒10%、砂10%、径5-20mmのロームブロック5%、径1-2mmの礫3%、径1mm以下の炭化物1%を含む。

10号遺構

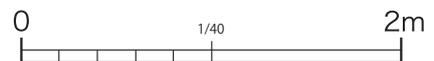


10号遺構

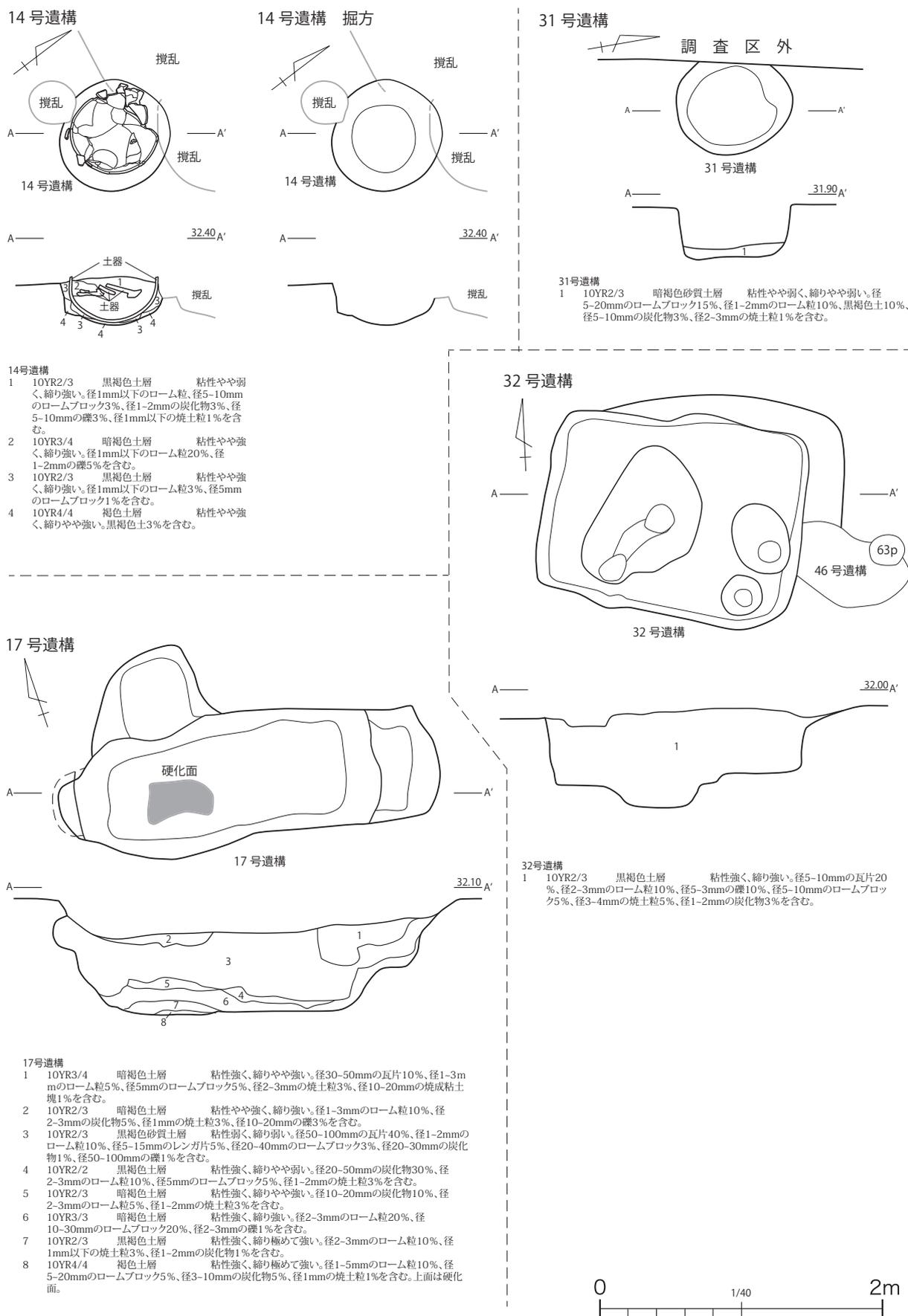
1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径10-20mmのロームブロック20%、径2-5mmのローム粒10%、径2-3mmの炭化物3%、径1-2mmの焼土粒3%を含む。

2 10YR2/1 黒色砂層 粘性弱く、締り弱い、径1mm以下の焼土粒30%、径30-100mmの瓦片10%、径2-10mmの礫5%、径5-10mmのガラス片1%を含む。

3 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径1-2mmのローム粒20%、径5-10mmのロームブロック10%、径1mm以下の焼土粒10%、径5-10mmの礫10%、径30-120mmの瓦片10%、径5-10mmのガラス片3%を含む。



第17図 土坑 (1) (1/40)

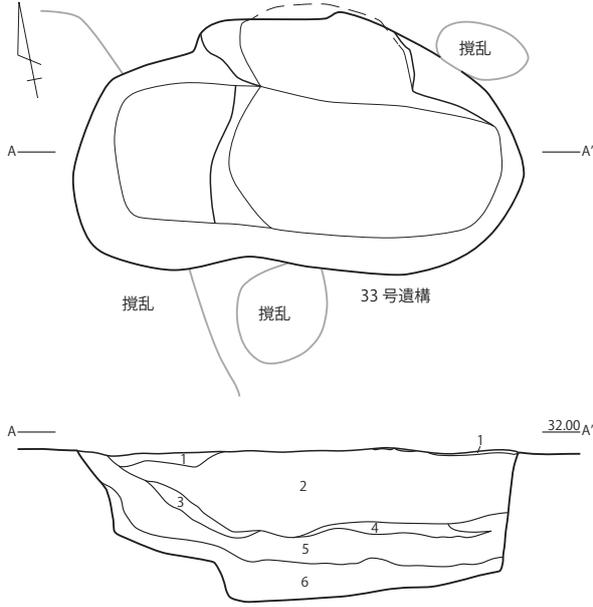


- 14号遺構
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径1mm以下のローム粒、径5-10mmのロームブロック3%、径1-2mmの炭化物3%、径5-10mmの礫3%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。
 - 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1mm以下のローム粒20%、径1-2mmの礫5%を含む。
 - 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1mm以下のローム粒3%、径5mmのロームブロック1%を含む。
 - 10YR4/4 褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、黒褐色土3%を含む。

- 17号遺構
- 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い、径30-50mmの瓦片10%、径1-3mmのローム粒5%、径5mmのロームブロック5%、径2-3mmの焼土粒3%、径10-20mmの焼成粘土塊1%を含む。
 - 10YR2/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1-3mmのローム粒10%、径2-3mmの炭化物5%、径1mmの焼土粒3%、径10-20mmの礫3%を含む。
 - 10YR2/3 黒褐色砂質土層 粘性弱く、締り弱い、径50-100mmの瓦片40%、径1-2mmのローム粒10%、径5-15mmのレンガ片5%、径20-40mmのロームブロック3%、径20-30mmの炭化物1%、径50-100mmの礫1%を含む。
 - 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締りやや弱い、径20-50mmの炭化物30%、径2-3mmのローム粒10%、径5mmのロームブロック5%、径1-2mmの焼土粒3%を含む。
 - 10YR2/3 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い、径10-20mmの炭化物10%、径2-3mmのローム粒5%、径1-2mmの焼土粒3%を含む。
 - 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締り強い、径2-3mmのローム粒20%、径10-30mmのロームブロック20%、径2-3mmの礫1%を含む。
 - 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り極めて強い、径2-3mmのローム粒10%、径1mm以下の焼土粒3%、径1-2mmの炭化物1%を含む。
 - 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締り極めて強い、径1-5mmのローム粒10%、径5-20mmのロームブロック5%、径3-10mmの炭化物5%、径1mmの焼土粒1%を含む。上面は硬化面。

第18図 土坑(2) (1/40)

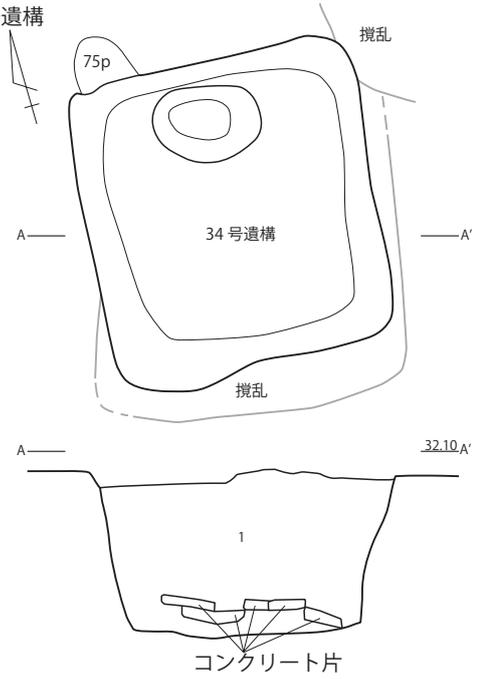
33号遺構



33号遺構

- 1 10YR2/3 黒褐色砂質土層 粘性やや弱く、締り強い。径1-2mmのローム粒10%、径30mmの瓦片5%、径10mmのロームブロック3%、径5-10mmの炭化物1%、径10mmの礫1%を含む。
- 2 7.5YR3/3 暗褐色砂層 粘性極めて弱く、締り極めて弱い。径50-30mmの瓦片40%、径1mm以下の焼土粒5%、径10-20mmの礫5%、径1-2mmの炭化物わずかを含む。
- 3 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや弱い。径1mmのローム粒1%を含む。
- 4 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1-2mmのローム粒15%、黒褐色土5%を含む。
- 5 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒10%、径20-30mmのロームブロック5%、径30-40mmの焼土粒3%を含む。
- 6 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り極めて強い。黒褐色土30%、径10-50mmのロームブロック25%、径1-3mmのローム粒10%を含む。ローム土と暗褐色土が互層状に堆積している。

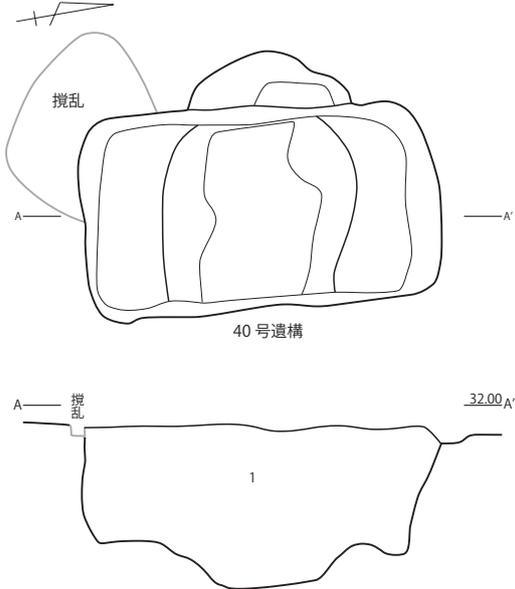
34号遺構



34号遺構

- 1 7.5YR3/1 黒褐色砂層 粘性極めて弱く、締りやや強い。径100-300mmの瓦片20%、径1-2mmの焼土粒10%、径3-4mmの炭化物3%、黒褐色土3%、径3-5mmの礫1%を含む。

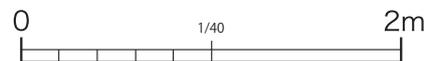
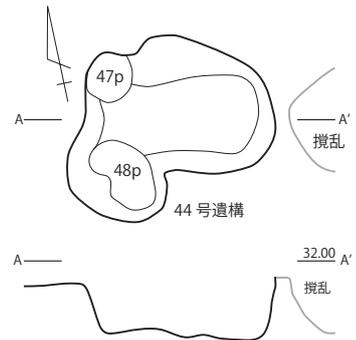
40号遺構



40号遺構

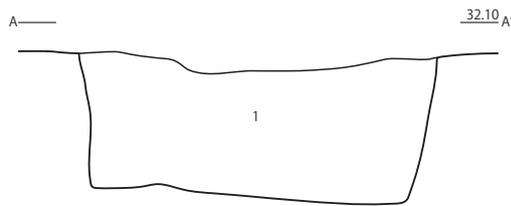
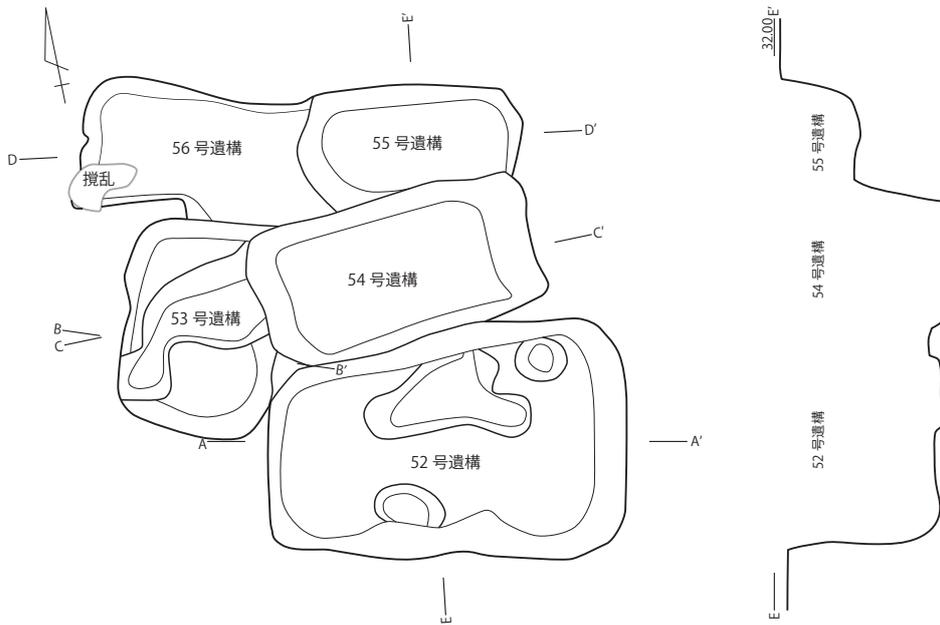
- 1 10YR2/3 黒褐色砂質土層 粘性弱く、締りやや弱い。径50-200mmの瓦片30%、径150-300mmのコンクリート片20%、径10-50mmの礫10%、径2-3mmのローム粒5%、径1-2mmの炭化物3%、径10-30mmのレンガ片1%を含む。

44号遺構



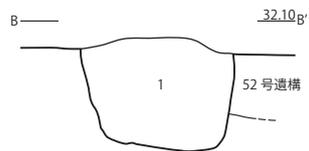
第19図 土坑 (3) (1/40)

52・53・54・55・56号遺構



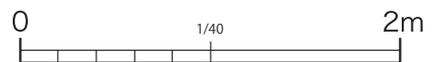
52号遺構 A-A'

1 10YR2/2 黒褐色砂質土層 粘性やや弱く、締り弱い、径50-200mmの瓦片30%、径1-3mmの焼土粒5%、径1-2mmのローム粒3%、径2-3mmの白色粒子3%、径3-5mmの炭化物1%を含む。



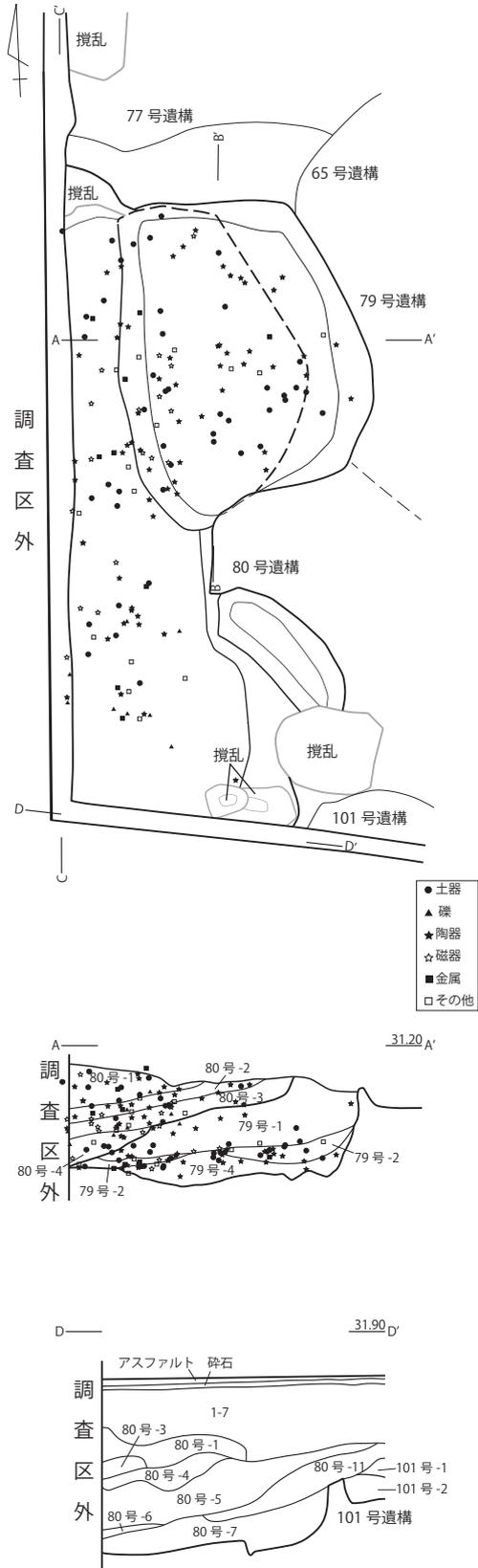
53号遺構 B-B'

1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い、径30-100mmの瓦片25%、径1-5mmの焼土粒10%、径2-3mmの炭化物5%、径10mmのガラス片1%、径10mmのタイル片1%を含む。



第20図 土坑(4) (1/40)

79・80号遺構



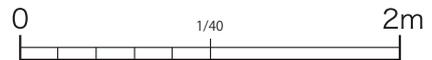
- 79号遺構 A-A'・B-B'共通
- 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒3%、径2-3mmの炭化物1%を含む。
 - 10YR3/2 黒褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。径1mm以下のローム粒1%を含む。
 - 10YR3/2 黒褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒5%を含む。
 - 10YR3/4 暗褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒10%、径5-20mmのロームブロック10%を含む。
 - 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締りやや弱い。径1-2mmのローム粒40%、径5-10mmのロームブロック1%を含む。

- 80号遺構 全共通
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒10%、径10-20mmのロームブロック5%、径5-10mmの礫5%、径1mmの炭化物2%を含む。
 - 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒5%、径5mmのロームブロック3%、径1-2mmの炭化物3%、径10mmの礫1%、径1mmの焼土粒わずかを含む。
 - 10YR3/3 暗褐色土層 粘性極めて強く、締り強い。径1-4mmのローム粒15%、径10-30mmのロームブロック10%を含む。
 - 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて強く、締り強い。径2-3mmのローム粒5%、径10-30mmのロームブロック3%を含む。
 - 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径2-4mmのローム粒20%、径10-30mmのロームブロック15%、径3-4mmの炭化物わずかを含む。
 - 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。径2-4mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック5%、径2-4mmの焼土粒1%、径1-3mmの炭化物1%を含む。
 - 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締り極めて強い。径1mm以下のローム粒20%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
 - 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて強く、締り強い。径1-2mmのローム粒3%を含む。
 - 10YR3/3 暗褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。径2-3mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。
 - 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒3%、径1mm以下の炭化物1%を含む。
 - 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1mm以下のローム粒30%、径5-20mmのロームブロック25%を含む。

- 77号遺構
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒5%、径10mmのロームブロック1%を含む。
 - 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒20%、径5-30mmのロームブロック5%を含む。

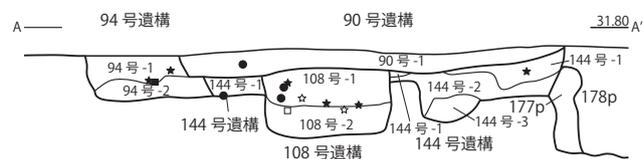
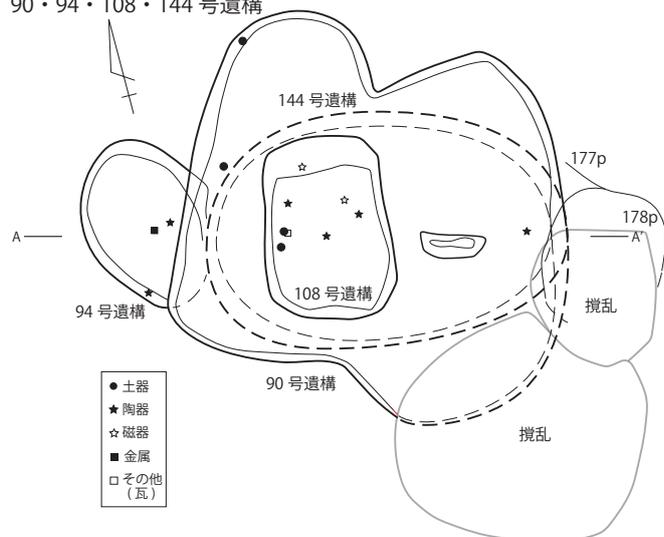
- D-1区西壁
- 10YR3/2 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや弱い。径10-50mmの礫10%、径50-100mmのコンクリート片5%、径1-4mmのローム粒3%、径1-10mmの炭化物1%、径1-2mmの白色粒子1%、径30-50mmのガラス片1%を含む。北壁1-1層と同一。
 - 10YR3/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1-3mmのローム粒10%、径5-20mmの礫5%、径1mm以下の炭化物1%、径1mm以下の白色粒子1%を含む。
 - 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒5%、径10-40mmのロームブロック3%、径1-2mmの炭化物3%、径1mm以下の焼土粒わずかを含む。

- D-1南壁 D-D'
- 10YR3/2 黒褐色土層 粘性弱く、締りやや弱い。砂10%、径1mm以下のローム粒5%、径10-20mmの礫5%、径2-3mmの炭化物3%、径5mmのロームブロック1%、径1-2mmの焼土粒1%、径1mm以下の白色粒子1%を含む。



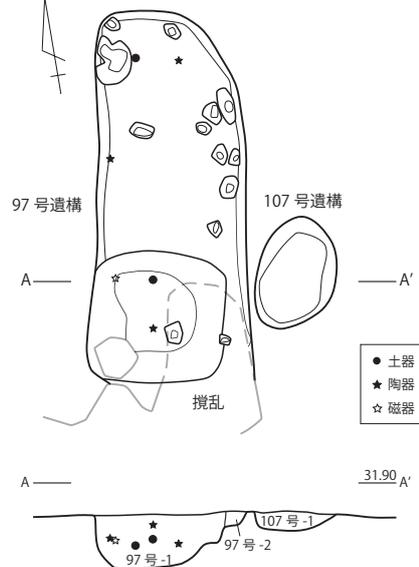
第21図 土坑 (5) (1/40)

90・94・108・144号遺構



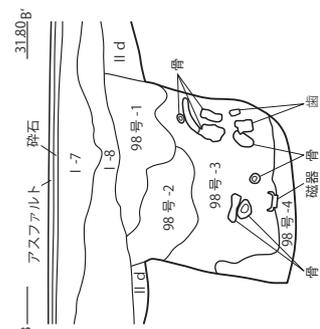
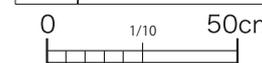
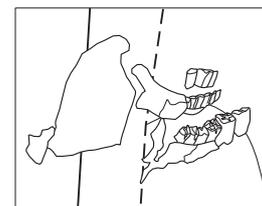
- 90号遺構**
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径5-50mmの礫15%、径50-100mmの土管片10%、径1mm以下のローム粒5%、径1mm以下の白色粒子3%、径1mm以下の焼土粒1%、径2-3mmの炭化物1%を含む。
- 94号遺構**
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて強く、締り強い。径1mm以下のローム粒5%を含む。
 - 2 10YR3/3 暗褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径2-3mmのローム粒15%、径5-20mmのロームブロック10%を含む。
- 108号遺構**
- 1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒5%、径10-15mmのロームブロック3%を含む。
 - 2 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒20%、黒褐色土10%、径5-30mmのロームブロック5%を含む。
- 144号遺構**
- 1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒3%、径2-5mmの炭化物1%を含む。
 - 2 10YR3/4 暗褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒15%、径10-15mmのロームブロック10%を含む。
 - 3 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。ピットか。

97・107号遺構



- 97号遺構**
- 1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%、径2-4mmの炭化物1%を含む。
 - 2 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土10%、径2-3mmのローム粒3%、径1-2mmの炭化物3%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。
- 107号遺構**
- 1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1mm以下のローム粒3%、径2-3mmの炭化物2%、径1mmの焼土粒1%を含む。

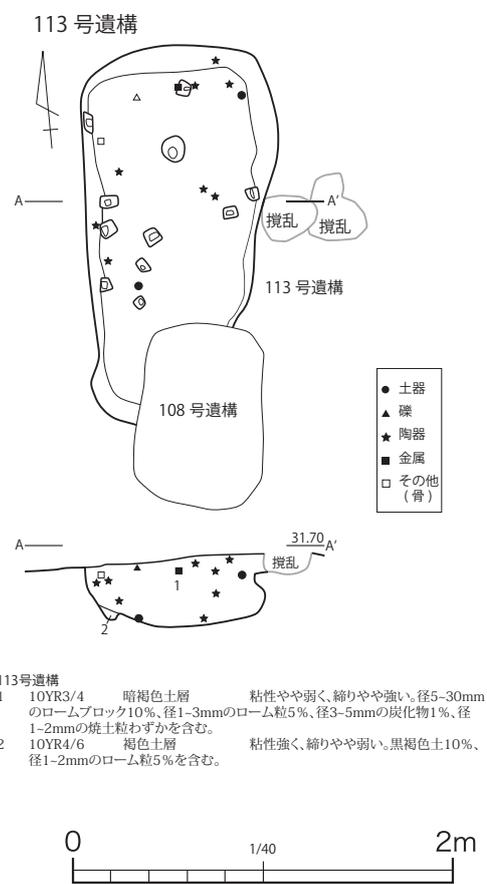
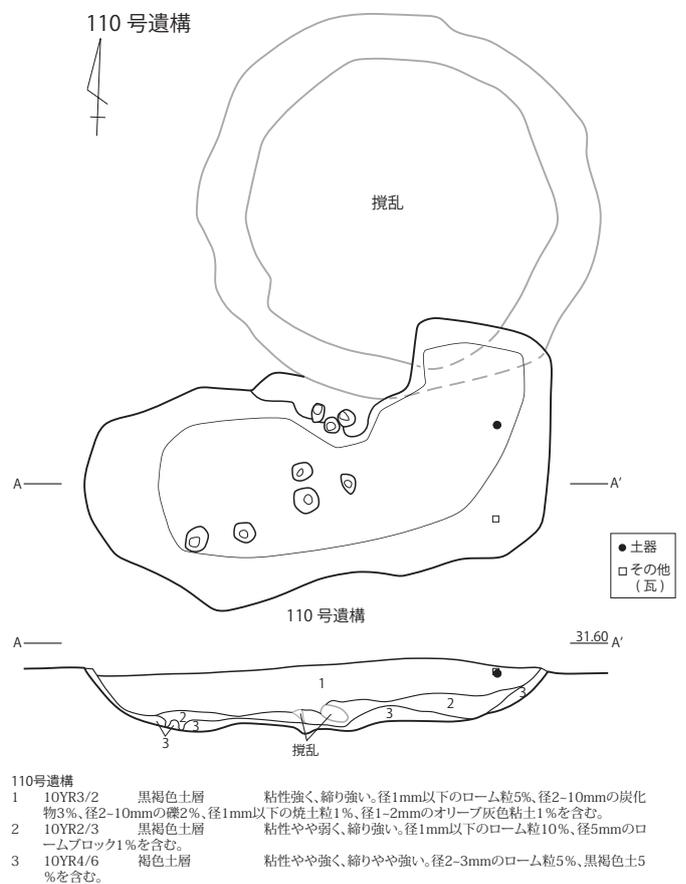
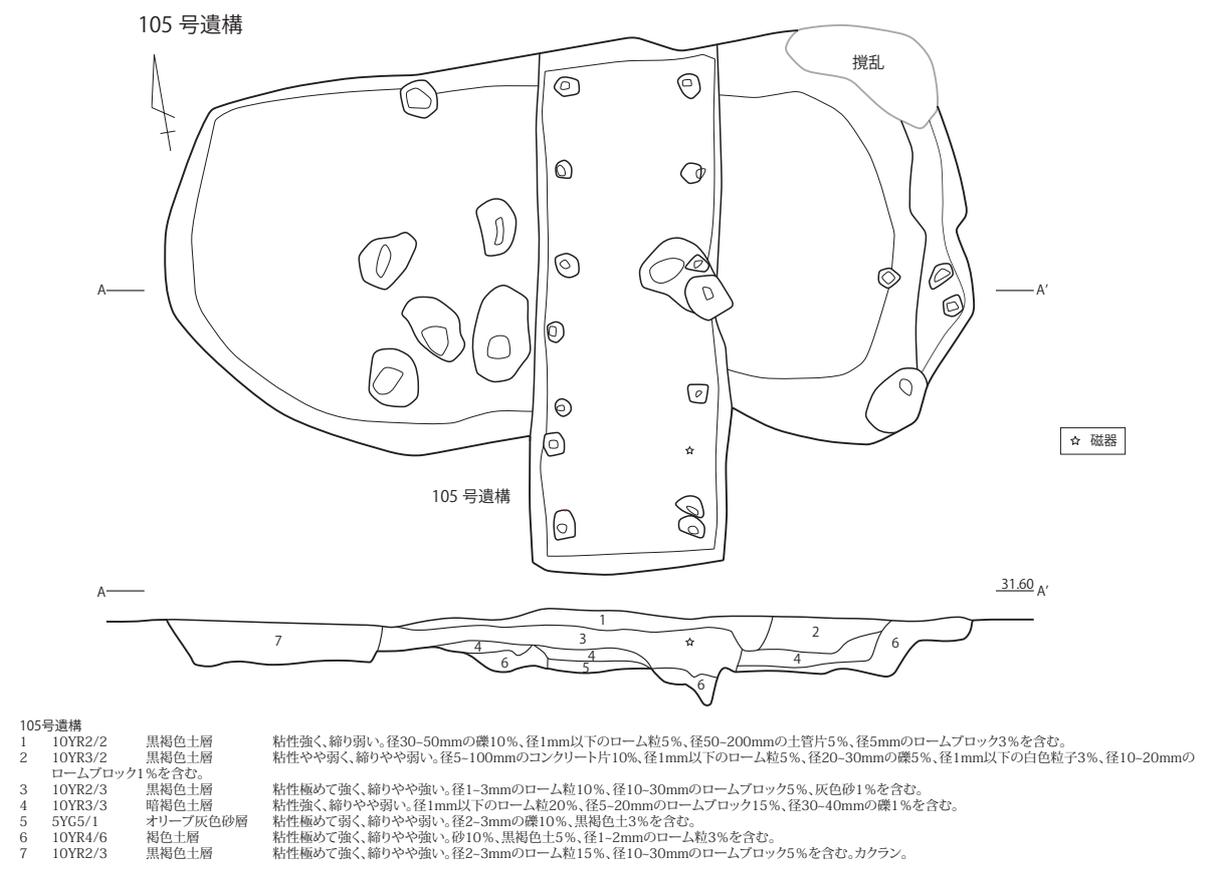
98号遺構



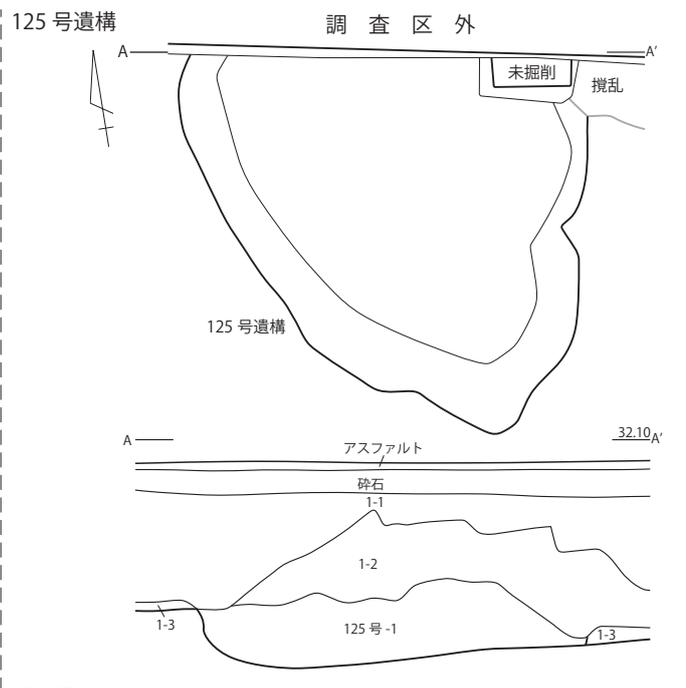
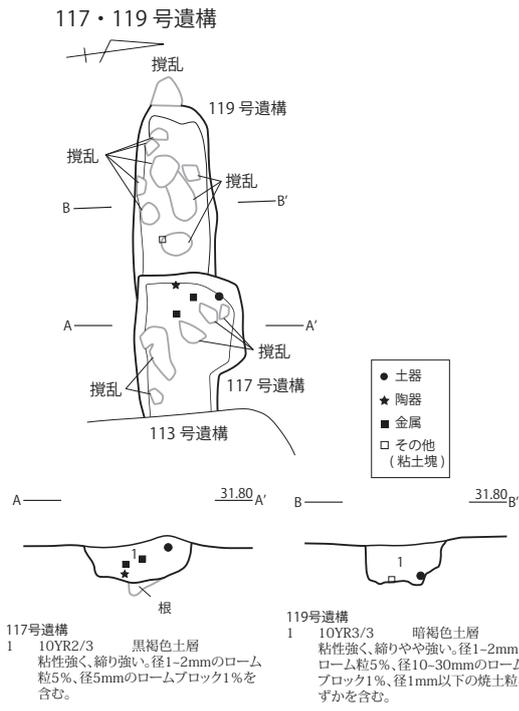
- 98号遺構 A-A'・B-B'共通**
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1-3mmのローム粒20%、径5-30mmのロームブロック15%を含む。
 - 2 10YR3/4 褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径2-3mmのローム粒20%、径5-10mmのロームブロック15%を含む。
 - 3 10YR2/3 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径5mmのロームブロック10%、径1-2mmのローム粒5%を含む。
 - 4 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径2-3mmのローム粒10%、黒褐色土10%、径5-30mmのロームブロック5%を含む。
- D-2南壁 B-B'**
- 1-7 10YR3/2 黒褐色土層 粘性弱く、締りやや強い。砂10%、径1mm以下のローム粒5%、径10-20mmの礫5%、径2-3mmの炭化物3%、径5mmのロームブロック1%、径1-2mmの焼土粒1%、径1mm以下の白色粒子1%を含む。
 - 1-8 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り極めて強い。径2-4mmの炭化物3%、径2-3mmのローム粒2%、径5-5mmのロームブロック1%、径5mmの礫1%を含む。
 - II d 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土5%、径1-2mmのローム粒3%を含む。

第22図 土坑(6) (1/10・1/40)





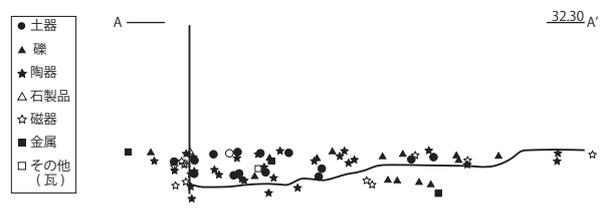
第24図 土坑(8) (1/40)



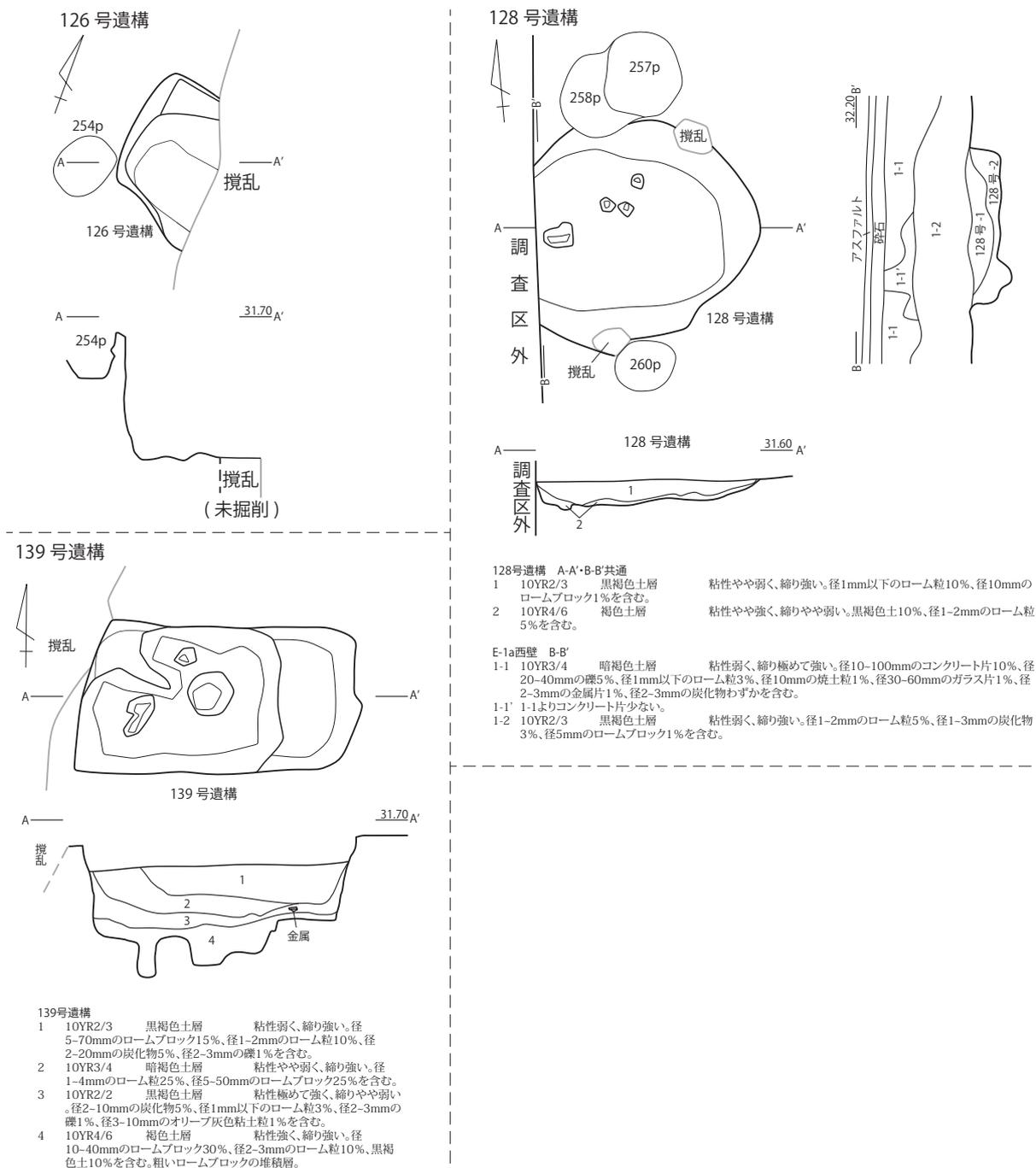
125号遺構
1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締め強い。径1-3mmのローム粒5%、径3-10mmの炭化物5%、径3-20mmのオリブ灰色粘土塊5%、径5-20mmのロームブロック3%、径3-25mmの礫3%、径1-5mmの焼土粒1%を含む。

E-1区北壁
1-1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性弱く、締め極めて強い。径10-100mmのコンクリート片10%、径20-40mmの礫5%、径1mm以下のローム粒3%、径10mmの焼土粒1%、径30-60mmのガラス片1%、径2-3mmの金属片1%、径2-3mmの炭化物わずかを含む。
1-2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性弱く、締め極めて強い。径2-4mmのローム粒10%、径5-30mmのロームブロック5%、径2-3mmの炭化物3%、径50-200mmのコンクリート片3%、径3-20mmの礫2%を含む。
1-3 10YR3/4 暗褐色土層 粘性弱く、締め強い。径1-3mmのローム粒25%、径5-40mmのロームブロック20%、径3-20mmの礫2%を含む。

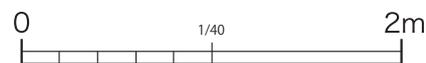
E-2区南西部 西壁
1-1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性弱く、締め極めて強い。径1-4mmのローム粒10%、径5-20mmのロームブロック5%、径2-10mmの礫5%、径1-2mmの砂2%、径1-2mmの炭化物1%を含む。
1-2 10YR3/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締め極めて強い。径1mm以下のローム粒3%、径2-10mmの礫1%、径3-5mmの炭化物わずかを含む。
1-4 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締め強い。径1mm以下のローム粒5%、径2-10mmの炭化物3%、径5-10mmのロームブロック1%、径1mm以下の焼土粒わずかを含む。
1-5 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締め極めて強い。径1-2mmのローム粒5%、径2-3mmの礫3%、径1mmの白色粒子3%、径5mmのロームブロック1%、径2-10mmの炭化物わずかを含む。
2-1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締め強い。径1mm以下のローム粒5%、径5-20mmのロームブロック3%、径1-2mmの炭化物1%を含む。121号の覆土か？
2-2 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締めやや強い。径1mm以下のローム粒15%、径5-40mmのロームブロック10%を含む。121号の覆土か？

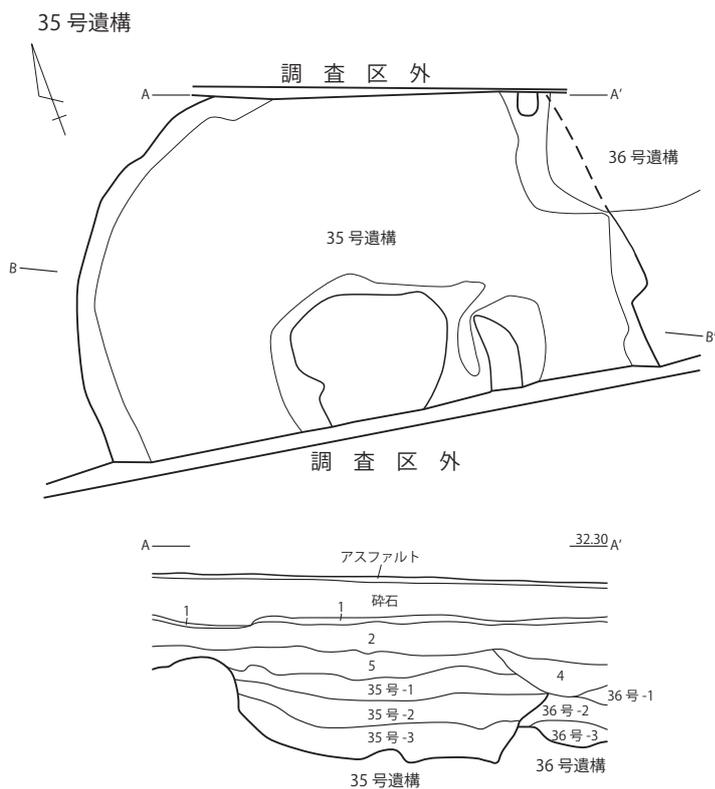


第25図 土坑(9) (1/40)



第26図 土坑(10) (1/40)



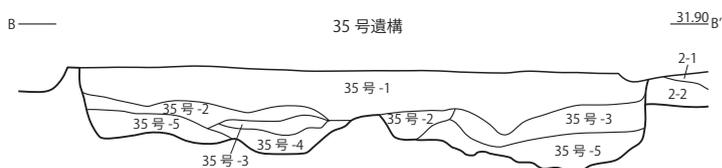


35号遺構 A-A'

- 1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。にぶい黄褐色土(II d層?)20%、径30-70mmのロームブロック15%、径1-2mmのローム粒10%、径10mmの焼土粒1%を含む。
- 2 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒10%、黒褐色土10%、径5-30mmのロームブロック5%を含む。
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色土層 粘性強く、締り極めて強い。径1mm以下のローム粒20%、黒褐色土20%、径30-50mmのロームブロック1%を含む。

D-5北壁 A-A'

- 1 10YR1.7/1 黒色土層 粘性強く、締り極めて強い。径2-3mmの礫10%、径1mm以下のローム粒5%、径1-3mmの白色粒子5%を含む。
- 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り極めて強い。径1-2mmのローム粒10%、径2-5mmの炭化物10%、径2-4mmの礫5%を含む。
- 4 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い。にぶい黄褐色砂30%、径2-4mmのローム粒10%、径5mmのロームブロック3%を含む。
- 5 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径30-100mmのロームブロック10%、径1-2mmのローム粒5%、径2-3mmの炭化物1%を含む。



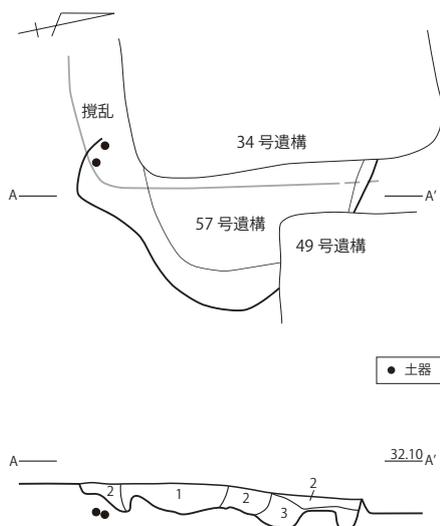
35号遺構 B-B'

- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒5%、径1-2mmの炭化物3%、径3-5mmの礫3%、10-30mmのロームブロック1%を含む。
- 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径2-3mmローム粒5%、径10mmロームブロック3%、径1-2mmの炭化物1%、径2-3mmの礫わずかなを含む。
- 3 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒20%、径20-40mmのロームブロック15%、黒褐色土5%、径30mmの礫1%を含む。
- 4 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土10%を含む。
- 5 10YR4/6 褐色土層 粘性強い、締りやや強い。径50-70mmのロームブロック30%、黒褐色土20%を含む。

D-5覆土 B-B'

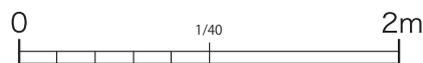
- 2-1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1-2mmのローム粒5%、径10-30mmのロームブロック3%を含む。
- 2-2 10YR3/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径10-30mmのロームブロック30%、径1-2mmのローム粒10%を含む。

57号遺構



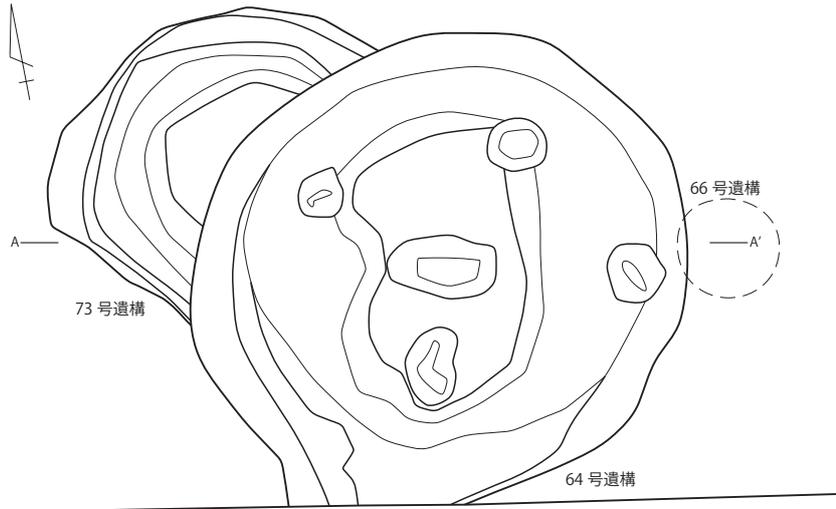
57号遺構

- 1 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径5mmのロームブロック3%、径1-3mmのローム粒1%を含む。
- 2 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1-2mmのローム粒3%を含む。
- 3 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mmのローム粒5%を含む。

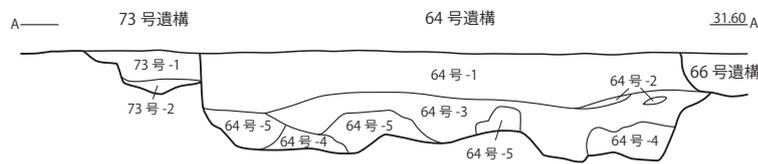


第27図 植栽痕(1) (1/40)

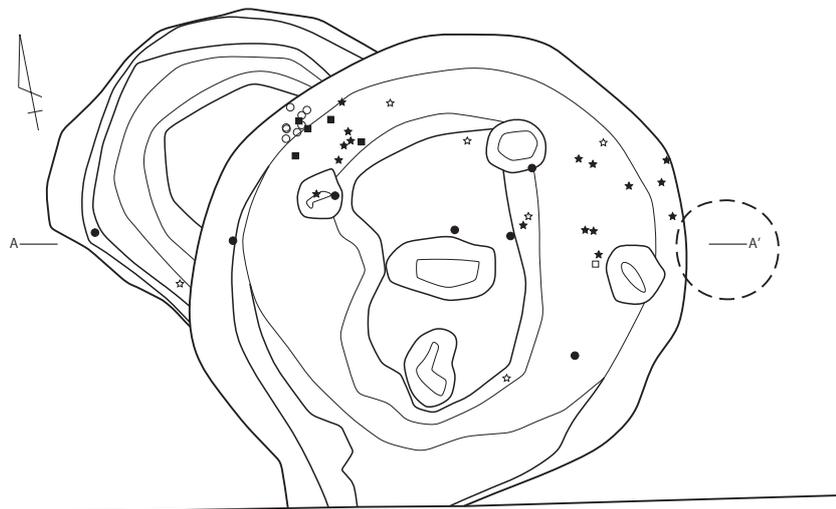
64・73号遺構



調査区外



64号遺構		
1	10YR2/3 黒褐色土層 含む。	粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒15%、径5-20mmのロームブロック10%、径2-3mmの炭化物1%を含む。
2	10YR3/3 暗褐色土層	粘性強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒1%を含む。
3	10YR3/3 暗褐色土層	粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック5%を含む。
4	10YR4/6 褐色土層	粘性強く、締り極めて強い。黒褐色土15%を含む。もろくなったハードローム？
5	10YR3/3 暗褐色土層	粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒20%、径5-30mmのロームブロック10%を含む。
73号遺構		
1	10YR2/3 黒褐色土層 含む。	粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒15%、径5-20mmのロームブロック10%、径2-3mmの炭化物1%を含む。
2	10YR3/3 暗褐色土層	粘性強く、締り強い。径10-20mmのロームブロック20%、径1-2mmのローム粒10%を含む。

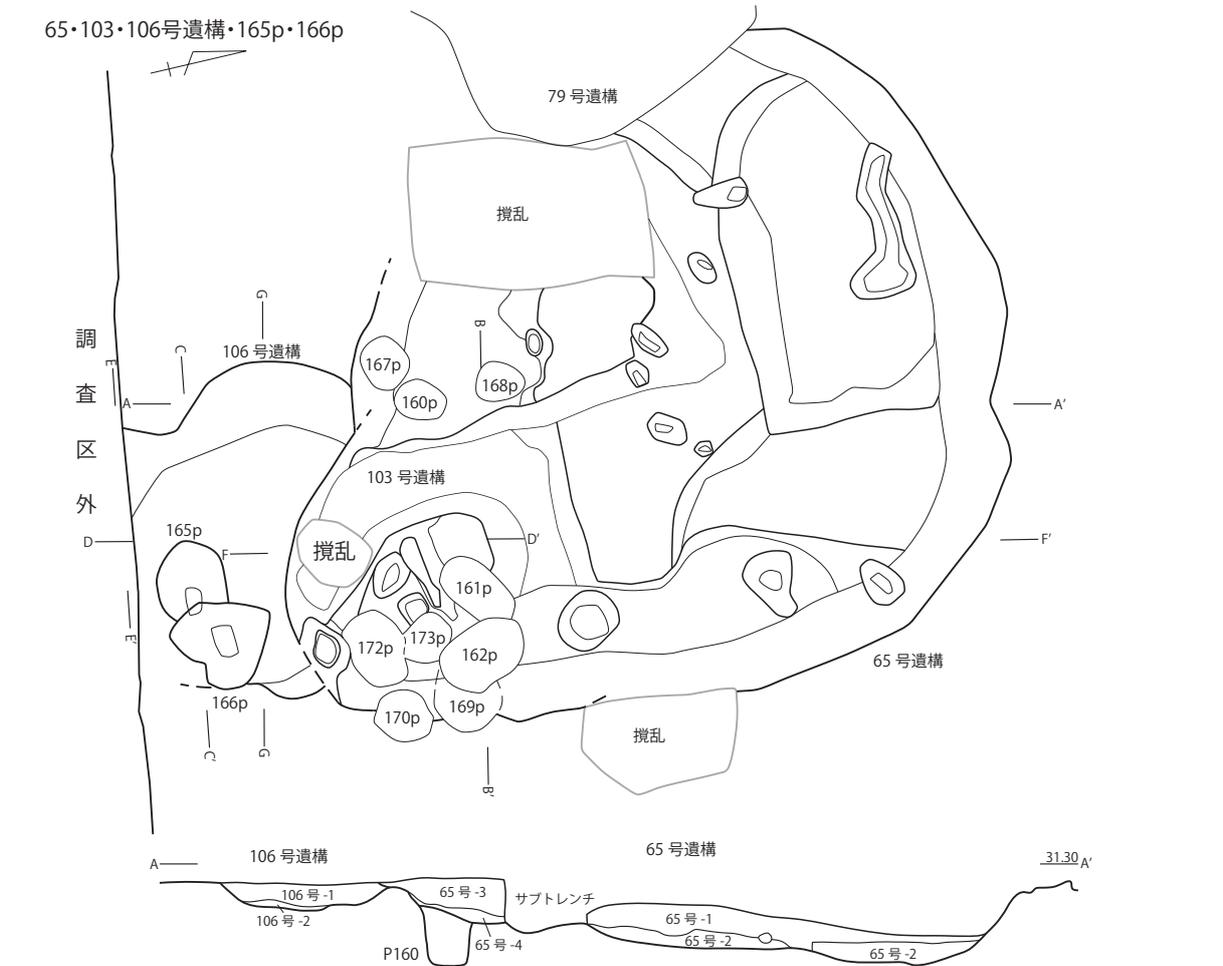


- 土器
- ▲ 礫
- ★ 陶器
- ガラス
- ☆ 磁器
- 金属
- その他



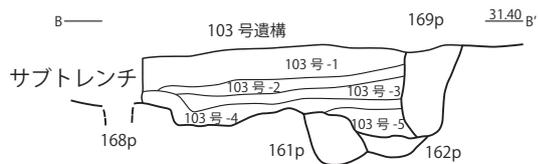
第28図 植栽痕(2) (1/40)

65・103・106号遺構・165p・166p

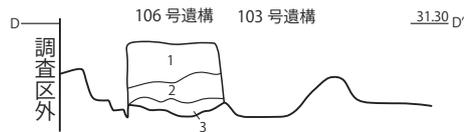


- 65号遺構 A-A'**
- | | | | |
|---|---------|-------|---|
| 1 | 10YR3/3 | 暗褐色土層 | 粘性強く、締め極めて強い。径1-2mmのローム粒5%、径10-20mmのロームブロック1%を含む。 |
| 2 | 10YR4/6 | 褐色土層 | 粘性強く、締め強い。径2-3mmのローム粒20%、黒褐色土15%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。 |
| 3 | 10YR3/4 | 暗褐色土層 | 粘性強く、締め強い。径2-3mmのローム粒3%、径5mmのロームブロック1%を含む。 |
| 4 | 10YR3/4 | 暗褐色土層 | 粘性強く、締め強い。径1mm以下のローム粒10%、径5mmのロームブロック3%を含む。 |

- 106号遺構 A-A'**
- | | | | |
|---|---------|-------|---|
| 1 | 10YR3/4 | 暗褐色土層 | 粘性強く、締め強い。径2-3mmのローム粒3%、径5mmのロームブロック1%を含む。 |
| 2 | 10YR3/4 | 暗褐色土層 | 粘性強く、締め強い。径1mm以下のローム粒10%、径5mmのロームブロック3%を含む。 |



- 103号遺構 B-B'**
- | | | | |
|---|---------|-------|--|
| 1 | 10YR3/2 | 黒褐色土層 | 強く、締め強い。径2-3mmのローム粒3%、径5mmのロームブロック1%を含む。 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色土層 | 強く、締め極めて強い。径1-3mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック5%、径1mm以下の炭化物1%を含む。 |
| 3 | 10YR2/3 | 黒褐色土層 | 粘性やや強く、締め強い。径1-2mmのローム粒2%を含む。 |
| 4 | 10YR3/4 | 暗褐色土層 | 粘性強く、締め強い。径1mm以下のローム粒10%、径5mmのロームブロック3%を含む。 |
| 5 | 10YR2/3 | 黒褐色土層 | 粘性強く、締め強い。径2-3mmのローム粒15%、径5-20mmのロームブロック10%を含む。 |



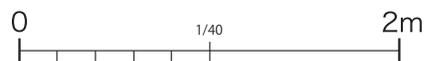
- 106号遺構 D-D'**
- | | | | |
|---|---------|-------|---|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色土層 | 粘性強く、締め強い。径1-3mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%、径1mm以下の炭化物わずかを含む。 |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色土層 | 粘性強く、締めやや強い。径1mm以下のローム粒15%、径5-15mmのロームブロック10%を含む。 |
| 3 | 10YR5/6 | 黄褐色土層 | 粘性強く、締めやや強い。黒褐色土25%、径2-3mmのローム粒15%、径5mmのロームブロック10%を含む。 |



- 106号遺構 C-C'**
- | | | | |
|---|---------|-------|--|
| 1 | 10YR3/2 | 黒褐色土層 | 粘性極めて強く、締め強い。径10-20mmのロームブロック5%、径1-2mmのローム粒3%、径2-3mmの炭化物1%を含む。 |
| 2 | 10YR3/3 | 暗褐色土層 | 粘性極めて強く、締めやや強い。径1mm以下のローム粒3%を含む。 |
| 3 | 10YR3/4 | 暗褐色土層 | 粘性極めて強く、締め強い。径1mm以下のローム粒10%、径5mmのロームブロック3%を含む。 |
| 4 | 10YR4/4 | 褐色土層 | 粘性極めて強く、締め強い。径1mm以下のローム粒10%、径5mmのロームブロック10%を含む。 |

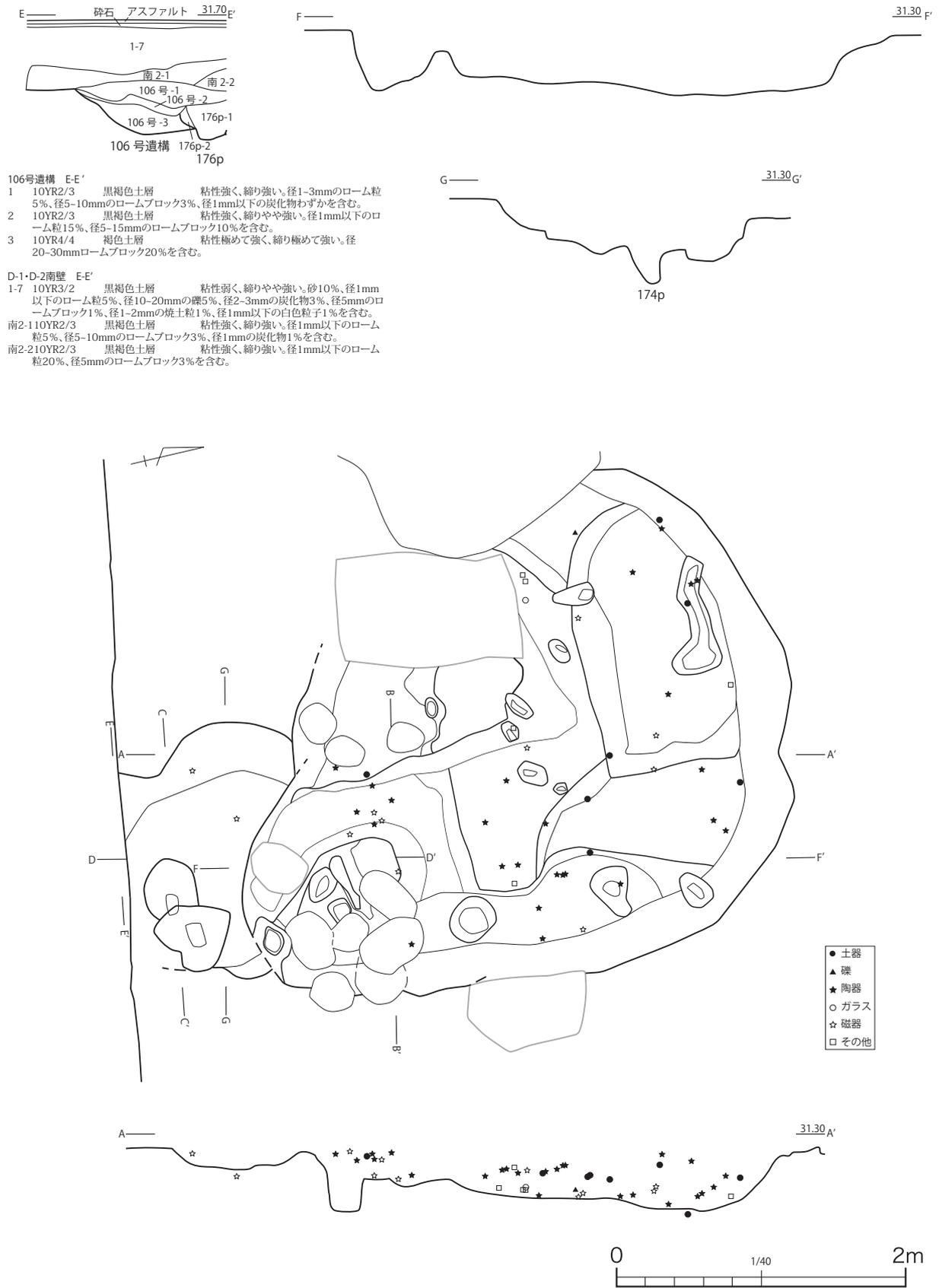
- 165p C-C'**
- | | | | |
|---|---------|-------|--|
| 1 | 10YR2/3 | 黒褐色土層 | 粘性極めて強く、締め強い。径1mm以下のローム粒5%、径5mmのロームブロック1%、径1-2mmの炭化物1%、径1mmの焼土粒わずかを含む。 |
| 2 | 10YR3/2 | 黒褐色土層 | 粘性極めて強く、締め強い。径1mm以下のローム粒2%を含む。 |
| 3 | 10YR3/3 | 暗褐色土層 | 粘性極めて強く、締め強い。径1mm以下のローム粒10%、径10-20mmのロームブロック1%を含む。 |

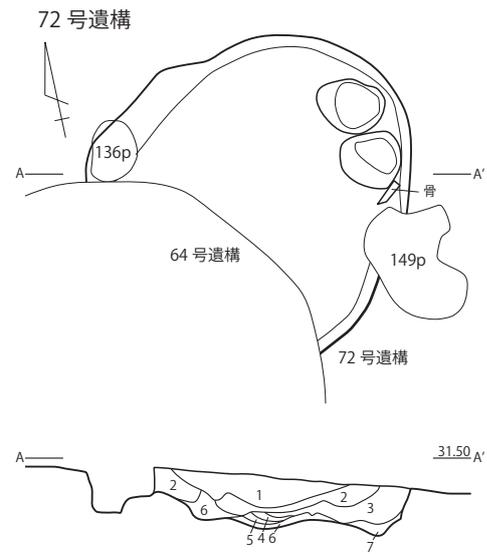
- 166p C-C'**
- | | | | |
|---|---------|-------|--|
| 1 | 10YR3/3 | 暗褐色土層 | 粘性極めて強く、締め強い。径1mm以下のローム粒3%、径1mm以下の炭化物わずかを含む。 |
| 2 | 10YR3/3 | 暗褐色土層 | 粘性極めて強く、締め強い。径1mm以下のローム粒1%を含む。 |



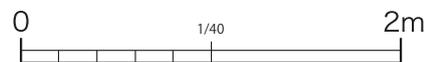
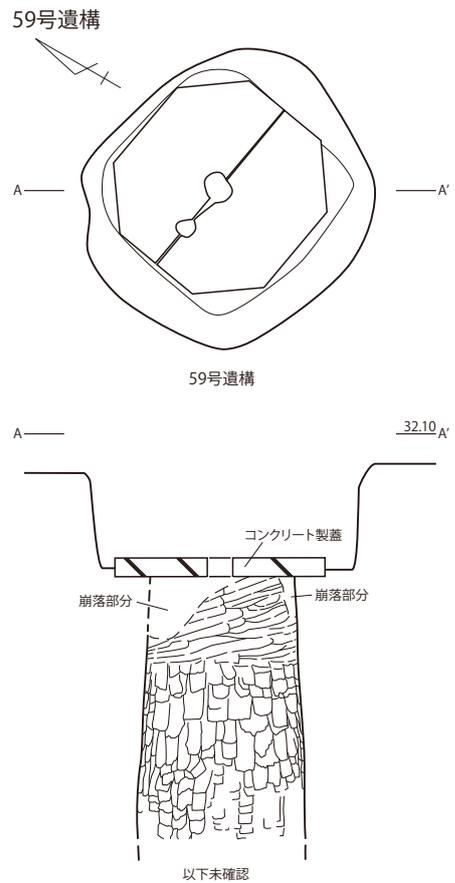
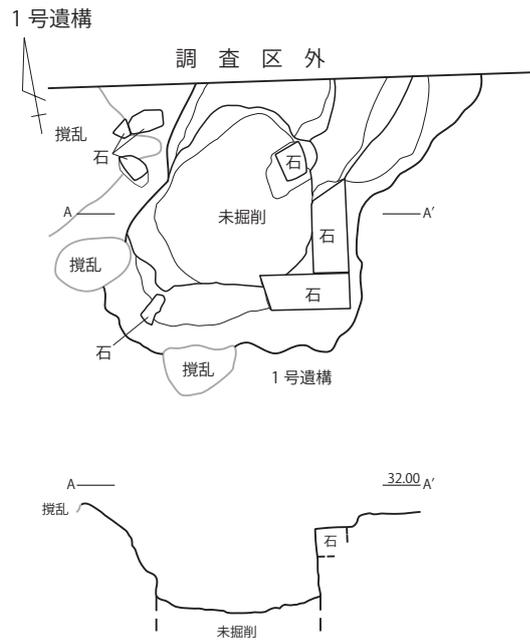
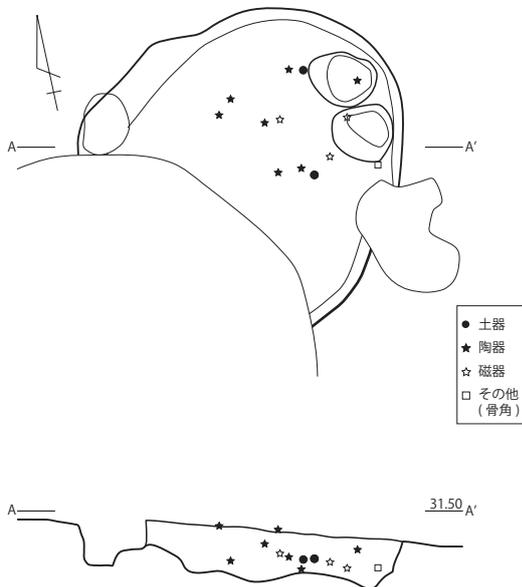
第 29 図 植栽痕 (3) (1/40)

65・103・106号遺構



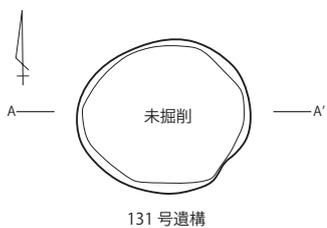


- 72号遺構
- | | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 10YR2/3 黒褐色土層 | 粘性やや弱く、締り強い。径1-3mmのローム粒3%、径5mmのロームブロック1%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。 |
| 2 | 10YR3/4 暗褐色土層 | 粘性やや弱く、締りやや強い。径10-30mmのロームブロック15%、径1mm以下のローム粒10%を含む。 |
| 3 | 10YR2/3 黒褐色土層 | 粘性やや強く、締り強い。径1mm以下のローム粒3%、径10mmのロームブロック1%、径30mmの礫1%を含む。 |
| 4 | 10YR4/4 褐色土層 | 粘性強く、締り強い。黒褐色土15%を含む。 |
| 5 | 10YR3/4 暗褐色土層 | 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒5%を含む。 |
| 6 | 10YR4/6 褐色土層 | 粘性強く、締り強い。黒褐色土20%、径10-20mmのロームブロック15%を含む。 |
| 7 | 10YR3/4 暗褐色土層 | 粘性強く、締り強い。黒褐色土10%、径1-2mmのローム粒5%、径1mm以下の炭化物わずかを含む。 |

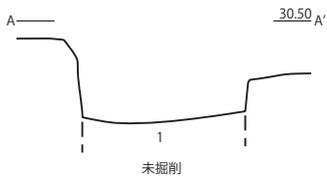


第31図 植栽痕(5)・井戸(1) (1/40)

131号遺構



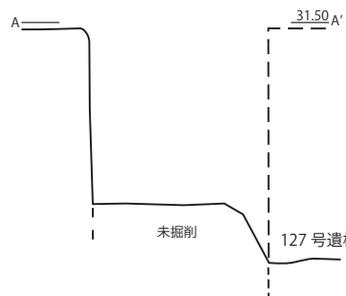
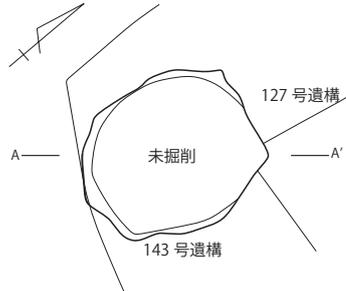
131号遺構



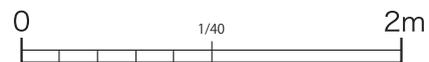
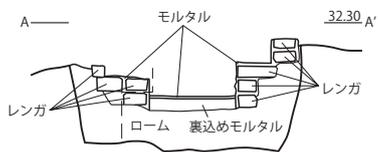
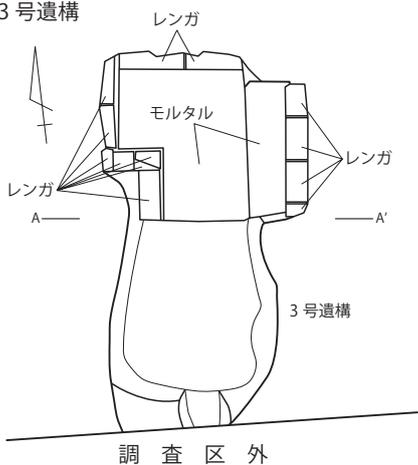
131号遺構

1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて強く、締り強い。径10-30mmのロームブロック5%、径2-3mmのローム粒3%、径1-30mmの礫2%、径1-2mmの炭化物1%を含む。

143号遺構

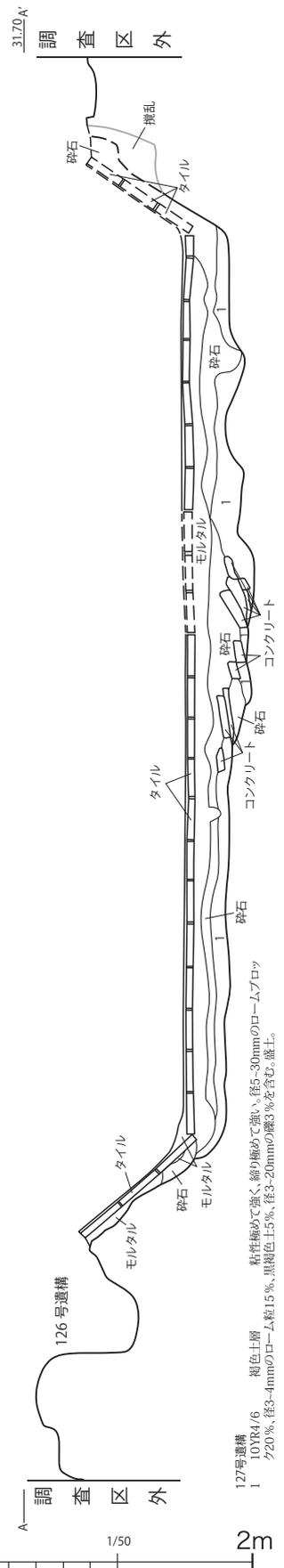
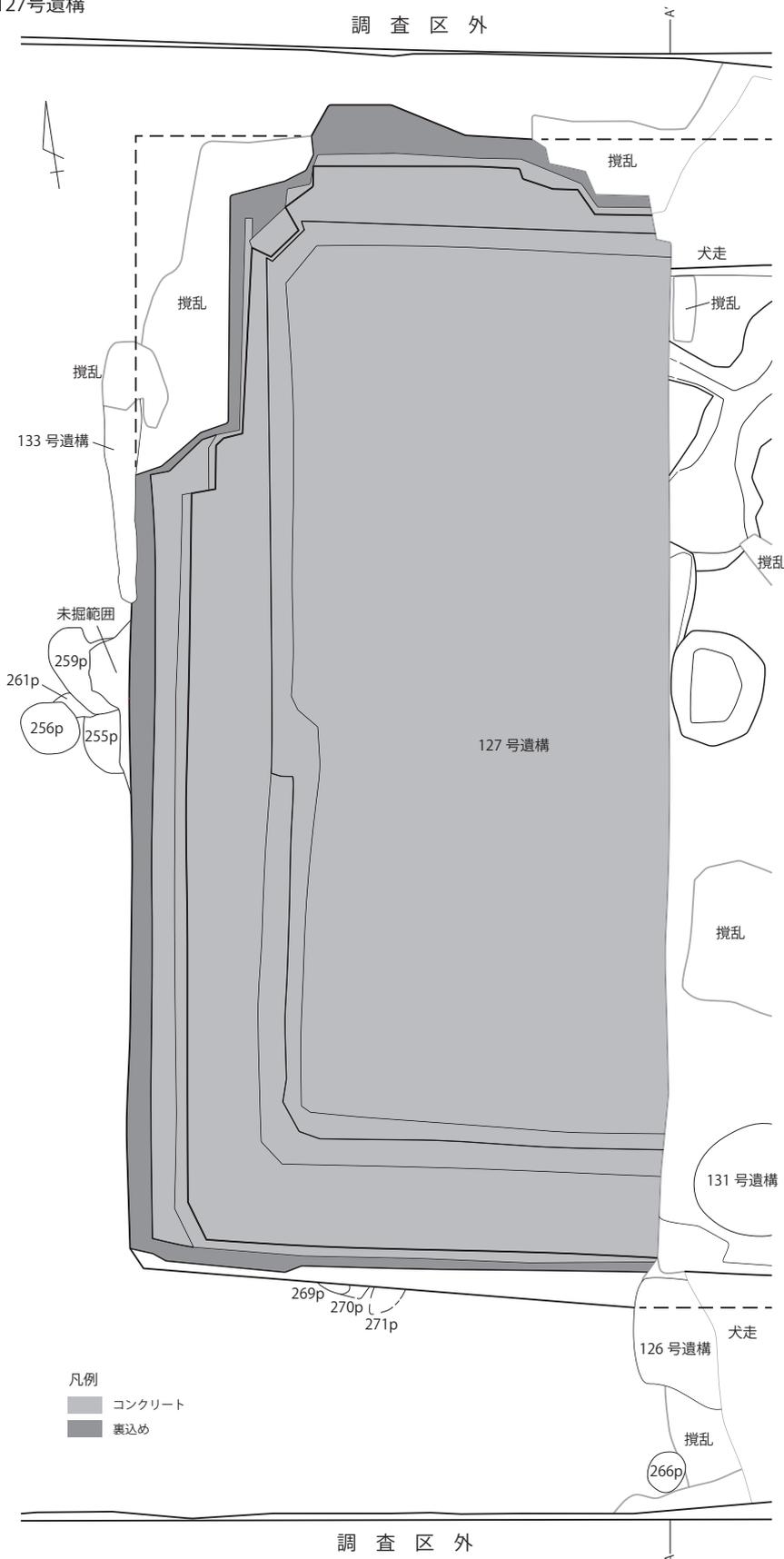


3号遺構



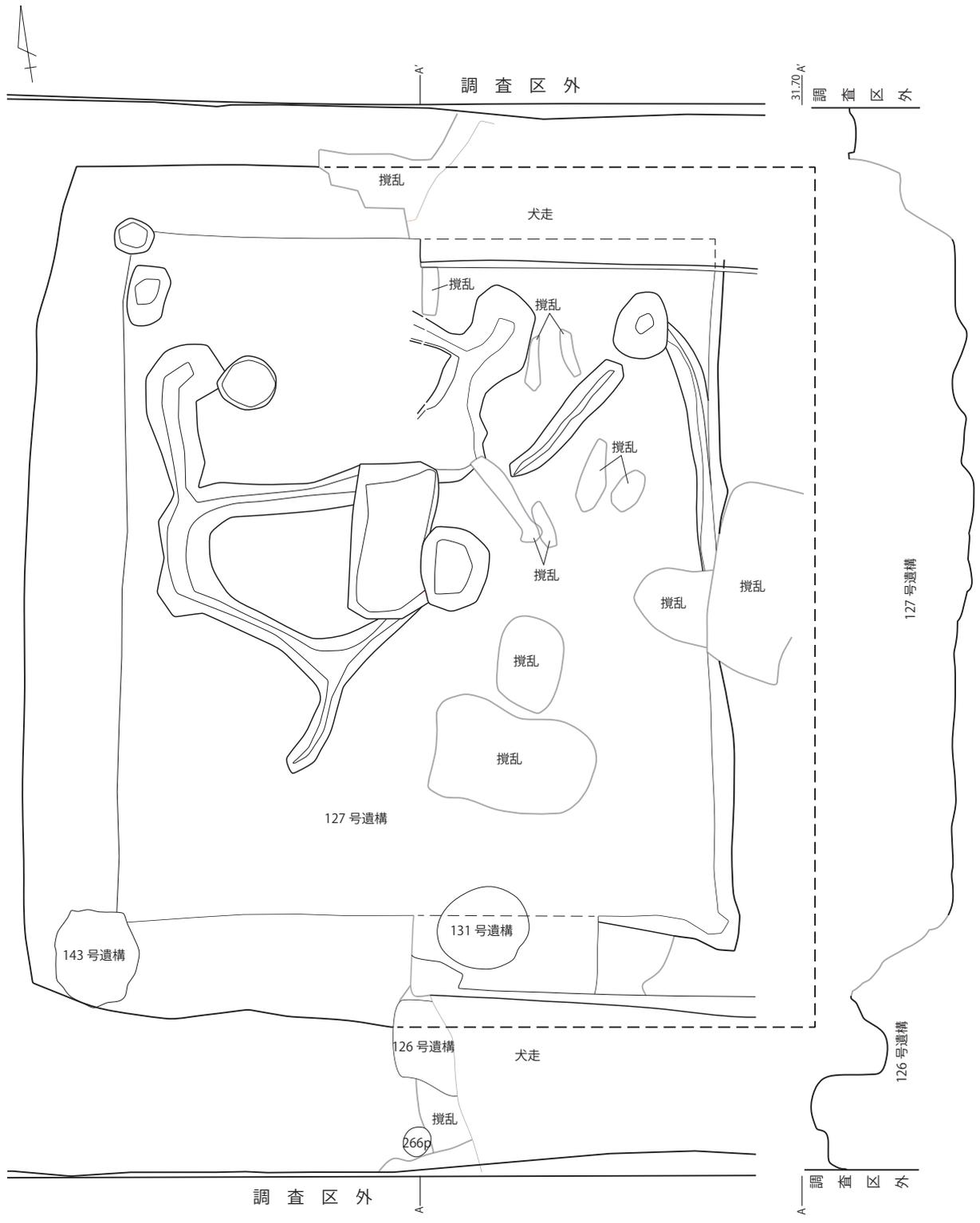
第32図 井戸(2)・レンガ柵(1/40)

127号遺構



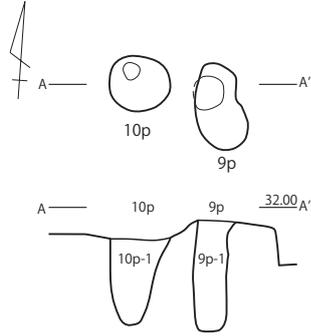
第33図 コンクリート構造物 (1) (1/50)

127号遺構 掘方



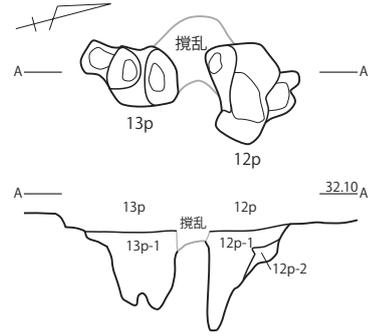
第34図 コンクリート構造物 (2) (1/60)

9p・10p



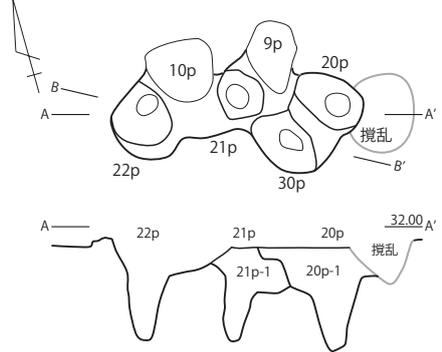
- 9p
1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、
縮り強い。径2-5mmのローム粒10%を含む。
- 10p
1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、
縮りやや強い。径5-10mmのロームブロック20%
、径1-3mmのローム粒10%を含む。
2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、
縮りやや強い。径2-3mmのローム粒10%を含む。

12p・13p



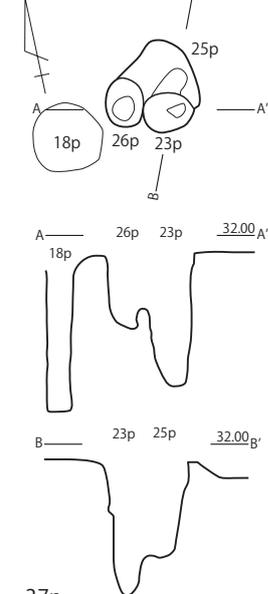
- 12p
1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、
縮りやや弱い。径1-3mmのローム粒10%、黒褐色土5%
、径2-3mmの焼成粘土塊1%を含む。
2 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、縮り
やや弱い。径1-2mmのローム粒20%、黒褐色土10%
を含む。
- 13p
1 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、縮り
やや弱い。黒褐色土20%、径1-2mmのローム粒5%、
径5mmのロームブロック3%を含む。

20p・21p・22p・30p

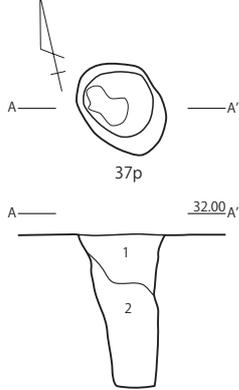


- 20p
1 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、縮り弱い。径5-20mmのロ
ームブロック30%、径3-5mmのローム粒20%、黒褐色土10%を
含む。ローム粒子鮮明。
- 21p
1 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、縮りやや弱い。径2-3mm
のローム粒10%、径10-30mmのロームブロック10%、黒褐色土
10%を含む。

23p・25p・26p

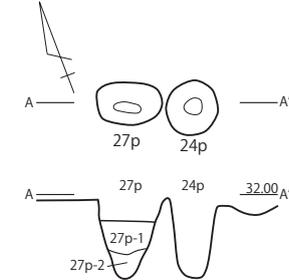


37p



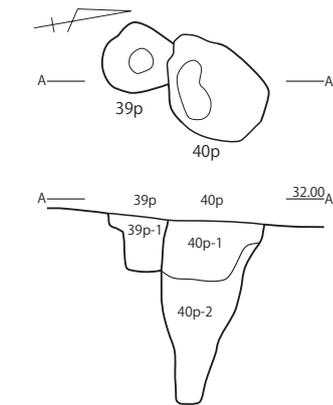
- 37p
1 10YR3/2 黒褐色土層 粘性やや強く、
縮り強い。径1mm以下のローム粒20%、径5-10mm
のロームブロック15%を含む。
2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、
縮りやや弱い。径1-2mmのローム粒3%、径5-10mm
のロームブロック3%を含む。

24p・27p



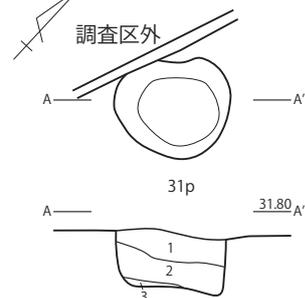
- 27p
1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや
強く、縮りやや強い。径5-10mmのロームブロック
30%、径2-3mmのローム粒20%、径1-2mmの礫
5%、径1mm以下の焼土粒3%を含む。
2 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、
縮りやや強い。黒褐色土10%を含む。

39p・40p



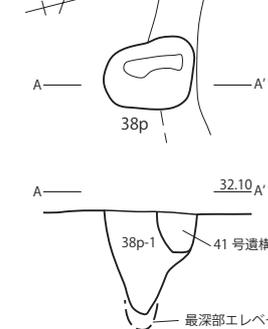
- 39p
1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強
く、縮りやや強い。径1mm以下のローム粒20%、径
15-50mmのロームブロック10%を含む。
- 40p
1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強
く、縮りやや強い。径1-2mmのローム粒10%、径
5-10mmのロームブロック3%を含む。
2 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、縮
りやや弱い。径1-2mmのローム粒20%、黒褐色土
20%を含む。

31p

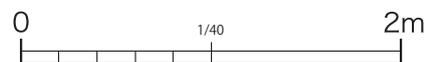


- 31p
1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、縮
り強い。径5-20mmのロームブロック20%、径1-2mm
のローム粒10%を含む。
2 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、縮り強
い。径1mm以下のローム粒5%、径5mmのロームブ
ロック1%を含む。
3 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、縮り強
い。黒褐色土10%を含む。

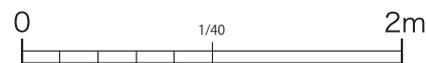
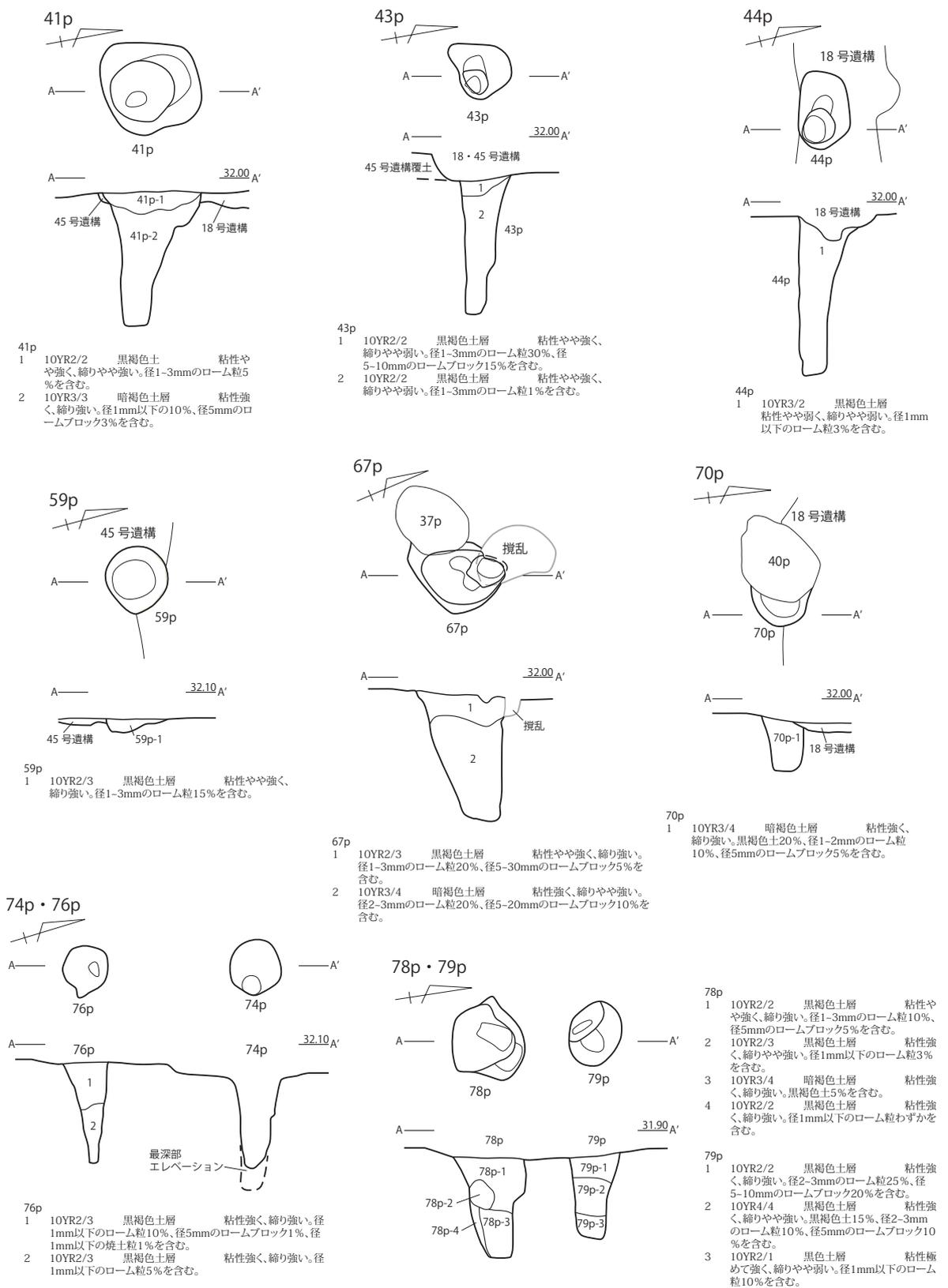
38p 41号遺構



- 38p
1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、縮
り強い。径5-30mmのロームブロック10%、径1mm以下の
ローム粒5%を含む。

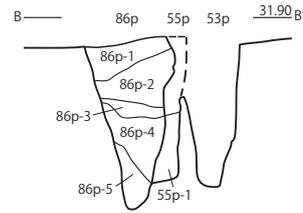
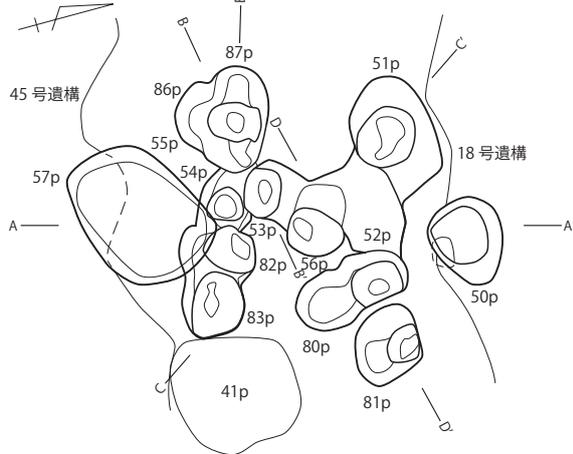


第35図 ピット (1) (1/40)



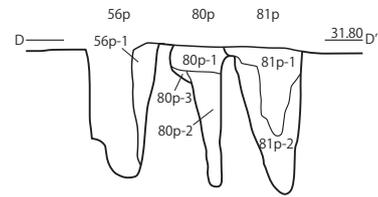
第36図 ピット (2) (1/40)

50p ~ 57p・80p ~ 83p・86p・87p



- 86p
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1-4mmのローム粒20%、径5-10mmのロームブロック55%を含む。
 - 2 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒15%、径5mmのロームブロック10%、黒褐色土5%を含む。
 - 3 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒5%を含む。
 - 4 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒10%を含む。
 - 5 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒3%、径5mmのロームブロックわずかを含む。

- 55p
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒10%、径5mmのロームブロック1%を含む。



- 56p
- 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒30%、径10-50mmのロームブロック15%を含む。

- 80p
- 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒5%、径5mmのロームブロック1%を含む。
 - 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-2mmのロームブロック20%、径1-2mmのローム粒10%を含む。
 - 3 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土25%、径1mm以下のローム粒10%を含む。

- 81p
- 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒5%を含む。
 - 2 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。黒褐色土15%、径1-2mmのローム粒10%、径5mmのロームブロック3%を含む。



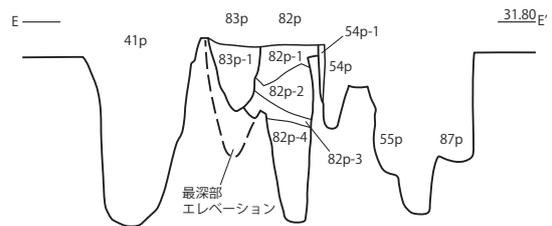
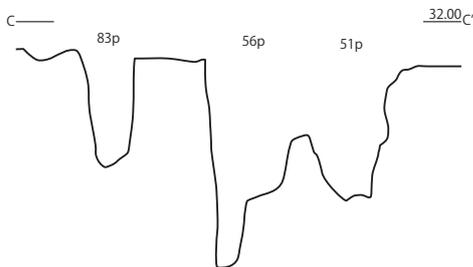
- 50p
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや弱い。径1-2mmのローム粒15%、径5-10mmのロームブロック5%を含む。
 - 2 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒30%、径10-20mmのロームブロック20%を含む。

- 52p
- 1 10YR2/3 黒褐色シルト土層 粘性強く、締りやや弱い。黒褐色土20%を含む。径2-3mmのローム粒20%、径5-10mmのロームブロック15%を含む。

- 54p
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径2-3mmのローム粒3%、径10mmのロームブロックわずかを含む。

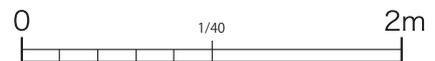
- 56p
- 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒30%、径10-50mmのロームブロック15%を含む。
 - 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや弱い。径2-3mmのローム粒20%、径5-10mmのロームブロック15%を含む。

- 57p
- 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1mm以下のローム粒10%、径5-10mmのロームブロック3%、径3-4mmの堆土粒わずかを含む。

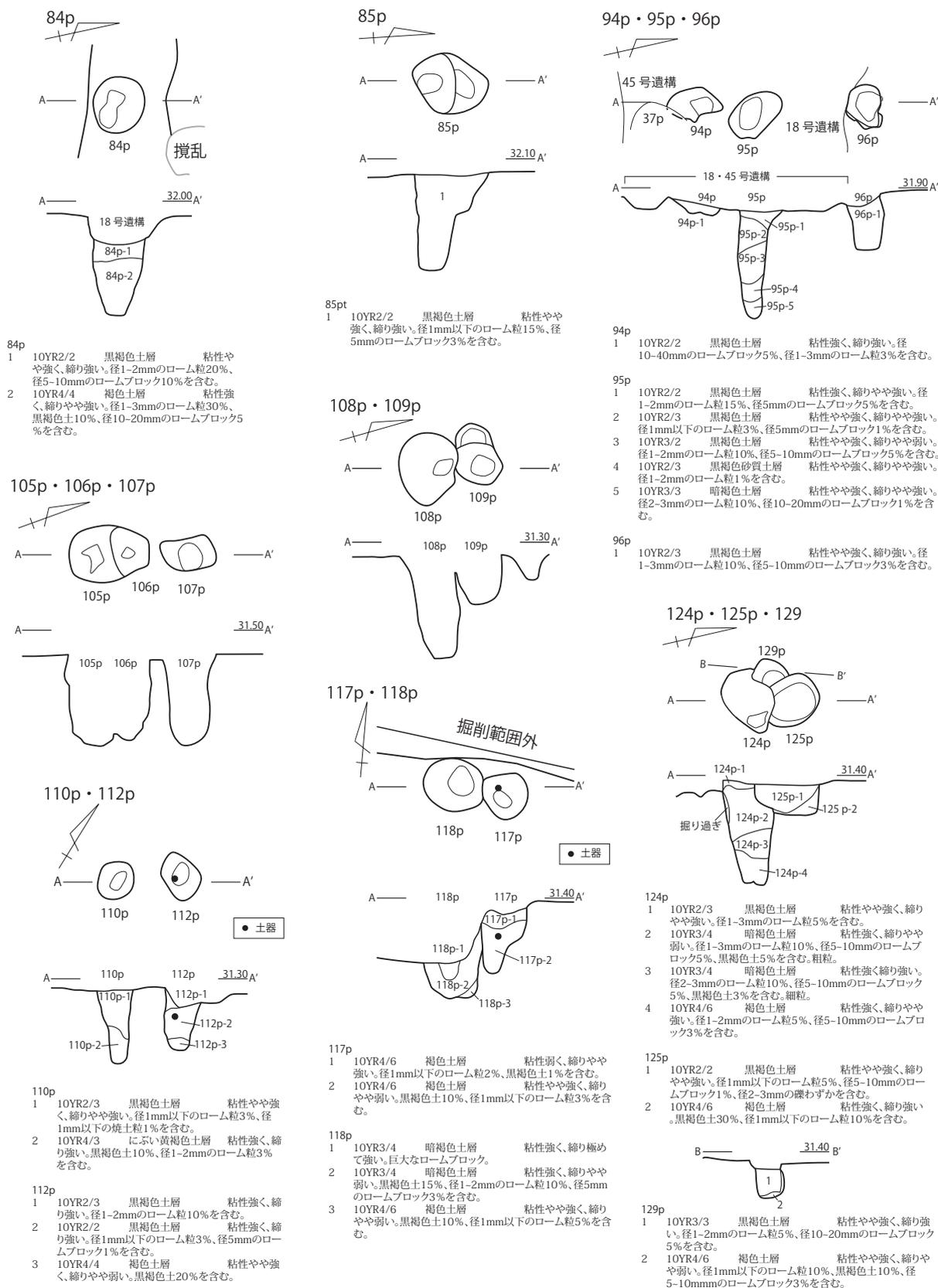


- 82p
- 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック5%を含む。
 - 2 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒3%、黒褐色土わずかを含む。
 - 3 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1-3mmのローム粒15%を含む。
 - 4 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒5%、黒褐色土3%、径5mmのロームブロック1%を含む。

- 83p
- 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1-3mmのローム粒10%、径10-20mmのロームブロック5%を含む。

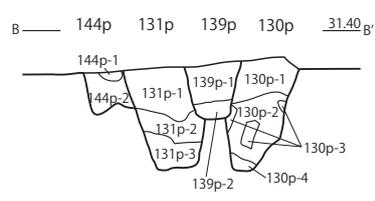
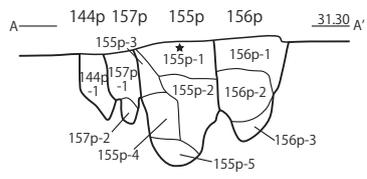
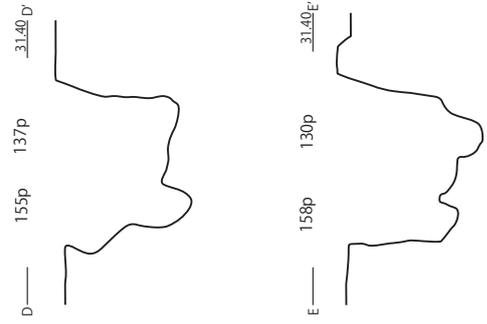
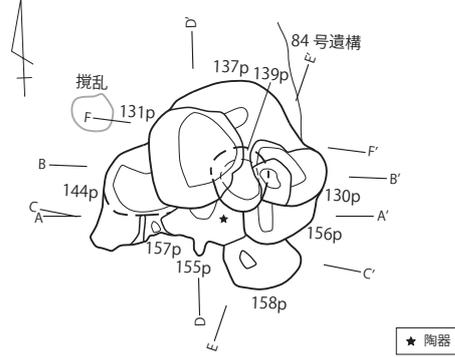


第37図 ピット (3) (1/40)



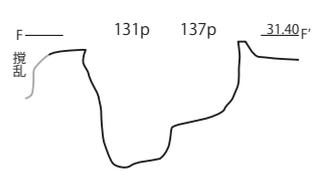
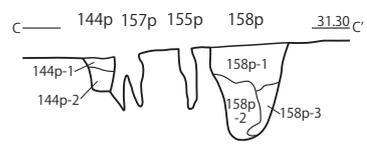
第38図 ピット (4) (1/40)

130p・131p・137p・139p・144p・155p～158p

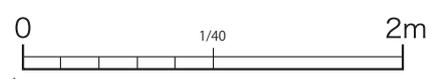


- 144p**
- 1 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒25%、黒褐色土15%、径5-10mmのロームブロック5%を含む。
- 155p**
- 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック1%を含む。
- 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径2-3mmのローム粒10%、径5-20mmのロームブロック5%を含む。
- 3 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒15%、径20-40mmのロームブロック5%を含む。
- 4 10YR3/3 暗褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒10%、径30-50mmのロームブロック10%を含む。
- 5 10YR3/4 暗褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。黒褐色土20%、径2-3mmのローム粒15%、径5mmのロームブロック5%を含む。
- 156p**
- 1 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1-2mmのローム粒10%、径2-3mmの礫1%を含む。
- 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて強く、締り強い。径10mmのロームブロック30%、径1-2mmのローム粒20%を含む。
- 3 10YR3/2 黒褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径5mmのロームブロック10%、径1mm以下のローム粒5%を含む。
- 157p**
- 1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径3-4mmのローム粒15%、径5-20mmのロームブロック10%、黒褐色土10%を含む。
- 2 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径1-2mmの10%、黒褐色土5%、径10mmのロームブロック1%を含む。

- 130p**
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径2-3mmのローム粒10%、径5mmのロームブロック2%、径1mm以下の焼土粒1%を含む。
- 2 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径2-3mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック1%を含む。
- 3 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径5-30mmのロームブロック30%、径1-4mmのローム粒15%を含む。
- 4 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径2-3mmのローム粒15%を含む。
- 131p**
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径1-2mmのローム粒15%、径10-20mmのロームブロック10%、径1mm以下の焼土粒わずかなを含む。
- 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒5%、径10mmのロームブロック1%を含む。
- 3 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径5-10mmのロームブロック20%、径1mm以下のローム粒10%を含む。
- 139p**
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径2-3mmのローム粒3%、径5mmのロームブロック1%、径1mm以下の炭化物わずかなを含む。
- 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-3mmのローム粒15%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
- 144p**
- 1 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径2-3mmのローム粒10%、黒褐色土1%を含む。
- 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒5%を含む。

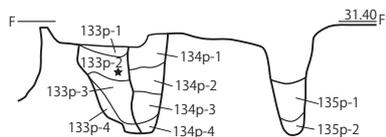
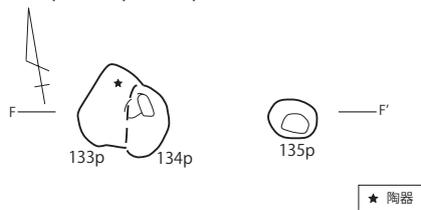


- 144p**
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径2-4mmのローム粒15%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
- 2 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒10%、径10-15mmのロームブロック5%、黒褐色土5%を含む。
- 158p**
- 1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒15%、径5-20mmのロームブロック5%、径1mm以下の焼土粒わずかなを含む。
- 2 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒20%、径5-30mmのロームブロック10%、黒褐色土10%を含む。
- 3 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒15%、径5mmのロームブロック3%を含む。



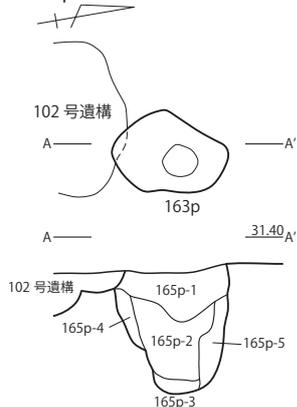
第39図 ピット (5) (1/40)

133p・134p・135p



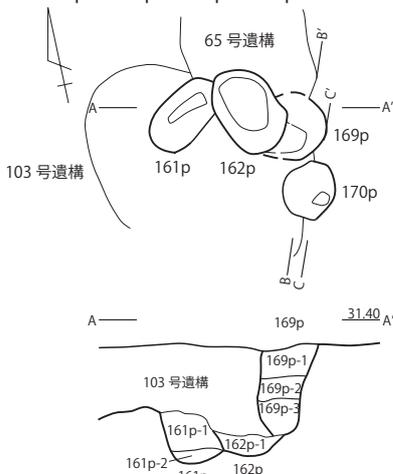
- 133p
- 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒10%、径5-10mmのロームブロック5%、径1mmの炭化物2%を含む。
 - 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒15%、径10-15mmのロームブロック10%を含む。
 - 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒2%を含む。
 - 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒15%、黒褐色土10%を含む。
- 134p
- 10YR4/4 褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒10%、径1-2mmの炭化物2%、径5mmのロームブロック1%を含む。
 - 10YR4/4 褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒20%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
 - 10YR4/3にぶい黄褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒5%を含む。
 - 10YR5/6 黄褐色土層 粘性強く、締りやや弱い。径2-3mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
- 135p
- 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締りやや弱い。径1mm以下のローム粒3%を含む。
 - 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや弱い。径2-3mmのローム粒10%、黒褐色土5%を含む。

163p



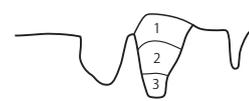
- 163p
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて強く、締り強い。径2-3mmのローム粒15%、径5-20mmのロームブロック10%を含む。
 - 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒15%、黒褐色土15%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
 - 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。黒褐色土10%を含む。
 - 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。黒褐色土15%、径10-15mmのロームブロック10%を含む。掘り過ぎ。
 - 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。黒褐色土15%、径10-15mmのロームブロック10%を含む。掘り過ぎ。

161p・162p・169p・170p



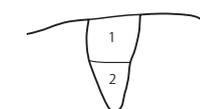
- 161p
- 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒20%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
 - 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒15%、径10-15mmのロームブロック15%を含む。
- 162p
- 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-3mmのローム粒25%、径5-20mmのロームブロック20%を含む。
- 169p
- 10YR3/3 暗褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒3%、径5mmのロームブロック1%を含む。
 - 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒15%、黒褐色土3%を含む。
 - 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締り極めて強い。径1-2mmのローム粒10%、黒褐色土3%を含む。

170p 169p 31.40 B



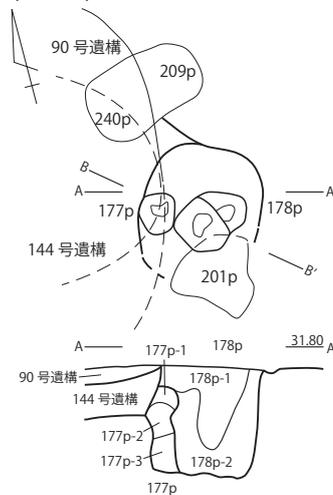
- 169p
- 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径30-40mmのロームブロック20%、径1-2mmのローム粒10%を含む。
 - 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒15%、径5-20mmのロームブロック15%を含む。
 - 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締り強い。径1mm以下のローム粒10%、黒褐色土10%、径5-10mmのロームブロック5%を含む。

170p 31.40 C

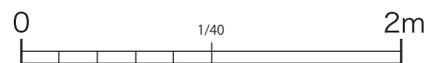


- 170p
- 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒10%、径5-20mmのロームブロック3%を含む。
 - 10YR2/2 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや弱い。径1mm以下のローム粒15%、径5-10mmのロームブロック5%を含む。

177p・178p

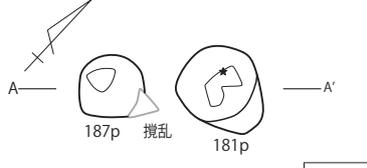


- 177p
- 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-2mmのローム粒10%を含む。
 - 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土15%、径1-3mmのローム粒5%を含む。
 - 10YR4/4 褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い。径1-3mmのローム粒10%、径5-20mmのロームブロック10%、黒褐色土10%を含む。
- 178p
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性極めて強く、締り強い。径1mm以下のローム粒3%、径10mmのロームブロック1%を含む。
 - 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径1-3mmのローム粒15%、径5-30mmのロームブロック15%を含む。

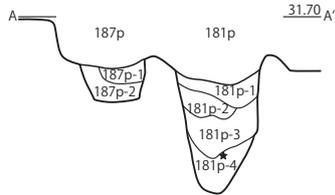


第40図 ピット (6) (1/40)

181p・187p



★ 陶器



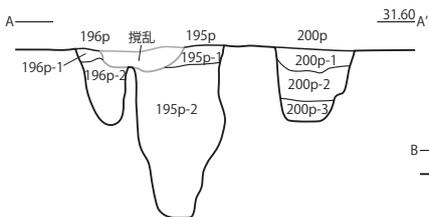
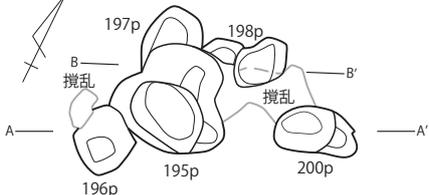
181p

- 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い、径1-2mmのローム粒5%、径5-20mmのロームブロックわずかを含む。
- 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締りやや弱い、径1-2mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック1%を含む。
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや弱い、径1-3mmのローム粒5%、径5-20mmのロームブロック1%を含む。
- 10YR3/4 暗褐色土層 粘性極めて強く、締りやや弱い、径1-2mmのローム粒15%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。

187p

- 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1-3mmのローム粒5%、径1-3mmの炭化物3%、径1mm以下の焼土粒わずかを含む。

195p ~ 198p・200p



195p

- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや強い、径1-2mmのローム粒10%、径5mmのロームブロック1%を含む。
- 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径1-4mmのローム粒10%、径5-40mmのロームブロック10%を含む。

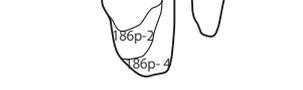
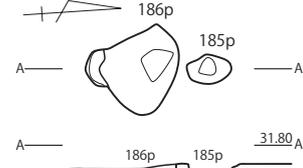
196p

- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径1mm以下のローム粒20%、径5mmのロームブロック1%を含む。
- 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り強い、径5-10mmのロームブロック20%、径1-2mmのローム粒15%、径3-10mmの灰黄褐色粘土3%を含む。

200p

- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い、径1-2mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。
- 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径1mm以下のローム粒5%を含む。
- 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締りやや弱い、黒褐色土15%、径3-4mmのローム粒5%を含む。

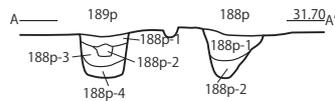
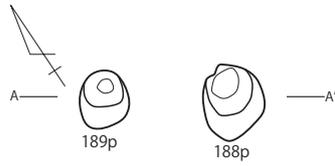
185p・186p



186p

- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径1-4mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック3%、径2-3mmの炭化物2%を含む。
- 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い、径5-20mmのロームブロック15%、径1-2mmのローム粒10%を含む。
- 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締り強い、径1mm以下のローム粒10%、黒褐色土10%を含む。
- 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締りやや強い、径2-3mmのローム粒15%、径5-10mmのロームブロック10%、黒褐色土10%を含む。

188p・189p

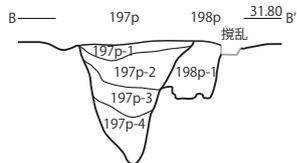


188p

- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性弱く、締りやや弱い、径1mm以下のローム粒3%を含む。
- 10YR4/6 褐色土層 粘性やや弱く、締りやや弱い、径10-20mmのロームブロック5%、径2-3mmのローム粒3%を含む。

189p

- 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い、径1-4mmのローム粒1%を含む。
- 7.5YR5/6 明褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、黒褐色土3%を含む。
- 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締りやや強い、径2-3mmのローム粒10%、黒褐色土5%を含む。
- 10YR5/8 黄褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径1-2mmのローム粒5%を含む。



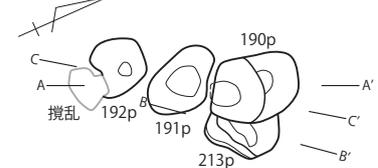
197p

- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い、径1mm以下のローム粒3%を含む。
- 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径1-2mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。
- 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締りやや弱い、径1mm以下のローム粒15%、径5-20mmのロームブロック15%、黒褐色土10%を含む。
- 10YR2/3 黒褐色砂質土層 粘性弱く、締り弱い、径1-2mmのローム粒5%を含む。

198p

- 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや弱い、径1-3mmのローム粒5%、径10-20mmのロームブロック3%を含む。

190p ~ 192p・213p



190p

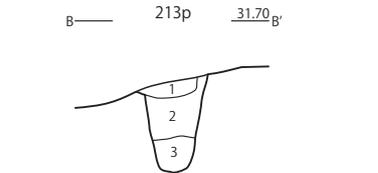
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや弱い、径5-30mmのロームブロック10%、径3-4mmのローム粒10%を含む。単層、ボンボノ、淘汰悪い。

191p

- 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締りやや強い、径20-50mmのロームブロック30%、黒褐色土20%、径1-2mmのローム粒10%、径3-4mmの炭化物わずかを含む。

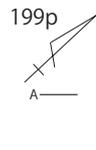
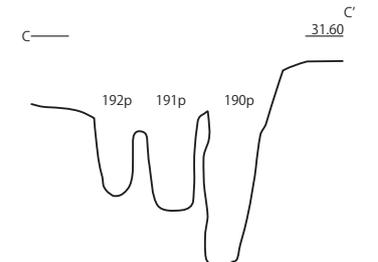
192p

- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや弱い、径2-4mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。



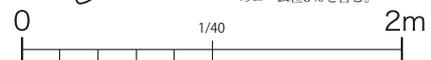
213p

- 10YR4/6 褐色土層 粘性やや強く、締り強い、径1-2mmのローム粒10%、径5mmのロームブロック3%、径1mm以下の炭化物1%を含む。
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い、径1-3mmのローム粒15%、径10-15mmのロームブロック10%を含む。
- 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや弱い、径5-20mmのロームブロック25%、径1-4mmのローム粒20%を含む。

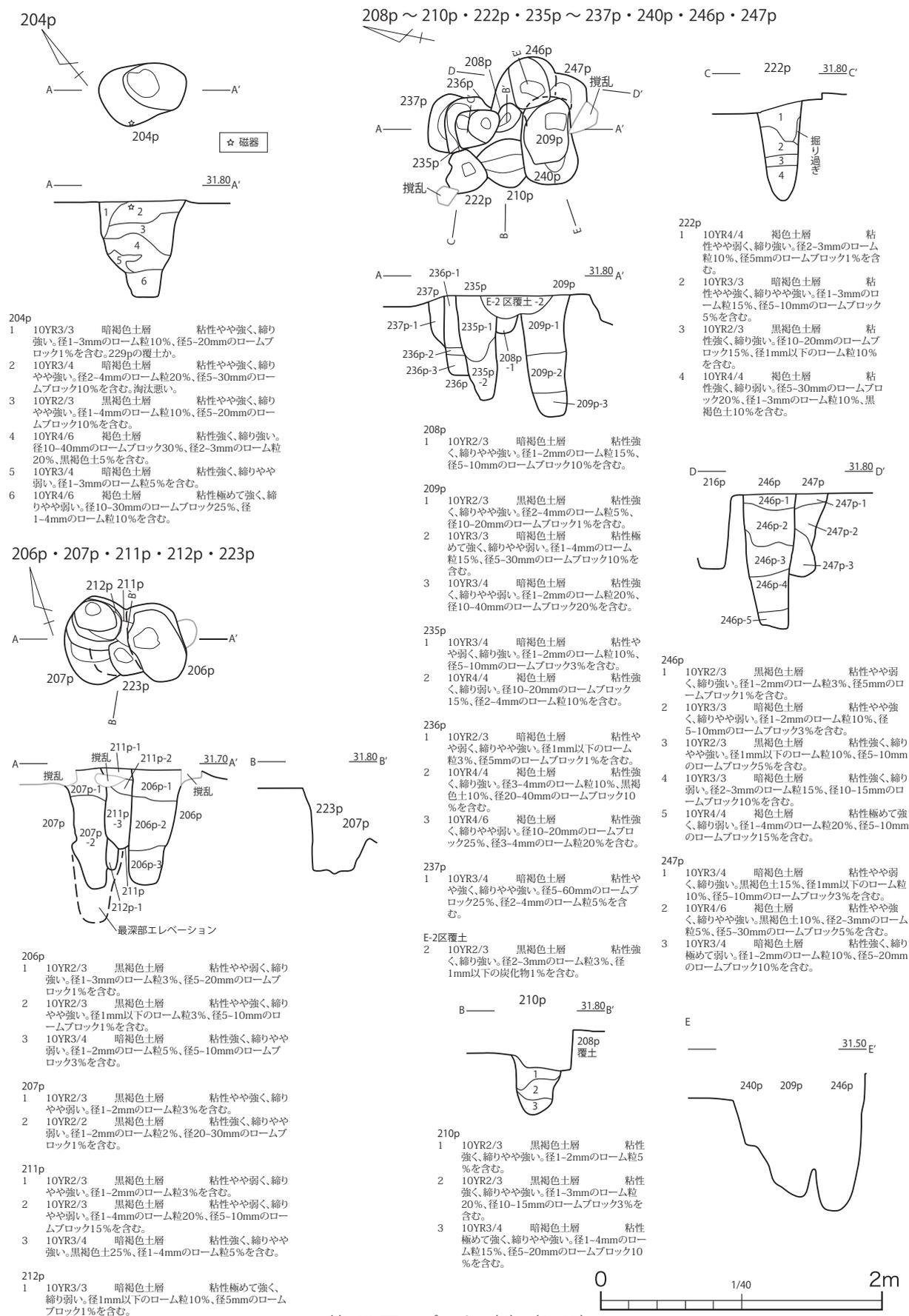


199p

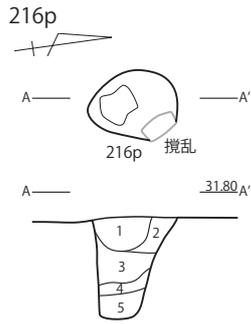
- 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締りやや強い、径2-3mmのローム粒20%、径5-10mmのロームブロック15%、黒褐色土5%を含む。
- 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締りやや弱い、径1mm以下のローム粒10%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。
- 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締り弱い、径20-40mmのロームブロック10%、径1mm以下のローム粒5%を含む。



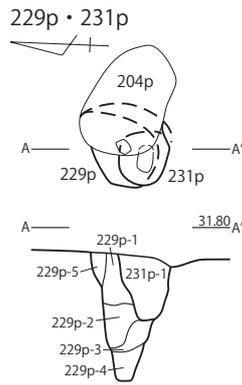
第41図 ピット (7) (1/40)



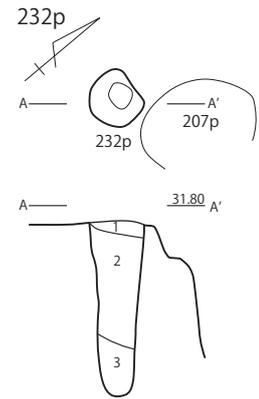
第42図 ピット (8) (1/40)



- 216p
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径1mm以下のローム粒5%、径5mmのロームブロック1%を含む。
 - 2 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径1mm以下のローム粒15%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
 - 3 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径1mm以下のローム粒10%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。
 - 4 10YR2/2 黒褐色土層 粘性強く、締りやや弱い、径1-2mmのローム粒20%を含む。
 - 5 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締りやや弱い、径5-20mmのロームブロック20%、径1-4mmのローム粒15%を含む。

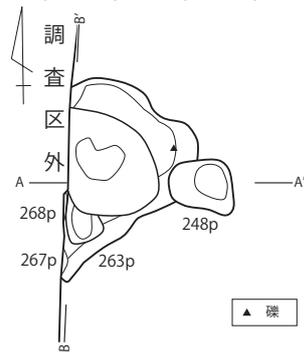


- 229p・231p
- 229p
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い、径1mm以下のローム粒10%、径5mmのロームブロック1%を含む。ローム集中部と黒褐色土の互層。
 - 2 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い、径1mm以下のローム粒15%、径5mmのロームブロック3%を含む。ローム集中部と黒褐色土の互層。
 - 3 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや弱い、径1-2mmのローム粒1%を含む。
 - 4 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締り弱い、径2-3mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック10%、黒褐色土5%を含む。
 - 5 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い、径1-2mmのローム粒5%を含む。
- 231p
- 1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや弱く、締りやや弱い、黒褐色土15%、径2-4mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。

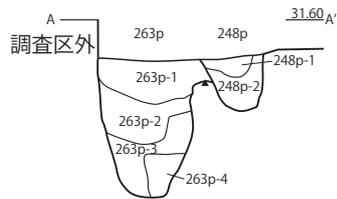


- 232p
- 1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性弱く、締り強い、径1-2mmのローム粒15%、径5mmのロームブロック1%を含む。
 - 2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや弱い、径1mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。
 - 3 10YR4/4 褐色土層 粘性強く、締り弱い、径2-3mmのローム粒20%、径5-10mmのロームブロック15%を含む。

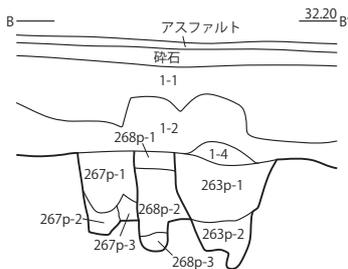
248p・263p・267p・268p



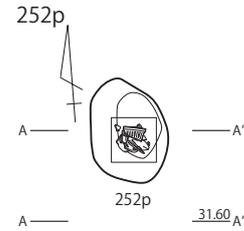
- 248p
- 1 10YR3/2 黒褐色土層 粘性強く、締り強い、径1-2mmのローム粒5%、径5mmのロームブロック1%を含む。
 - 2 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い、黒褐色土20%、径1mm以下のローム粒15%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。
- 263p
- 1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや弱く、締り強い、径2-4mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。
 - 2 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締りやや強い、径5-50mmのロームブロック5%、径1-3mmのローム粒3%を含む。
 - 3 10YR4/4 褐色土層 粘性極めて強く、締りやや弱い、径1-4mmのローム粒15%、径5-30mmのロームブロック15%を含む。
 - 4 10YR4/6 褐色土層 粘性極めて強く、締りやや強い、径2-4mmのローム粒15%、径5-30mmのロームブロック10%を含む。



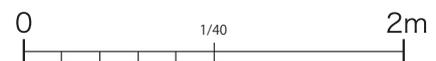
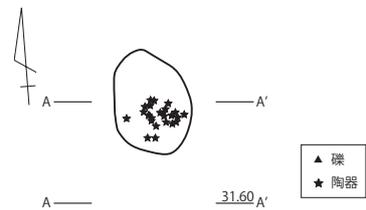
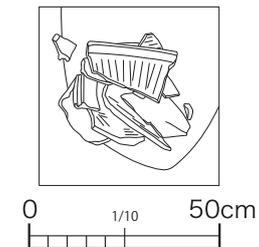
- 267p
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや弱い、径1-4mmのローム粒3%、径5-15mmのロームブロック1%を含む。
 - 2 10YR4/6 褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径2-3mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック10%、黒褐色土5%を含む。
 - 3 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い、径1-2mmのローム粒10%、径20-40mmのロームブロック10%、黒褐色土10%を含む。掘り過ぎ?



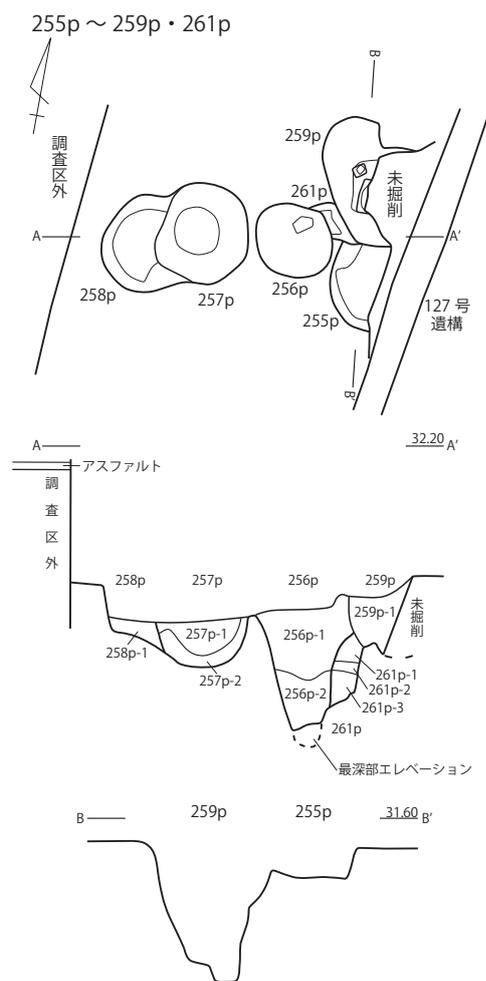
- 268p
- 1 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径1-3mmのローム粒3%を含む。
 - 2 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い、径1-2mmのローム粒10%、径10-30mmのロームブロック5%を含む。
 - 3 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや弱い、径1mm以下のローム粒20%、径20-40mmのロームブロック1%を含む。
- E-1a西壁
- 1-1 10YR3/4 暗褐色土層 粘性弱く、締り極めて強い、径10-100mmのコンクリート片10%、径20-40mmの礫5%、径1mm以下のローム粒3%、径10mmの焼土粒1%、径30-60mmのガラス片1%、径2-3mmの金属片1%、径2-3mmの炭化物わずかを含む。
 - 1-2 10YR2/3 黒褐色土層 粘性弱く、締り強い、径1-2mmのローム粒5%、径1-3mmの炭化物3%、径5mmのロームブロック1%を含む。
 - 1-4 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや弱く、締り極めて強い、径2-4mmのローム粒10%、径10-20mmのロームブロック10%を含む。



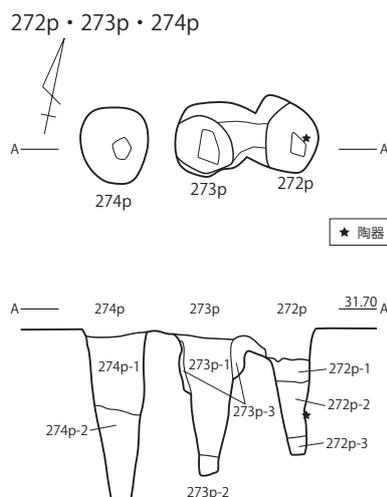
- 252p
- 1 10YR3/3 暗褐色土層 粘性強く、締り強い、径2-3mmのローム粒10%、径10-20mmのロームブロック10%を含む。



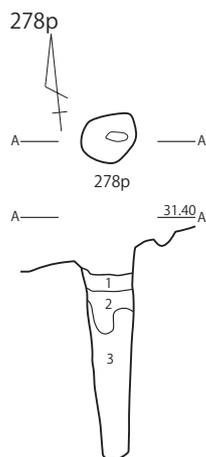
第43図 ピット (9) (1/10・1/40)



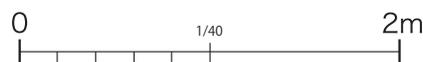
- 256p
- 10YR3/3 暗褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒3%、径5-30mmのロームブロック1%を含む。
 - 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締りやや弱い。径1-2mmのローム粒10%、径10-20mmのロームブロック3%を含む。
- 257p
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性強く、締り強い。径1-3mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック1%を含む。
 - 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土15%、径2-3mmのローム粒10%を含む。
- 258p
- 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締りやや強い。径2-3mmのローム粒5%、黒褐色土5%を含む。
- 259p
- 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い。径5-20mmのロームブロック15%、径2-3mmのローム粒10%を含む。
- 261p
- 10YR4/6 褐色土層 粘性やや強く、締り極めて強い。径5-40mmのロームブロック15%、径2-4mmのローム粒10%、黒褐色土3%を含む。
 - 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締りやや弱い。径2-3mmのローム粒5%を含む。
 - 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り極めて強い。径10-20mmのロームブロック15%、径3-4mmのローム粒10%、黒褐色土5%を含む。



- 272p
- 10YR4/6 褐色土層 粘性弱く、締り弱い。径10-30mmのロームブロック15%、黒褐色土15%、径2-3mmのローム粒10%を含む。
 - 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い。径5-10mmのロームブロック5%、径1-3mmのローム粒3%を含む。
 - 10YR4/6 褐色土層 粘性やや弱く、締りやや弱い。径2-3mmのローム粒5%、径5-10mmのロームブロック3%を含む。
- 273p
- 10YR2/2 黒褐色土層 粘性弱く、締りやや強い。径1mm以下のローム粒3%、径5mmのロームブロック1%を含む。
 - 10YR3/4 暗褐色土層 粘性強く、締り弱い。径5mmのロームブロック5%を含む。
 - 10YR4/6 褐色土層 粘性やや弱く、締り強い。黒褐色土10%、径1-2mmのローム粒5%を含む。
- 274p
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性やや強く、締り強い。径5-20mmのロームブロック25%、径3-4mmのローム粒15%を含む。
 - 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや強く、締りやや強い。径3-4mmのローム粒10%、径5-10mmのロームブロック10%を含む。



- 278p
- 10YR2/3 黒褐色土層 粘性弱く、締り強い。径1mm以下のローム粒3%、径5-10mmのロームブロック%を含む。
 - 10YR3/4 暗褐色土層 粘性やや弱く、締りやや強い。径1-2mmのローム粒15%、径5mmのロームブロック10%を含む。
 - 10YR4/6 褐色土層 粘性強く、締り強い。黒褐色土3%を含む。IV層よりわずかに柔いローム層。



第44図 ピット (10) (1/40)

第4表 遺構観察表

遺構番号	種別	調査区	位置	平面形	上端 (m) 長径×短径	下端 (m) 長径×短径	深さ (m)	主軸方向	確認高 (m)	確認面	時代	備考	挿図	写真
1	井戸	F-2	C-34・35	不整形	(1.44) × 1.22	(0.93 × 0.85)	(2.70)	N9° W	30.20	2面	近世以降	大谷石の枠遺存	31	13
2	土坑	F-2	B・C-34	ほぼ正方形	1.39 × 1.32	1.30 × 1.21	1.24	N6° E	32.00	2面	近代	北壁に凹部(足かけ?)	17	8
3	レンガ柵	F-2	B・C-33・34	不整形	(2.01) × 1.08	1.68 × 0.67	0.38	N9° E	32.21	2面	近代	型枠なして構築?	32	13
4	建物基礎?	F-2	E-33	不整形楕円形	0.45 × (0.38)	0.21 × (0.14)	0.40	N39° E	32.25	1面	不明	花崗岩の礎石?		
5	土坑	F-2	D-34	不整形楕円形	0.90 × 0.62	0.47 × 0.18	0.35	N61° W	32.07	2面	近代			
6	土坑	F-2	D-34・35	細長長方形	1.47 × (0.43)	1.22 × (0.38)	0.47	N35° W	32.28	2面	近代以降		17	8
7	植栽痕	F-2	C・D-34	楕円形	1.15 × 1.05	1.03 × 0.99	0.25	N48° E	32.00	2面	不明			
8	土坑	F-2	C-33・34	不整形楕円形	1.07 × 0.70	0.86 × 0.55	0.37	N50° W	32.16	2面	近代以降		17	8
9	土坑	F-2	C-32	円形	1.35 × (1.20)	1.02 × 0.85	0.26	N89° W	31.98	2面	近代以降	火鉢片多数検出	17	8
10	焼土廃棄土坑	F-2	D・E-33	長方形	2.17 × 1.29	1.75 × 0.88	0.53	N88° W	32.25	1面	近代	壁面でP5検出	17	8
11	畝間溝	F-2	C・D-33・34	細長長方形	4.37 × 0.31	4.12 × 0.17	0.23	N77° W	34.00	1面	近世以降	計測値は最大の溝		13
13	土坑	F-2	D-33	細長長方形	0.82 × 0.45	0.63 × 0.24	0.14	N88° W	32.20	1面	不明			
14	土坑	F-2	B・C-33	円形	0.79 × 0.77	0.47 × 0.45	0.34	N52° W	32.13	2面	近代以降	常滑の甕が斜位で検出	18	8
15	畝間溝	F-2	C-34	細長長方形	1.84 × 0.34	1.52 × 0.14	0.08	N80° W	32.10	2面	近世以降	2面上の畝跡		
16	土坑	F-2	D-35	不整形楕円形	(0.65) × 0.51	0.43 × 0.21	0.17	N71° W	32.04	2面	不明			
17	焼土廃棄土坑	F-2	C・D-32・33	不整形長方形	2.57 × 1.49	1.68 × 0.76	0.82	N79° W	31.99	2面	近代		18	8
18	溝状遺構	F-1・2	D・E-29-34	細長長方形	(21.9) × 1.15	(21.9) × 0.70	0.20	N77° W	31.94	2面	近世以降	F-1・2区を東西に貫く	14	5~7
19	土坑	F-2	D-34	不整形	0.61 × 0.49	0.19 × 0.16	0.35	N28° E	31.99	2面	近世以降			
20	土坑	F-2	D-33	不整形楕円形	1.18 × 0.79	0.51 × 0.50	0.29	N21° W	31.87	2面	近代以降			
21	土坑	F-2	C-32	不整形長方形	0.58 × 0.43	0.09 × 0.05	0.32	N65° E	31.86	2面	近代以降			
22	溝状遺構	F-2	E-33	細長長方形	0.23 × (0.14)	(0.14) × 0.08	0.08	N28° E	32.10	2面	不明			
23	溝状遺構	F-2	D・E-33	細長長方形	(0.47) × 0.19	(0.47) × 0.12	0.15	N11° E	32.08	2面	不明			
25	畝間溝	F-2	C-33・34	細長長方形	(0.97) × 0.28	(0.86) × 0.12	0.12	N76° W	32.16	2面	近世以降			
26	畝間溝	F-2	C-33	細長長方形	(1.15) × (0.24)	(0.38) × (0.08)	0.26	N75° W	32.16	2面	近世以降			
27	畝間溝	F-2	C-33	細長長方形	(1.77) × 0.25	(1.73) × 0.24	0.11	N75° W	32.12	2面	近世以降			
28	畝間溝	F-2	C-33	細長長方形	1.09 × 0.32	0.45 × 0.15	0.18	N86° W	32.12	2面	近世以降			
29	土坑	F-2	C-33	楕円形	0.30 × (0.22)	0.23 × (0.21)	0.24	N8° E	32.09	2面	近世以降			
30	コンクリートブロック柵	D-4	V-7	長方形	1.84 × 0.85	1.64 × 0.64	0.49	N7° E	30.87	2面	近代以降			
31	土坑	F-1	E-30	楕円形	0.83 × (0.67)	0.62 × (0.56)	0.38	N10° E	31.80	2面	近代		18	9
32	焼土廃棄土坑	F-1	E-31	長方形	1.85 × 1.48	1.69 × 1.35	0.68	N77° W	31.88	2面	近代	底面にビット状の凹部	18	9
33	焼土廃棄土坑	F-1	F-31	不整形楕円形	2.34 × 1.31	1.43 × 0.72	0.80	N76° W	32.90	2面	近代		19	9
34	焼土廃棄土坑	F-1	E-31・32	長方形	1.62 × 1.51	1.54 × 1.22	0.87	N4° E	31.00	2面	近代以降	底面にビット状の凹部	19	9
35	植栽痕	D-5	U・V-9・10	楕円形?	3.00 × (1.84)	2.70 × (1.73)	0.48	N76° W	31.67	2面	不明	36号遺構→35号遺構	27	12
36	溝状遺構?	D-5	U-10	長方形?	(0.84) × (0.82)	(0.82) × (0.55)	0.37	N77° W	31.57	2面	不明		15	6
37	畝間溝	F-1	D-30	細長長方形	(0.89) × 0.24	(0.79) × 0.11	0.24	N83° W	31.98	1面	近世以降			
38	畝間溝	F-1	D-31	細長長方形	1.21 × 0.19	1.10 × 0.11	0.21	N82° W	32.00	1面	近世以降			
39	畝間溝	F-1	D-31	細長長方形	0.94 × 0.30	0.88 × 0.18	0.10	N74° W	32.00	1面	近世以降			
40	廃棄土坑	F-1	D-32	不整形長方形	1.88 × 1.35	1.01 × 0.90	0.88	N10° E	31.89	2面	近代以降	底面に幅広の溝状の凹部	19	9
41	畝間溝	F-1	D-31	細長長方形	(2.00) × 0.24	(2.00) × 0.10	0.21	N80° W	32.00	1面	近世以降			
42	畝間溝	F-1	D-31	細長長方形	0.54 × 0.25	0.41 × 0.12	0.10	N81° W	32.01	1面	近世以降			
43	畝間溝	F-1	D-31	細長長方形	1.17 × 0.29	1.02 × 0.15	0.07	N79° W	32.03	1面	近世以降			
44	土坑	F-1	E-31	不整形	1.00 × 0.70	0.81 × 0.41	0.33	N79° W	31.92	2面	近代		19	9
45	溝状遺構	F-1	D・E-30-32	細長長方形	(10.50) × 0.78	(10.50) × 0.48	0.20	N74° W	31.97	2面	近世以降	18号を切る	14	6・7
46	土坑	F-1	E-31	不整形楕円形	(0.79) × 0.49	(0.65) × 0.17	0.17	N73° W	31.85	2面	不明			
47	土坑	F-1	E-30	長方形	0.78 × (0.36)	0.68 × (0.26)	0.66	N17° E	31.94	2面	不明			
48	畝間溝	F-1	F-31	細長長方形	0.91 × 0.30	0.88 × 0.16	0.05	N75° W	32.00	2面	近代以降			
49	土坑	F-1	E-32	長方形	1.19 × 0.88	1.07 × 0.67	0.54	N12° E	31.95	2面	近代以降			
50	畝間溝	F-1	F-31	細長長方形	(1.30) × 0.36	(1.08) × 0.16	0.1	N74° W	32.00	2面	近世以降			
51	土坑	F-1	E-32	楕円形	(0.60) × 0.59	0.14 × (0.12)	0.40	N36° E	31.95	2面	近代以降	F-1区北壁セクション		
52	廃棄土坑	F-1	C-31	方形	1.88 × 1.24	1.65 × 0.86	0.80	N82° W	31.92	2面	近代	底面にビット状の凹部	20	9
53	廃棄土坑	F-1	C・D-31	方形	1.13 × 0.80	1.14 × 0.64	0.59	N23° E	32.01	2面	近代	底面に溝状の凹部	20	9
54	廃棄土坑	F-1	C・D-31	方形	1.44 × (0.78)	1.08 × 0.58	0.90	N86° E	31.94	2面	近代以降		20	10
55	廃棄土坑	F-1	D-31	ほぼ方形	1.18 × (0.64)	0.97 × (0.45)	0.42	N84° W	31.94	2面	近代以降		20	10
56	廃棄土坑	F-1	D-31	ほぼ方形	(1.12) × (0.68)	(1.04) × (0.52)	0.27	N72° W	32.90	2面	近代以降		20	10
57	植栽痕	F-1	E-32	不整形	1.50 × (0.73)	1.07 × (0.52)	0.25	N12° E	31.99	2面	不明	縄文土器出土	27	12
58	土坑	F-1	E-32	不整形	(0.31) × 0.28	(0.22) × 0.10	0.11	N88° E	31.98	2面	不明	縄文土器出土		
59	井戸	F-1	E-32	隅丸方形	1.54 × 1.38	1.10 × 1.08	(5.38)	N85° W	31.94	2面	近代以降		31	13
60	溝状遺構	F-1	E-32	細長長方形	0.53 × 0.24	0.36 × 0.07	0.09	N1° W	31.95	2面	不明	縄文土器出土		
61	畝間溝	F-1	D-30	不整形	(0.76) × 0.15	0.52 × 0.06	0.08	N76° W	31.92	2面	近世以降			
62	畝間溝	F-1	D-30	細長長方形	0.80 × 0.21	0.52 × 0.07	0.08	N78° W	32.01	2面	近世以降			
63	畝間溝	F-1	D-30	不整形	0.41 × 0.36	0.26 × 0.17	0.18	N88° W	32.01	2面	近世以降	石鏝出土		
64	植栽痕	D-1	V・W-4	不整形楕円形	2.80 × 2.50	2.09 × 1.88	0.57	N40° E	31.45	1面	幕末~近代		28	12
65	植栽痕	D-1	W-2・3	不整形楕円形	3.51 × 3.45	3.09 × 2.95	0.45	N15° E	31.21	2面	近世		29・30	12
66	土坑	D-1	V-4	不明	-	-	0.23	-	31.46	1面	近代	64・82号・P116を切る		
67	土坑	D-1	W-3・4	不整形楕円形	0.72 × 0.38	0.36 × 0.24	0.34	N9° W	31.33	2面	不明			
68	植栽痕	D-1	W-4	不整形楕円形	1.68 × 1.64	1.57 × 1.50	0.29	N27° W	31.44	1面	近代			
69	礎石?	D-1	W-2	楕円形	0.55 × 0.31	0.30 × 0.17	0.15	N9° E	31.24	2面	不明			
70	礎石?	D-1	X-3	-	-	-	-	-	31.15	2面	不明			
71	礎石?	D-1	W-4	不整形楕円形	(0.77) × 0.41	0.52 × 0.19	0.31	N57° E	31.60	2面	不明			
72	植栽痕	D-1	V・W-4	楕円形	1.68 × (1.11)	1.40 × 1.06	0.35	N50° E	31.44	1面	近世	64号と重複	31	13
73	植栽痕	D-1	V・W-3・4	不整形楕円形	1.76 × (0.78)	1.66 × (0.70)	0.24	N54° W	31.46	1面	不明	64号と重複	28	12
74	溝状遺構	D-1	W・X-4	細長長方形	(3.95) × 0.66	(3.66) × 0.58	0.16	N8° E	31.46	2面	不明		15	7
75	植栽痕	D-1	W-3・4	不整形	2.33 × (1.38)	2.29 × (1.27)	0.11	N7° W	31.31	2面	近世?			

IV 遺構と遺物

遺構 番号	磁器		陶器		土器		瓦		ガラス製品		骨角製品 点数/重量(g)	骨 点数/重量(g)	石器・石製品		木製品 点/個数	金属製品		レンガ 点数/重量(g)	電気製品 点数/重量(g)	合計		掲載 遺物			
	点数/重量(g)	重量(g)	点数/重量(g)	重量(g)	点数/重量(g)	重量(g)	点数/重量(g)	重量(g)	点数/重量(g)	重量(g)			点数/重量(g)	重量(g)		重量(g)	重量(g)			重量(g)	重量(g)		重量(g)	重量(g)	重量(g)
1	1	30.9	1	7.0	2	75.9	13	1300.0					1	19.7							18	1433.5			
2	46	1249.9	6	784.9	40	6142.6	5	450.0	181	10393.6						35	1053.2				313	20074.2	○		
3	7	166.6	14	1339.1												2	85.7	7	14830.0			30	16421.4	○	
4																						0	0.0		
5	1	92.5																				1	92.5	○	
6	24	355.7	14	1540.0	6	323.4	6	4920.0											1	176.0		51	7315.1	○	
7																						0	0.0		
8					1	137.1	1	70.0								2	319.2					4	526.3	○	
9	1	30.6	14	2642.0	113	11619.5			1	49.6						7	231.6					136	14573.3	○	
10	159	3280.5	83	4957.8	97	9675.3	1898	189540.0	129	2283.3				4	1600.9				3	35.0	2397	211798.2	○		
11																						0	0.0		
13																						0	0.0		
14			132	32124.0																		132	32124.0	○	
15																						0	0.0		
16																						0	0.0		
17	38	787.2	17	1045.1	10	400.0	2264	193400.0	33	301.0			1	295.3		19	637.6		1	24.7	2383	196890.9	○		
18																						0	0.0		
19																						0	0.0		
20			68	5938.6	1	64.1	16	810.0	1	11.3						1	110.0					87	6934.0		
21							62	400.0														62	400.0		
22																						0	0.0		
23																						0	0.0		
25																						0	0.0		
26																						0	0.0		
27																						0	0.0		
28																						0	0.0		
29							2	170.0														2	170.0		
30																						0	0.0		
31	11	261.5	11	1209.4	3	127.4	175	23820.0	2	225.0									2	96.2	204	25739.5	○		
32	324	10883.0	212	13080.2	37	856.7	1741	271985.0	81	1191.6	3	36.2	26	58.7	9	266.0	49	1219.0		27	634.2	2509	300210.6	○	
33	86	2420.9	10	782.6	2	170.2	1727	252200.0	21	174.9						2	680.0	21	163.7			1869	256592.3	○	
34	140	2427.7	175	14269.0	12	2598.2	3951	473450.0	59	1267.6						2	87.7	18	407.3		4	202.0	4361	494709.5	○
35																						0	0.0		
36																						0	0.0		
37																						0	0.0		
38																						0	0.0		
39																						0	0.0		
40	191	2536.6	154	8394.6	72	6818.4	2118	268210.0	60	968.0				8	5265.8	36	1002.6	1	2150.0	30	482.5	2670	295828.5	○	
41																						0	0.0		
42																						0	0.0		
43																						0	0.0		
44	4	28.4	2	250.3	11	358.1	26	4100.0											1	8.0		44	4744.8	○	
45																						0	0.0		
46																						0	0.0		
47			2	69.1	2	20.6	15	1150.0						1	37.6							20	1277.3		
48																						0	0.0		
49	2	76.0	3	121.6	2	134.2	8	900.0						1	48.0							16	1279.8		
50																						0	0.0		
51							2	200.0														2	200.0		
52	50	1721.5	51	8052.5	46	1782.2	4271	467540.0	43	1178.0			3	2.3	1	2390.0	182	3132.5			4685	485799.0	○		
53	12	406.3	2	23.7	6	480.0	626	56700.0	3	24.3	1	4.5				5	96.2					655	57735.0	○	
54	8	213.0	5	166.1	6	224.7	318	30720.0	3	39.8						7	372.2					347	31735.8	○	
55	18	159.6	4	169.5	2	10.9	10	1000.0	14	456.5						9	283.5					57	2080.0		
56																						0	0.0		
57					3	26.6																3	26.6	○	
58					1	2.3																1	2.3		
59																						0	0.0		
60					1	20.6																1	20.6	○	
61																						0	0.0		
62																						0	0.0		
63														1	1.1							1	1.1	○	
64	10	81.9	27	642.1	13	101.3	4	82.3	9	93.3						13	104.6					76	1105.5	○	
65	9	114.8	28	301.7	7	19.8	2	154.0	1	5.3						9	未計測					56	595.6	○	
66			6	31.8	2	15.6																8	47.4		
67																						0	0.0		
68	2	7.7	2	4.7	1	16.9																5	29.3		
69																						0	0.0		
70																						0	0.0		
71																						0	0.0		
72	2	14.4	1	1.8	2	3.6						1	未計測									6	19.8		
73	1	7.1			1	10.3																2	17.4		
74					2	10.3																2	10.3		
75	2	34.9					1	43.9														3	78.8		

遺構番号	種別	調査区	位置	平面形	上端 (m) 長径×短径	下端 (m) 長径×短径	深さ (m)	主軸方向	確認高 (m)	確認面	時代	備考	挿図	写真
76	植栽痕	D-1	W-3・4	不整楕円形	(1.40) × 0.95	(1.27) × 0.67	0.22	N64° E	31.25	2面	不明			
77	溝状遺構	D-1	W-2・3	細長長方形	(2.78) × 0.47	(2.58) × 0.25	0.32	N84° E	31.18	2面	近世	19世紀～ N19° W 屈曲	15	7
78	溝状遺構	D-1	W・X-2	細長長方形	(1.17) × 0.80	(1.15) × 0.69	0.09	N87° E	31.16	2面	近世		15	7
79	植栽痕	D-1	W-2	不整楕円形	1.63 × 1.37	1.55 × 1.03	0.60	N7° W	31.01	2面	近世	～ 18世紀後半	21	10
80	土坑	D-1	V・W-2	不整形	(3.58) × (1.50)	(3.25) × (0.95)	0.91	N2° W	31.38	2面	近世	～ 17世紀後半	21	10
81	土坑	D-1	V-4	楕円形	1.01 × (0.47)	0.80 × (0.38)	0.12	N46° E	31.40	2面	近世	～ 18世紀後半		
82	土坑	D-1	V-4	不整長方形	(1.16) × (0.50)	(1.06) × (0.29)	0.11	N15° E	31.38	2面	不明			
83	植栽痕	D-1	W-4	不整楕円形	1.68 × (0.82)	1.60 × (0.79)	0.11	N7° W	31.35	1面	近世	18世紀代		
84	溝状遺構	D-1	W-3	細長長方形	(1.52) × (0.66)	(1.52) × (0.58)	0.08	N11° W	31.29	2面	不明		8	
85	土坑	D-1	W-3・4	不整楕円形	0.77 × (0.67)	0.31 × 0.14	0.20	N48° W	31.45	2面	不明			
86	土坑	D-1	V-4	不整楕円形	(0.47) × (0.44)	(0.32) × (0.22)	0.17	N74° W	31.40	2面	不明			
87	溝状遺構	D-1	W-4	長方形?	(0.70) × (0.45)	(0.52) × (0.28)	0.12	N81° E	31.37	2面	近世	～ 18世紀前半		
88	溝状遺構	D-1	W-4	細長長方形	(2.93) × 0.74	(2.93) × 0.32	0.20	N18° W	31.42	2面	近世	18世紀代	16	
89	土坑	D-1	W-3	不整形	(0.70) × 0.57	0.22 × 0.20	0.34	N86° E	31.06	2面	不明	覆土の観察から古代以前か		
90	廃棄土坑	E-2	O・P-14	不整形	(2.05) × 1.85	(1.93) × 1.80	0.14	N61° W	31.70	1面	近世?		22	10
91	土坑	D-1	W-4	楕円形?	1.12 × (0.25)	1.10 × (0.15)	0.20	-	31.40	2面	不明			
94	土坑	E-2	P-14	楕円形	(0.92) × 0.70	(0.70) × 0.53	0.25	N9° W	31.65	1面	不明		22	10
95	溝状遺構	E-2	P-13・14	細長長方形	(1.69) × 0.27	(1.69) × 0.13	0.07	N79° W	31.70	1面	不明			
96	土坑	E-2	Q-14	不整楕円形	1.12 × 0.68	1.02 × 0.52	0.09	N21° W	31.64	1面	不明			
97	土坑	E-2	P-14	長方形	2.00 × 0.80	1.96 × 0.67	0.28	N11° E	31.72	1面	近世?		22	10
98	土坑	D-2	V-3	隅丸方形?	0.96 × 0.61	0.93 × 0.38	0.95	N7° E	31.35	2面	近世以降	動物骨多数出土	22	10
99	土坑	E-2	P-13	円形?	1.65 × 0.35	1.30 × 0.08	0.34	-	31.64	2面	不明		23	10
100	土坑	D-2	V・W-2	不整形	(0.98) × 0.75	(0.70) × 0.38	0.24	N74° E	31.14	2面	不明			
101	土坑	D-2	V-2	円形?	0.88 × 0.30	0.72 × 0.27	0.25	N78° W	30.74	2面	不明			
102	土坑	D-2	V-3	不整形	0.88 × 0.84	(0.42) × 0.40	0.38	N10° E	31.21	2面	近世		23	11
103	植栽痕	D-2	V・W-2・3	不整楕円形	(1.81) × (1.77)	(1.62) × (1.30)	0.50	N42° W	31.27	2面	不明		29・30	12
104	土坑	E-2	R-15	不整長方形	2.63 × 1.95	1.01 × 0.86	0.52	N15° E	31.11	2面	近代		23	11
105	土坑	E-2	R-14・15	不整長方形	4.09 × 2.82	3.67 × 2.62	0.48	N83° W	31.50	2面	近代		24	11
106	植栽痕	D-2	V・W-2・3	不整形	1.80 × (1.20)	1.32 × (1.01)	0.39	N84° W	31.20	2面	不明		29・30	13
107	土坑	E-2	P-14	楕円形	0.61 × 0.42	0.48 × 0.32	0.10	N24° E	31.74	1面	不明		22	
108	土坑	E-2	P-14	長方形	0.97 × 0.68	0.71 × 0.59	0.36	N9° E	31.58	2面	近世?	90→94・108号遺構か	22	10
109	土坑	E-2	O-13・14	円形?	1.30 × (0.17)	0.80 × (0.07)	0.57	-	31.66	2面	不明		23	11
110	土坑	E-1b	R-13・14	不整長方形	2.45 × 1.29	1.83 × 0.90	0.39	N81° E	31.51	2面	近世	19世紀～幕末	24	11
111	土坑	E-2	P-13	長方形?	0.89 × (0.30)	0.76 × (0.30)	0.25	N80° W	31.67	2面	不明			
112	土坑	E-2	P-13・14	不整長方形	1.26 × 0.90	0.98 × 0.58	0.25	N10° E	31.66	2面	不明			
113	土坑	E-2	P-14	不整長方形	(1.90) × 1.03	(1.76) × 0.86	0.39	N7° E	31.65	2面	近世	19世紀～幕末	24	11
114	溝状遺構	E-2	O・P-14	細長長方形	(2.89) × (0.62)	(2.71) × (0.57)	0.17	N9° E	31.64	2面	近世?		16	7
115	溝状遺構	E-2	P-14・15	細長長方形	3.21 × (0.55)	3.03 × (0.31)	0.05	N7° E	31.68	2面	不明		16	7
116	土坑	E-2	P・Q-14	長方形	(0.92) × 0.72	(0.84) × 0.53	0.12	N2° W	31.65	2面	不明			
117	土坑	E-2	P-14	不整長方形	(0.75) × 0.58	(0.70) × 0.43	0.25	N83° W	31.61	2面	不明		25	11
119	土坑	E-2	P-13・14	長方形	(0.90) × 0.45	(0.83) × 0.36	0.25	N82° W	31.60	2面	不明		25	11
120	土坑	E-2	Q-14・15	不整形	2.55 × 1.29	1.26 × 1.18	0.57	N79° E	31.58	2面	不明			
121	土坑	E-2	O・P-13・14	不整形	3.17 × 2.60	3.07 × 2.41	0.19	N63° W	31.61	2面	近世以降	板碑片出土	25	11
122	土坑	E-2	R-15	方形	0.57 × 0.55	0.50 × 0.49	0.34	N12° E	31.71	2面	近世	19世紀～		
123	土坑	E-2	Q・R-16	不整楕円形	3.57 × 1.11	3.21 × 0.96	0.55	N23° W	31.76	2面	近世			
124	植栽痕	E-2	Q-16・17	不整楕円形	3.47 × (2.56)	3.14 × (2.39)	0.65	N87° W	31.55	2面	不明			
125	土坑	E-1a	S-10	不整楕円形	(2.28) × (1.89)	(1.82) × (1.54)	0.47	N20° W	31.35	2面	近世～近代		25	12
126	土坑	E-1a	Q-10・11	不整長方形	0.82 × (0.60)	(0.46) × 0.39	0.78	N76° W	31.60	2面	近代		26	12
127	コンクリート構造物	E-1a	Q-R-10・11	方形	(7.58) × (7.15)	6.45 × (5.65)	0.76	N10° E	31.30	2面	近代		33・34	14
128	土坑	E-1a	R-9・10	不整楕円形	(1.38) × (1.38)	(1.15) × 0.98	0.29	N89° W	31.53	2面	近世		26	12
129	土坑	E-1a	Q・R-9・10	不整形	(0.95) × 0.87	0.51 × (0.37)	0.30	N76° E	31.53	2面	近世	幕末		
130	植栽痕	E-1a	Q-10	不整形	1.09 × (1.04)	(0.95) × 0.95	0.35	N11° W	31.47	2面	近世			
131	井戸	E-1b	Q-11	楕円形	0.91 × 0.82	(0.88 × 0.73)	(1.50)	N90° W	30.40	2面	近世		32	13
132	土坑	E-1a	Q-10	不整楕円形	0.53 × 0.40	0.35 × 0.32	0.16	N66° E	31.42	2面	近代?			
133	溝状遺構	E-1a	R・S-10	細長長方形	(1.42) × 0.27	(1.38) × 0.26	0.06	N6° E	31.46	2面	近代			
135	植栽痕	E-1b	R-13	円形	2.36 × (1.44)	2.21 × (1.37)	0.27	N12° E	31.48	2面	不明			
136	畝間溝	E-1b	Q-13	細長長方形	1.44 × 0.16	1.34 × 0.14	0.02	N83° W	31.56	2面	近世	19世紀～		
137	畝間溝	E-1b	Q-13	細長長方形	1.74 × 0.22	1.68 × 0.14	0.05	N84° W	31.58	2面	近世以降			
138	畝間溝	E-1b	Q-13	細長長方形	(0.83) × 0.19	(0.76) × 0.12	0.04	N84° W	31.58	2面	近世以降			
139	土坑	E-1b	Q-12・13	長方形	1.73 × 0.95	1.02 × 0.71	0.88	N88° E	31.60	2面	近世?		26	12
141	畝間溝	E-1b	Q-13	細長長方形	0.85 × 0.26	0.77 × 0.12	0.10	N84° W	31.58	2面	近世以降			
142	畝間溝	E-1b	Q-13	ほぼ円形	0.19 × 0.18	0.12 × 0.08	0.08	N80° E	31.60	2面	近世以降			
143	井戸	E-1a	Q-10	不整楕円形	0.98 × 0.79	(0.94 × 0.78)	(2.50)	N35° E	31.46	2面	近世		32	13
144	土坑	E-2	O・P-14	不明	-	-	0.22	-	31.56	2面	近世?	90号→108号→144号	22	10

IV 遺構と遺物

遺構 番号	磁器		陶器		土器		瓦		ガラス製品		骨角製品		骨		石器・石製品		漆器		金属製品		レンガ		電気製品		合計		掲載 遺物
	点数 / 重量 (g)																										
76			1	0.9																					1	0.9	
77	3	14.0	4	52.1	2	15.0																			9	81.1	
78			1	2.5	1	16.8																			2	19.3	
79	10	32.4	51	448.1	30	217.0	9	192.2										9	20.3						109	910.0	○
80	5	37.4	23	127.1	15	40.2	3	82.8										14	21.7						60	309.2	
81	1	1.8	1	4.6																					2	6.4	
82			4	27.1	2	15.6																			6	42.7	
83	2	15.9	9	39.0	6	6.6												3	4.9						20	66.4	
84																									0	0.0	
85																									0	0.0	
86																									0	0.0	
87	1	7.2	6	52.9	1	1.0																			8	61.1	
88	2	9.1	12	121.5																					14	130.6	
89																									0	0.0	
90	3	11.4			1	31.1	1	50.0	2	26.2															7	118.7	
91																									0	0.0	
94			2	60.5														1	未計測						3	60.5	
95																									0	0.0	
96			2	5.3																					2	5.3	
97	2	16.1	3	14.3	1	1.2																			6	31.6	
98	2	85.1			2	27.5	1	57.8					タッパー2個												5	170.4	○
99																									0	0.0	
100																									0	0.0	
101																									0	0.0	
102			1	81.2																					1	81.2	○
103																									0	0.0	
104	4	34.7	15	750.1	21	471.7	111	7970.0										19	534.6						170	9761.1	
105	3	501.5	187	30792.1	3	88.4	5	1120.0	9	449.8					1	3440.0					1	1245.0			209	37636.8	○
106			2	11.0																					2	11.0	
107																									0	0.0	
108	1	1.2	5	84.5														1	1.8						7	87.5	
109	1	0.5																							1	0.5	
110	17	134.2	27	205.8	18	19.3	28	1290.0	2	5.8								14	173.9						106	1829.0	○
111			1	2.6														1	0.8						2	3.4	
112			1	11.3	1	6.2	4	200.0																	6	217.5	
113	1	2.3	7	51.0	2	3.3												1	2.0						11	58.6	
114	2	2.2	3	8.6	1	6.1																			6	16.9	
115																									0	0.0	
116																									0	0.0	
117			1	3.4	1	1.6												2	7.4						4	12.4	
119					1	3.2																			1	3.2	
120																									0	0.0	
121	13	164.1	20	302.4	9	77.0	1	12.0										4	11.7						47	567.2	○
122	1	31.7																1	13.5						2	45.2	
123	2	28.8	7	90.1	12	161.8																			21	280.7	
124			6	148.7																					58	1040.0	
125	52	393.0	47	564.5	16	130.7	84	3860.0	7	43.4					11	283.9		83	338.3						300	5613.8	○
126	50	868.4	21	4375.3	73	1344.7	1	480.0	18	931.6				1	1.4			4	154.5						168	8155.9	○
127	10	81.8	9	251.0			3	1880.0	8	553.1								4	439.0						34	3204.9	○
128	3	6.2	4	20.8	4	16.2																			11	43.2	
129	2	26.3	3	9.7	1	1.8												1	0.7						7	38.5	
130	2	5.0	5	94.2																					7	99.2	
131			2	5.1																					2	5.1	
132	1	3.0	3	20.5																					4	23.5	
133	1	5.0																							1	5.0	
135			4	9.6	1	2.3																			5	11.9	
136																									0	0.0	
137																									0	0.0	
138																									0	0.0	
139	9	159.0	8	197.1	3	59.8	8	200.0	8	38.6								72	228.2			1	54.3	109	937.0	○	
141																									0	0.0	
142																									0	0.0	
143	1	3.3	1	65.8																					2	69.1	
144	1	3.3			1	17.3																			2	20.6	

第5表 ピット観察表

遺構番号	調査区	位置	平面形	上端 (m) 長径×短径	下端 (m) 長径×短径	深さ (m)	主軸方向	確認高 (m)	確認面	時代	備考	挿図	写真
1p	F-2	C-33	不整楕円形	0.44 × 0.37	0.14 × 0.13	0.48	N80° W	32.04	2面	不明	攪乱底面で検出		
2p	F-2	D-33	楕円形	0.32 × 0.27	0.19 × 0.18	0.43	N85° W	31.91	2面	不明			
3p	F-2	D-33	楕円形	0.27 × 0.24	0.12 × 0.10	0.45	-	31.91	2面	不明			
4p	F-2	D-34	不整楕円形	0.33 × 0.26	0.13 × 0.10	0.34	N64° W	31.82	2面	近世以降			
5p	F-2	D-33	楕円形	0.38 × 0.34	0.18 × 0.12	0.56	N70° W	31.95	2面	近世以降			
9p	F-2	D-33	不整楕円形	0.48 × 0.33	0.19 × 0.16	0.59	N17° W	31.93	1面	近世以降			35
10p	F-2	D-33	楕円形	0.33 × 0.30	0.10 × 0.09	0.46	-	31.82	1面	近世以降		35	
11p	F-2	C-34	楕円形?	(0.32) × (0.30)	- × -	0.24	-	32.16	2面	近世以降			
12p	F-2	D-33	不整楕円形	0.52 × 0.51	0.11 × 0.07	0.53	N63° W	31.90	2面	近世以降		35	15
13p	F-2	D-33	不整形	0.53 × 0.33	0.15 × 0.08	0.41	N30° E	31.88	2面	近世以降		35	
14p	F-2	D-33	不整楕円形	0.40 × 0.35	0.18 × 0.14	0.74	N48° E	31.82	2面	不明			
15p	F-2	D-33	不整長方形	0.40 × (0.32)	0.06 × 0.04	0.54	N68° W	31.92	2面	不明			
16p	F-2	D-34	楕円形	0.31 × 0.24	0.17 × 0.13	0.33	N74° E	31.93	2面	不明			
17p	F-2	D-34	不整楕円形	0.36 × 0.28	0.15 × 0.12	0.39	-	31.93	2面	近世以降			
18p	F-2	D-33	円形	0.38 × 0.38	0.16 × 0.16	0.67	-	31.88	2面	近世以降			
19p	F-2	D・E-32・33	不整形	0.54 × 0.47	0.24 × 0.12	0.49	N23° W	31.90	2面	不明			
20p	F-2	D-33	楕円形	0.39 × 0.25	0.14 × 0.12	0.55	N42° W	31.89	2面	近世以降		35	15
21p	F-2	D-33	楕円形	0.27 × 0.24	0.14 × 0.11	0.49	-	31.89	2面	近世以降		35	15
22p	F-2	D-33	不整楕円形	0.31 × 0.31	0.14 × 0.09	0.54	-	31.94	2面	不明		35	15
23p	F-2	D-33	楕円形	0.26 × 0.21	0.09 × 0.06	0.71	N84° W	31.91	1面	不明		35	15
24p	F-2	D-33	楕円形	0.29 × 0.28	0.09 × 0.09	0.45	-	31.98	2面	不明		35	15
25p	F-2	D-33	不整楕円形	0.42 × (0.29)	(0.15) × 0.11	0.51	-	31.90	2面	不明		35	15
26p	F-2	D-33	楕円形	0.25 × 0.20	0.13 × 0.11	0.41	N2° E	31.90	2面	不明		35	15
27p	F-2	D-33	楕円形	0.35 × 0.33	0.15 × 0.05	0.42	N67° W	31.98	2面	近世以降		35	15
28p	F-2	D-32・33	不整楕円形	0.36 × 0.24	0.13 × 0.08	0.75	N1° E	31.86	2面	不明			
29p	F-2	D-32	楕円形	0.26 × 0.20	0.10 × 0.06	0.50	N72° E	31.86	2面	不明			
30p	F-2	D-33	不整楕円形	0.36 × 0.25	0.15 × 0.09	0.75	-	31.92	2面	近世以降		35	15
31p	D-5	U・V-9	不整楕円形	0.61 × (0.54)	0.43 × 0.36	0.34	-	31.70	1面	近世以降		35	15
32p	F-1	E-31	楕円形?	(0.40) × (0.17)	0.09 × 0.08	0.32	-	31.79	2面	不明			
33p	F-1	D-31	楕円形	0.38 × 0.30	0.17 × 0.16	0.52	N43° E	31.96	2面	近世以降			
34p	F-1	D-31	楕円形	0.32 × 0.24	0.16 × 0.10	0.32	-	31.74	2面	不明			
35p	D-5	V-9	不整楕円形	0.55 × 0.36	0.39 × 0.19	0.39	N1° W	31.54	2面	不明			
36p	D-5	U-9	楕円形	0.27 × 0.23	0.12 × 0.10	0.15	-	31.53	2面	不明			
37p	F-1	D-31	楕円形	0.54 × 0.40	0.25 × 0.15	0.81	N26° W	31.90	2面	近世以降		35	15
38p	F-1	D-31	不整楕円形	0.46 × 0.38	0.30 × 0.10	0.63	N6° E	32.00	1面	近世以降		35	
39p	F-1	D-31	楕円形	0.36 × (0.34)	0.13 × 0.12	0.31	-	31.92	2面	近世以降		35	15
40p	F-1	D・E-31	楕円形	0.62 × 0.47	0.31 × 0.15	0.97	N65° E	31.89	2面	近世以降		35	15
41p	F-1	D・E-31	不整長方形	0.63 × 0.63	0.15 × 0.10	0.90	-	31.92	2面	近世以降		36	15
43p	F-1	E-30	不整形	0.37 × 0.36	0.11 × 0.08	0.90	-	31.71	2面	近世以降		36	15
44p	F-1	D・E-31・32	不整楕円形	0.52 × 0.36	0.18 × 0.14	1.08	N69° W	31.90	2面	近世以降		36	15
45p	F-1	E-31	不整形	0.40 × (0.34)	0.07 × 0.05	0.49	-	31.85	2面	近世以降			
46p	F-1	E-31	不整形	0.68 × (0.55)	0.36 × 0.16	0.27	-	31.82	2面	近世以降			
47p	F-1	E-31	楕円形	0.27 × 0.24	0.10 × 0.06	0.46	-	31.88	2面	不明			
48p	F-1	E-31	不整楕円形	0.42 × 0.28	0.26 × 0.13	0.51	N46° W	31.90	2面	不明			
49p	F-1	E-31	楕円形	0.28 × 0.27	0.15 × 0.13	0.44	-	31.91	2面	不明			
50p	F-1	E-31	不整楕円形	0.46 × 0.36	0.16 × 0.10	0.55	N80° E	31.87	2面	近世以降		37	15
51p	F-1	E-30・31	不整楕円形	0.68 × 0.46	0.22 × 0.14	0.72	N76° W	31.76	2面	近世以降		37	16
52p	F-1	E-31	不整楕円形	0.48 × 0.35	-	0.41	N84° E	31.82	2面	近世以降		37	
53p	F-1	E-31	楕円形	0.26 × 0.19	0.12 × 0.07	0.77	N73° W	31.76	2面	不明		37	
54p	F-1	E-31	楕円形	0.18 × 0.18	0.11 × 0.10	0.40	N9° E	31.82	2面	近世以降		37	16
55p	F-1	E-30・31	楕円形	0.28 × 0.17	0.12 × 0.10	0.75	N77° W	31.48	2面	近世以降		37	16
56p	F-1	E-31	楕円形	0.30 × 0.24	0.13 × 0.07	0.68	N65° W	31.76	2面	近世以降		37	16
57p	F-1	D・E-30・31	不整楕円形	0.80 × 0.58	0.67 × 0.48	0.13	N64° E	31.90	2面	近世以降		37	16
58p	F-1	E-31	楕円形	0.35 × 0.32	0.18 × 0.12	0.30	-	31.90	2面	近世以降			16
59p	F-1	D-31	楕円形	0.45 × 0.42	0.27 × 0.26	0.09	-	31.91	2面	近世以降		36	16
60p	F-1	E-31	不整楕円形	0.32 × 0.32	0.13 × 0.12	0.63	-	31.90	2面	近世以降			
61p	F-1	F-31	円形?	(0.39) × (0.13)	(0.20) × (0.09)	0.49	-	32.02	2面	近世以降	F-1区北壁セクション		
62p	F-1	F-31	楕円形?	(0.44) × (0.18)	0.15 × 0.11	0.19	-	31.95	2面	近世以降	F-1区北壁セクション		
63p	F-1	E-31	楕円形	0.25 × 0.22	0.08 × 0.05	0.53	-	31.85	2面	不明			
64p	F-1	E-31	不整形	0.40 × 0.29	0.16 × 0.15	0.41	-	31.90	2面	近世以降			
65p	F-1	E-31	不整楕円形	0.38 × 0.37	0.31 × 0.29	0.45	-	31.94	2面	近世以降			
67p	F-1	D・E-31	不整楕円形	(0.58) × (0.43)	0.16 × 0.14	0.85	-	31.89	2面	近世以降		36	16
68p	F-1	D-31	楕円形?	0.58 × 0.50	(0.12) × 0.12	0.20	N80° W	31.93	2面	近世以降			
69p	F-1	D・E-31	楕円形	0.29 × (0.22)	0.15 × (0.11)	0.20	-	31.90	2面	近世以降			
70p	F-1	D・E-31	楕円形	0.39 × (0.19)	0.24 × (0.11)	0.38	-	31.90	2面	近世以降		36	16
71p	F-1	E-32・33	不整形	0.66 × 0.58	0.33 × 0.26	0.23	-	31.96	2面	近世以降			
72p	F-1	E-32・33	不整楕円形	0.77 × 0.42	0.16 × 0.09	0.67	-	31.91	2面	近世以降			
73p	F-1	D・E-32	楕円形	0.45 × 0.36	0.16 × 0.14	0.40	N62° E	31.98	2面	不明			
74p	F-1	D-32	楕円形	0.38 × 0.34	0.12 × 0.12	0.76	N60° W	31.88	2面	不明		36	
75p	F-1	E-32	楕円形	0.30 × (0.25)	0.15 × 0.09	0.19	-	31.90	2面	近世以降	34号遺構に切られる		
76p	F-1	D-32	不整楕円形	0.35 × 0.30	0.09 × 0.06	0.67	N62° W	31.98	2面	近世以降		36	
77p	F-1	C・D-32	不整形	0.56 × 0.54	0.24 × 0.06	0.49	-	31.99	2面	近世以降			
78p	F-1	E-30	不整楕円形	0.52 × 0.51	0.23 × 0.15	0.67	-	31.71	2面	近世以降		36	16

IV 遺構と遺物

遺構番号	調査区	位置	平面形	上端 (m) 長径×短径	下端 (m) 長径×短径	深さ (m)	主軸方向	確認高 (m)	確認面	時代	備考	挿図	写真
79p	F-1	E-30	楕円形	0.44 × 0.35	0.14 × 0.05	0.56	N60° W	31.76	2面	近世以降		36	16
80p	F-1	E-31	不整楕円形	0.60 × 0.28	0.10 × 0.08	0.74	N11° W	31.76	2面	近世以降		37	
81p	F-1	E-31	不整楕円形	0.35 × 0.35	0.10 × 0.07	0.79	N11° W	31.75	2面	近世以降		37	16・17
82p	F-1	E-31	楕円形	0.30 × 0.23	0.14 × 0.08	0.94	N8° E	31.68	2面	近世以降		37	17
83p	F-1	D・E-31	不整楕円形	0.34 × 0.28	0.18 × 0.08	0.65	N76° W	31.72	2面	近世以降		37	17
84p	F-1	D・E-32	楕円形	0.38 × 0.35	0.26 × 0.12	0.50	N56° W	31.70	2面	近世以降		38	17
85p	F-1	E-32	不整楕円形	0.50 × 0.41	0.17 × 0.14	0.68	-	31.99	2面	近世以降		38	
86p	F-1	E-30・31	不整楕円形	0.48 × 0.19	0.09 × 0.08	0.92	N26° E	31.79	2面	近世以降		37	16
87p	F-1	E-30	楕円形	0.27 × 0.19	0.15 × 0.13	0.58	N77° W	31.64	2面	不明		37	
88p	F-1	E-31	楕円形	0.46 × 0.38	0.12 × 0.10	0.59	N20° W	31.82	2面	近世以降			
89p	F-1	E-32	楕円形?	0.17 × (0.10)	0.10 × (0.07)	0.09	-	31.91	2面	近世以降	F-1区北壁セクション		
90p	F-1	E-32	楕円形?	(0.22) × 0.18	(0.17) × 0.12	0.13	N35° E	32.06	2面	近世以降	F-1区北壁セクション		
91p	F-1	D-32	不整形	0.24 × 0.21	0.12 × 0.09	0.27	-	31.80	2面	近世以降	18号遺構底面小Pit		
92p	F-1	D-32	不整形	0.21 × 0.15	0.13 × 0.07	0.18	-	31.80	2面	近世以降	18号遺構底面小Pit		
93p	F-1	D-32	不整形	0.39 × 0.29	0.12 × 0.07	0.30	-	31.78	2面	近世以降	18号遺構底面小Pit		
94p	F-1	D・E-31	不整楕円形	0.37 × 0.22	0.15 × 0.10	0.12	-	31.83	2面	近世以降		38	
95p	F-1	E-31	楕円形	0.39 × 0.25	0.24 × 0.14	0.74	N28° W	31.73	2面	近世以降		38	17
96p	F-1	E-31	不整楕円形	0.29 × 0.23	0.19 × 0.16	0.37	-	31.86	2面	近世以降		38	
97p	F-1	D-32	不整楕円形	0.50 × 0.24	0.23 × 0.12	0.54	N7° E	31.93	2面	近世以降			
98p	F-1	D-32	不整楕円形	0.39 × 0.35	0.12 × 0.09	0.64	-	32.01	2面	近世以降			
99p	F-1	D-32	楕円形	0.34 × 0.31	0.23 × 0.21	0.25	-	32.00	2面	近世以降			
100p	F-1	D-32	不整楕円形	0.41 × 0.32	0.24 × 0.11	0.22	-	31.96	2面	近世以降			
101p	F-1	D-32	不整楕円形	0.27 × 0.27	0.21 × 0.12	0.32	-	32.96	2面	近世以降			
102p	F-1	D-32	楕円形	0.34 × 0.25	0.20 × 0.10	0.37	N32° W	31.95	2面	近世以降			
103p	F-1	D-31	楕円形	0.35 × 0.28	0.25 × 0.20	0.29	N86° W	31.97	2面	近世以降			
104p	F-1	D-31	楕円形	0.30 × (0.19)	0.15 × (0.12)	0.16	-	31.64	2面	近世以降			
105p	D-1	W-3	楕円形	0.39 × (0.30)	0.13 × 0.12	0.65	N15° E	31.37	2面	不明		38	
106p	D-1	W-4	楕円形	0.34 × 0.24	0.09 × 0.07	0.55	N15° E	31.30	2面	不明		38	
107p	D-1	W-3・4	不整楕円形	0.36 × 0.22	0.19 × 0.16	0.62	N20° W	31.34	2面	不明		38	
108p	D-1	W-3	不整楕円形	0.49 × 0.38	0.16 × 0.10	0.81	N68° W	31.21	2面	不明		38	17
109p	D-1	W-3	不整楕円形	0.43 × 0.30	0.17 × 0.15	0.35	N88° W	31.21	2面	不明		38	17
110p	D-1	W-3	楕円形	0.27 × 0.25	0.13 × 0.08	0.50	-	31.22	2面	近世以降		38	
111p	D-1	W-3	楕円形	0.32 × 0.26	0.10 × 0.09	0.40	86° E	31.28	2面	近世以降			
112p	D-1	W-3	不整楕円形	0.33 × 0.24	0.16 × 0.10	0.43	-	31.24	2面	近世以降		38	
113p	D-1	W-3	不整楕円形	0.30 × 0.26	0.16 × 0.04	0.32	-	31.25	2面	近世以降			
114p	D-1	W-3	円形	(0.25) × 0.25	0.14 × 0.04	0.33	-	31.29	2面	近世以降			
115p	D-1	W-3	楕円形	0.41 × 0.37	0.19 × 0.18	0.53	N18° W	31.20	2面	不明			
116p	D-1	V-4	不整楕円形	0.31 × 0.25	0.10 × 0.09	0.24	-	31.25	2面	不明			
117p	D-1	W・X-3	不整楕円形	0.31 × 0.31	0.14 × 0.09	0.42	N82° W	31.32	2面	近世以降		38	
118p	D-1	W・X-3	楕円形	(0.41) × 0.37	0.20 × 0.18	0.48	N82° W	31.20	2面	近世以降		38	
119p	D-1	W-3	円形	0.30 × 0.29	0.10 × 0.09	0.43	-	31.17	2面	近世以降			
120p	D-1	W-4	楕円形	0.36 × 0.32	0.24 × 0.14	0.26	N78° E	31.32	2面	近世以降			
121p	D-1	W-3	楕円形	0.30 × 0.22	0.20 × 0.10	0.35	-	31.33	2面	近世以降			
122p	D-1	W-3	楕円形	(0.24) × (0.10)	0.09 × 0.08	0.61	-	31.28	2面	近世以降			
123p	D-1	W-3	楕円形	0.32 × 0.30	0.13 × 0.12	0.47	-	31.26	2面	近世以降			
124p	D-1	W-4	不整楕円形	0.45 × (0.31)	0.14 × 0.08	0.71	N82° E	31.36	2面	近世以降		38	
125p	D-1	W-4	楕円形	0.34 × (0.31)	(0.29) × 0.24	0.21	N1° E	31.34	2面	近世以降		38	
126p	D-1	W-3	不整楕円形	0.35 × 0.34	0.18 × 0.12	0.32	N65° W	31.29	2面	近世以降			
127p	D-1	W-4	楕円形	0.35 × 0.34	0.24 × 0.23	0.27	N88° E	31.44	2面	近世以降			
128p	D-1	W-4	楕円形	0.42 × 0.34	0.19 × 0.11	0.36	-	31.44	2面	近世以降			
129p	D-1	W-4	楕円形?	(0.24) × (0.17)	(0.14) × (0.10)	0.24	-	31.32	2面	近世以降		38	
130p	D-1	W-3	不整楕円形	0.41 × 0.39	0.12 × 0.08	0.59	-	31.26	2面	近世以降		39	17
131p	D-1	W-3	不整楕円形	0.53 × 0.50	0.38 × 0.30	0.55	N29° E	31.20	2面	近世以降		39	17
132p	D-1	W-3	楕円形	0.34 × 0.28	(0.12) × (0.10)	0.41	N3° W	31.25	2面	近世以降			
133p	D-1	W-3	不整楕円形	0.45 × (0.29)	(0.10) × (0.08)	0.45	-	31.26	2面	近世以降		40	
134p	D-1	W-3	楕円形	0.39 × (0.22)	0.14 × 0.05	0.52	N13° E	31.34	2面	近世以降		40	
135p	D-1	W-3	楕円形	0.25 × 0.20	0.14 × 0.10	0.49	N65° W	31.30	2面	近世以降		40	
136p	D-1	W-4	不整楕円形	0.33 × 0.24	0.17 × 0.10	0.42	N19° E	31.44	2面	近世以降			
137p	D-1	W-3	楕円形?	(0.40) × (0.25)	(0.11) × 0.10	0.64	-	31.27	2面	不明		39	17
138p	D-1	X-3	円形?	(0.27) × (0.09)	(0.08) × (0.04)	0.53	-	31.40	2面	近世以降	D-1区北壁セクション		
139p	D-1	W-3	楕円形?	(0.34) × (0.29)	(0.20) × (0.20)	0.29	-	31.23	2面	近世以降		39	17
140p	D-1	W-4	不整形	0.50 × 0.36	0.19 × 0.12	0.94	-	31.02	2面	近世以降			
141p	D-3	V-6	不整楕円形?	(0.41) × (0.30)	0.12 × 0.10	0.20	-	31.13	2面	不明			
142p	D-3	V-6	円形?	(0.28) × (0.05)	(0.19) × (0.04)	0.28	-	31.15	2面	不明			
143p	D-3	V-6	円形?	(0.21) × (0.08)	(0.14) × (0.04)	0.21	-	30.95	2面	不明			
144p	D-1	W-3	不整形	(0.44) × 0.32	(0.21) × 0.20	0.36	-	31.15	2面	近世以降		39	17
145p	D-1	W-4	不整形	(0.33) × (0.05)	0.08 × (0.04)	0.54	-	31.31	2面	近世以降			
146p	D-1	W-3	楕円形	0.42 × 0.37	0.14 × 0.11	0.41	N55° E	31.11	2面	近世以降			
147p	D-1	V-4	楕円形	0.31 × 0.26	0.14 × 0.12	0.44	N9° E	31.25	2面	近世以降			
148p	D-1	V・W-4	不整形	0.49 × (0.42)	0.24 × 0.16	0.36	-	31.18	2面	近世以降			
149p	D-1	V-4	楕円形	0.34 × (0.28)	0.22 × 0.14	0.46	N62° E	31.16	2面	近世以降			
150p	D-1	W-3	不整楕円形	0.34 × 0.27	0.15 × 0.14	0.35	N61° E	31.21	2面	近世以降			
151p	D-1	W-4	楕円形	(0.36) × 0.33	0.26 × 0.17	0.42	N76° W	31.22	2面	近世以降			

遺構番号	調査区	位置	平面形	上端 (m) 長径×短径	下端 (m) 長径×短径	深さ (m)	主軸方向	確認高 (m)	確認面	時代	備考	挿図	写真
152p	D-1	W-4	楕円形	0.33 × 0.28	0.16 × 0.14	0.12	N50° E	31.23	2面	近世以降			
153p	D-1	W-4	楕円形	0.29 × 0.24	0.22 × 0.17	0.16	N49° E	31.24	2面	近世以降			
154p	D-1	W-4	楕円形	0.29 × 0.27	0.20 × 0.19	0.40	N47° E	31.29	2面	近世以降			
155p	D-1	W-3	不整形	(0.44) × (0.25)	(0.13) × (0.06)	0.67	-	31.22	2面	近世以降		39	17
156p	D-1	W-3	不整楕円形	0.30 × (0.24)	(0.17) × 0.08	0.55	-	31.25	2面	近世以降		39	17
157p	D-1	W-3	不整形	(0.14) × (0.10)	0.06 × 0.04	0.29	-	31.16	2面	近世以降		39	17
158p	D-1	W-3	不整楕円形	0.40 × (0.27)	0.10 × 0.06	0.50	-	31.22	2面	近世以降		39	17
159p	D-1	V・3・4	不整楕円形	0.40 × 0.27	0.09 × 0.06	0.41	-	31.34	2面	不明			
160p	D-2	W-2	楕円形	0.27 × 0.22	0.18 × 0.12	0.32	N15° E	31.07	2面	近世以降			
161p	D-2	W-3	楕円形	0.44 × 0.24	0.22 × 0.06	0.28	N58° E	30.91	2面	近世以降		40	
162p	D-2	W-3	不整楕円形	0.48 × 0.30	0.32 × 0.21	0.12	N20° W	30.80	2面	近世以降		40	
163p	D-2	V・W-3	不整楕円形	0.61 × 0.41	0.18 × 0.16	0.65	-	31.25	2面	近世以降		40	17
164p	D-2	W-3	不整楕円形	0.30 × 0.28	0.16 × 0.11	0.30	-	31.29	2面	近世以降			
165p	D-2	V-3	楕円形	0.46 × (0.36)	0.15 × 0.09	0.55	-	31.18	2面	近世以降			
166p	D-2	V-3	不整楕円形	0.52 × 0.46	0.17 × 0.10	0.44	-	31.20	2面	近世以降			
167p	D-2	W-2	楕円形	0.28 × 0.26	0.16 × 0.10	0.45	-	31.10	2面	近世以降			
168p	D-2	W-2	楕円形	0.25 × 0.21	0.10 × 0.06	0.24	-	30.64	2面	不明			
169p	D-2	W-3	楕円形	(0.36) × (0.23)	(0.16) × (0.12)	0.49	-	31.27	2面	近世以降		40	
170p	D-2	W-3	楕円形	0.30 × 0.26	0.09 × 0.06	0.50	-	31.30	2面	近世以降		40	
172p	D-2	W-3	楕円形	0.42 × 0.30	0.12 × 0.12	0.30	N67° E	30.85	2面	近世以降			
173p	D-2	W-3	不整楕円形	0.26 × (0.23)	0.14 × 0.12	0.30	N57° W	30.85	2面	近世以降			
174p	D-2	V-3	楕円形	0.25 × 0.24	0.12 × 0.11	0.26	-	30.84	2面	不明			
175p	D-2	V-3	楕円形?	(0.33) × (0.14)	(0.10) × (0.02)	0.46	-	30.71	2面	近世以降			
176p	D-2	V-3	楕円形?	(0.39) × (0.20)	(0.10) × (0.04)	0.26	-	30.71	2面	近世以降			
177p	E-2	P-14	楕円形?	(0.22) × (0.18)	0.08 × 0.04	0.45	-	31.58	2面	近世以降		40	17
178p	E-2	P-14	不整長方形?	(0.76) × (0.64)	0.12 × 0.09	0.58	-	31.69	2面	近世以降		40	17
179p	E-2	R-14	楕円形	0.31 × 0.29	0.14 × 0.09	0.58	-	31.46	2面	近世以降			
180p	E-2	R-14	楕円形	0.32 × 0.27	0.14 × 0.14	0.20	N48° E	31.44	2面	不明			
181p	E-2	Q-14	楕円形	0.50 × 0.42	0.22 × 0.12	0.65	N88° E	31.40	2面	近世以降		41	17
182p	E-2	R-14	不整楕円形	0.30 × 0.30	0.10 × 0.06	0.43	N45° E	31.10	2面	近世以降			
183p	E-2	R-14	不整楕円形	0.30 × 0.29	0.12 × 0.06	0.30	N45° E	31.11	2面	近世以降			
184p	E-2	Q-14	不整楕円形	0.58 × 0.57	0.25 × 0.12	0.85	N84° W	31.46	2面	近世以降			17
185p	E-2	Q-14	不整楕円形	0.23 × 0.15	0.09 × 0.09	0.39	N5° E	31.71	2面	不明		41	
186p	E-2	Q-14	不整楕円形	0.49 × 0.45	0.18 × 0.17	0.59	-	31.70	2面	近世以降		41	
187p	E-2	Q-14	楕円形	0.35 × (0.32)	0.14 × 0.12	0.19	-	31.45	2面	近世以降		41	
188p	E-2	Q-14・15	不整楕円形	0.31 × 0.26	0.08 × 0.08	0.23	N32° E	31.66	2面	近世以降		41	
189p	E-2	Q-14	楕円形	0.40 × 0.32	0.15 × 0.14	0.26	N42° E	31.66	2面	近世以降		41	
190p	E-2	Q-14・15	楕円形	0.48 × 0.36	0.16 × 0.14	1.10	N10° E	31.46	2面	近世以降		41	
191p	E-2	Q-14・15	不整楕円形	0.44 × 0.29	0.17 × 0.16	0.45	N25° W	31.15	2面	近世以降		41	
192p	E-2	Q-14・15	不整楕円形	0.29 × 0.29	0.08 × 0.07	0.27	-	31.15	2面	近世以降		41	
193p	E-2	Q-14	楕円形	0.29 × (0.26)	0.18 × 0.13	0.46	-	31.53	2面	近世以降			
194p	E-2	Q-14	長方形	0.32 × (0.24)	0.14 × 0.10	0.56	-	31.50	2面	近世以降			
195p	E-2	P-14	不整楕円形	(0.58) × 0.52	0.35 × 0.18	0.91	N65° W	31.48	2面	近世以降		41	17
196p	E-2	P-14	不整楕円形	(0.29) × 0.29	0.13 × 0.12	0.41	N45° W	31.48	2面	近世以降		41	
197p	E-2	P-14	楕円形	0.30 × (0.20)	0.18 × (0.15)	0.64	-	31.68	2面	近世以降		41	17
198p	E-2	P-14	不整楕円形	0.31 × 0.23	0.24 × 0.19	0.31	N22° E	31.68	2面	近世以降		41	
199p	E-2	Q-14	円形	0.31 × 0.30	0.08 × 0.06	0.55	-	31.25	2面	近世以降		41	
200p	E-2	P-14	不整楕円形	0.44 × 0.24	0.20 × 0.12	0.40	N88° E	31.47	2面	近世以降		41	
201p	E-2	O-14	不整楕円形	0.44 × (0.40)	0.15 × 0.12	0.22	N40° E	31.13	2面	近世以降			
202p	E-2	O-14	不整楕円形	(0.25) × 0.20	0.12 × 0.08	0.11	N40° E	31.12	2面	近世以降			
203p	E-2	R-15	不整楕円形?	(0.29) × (0.21)	0.09 × 0.09	0.49	-	31.45	2面	近世以降			
204p	E-2	P-14	不整楕円形	0.61 × 0.39	0.24 × 0.18	0.69	N64° W	31.69	2面	近世以降		42	18
205p	E-2	P-14	楕円形	(0.30) × 0.30	0.12 × 0.08	0.46	-	31.66	2面	不明			
206p	E-2	Q-14	不整楕円形	0.60 × 0.39	0.17 × 0.15	0.82	N12° W	31.65	2面	近世以降		42	18
207p	E-2	Q-14	楕円形	0.63 × (0.38)	0.10 × 0.09	1.10	N18° E	31.66	2面	近世以降		42	18
208p	E-2	P-14	楕円形?	(0.18) × (0.15)	(0.12) × 0.05	0.10	-	31.51	2面	近世以降		42	18
209p	E-2	P-14	不整楕円形	0.47 × 0.32	0.14 × 0.11	0.87	N68° E	31.66	2面	近世以降		42	18
210p	E-2	P-14	楕円形	0.35 × (0.29)	(0.29) × 0.12	0.43	N20° W	31.47	2面	近世以降		42	18
211p	E-2	Q-14	不明	(0.26) × (0.09)	(0.18) × (0.09)	0.57	-	31.66	2面	近世以降		42	18
212p	E-2	Q-14	楕円形?	(0.35) × (0.29)	(0.21) × (0.08)	(0.23)	-	31.15	2面	近世以降		42	18
213p	E-2	Q-15	不整楕円形	0.39 × (0.20)	(0.16) × 0.08	0.52	-	31.42	2面	近世以降		41	
214p	E-2	Q-13・14	楕円形	0.39 × 0.32	0.16 × 0.11	0.47	N16° E	31.56	2面	近世以降			
215p	E-2	Q-14	楕円形	0.27 × 0.25	0.14 × 0.09	0.36	-	31.66	2面	近世以降			
216p	E-2	P-14	楕円形	0.47 × 0.37	0.19 × 0.19	0.55	N0° E	31.67	2面	近世以降		43	
217p	E-2	P-14	不整形	0.42 × (0.40)	0.24 × 0.11	0.40	-	31.67	2面	近世以降			
218p	E-2	Q-14	円形?	0.28 × (0.26)	0.19 × 0.18	0.33	-	31.66	2面	近世以降			
219p	E-2	Q-14	不整楕円形	0.27 × 0.24	0.13 × 0.11	0.15	-	31.58	2面	近世以降			
220p	E-2	Q-15	不整楕円形	(0.27) × (0.27)	0.12 × 0.11	0.26	-	31.66	2面	近世以降			
221p	E-2	Q-15	楕円形	0.24 × 0.20	0.09 × 0.07	0.38	N18° E	31.66	2面	近世以降			
222p	E-2	P-14	不整楕円形	0.29 × 0.29	0.08 × 0.08	0.72	-	31.60	2面	近世以降		42	18
223p	E-2	Q-14	楕円形?	(0.26) × (0.17)	0.14 × 0.09	0.59	-	31.61	2面	不明		42	18
224p	E-2	P-14	楕円形	(0.28) × 0.26	0.09 × 0.05	0.55	-	31.64	2面	近世以降			
225p	E-2	P-14	楕円形	0.33 × 0.21	0.10 × 0.08	0.51	N60° E	31.64	2面	不明			

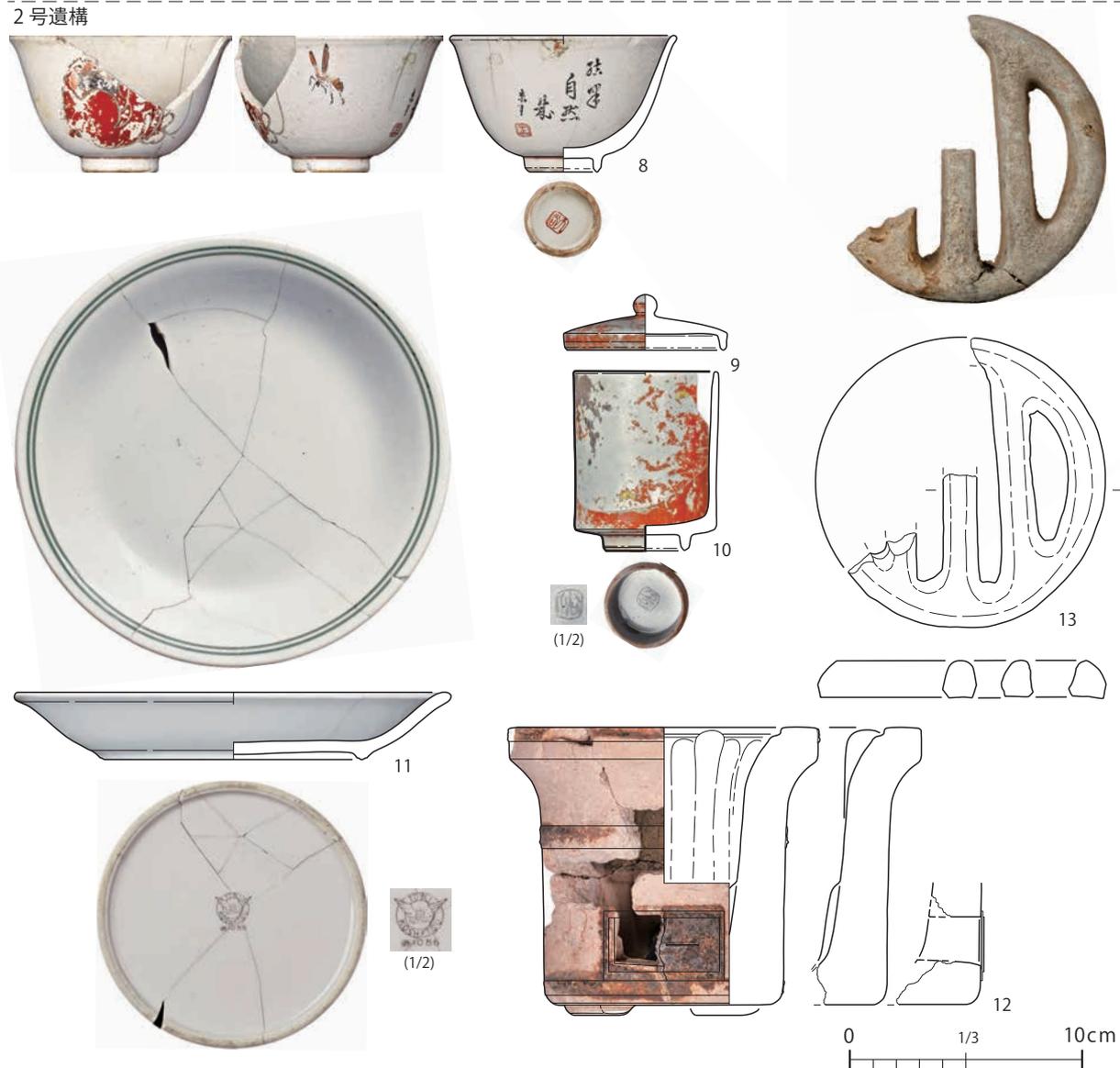
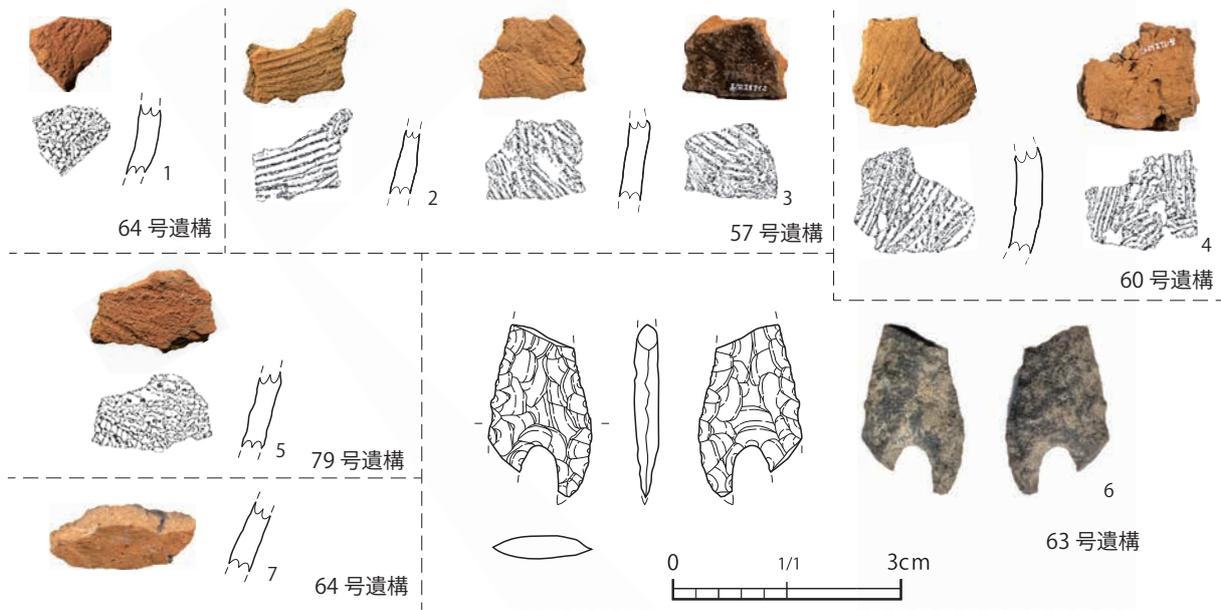
遺構番号	調査区	位置	平面形	上端 (m) 長径×短径	下端 (m) 長径×短径	深さ (m)	主軸方向	確認高 (m)	確認面	時代	備考	挿図	写真
226p	E-2	Q-15	楕円形	0.41 × 0.34	0.15 × 0.08	0.50	N27° E	31.67	2面	不明			
227p	E-2	P-14	不整楕円形	0.45 × 0.35	0.12 × 0.10	0.29	N26° W	31.41	2面	近世以降			
228p	E-2	P-13	楕円形?	(0.26) × (0.23)	0.15 × 0.08	0.49	N4° W	31.62	2面	近世以降			
229p	E-2	P-14	楕円形?	(0.42) × (0.34)	0.08 × 0.05	0.68	-	31.63	2面	近世以降		43	18
230p	E-2	P-14	不整楕円形	0.40 × 0.34	0.09 × 0.08	0.58	N82° W	31.66	2面	近世以降			
231p	E-2	P-14	楕円形?	(0.28) × (0.26)	0.14 × 0.08	0.35	N84° W	31.65	2面	近世以降		43	18
232p	E-2	Q-14	不整楕円形	0.30 × 0.28	0.15 × 0.12	0.93	-	31.71	2面	近世以降		43	
233p	E-2	Q-14	楕円形	0.34 × 0.31	0.12 × 0.12	0.37	N20° E	31.46	2面	近世以降			
234p	E-2	Q-14	楕円形	0.25 × 0.19	0.10 × 0.08	0.17	N12° W	31.55	2面	近世以降			
235p	E-2	P-14	楕円形	0.29 × 0.28	0.07 × 0.06	0.76	-	31.65	2面	近世以降		42	18
236p	E-2	P-14	不整楕円形?	0.45 × (0.10)	0.24 × (0.08)	0.57	-	31.65	2面	近世以降		42	18
237p	E-2	P-14	楕円形?	0.43 × (0.12)	(0.23) × (0.05)	0.35	-	31.65	2面	近世以降		42	18
238p	E-2	P-14	不整楕円形	0.48 × 0.38	0.15 × 0.08	0.62	-	31.59	2面	近世以降			
240p	E-2	P-14	長方形	0.38 × (0.17)	(0.13) × (0.07)	0.33	-	31.13	2面	不明		42	18
242p	E-2	P・Q-14	楕円形	(0.55) × (0.44)	0.16 × 0.06	0.46	-	31.63	2面	近世以降			
243p	E-2	P-14	楕円形?	(0.19) × (0.02)	(0.14) × (0.11)	0.41	-	31.58	2面	近世以降			
244p	E-2	P-14	楕円形	0.43 × 0.30	0.17 × 0.04	0.20	N42° W	31.32	2面	不明			
245p	E-2	P-14	楕円形	0.33 × 0.28	0.13 × 0.06	0.24	N82° E	31.30	2面	不明			
246p	E-2	P-14	楕円形	(0.36) × 0.26	0.18 × 0.10	0.97	-	31.63	2面	近世以降		42	18
247p	E-2	P-14	楕円形?	(0.23) × (0.17)	(0.15) × (0.12)	0.59	-	31.63	2面	近世以降		42	18
248p	E-1a	R-10	不整楕円形	0.34 × 0.29	0.18 × 0.17	0.29	N89° W	31.42	2面	近世以降		43	
249p	E-1a	S-9・10	楕円形?	0.47 × (0.20)	(0.22) × (0.04)	0.69	-	31.58	2面	近世以降			
250p	E-1a	Q-9	不整楕円形	(0.48) × (0.40)	0.08 × 0.08	0.39	N10° W	31.52	2面	近世?			
251p	E-1a	R-9・10	円形?	(0.44) × (0.14)	(0.20) × (0.02)	0.62	-	31.50	2面	近世以降			
252p	E-1a	Q-9・10	楕円形	0.57 × 0.40	0.35 × 0.24	0.43	N13° W	31.42	2面	近世	17世紀後半	43	18
253p	E-1a	R-9・10	円形	0.27 × 0.27	0.15 × 0.12	0.35	-	31.48	2面	近世以降			
254p	E-1a	Q-10	楕円形	0.39 × 0.31	0.22 × 0.10	0.35	N2° E	31.67	2面	不明			
255p	E-1a	R-10	楕円形	(0.44) × (0.25)	(0.40) × (0.24)	0.15	-	31.44	2面	近世		44	
256p	E-1a	R-10	楕円形	0.43 × 0.38	0.10 × 0.09	0.80	N66° W	31.41	2面	近世以降		44	18
257p	E-1a	R-10	不整楕円形	0.54 × 0.49	0.26 × 0.24	0.25	-	31.27	2面	近世以降		44	18
258p	E-1a	R-9・10	不整楕円形	0.50 × (0.29)	0.40 × (0.34)	0.19	-	31.27	2面	近世以降		44	
259p	E-1a	R-10	楕円形?	0.68 × (0.48)	(0.12) × (0.03)	(0.75)	-	31.48	2面	近世以降		44	18
260p	E-1a	R-10	楕円形	0.39 × 0.31	0.06 × 0.05	0.40	N77° E	31.66	2面	近世以降			
261p	E-1a	R-10	楕円形?	(0.21) × (0.10)	(0.14) × (0.04)	(0.40)	-	31.20	2面	近世以降		44	
262p	E-1a	Q-9・10	楕円形	0.47 × 0.40	0.34 × 0.24	0.36	N19° E	31.48	2面	近世以降			
263p	E-1a	R-9・10	不整楕円形	0.87 × (0.68)	0.26 × 0.18	0.72	-	31.38	2面	近世	板碑片出土	43	18
264p	E-1a	S-10	楕円形	0.36 × 0.36	0.24 × 0.08	0.65	N19° E	31.36	2面	不明			
265p	E-1a	R・S-10	楕円形	0.36 × 0.30	0.19 × 0.09	0.45	-	31.50	2面	近世以降			
266p	E-1a	Q-10	楕円形	0.30 × 0.26	0.17 × 0.06	0.54	N21° E	31.63	2面	不明			
267p	E-1a	R-9	円形?	- × -	(0.12) × (0.02)	0.45	-	31.50	2面	近世以降		43	
268p	E-1a	R-9・10	楕円形?	(0.20) × (0.18)	(0.15) × 0.10	0.53	-	31.50	2面	近世以降		43	
269p	E-1a	Q-10	楕円形	0.28 × 0.18	0.09 × 0.07	0.46	N71° W	31.32	2面	近世以降			
270p	E-1a	Q-10	楕円形	0.21 × (0.15)	0.11 × 0.09	0.41	-	31.31	2面	近世以降			
271p	E-1a	Q-10	楕円形?	(0.35) × 0.25	0.18 × 0.10	0.15	-	31.31	2面	近世以降			
272p	E-1b	Q-13	楕円形	0.37 × 0.27	0.14 × 0.08	0.67	-	31.60	2面	近世以降		44	
273p	E-1b	Q-13	楕円形	0.40 × 0.30	0.19 × 0.11	0.75	-	31.57	2面	近世以降		44	
274p	E-1b	Q-13	楕円形	0.42 × 0.36	0.11 × 0.09	0.90	N39° W	31.58	2面	近世以降		44	
275p	E-1b	R-13	楕円形	0.28 × 0.26	0.16 × 0.11	0.25	N68° W	31.51	2面	近世以降			
276p	E-1b	Q-13	楕円形?	(0.30) × (0.25)	0.10 × 0.09	0.39	-	31.58	2面	近世以降			
277p	E-1b	Q-13	不整楕円形	0.28 × 0.22	0.14 × 0.08	0.45	N58° W	31.59	2面	不明			
278p	E-1b	Q-12・13	楕円形	0.31 × 0.26	0.11 × 0.04	1.06	N58° E	31.18	2面	近世以降		44	
279p	E-1b	R-13・14	長方形	(0.32) × 0.26	0.12 × 0.10	0.59	N32° E	31.50	2面	不明			
280p	D-1	W-4	楕円形?	(0.59) × (0.26)	(0.21) × (0.20)	0.29	-	31.15	2面	近世以降			

第6表 ピット出土遺物一覧表

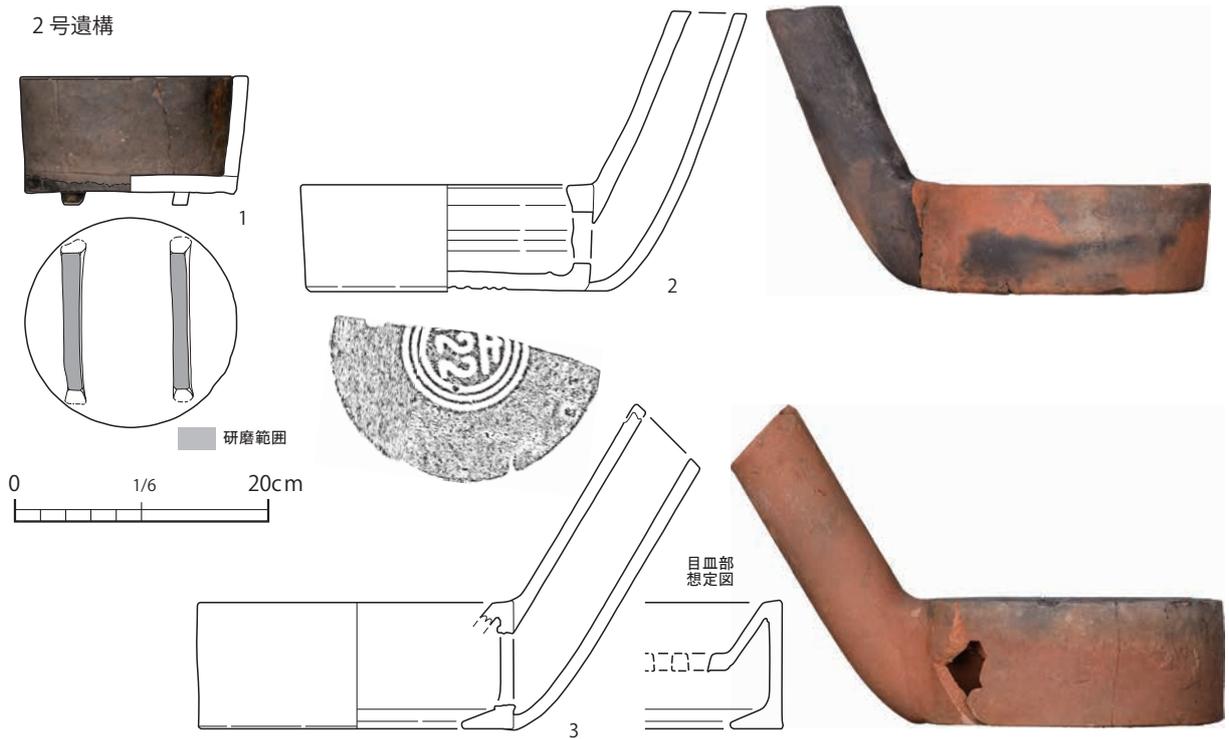
遺構 番号	磁器		陶器		土器		瓦		ガラス製品		石器・石製品		金属製品		合計		掲載 遺物
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)							
1p			1	57.8					1	0.6					2	58.4	
2p					2	6.8									2	6.8	
44p	1	4.6													1	4.6	
112p					1	1.6									1	1.6	
117p			1	29.7											1	29.7	
127p			2	2.6							1	2.0			3	4.6	
128p			1	12.8											1	12.8	
133p			1	1.1											1	1.1	
140p	1	0.3	5	24.0	3	4.4									9	28.7	
151p			1	122.3											1	122.3	
155p			1	5.2											1	5.2	
181p			1	25.7											1	25.7	
204p	1	7.9													1	7.9	
218p							1	30.0							1	30.0	
219p							1	310.0							1	310.0	
249p	1	5.0													1	5.0	
250p					3	10.0			1	28.7			1	未計測	5	38.7	
252p			34	1114.0							1	780.0			35	1894.0	○
255p	1	1.5	2	7.1											3	8.6	
256p			2	3.8											2	3.8	
262p			1	30.0											1	30.0	
263p			2	13.2	2	16.2					1	49.8			5	79.2	
272p			1	25.7											1	25.7	

第7表 一括出土・合計遺物一覧表

遺構 番号	磁器		陶器		土器		瓦		ガラス製品		骨角製品		骨		石器・石製品		木製品		金属製品		レンガ		電気製品		合計		掲載 遺物	
	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)	点数	重量 (g)		
D-1区	80	1,637.6	89	1,388.3	47	1,000.8	30	4,405.6	9	796.9									7	406.5					262	9,635.7	○	
D-2区	12	101.8	9	66.3	7	87.0													1	9.9						29	265.0	
D-3区	6	76.1	8	822.2	8	133.1	4	530.7											1	33.5						27	1,595.6	
D-4区	18	348.8	11	77.3	3	27.2	5	288.0	6	649.0			1	6.1	1	1.9			1	42.5						46	1,440.8	○
D-5区	4	62.0	21	760.2	25	401.4	7	7,128.0	4	58.0					1	90.0										62	8,499.6	○
E-1a区	21	116.5	11	124.4	7	42.5	2	190.0	1	17.1									1	3.1						43	493.6	○
E-1b区	103	2,195.1	68	3,118.7	9	2,087.7	24	3,130.0	26	1,336.3					1	228.3			12	133.4						243	12,229.5	○
E-1区																	1	未計測								1	未計測	○
E-2区	180	1,993.7	202	8,152.6	107	2,675.1	55	5,020.0	39	1,757.2			6	5.3	2	185.5			143	2,362.4	7	13,056.0	3	51.0	744	35,258.8	○	
F-1区	102	2,786.8	72	9,059.7	81	3,633.3	1,421	165,090.0	59	1,532.3			2	1.7	2	27.2			32	33,503.4			2	77.1	1,773	215,711.5	○	
F-2区	102	3,677.7	41	1,204.0	13	334.0	14	2,540.0	14	165.8									6	60.3						190	7,981.8	○
遺構出土・一括合計	1,990	43,090.5	2,141	163,310.2	1,051	55,491.3	21,085	2,449,372.3	855	27,053.5	4	40.7	40	75.5	53	15,780.7	1	未計測	968	49,043.9	16	31,281.0	75	1,841.0	28,279	2,836,380.6		



第45図 遺構出土の遺物 (1) (1/1・1/3)



第46図 遺構出土の遺物 (2) (1/3・1/6)

2号遺構

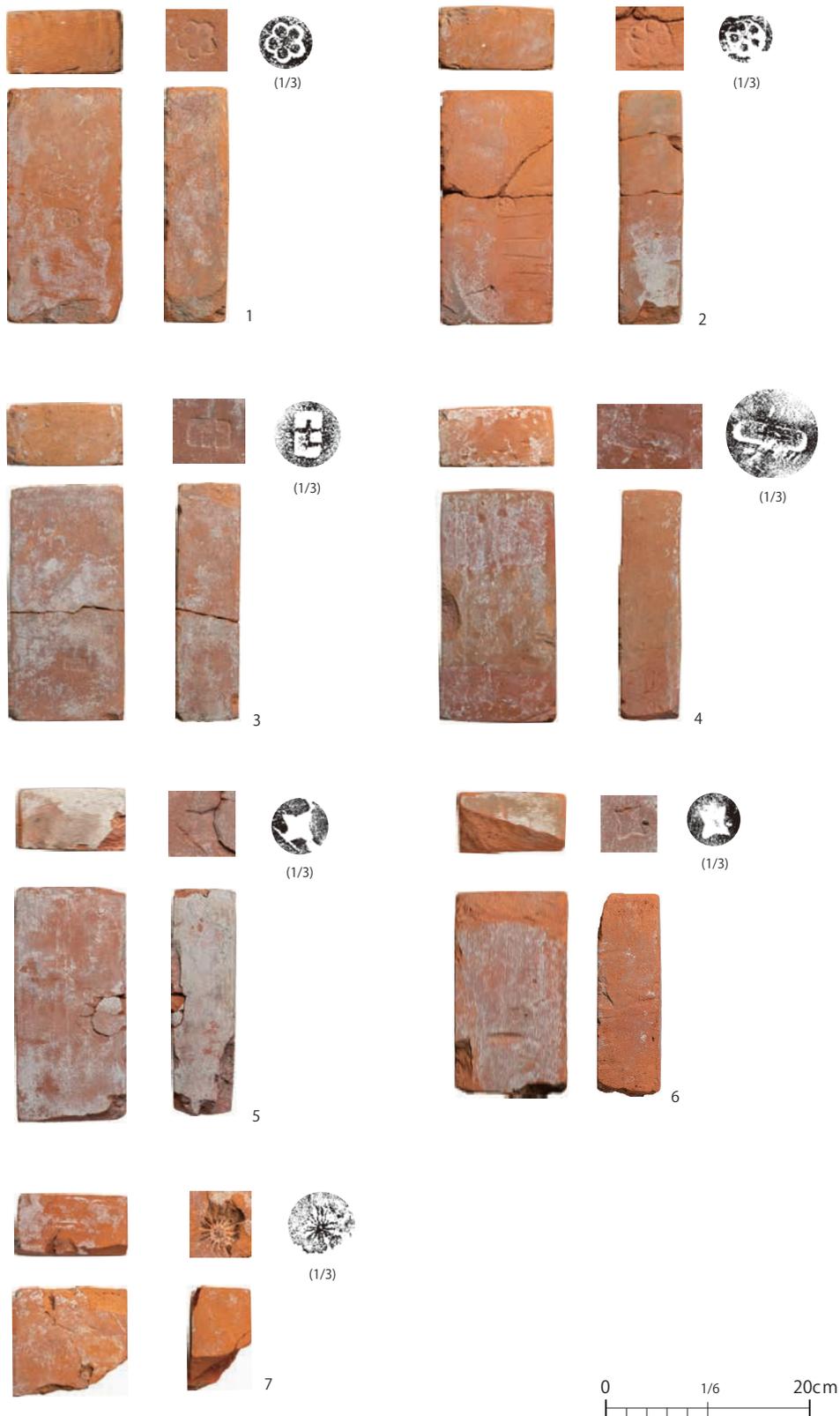


第47図 遺構出土の遺物 (3) (1/3)



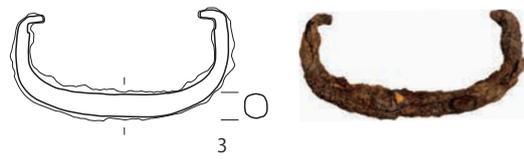
第48図 遺構出土の遺物 (4) (1/3)

3号遺構

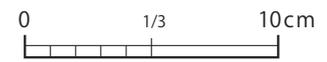
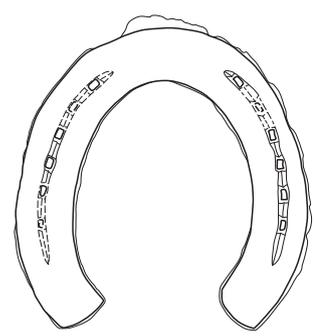
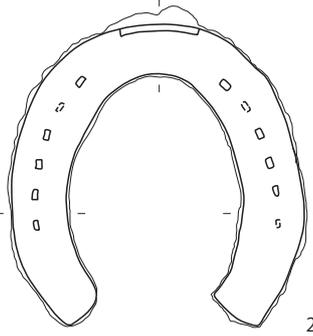


第 49 図 遺構出土の遺物 (5) (1/3・1/6)

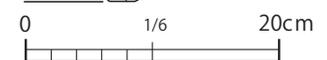
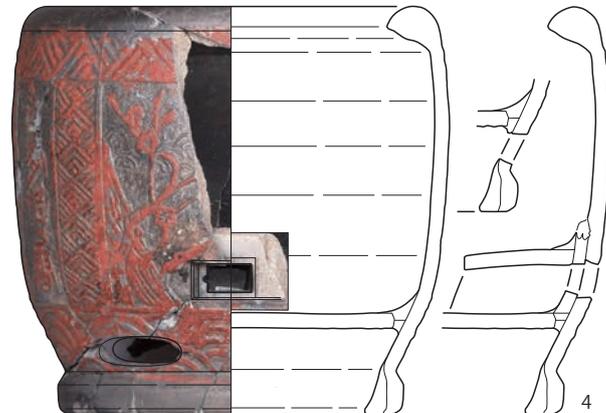
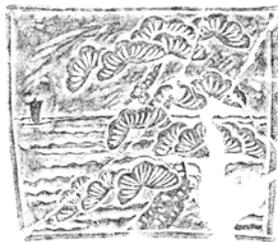
6号遺構



8号遺構

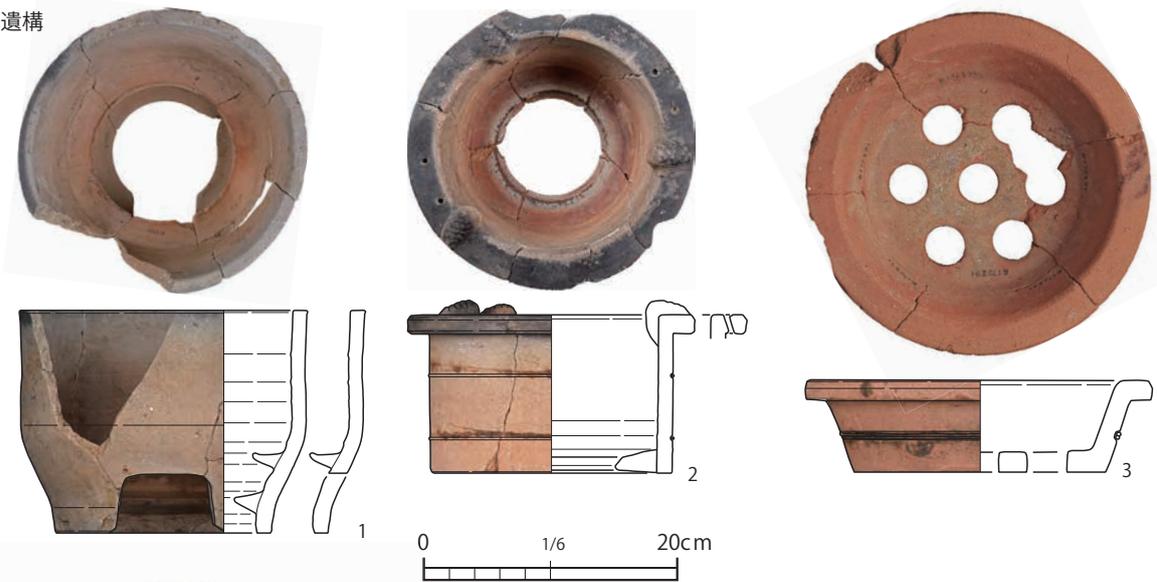


9号遺構

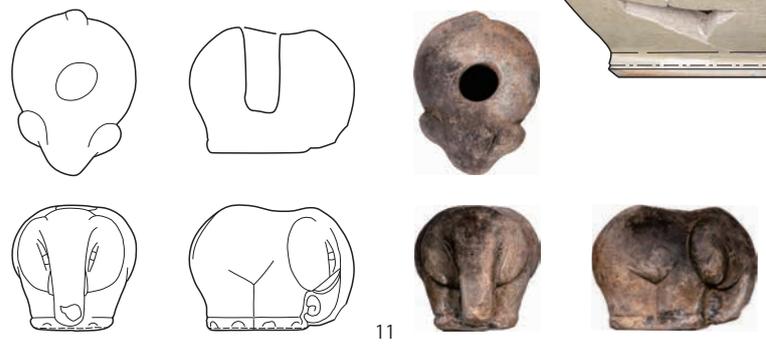
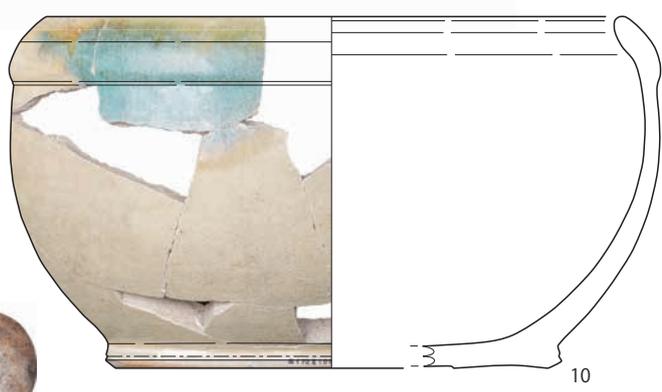
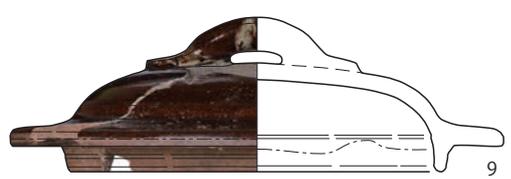


第50図 遺構出土の遺物 (6) (1/3・1/6)

9号遺構

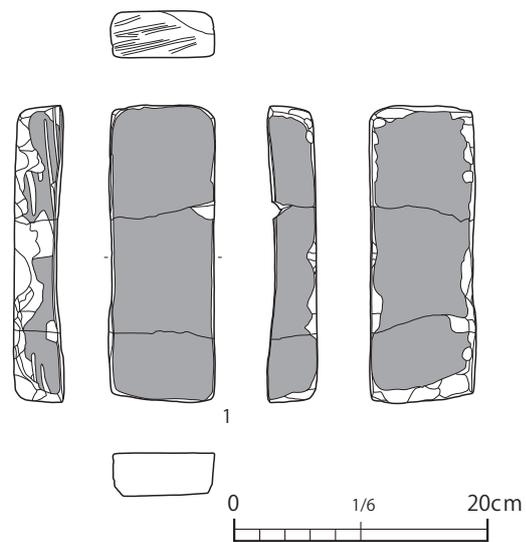
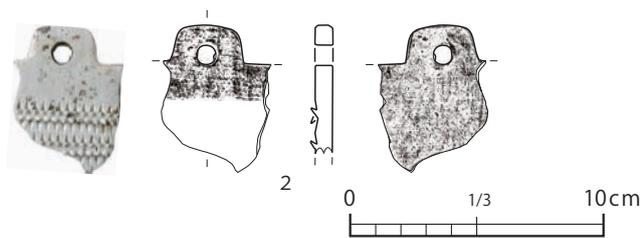


10号遺構

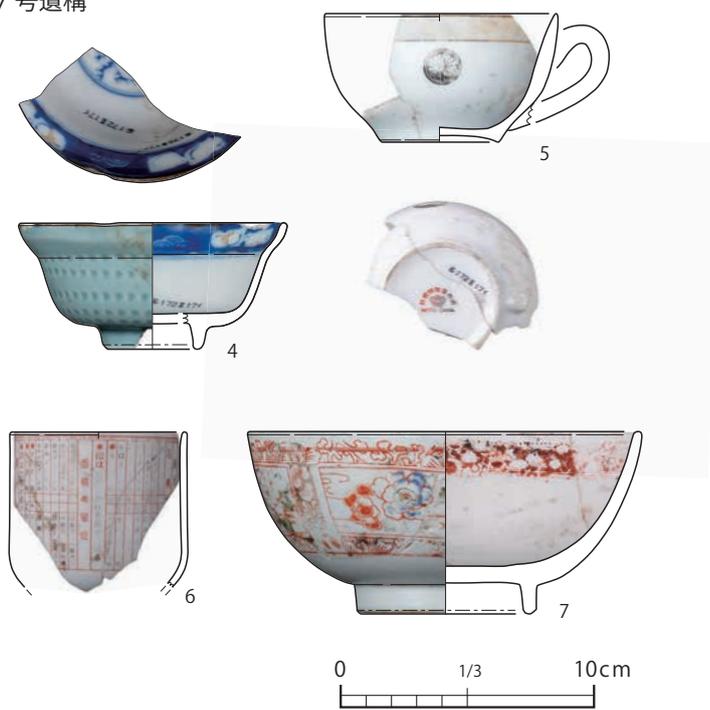


第51図 遺構出土の遺物 (7) (1/3・1/6)

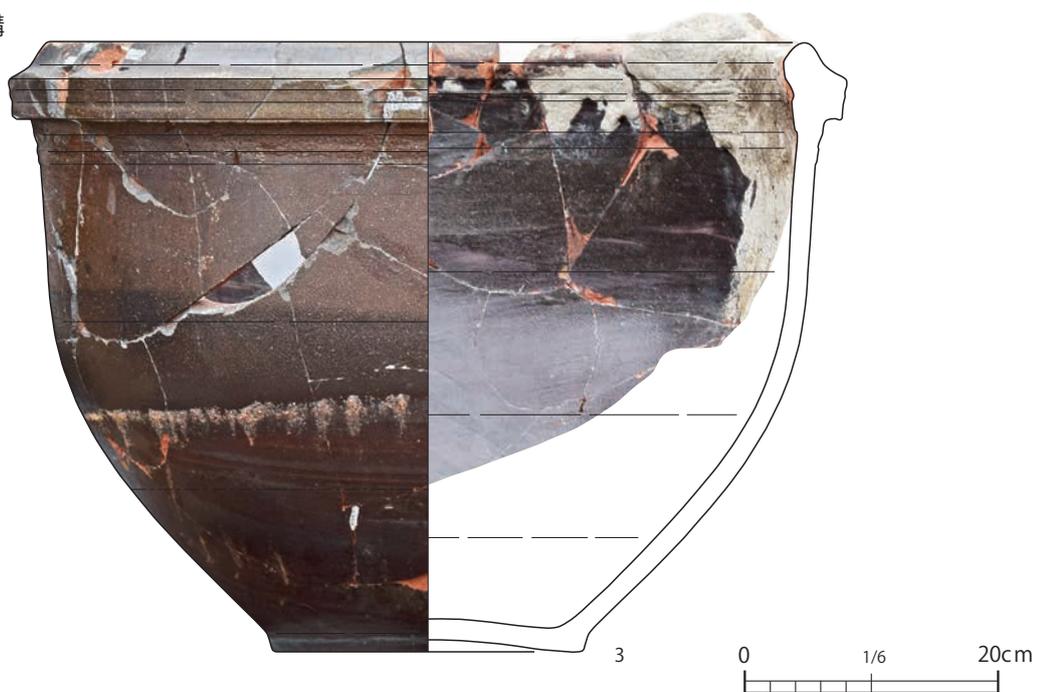
10号遺構



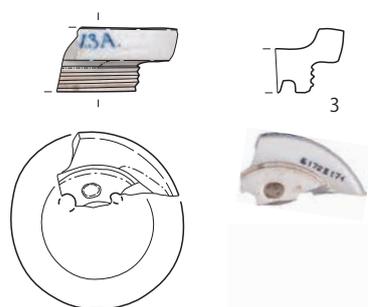
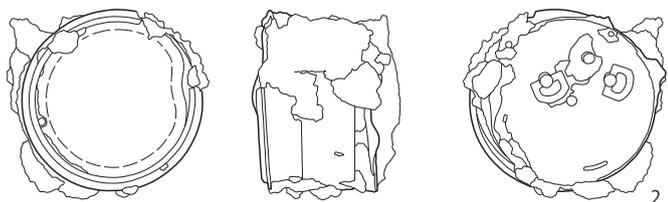
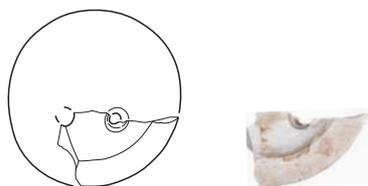
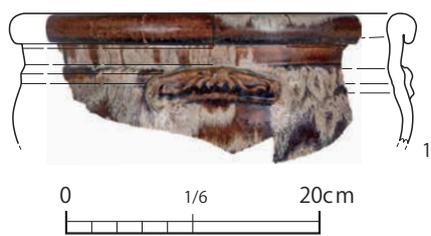
17号遺構



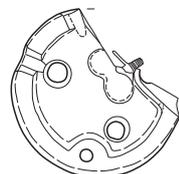
14号遺構



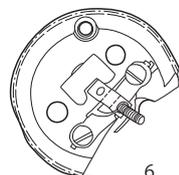
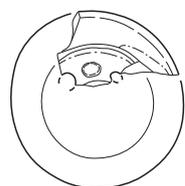
第52図 遺構出土の遺物 (8) (1/3・1/6)



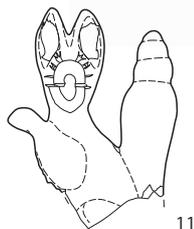
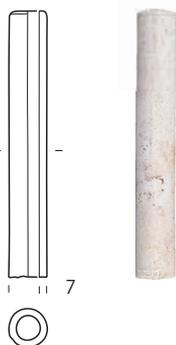
17号遺構



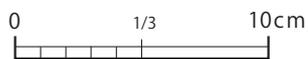
31号遺構



32号遺構

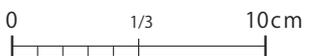
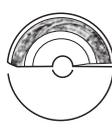
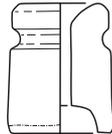
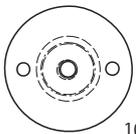
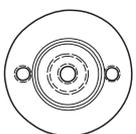
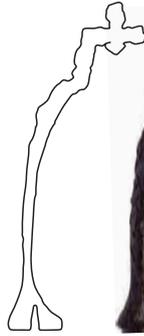
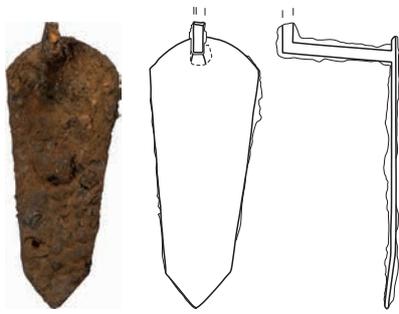
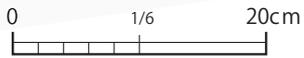
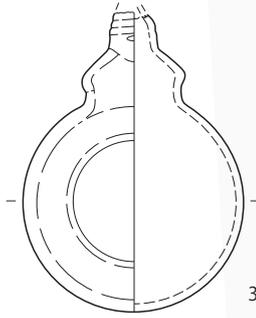


(1/2)



第53図 遺構出土の遺物 (9) (1/3)

32号遺構



第54図 遺構出土の遺物 (10) (1/3・1/6)



第55図 遺構出土の遺物 (11) (1/3・1/6)

40号遺構



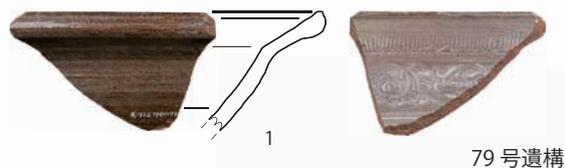
第56図 遺構出土の遺物 (12) (1/3・1/6)



第57図 遺構出土の遺物 (13) (1/3・1/6)



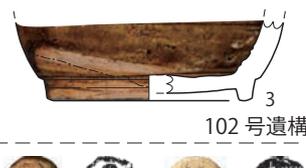
第58図 遺構出土の遺物 (14) (1/1・1/3・1/6)



79号遺構



98号遺構



102号遺構



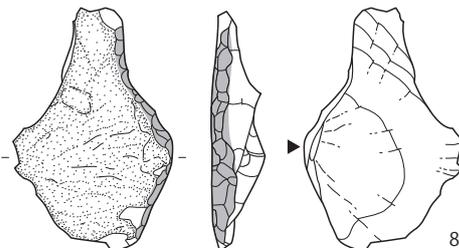
110号遺構



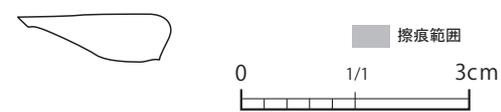
4



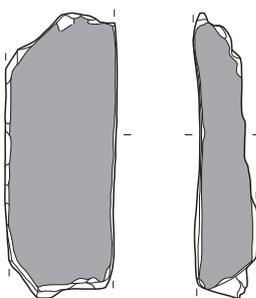
105号遺構



8



擦痕範囲

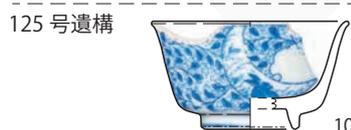


9

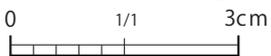
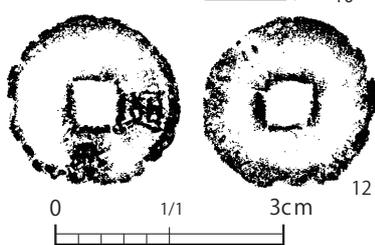


研磨範囲

121号遺構



125号遺構

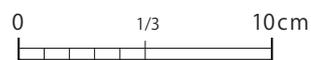
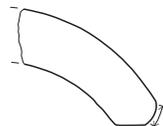


13



11

研磨範囲



第59図 遺構出土の遺物 (15) (1/1・1/3)

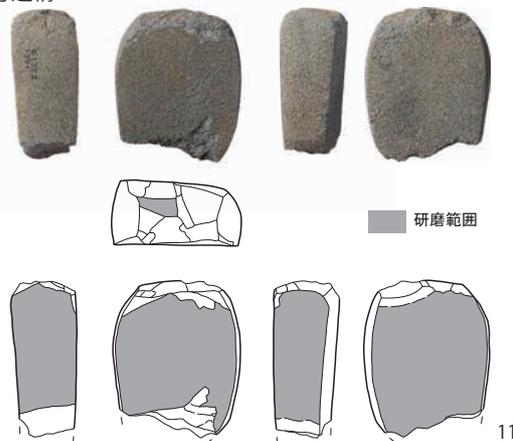


126号遺構

127号遺構



139号遺構

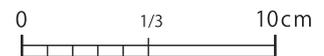
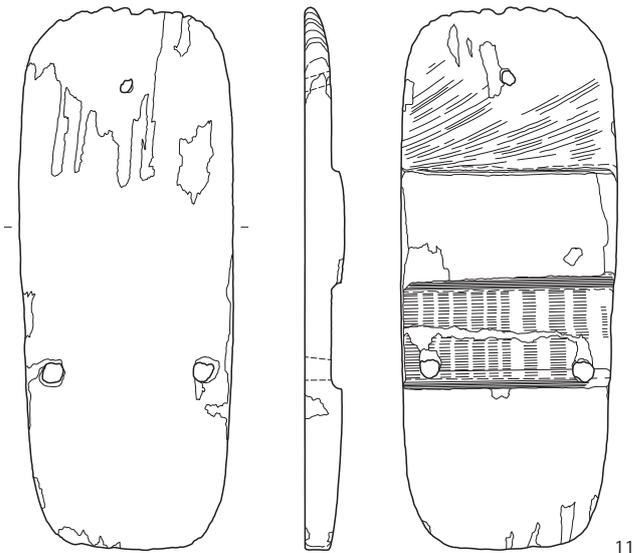
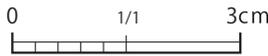
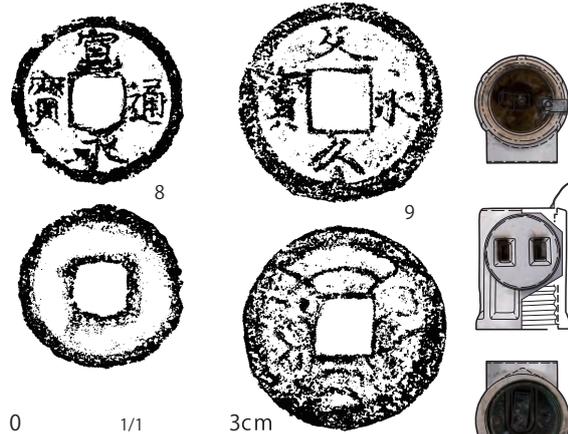
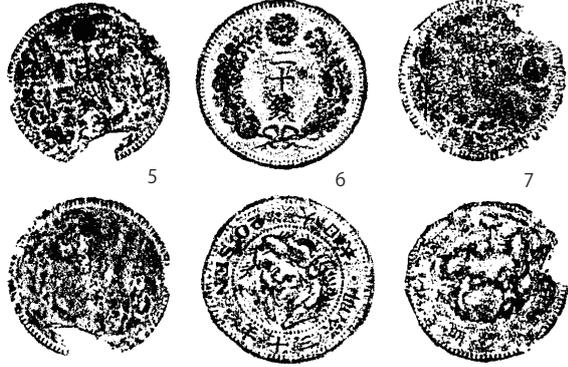
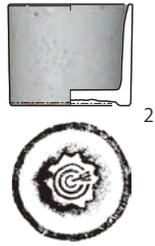


第60図 遺構出土の遺物 (16) (1/3・1/6)

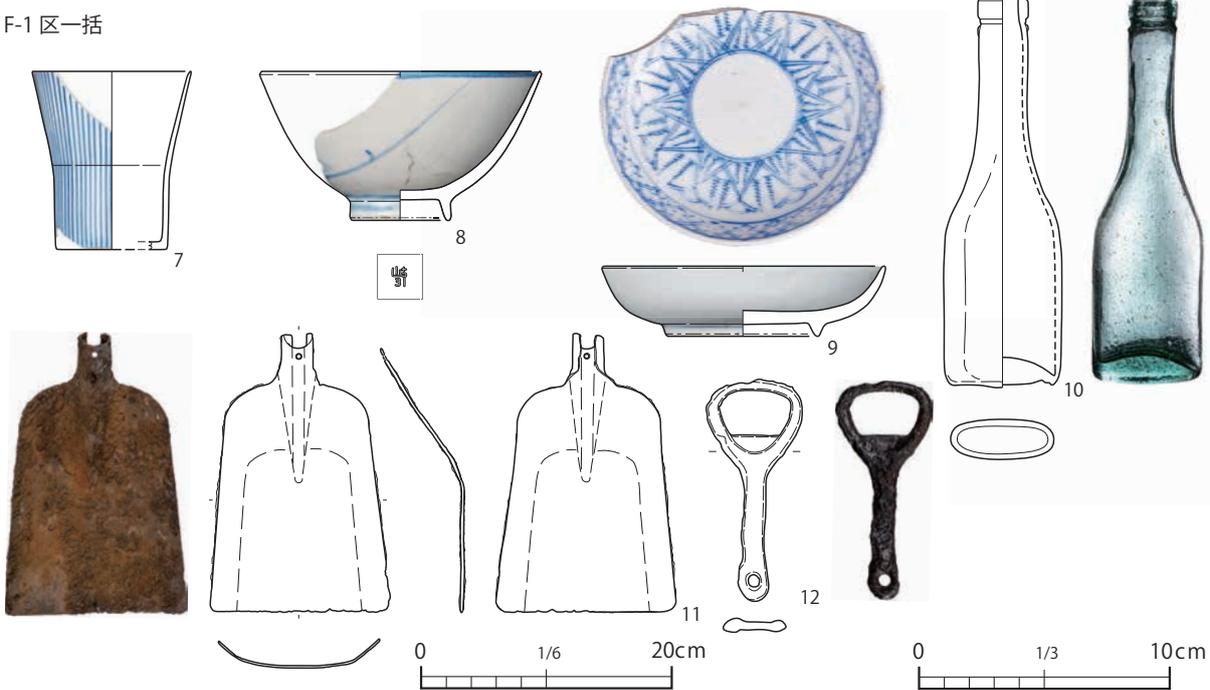


第 61 図 遺構出土の遺物 (17)・遺構外出土の遺物 (1) (1/3・1/6)

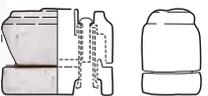
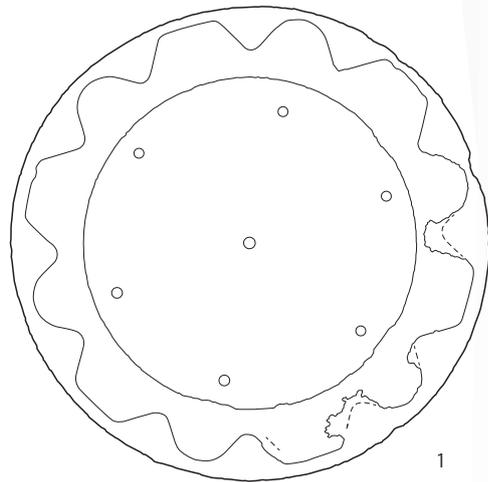
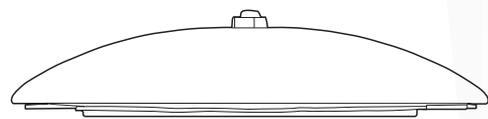
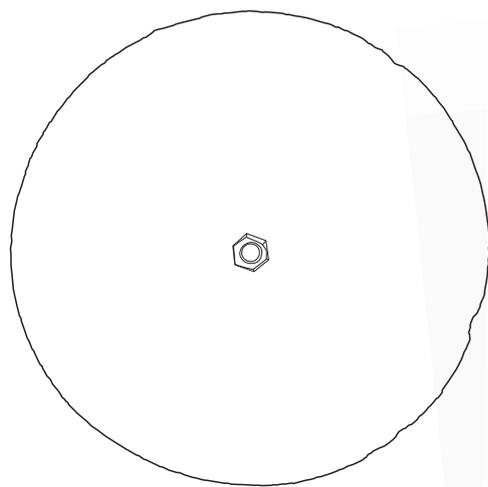
E-1 区一括



第 62 図 遺構外出土の遺物 (2) (1/1・1/3)



第 63 図 遺構外出土の遺物 (3) (1/1・1/3・1/6)



0 1/6 20cm

F-1 区一括

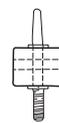


2

F-2 区一括



6



7



9

0 1/3 10cm

第 64 図 遺構外出土の遺物 (4) (1/3・1/6)

第8表 遺物観察表

図版	No	区名	遺構名	種別	器種	法量 (cm)			重量 (g)	成：成形 調：調整 文：文様 形：形態 胎：胎土 材：材質 飾：装飾 使：使用 痕等 時：時代 型：型式 産：推定生産地 備：備考
						a	b	c		
45	1	D-1	64号	縄文土器	深鉢	(3.3)	(2.8)	0.7	(8.0)	胎：外 5YR5/6 明赤褐色、内 7.5YR6/6 橙色、微砂粒・石英・チャート微小角礫含 文：縄文 RL 時：早期前半 型：捺糸文系
45	2	F-1	57号	縄文土器	深鉢	(4.7)	(2.5)	0.8	(11.0)	胎：外 10YR7/4 にぶい黄褐色、内 10YR7/4 にぶい黄褐色、繊維、チャート・石英・長石微小角礫含 文：貝殻腹縁文 時：早期後葉～前期初頭 型：条痕文系 (鶴ガ島台式か)
45	3	F-1	57号	縄文土器	深鉢	(3.3)	(3.2)	0.9	(14.0)	胎：外 7.5YR6/6 橙色、内 10YR3/2 黒褐色、繊維、チャート・石英・長石微小角礫含 文：内外面条痕文 時：早期後葉～前期初頭 型：条痕文系 (鶴ガ島台式か)
45	4	F-1	60号	縄文土器	深鉢	(4.9)	(3.8)	0.9	(21.0)	胎：外 7.5YR6/6 橙色、内 7.5YR7/4 にぶい褐色、繊維、チャート・石英・長石・黒色ガラス質微小角礫含 文：外面貝殻腹縁文、内面絡条条痕 時：早期後葉～前期初頭 型：条痕文系 (鶴ガ島台式か)
45	5	D-1	79号	縄文土器	深鉢	(5.0)	(3.2)	0.7	(17.0)	胎：外 5YR6/6 橙色、内 10YR7/4 にぶい黄褐色、淘汰の悪い石英・チャート・長石微小角礫含 文：縄文 RL 時：前期後半 型：諸磯 a 式か
45	6	F-1	63号	石器	石鏃	1.3	(7.2)	0.3	(0.9)	材：頁岩 使：先端・逆刺部欠損 時：縄文 備：表裏面に灰黄褐色の砂粒状物質付着
45	7	D-1	64号	土器	台付甕	(3.3)	(2.8)	0.7	(17.5)	成：ロクロ 胎：外 7.5YR6/6 橙色、内 10YR3/2 黒褐色、微砂粒・長石・雲母・微小角礫含 調：外面横位～斜位のヘラナデ、内面縦位の指ナデ 時：8C 後半～9C
45	8	F-2	2号	磁器	小碗	9.5	5.9	2.9	(123.0)	成：ロクロ 調：高台端外面面取り 飾：ゴム印上絵「結果/自然/成/京口(司?)」、ゴム印銘(朱)「二重隅丸方形に「正」、手描+ゴム印上絵(蚊、達磨)、手描+ゴム印(朱)二重圏線、底部中央ゴム印銘(朱)「九谷」産：九谷
45	9	F-2	2号	磁器	小碗蓋	7.0	3.4	6.7	48.3	飾：上絵(朱)、上絵(笹?)、上絵(雲)産：九谷 備：45 図 10 とセット
45	10	F-2	2号	磁器	小碗	6.0	7.7	3.4	(83.9)	成：ロクロ 調：高台端外面面取り 飾：上絵(朱)、上絵(金、鳥・笹?)、上絵(金・緑・黄・雲)、底部中央ゴム印銘「九谷」産：九谷 備：45 図 9 とセット
45	11	F-2	2号	磁器	中皿	18.2	2.9	11.2	(331.0)	成：石膏型 調：高台端内外面面取り 飾：口縁部プリント二重圏線、底部中央銘二重円(「TOKI」/「鳥のマーク」/「KISHITSU」)+「岐 1086」時：近代(1940年代前半)産：美濃窯業
45	12	F-2	2号	土器	焜炉	26.0	24.8	18.0	(3520.0)	胎：珪藻土練り物 飾：外面口縁部・胴部・底部付近に腐食した金属板付着、通風孔外面に金属蓋 時：近代 備：七輪
45	13	F-2	2号	土器	焜炉	11.5	1.6	12.5	(116.0)	胎：乳白色、微砂粒含 備：焜炉目皿
46	1	F-2	2号	土器	行火	17.7	10.2	16.2	1451.0	成：ロクロ(底部糸切)、脚台貼付 調：外面体部横方向の丁寧なミガキ 胎：10YR1.7/1 黒色、微砂粒・微小角礫・雲母目立つ 飾：外面体部に腐食した金属板付着 使：脚台研磨 備：行火火入れ、外面体部大部分剥落
46	2	F-2	2号	土器	十能	11.4	11.1	10.8	(228.0)	成：ロクロ 胎：5YR5/8 明赤褐色、微砂粒・微小角礫含 飾：持手中空で皿部まで貫通、外面底部に刻印三重円に(「土/□(1?)22」)
46	3	F-2	2号	土器	練炭熾し	12.3	12.9	12.3	(312.0)	成：ロクロ 胎：5YR5/8 明赤褐色、微砂粒・微小角礫含 飾：持手中空で皿部まで貫通、目皿
46	4	F-2	2号	ガラス製品	瓶	3.0	28.4	6.6	579.0	成：型吹 形：口縁外面スクリュー 材：褐色透明 飾：側面肩部型打陽刻「AKADAMA PORT WINE」、底部付近「BOTTLED & GUARANTEED BY KOTOBUKIYA LTD.」、底面「4」「Y」[菱形内に「N」] 時：20C 初頭～1963年 備：壽屋洋酒店(現サントリー)赤玉ポートワイン瓶、金属蓋遺存
46	5	F-2	2号	ガラス製品	瓶	2.1	28.9	6.4	(621.0)	成：型吹 材：緑色透明 飾：側面肩部型打陽刻「殺虫防臭消毒用」「煙だし」、底部付近「小林脳行」、底面「6」時：20C2/4 以前 備：小林脳行消臭剤瓶
47	1	F-2	2号	ガラス製品	瓶	2.1	28.9	6.2	(543.0)	成：型吹 材：緑色透明 飾：底面型打陽刻「11」「Y」
47	2	F-2	2号	ガラス製品	瓶	2.6	21.7	4.8	312.0	成：型吹 材：無色透明 飾：側面型打陽刻「K」[星形の中に「S」]「K」、側面底部付近型打陽刻「国際食品工業株式会社」、「Net 180cc」備：容量約 180ml
47	3	F-2	2号	ガラス製品	瓶	4.2	13.1	4.2	165.0	成：型吹 形：口縁外面スクリュー、胴部断面略楕円形 材：無色透明 飾：側面型打陽刻「薬用/蜂蜜」、「東京/加藤養蜂園」備：容量約 155ml
47	4	F-2	2号	ガラス製品	瓶	5.0	8.4	3.4	160.0	成：型吹 材：青色透明 飾：胴部型打陽刻「カルピス/100c.c.」「ヨーグルト」備：容量約 100ml
47	5	F-2	2号	ガラス製品	瓶	0.9	8.8	4.6	129.0	成：型吹 形：口縁外面スクリュー 材：無色透明 飾：胴部型打陽刻「54CC / 伊豆諸島椿油工業協同組合制定場/株式会社 大島椿製油所謹製」、底面型打陽刻「意匠化された「大」内に「椿」] 時：近現代(20C2/4～3/4) 備：大島椿製油所椿油瓶、容量約 54ml
47	6	F-2	2号	ガラス製品	瓶	6.3	6.6	5.2	128.0	成：型吹 形：口縁外面スクリュー 材：褐色透明 飾：底面型打陽刻「LION」時：1961年～ 備：LION 株式会社、金属蓋遺存(プリント「ライオン歯磨/潤滑/LION / DENTAL PASTE-POWDER / THE LION DENTIFRICE CO.LTD.」)
47	7	F-2	2号	ガラス製品	瓶	4.5	5.0	3.2	120.0	成：型吹 形：口縁外面スクリュー 材：白色不透明 飾：胴部表裏面型打陰刻隅丸長方形(ラベル貼付用の枠)、底面型打陽刻「源氏香之図花散里の下に点」時：近代以降 備：柳谷本店化粧品瓶、容量約 40ml
48	1	F-2	2号	ガラス製品	瓶	2.0	5.4	2.4	38.1	成：型吹 材：褐色透明 飾：底面型打陽刻「6」、「25」、「SANKYO」時：1913年以降 備：三共株式会社?薬瓶、容量約 25ml
48	2	F-2	2号	ガラス製品	瓶	6.0	5.0	6.4	130.0	成：型吹? 材：緑色透明 飾：底面型打陽刻「ヤマト糊」時：近代(20C 前半) 備：ヤマト糊本舗(現ヤマト株式会社)糊瓶、容量約 80ml
48	3	F-2	2号	ガラス製品	瓶	7.3	2.6	2.3	22.0	成：型吹 形：口縁外面スクリュー 材：青色透明 飾：側面型打陽刻「VON」、底面型打陽刻「円内に「人」?、点、横棒 2本」、上面シール貼付「VON-M/ボンエム/抗水虫剤/ANTI POMPHOLYX」時：近代以降 備：森田薬品工業株式会社水虫薬、容量約 15ml
48	4	F-2	2号	ガラス製品	電球	2.4	10.1	5.5	31.0	材：白色不透明 飾：頂部プリント「円内に「100V」「30W」さらに円内に「マツダ」] 時：1910～1960年代 備：東京電気株式会社(現東芝)白熱電球
48	5	F-2	2号	鉄製品	パトロネ	3.1	4.5	3.1	(14.5)	材：鉄 飾：体部プリント(黄) 時：近代以降 備：35mm ネガフィルム用、コダック製か、内部に樹脂製の軸及びフィルムと軸の固定用布ベースのテーパ遺存
48	6	F-2	2号	鉄製品	缶	5.6	7.3	5.6	(50.3)	材：鉄 飾：体部プリント(英字) 時：近代以降 備：オイル缶か
48	7	F-2	3号	磁器	小碗	11.2	6.0	3.8	(86.0)	調：高台端外面面取り 飾：体部ゴム印上絵(緑、菊)(青、菊)、高台接合部手描上絵圏線(朱) 時：20C2/4 産：肥前? 備：長佐古分類 D 類
48	8	F-2	3号	陶器	植木鉢?	15.6	(18.5)	15.0	(947.0)	成：ロクロ 調：高台端外面面取り 飾：外面体部鉄釉、内面体部～底部緑釉 使：表裏面敲打により器面剥落 備：内面底部φ 10mm 前後胎土目痕
48	9	F-2	3号	銅製品	捻締	1.2	3.2	0.6	6.0	成：プレス?、孔部削出 形：内面スクリュー状 材：真鍮 (Cu:69.4%、Zn:24.0%、Pb:4.5%、Sn:1.4%、As:0.3%、Sb:0.4%) 備：48 図 11 の受部

図版	No	区名	遺構名	種別	器種	法量 (cm)			重量 (g)	成：成形 調：調整 文：文様 形：形態 胎：胎土 材：材質 飾：装飾 使：使用痕等 時：時代 型：型式 産：推定生産地 備：備考
						a	b	c		
48	10	F-2	3号	銅製品	捻締	2.8	2.8	1.0	3.0	成：アレス？、孔部削出 材：真鍮 (Cu:76.6%、Zn:22.6%、Pb:0.5%、Sn:0.3%) 備：48 図 11 の本体座
48	11	F-2	3号	銅製品	捻締	1.9	6.3	0.8	13.0	成：鑄造？ 形：外面スクリー状 材：真鍮 (Cu:64.4%、Zn:31.9%、Pb:2.4%、Sn:1.3%) 飾：型打陽刻「天秤？」 備：48 図 9 の鍵部
49	1	F-2	3号	レンガ	並型	11.3	23.2	6.1	(2462.0)	成：手抜 胎：2.5YR6/8 橙色 飾：刻印 (桜/単弁) 時：19C4/4～20C1/4？ 産：小菅集治監 備：3号遺構レンガ枘構成材
49	2	F-2	3号	レンガ	並型	11.0	23.3	6.2	(2468.0)	成：手抜 胎：2.5YR5/8 明赤褐色 飾：刻印 (桜/複弁) 時：19C4/4～20C1/4 産：小菅集治監 備：3号遺構レンガ枘構成材
49	3	F-2	3号	レンガ	並型	11.0	23.5	6.3	(2480.0)	成：手抜 胎：10R6/8 赤褐色 飾：刻印 (長方形内に「七」) 産：不明 備：3号遺構レンガ枘構成材
49	4	F-2	3号	レンガ	並型	11.6	23.0	6.0	(2451.0)	成：手抜 胎：10R5/8 赤色 飾：刻印 (楕円形内に「十一」) 産：不明 備：3号遺構レンガ枘構成材
49	5	F-2	3号	レンガ	並型	10.9	23.0	6.3	(2210.0)	成：手抜 胎：10R6/4 にぶい赤褐色 飾：刻印 (四芒星状) 産：不明 備：3号遺構レンガ枘構成材
49	6	F-2	3号	レンガ	並型	11.0	(20.3)	6.4	(1990.0)	成：手抜 胎：2.5YR5/8 明赤褐色 飾：刻印 (四芒星状) 産：不明 備：3号遺構レンガ枘構成材
49	7	F-2	3号	レンガ	並型	11.1	(10.8)	6.1	(800.0)	成：手抜 胎：10R6/6 赤褐色 飾：刻印 (放射状) 時：19C 末 産：横濱煉瓦製造会社 備：3号遺構レンガ枘構成材
48	12	F-2	5号	磁器	小皿	10.8	2.7	4.6	92.6	成：型口クロ 調：高台端外面面取り 形：輪花 飾：手描+白泥筒描染付 (コバルト釉、梅・松葉?)、手描上絵 (朱・緑、松葉?)、底面高台内型打陽刻銘「岐/205」、ゴム印 (朱、丸に「許」/「27341」) 時：1940年代初頭 産：美濃?
48	13	F-2	6号	磁器	湯たんぼ	(18.2)	9.6	9.3	(348.0)	胎：白色 飾：ゴム印染付 (コバルト釉、華唐草文)、側面中央に型による陽刻 (花?)、底面に焼成前穿孔 (水抜き用か)
50	1	F-2	6号	磁製品	電気部品	4.9	6.6	3.8	(171.0)	成：型？ 胎：2.5Y8/1 灰白色 形：下部がすぼまり上面が球状の管状 飾：内外面上半輪軸施釉、内外面下部黒化 時：近代以降 備：母子?
50	2	F-2	8号	鉄製品	蹄鉄	11.7	12.7	0.9	277.0	成：鍛造、釘穴穿孔 形：前側に鉄唇あり 材：鉄
50	3	F-2	8号	鉄製品	引手	8.9	4.5	0.9	40.0	成：鑄造？ 材：鉄 備：筆筒の引手 (蔵手)
50	4	F-2	9号	土器	火鉢	28.6	32.2	25.6	(7800.0)	胎：10YR1.7/1 黒色、微砂粒・微小角礫・長石・雲母含 飾：口唇部～外面底部黒色処理、外面体部に陽刻 (複合鋸歯文・松の木・波・帆掛け船・竹・雀・梅の木・七宝・「自司?」涼香?・「青松多寿色?」・青海波)、外面体部赤色塗料塗布、体部下方四方に焼成前穿孔 (取っ手) 備：堆朱風、内部に 51 図 1 が収まる可能性あり
51	1	F-2	9号	土器	七輪	22.4	17.7	16.8	(2200.0)	成：型成形 (合わせ) 胎：10YR7/2 にぶい黄褐色、微砂粒・微小角礫・長石・雲母含 飾：内面張出部貼付後に底部開口部焼成前穿孔、外面口縁部部分的に黒色処理 使：内面上側張出部被熱による赤変 備：丸型、体部外面に接合痕、内部に 51 図 2 が収まる可能性あり
51	2	F-2	9号	土器	七輪	22.0	13.7	18.8	(2060.0)	成：型成形 (合わせ) 胎：10YR7/2 にぶい黄褐色、微砂粒・微小角礫・雲母目立つ 飾：外面体部に棒状工具による時計回り沈線 2条→沈線内に腐食した金属線付着、外面口縁部～口唇部黒色処理 使：内面体部～底部・外面底部被熱 備：丸型、内部に 51 図 3 が収まる可能性あり
51	3	F-2	9号	土器	目皿	13.3	3.6	10.0	(277.0)	成：型打 胎：7.5YR5/8 明褐色、微砂粒・微小角礫・雲母目立つ 飾：外面体部溝内に腐食した鉄線 1条付着 使：内面底部被熱 備：焜炉目皿
51	4	F-2	9号	ガラス製品	瓶	2.7	7.8	3.6	49.4	成：型吹 材：無色透明 飾：側面型打陽刻「LEFRANC」、円形の枠内に「L」、鉛と直線と曲線を組み合わせたマーク、「F」、「PARIS」、「DEPOSÉ」、底面型打陽刻「GL/357」 備：香水瓶、固化した内容物遺存、容量約 40ml
51	5	F-2	10号	磁器	小碗	9.1	4.9	4.6	147.0	飾：外面口縁部手描染付圏線 (朱)、染付 (朱)、ゴム印染付圏線 (朱)、外面体部プリント染付 (朱、円内に動輪/「弘」)、外面高台内プリント銘「名古屋製陶會社」/「王冠のマーク」/「MF (Eか) ITO CHINA」 備：ティーカップ、52 図 5 と似る、鉄道弘済會と関連?
51	6	F-2	10号	磁器	小碗	7.9	6.4	4.4	(191.0)	成：口クロ 飾：外面口縁部手描上絵二重圏線、外面体部ゴム印紋章 (半纏?)、外面高台内ゴム印銘「昭和十四年度」 備：ティーカップ (把手欠失)
51	7	F-2	10号	磁器	小碗	8.0	4.8	3.2	(70.3)	飾：内外面クロム青磁地に手描染付 (コバルト釉、梅)、高台手描染付二重圏線 産：美濃 備：高台内白磁
51	8	F-2	10号	磁器	小碗	10.5	5.7	3.4	(53.5)	調：高台端外面面取り 飾：外面体部ゴム印染付 (コバルト釉、菊?)、体部下方～高台手描染付三重圏線 時：20C2/4前半 備：長佐古分類 D 類
51	9	F-2	10号	陶器	甕 (蓋)	19.4	6.1	14.6	(233.0)	成：口クロ、つまみ貼付 飾：外面胎釉、つまみ周辺白濁釉化粧がけ、内面柿釉
51	10	F-2	10号	陶器	鉢	23.6	14.0	17.0	(606.0)	調：高台端外面面取り 胎：10YR8/1 灰白色 飾：外面体部～内面底部灰釉、外面口縁部銅緑釉化粧がけ、高台部無釉 備：内面底部φ10mm前後目痕、外面底部φ30mm前後目跡
51	11	F-2	10号	土製品	置物	6.5	4.9	4.9	138.0	調：先端鋭利な笠状工具か 形：象 (背面に不整円柱状のくぼみあり) 胎：10YR6/6 明黄褐色 飾：無釉 備：筆立てか
52	1	F-2	10号	石製品	砥石	8.4	23.6	4.0	(1473.0)	成：上端面・左側面に鑿痕 調：裏・左側面研磨 材：凝灰岩? 使：表・右側面研磨痕、被熱後破損 備：置砥、仕上げ砥
52	2	F-2	10号	磁製品	磁製卸金	(4.5)	(5.3)	0.9	(9.0)	成：型成形 (裏裏面布目圧痕) 調：断面三角形の櫛状工具で目立て 飾：灰白色釉 時：近代 (1940年代前半頃) 備：代用陶器
52	3	F-2	14号	陶器	甕	59.6	48.3	24.4	(26600.0)	飾：外面体部中央～内面マンガン釉 時：近代 産：常滑 備：外面体部中央付近に圏線状の重ね焼痕、内面体部～口唇部に部分的にモルタル付着、石灰の付着は見られないが便槽か
52	4	F-2	17号	磁器	小碗	10.4	5.4	3.6	(32.1)	形：輪花 飾：外面淡いクロム青磁地に体部手描染付列点文、口唇口鏤、内面口縁部型紙染付 (コバルト釉、千鳥・青海波)、見込み二重圏線内に椀間山水文 備：高台内白磁
52	5	F-2	17号	磁器	小碗	9.1	5.1	4.6	(35.1)	飾：外面口縁部手描染付圏線 (朱)、染付 (朱)、ゴム印染付圏線 (朱)、外面体部プリント染付 (黒、円内に動輪/「弘」)、外面高台内プリント銘「名古屋製陶會社」/「王冠のマーク」/「MF (Eか) ITO CHINA」 備：ティーカップ、51 図 5 と似る、被熱により染付の朱色が部分的に黒化、鉄道弘済會と関連?

図版	No	区名	遺構名	種別	器種	法量 (cm)			重量 (g)	成：成形 調：調整 文：文様 形：形態 胎：胎土 材：材質 飾：装飾 使：使用 痕等 時：時代 型：型式 産：推定生産地 備：備考
						a	b	c		
52	6	F-2	17号	磁器	小碗	7.0	(6.2)	-	(24.0)	成：成形 調：調整 文：文様 形：形態 胎：胎土 材：材質 飾：装飾 使：使用 痕等 時：時代 型：型式 産：推定生産地 備：備考 飾：外面口縁部プリント(朱、1mm単位の定期)、体部プリント(朱・黒、「メー(トル) /長さ(の単位) /名稱 略× /ミクロン μm (百万分ノ一) /ミリメートル 耗 mm 千 (分ノ一) /センチメートル 糲 cm 百分 (ノ一) /デシメートル dm 十分ノ一 (米) /メートル 米 m /キロメートル 軒 km 千米 / ●海里 哩 千八百五十二米 / ●印は海面に於ける長さに限る /面積の単位 /平方ミリメートル 百万分ノ一平方 /平方センチメートル 一分ノ一平方 /平方デシメートル 百分ノ一平方 /平方メートル /平方キロメートル 百萬 (平方米) / ●アール a 百 (平方米) / ●ヘクタール ha 百 (アール) / ●印は土地水面の面× /量の單 (位) /立方センチメートル c (c) /立方デシメートル / (立方メートル)) 時：20C1/4末 備：メートル法の広報普及用
52	7	F-2	17号	磁器	大碗	15.6	7.2	6.8	(236.0)	調：高台端外面面取り 飾：外面口縁部手描上絵線(朱)、体部ゴム印上絵(朱、草花文・窓枠に霞・草花文) (青、花卉)、体部下方手描上絵線(朱)、高台内線(朱)、内面口縁部手描上絵列点(朱)、ゴム印上絵花草(朱)、手描上絵列点(朱)、高台内ゴム印跡(朱) 判断不能
53	1	F-2	17号	陶器	火鉢	32.1	(10.4)	-	(653.0)	成：口縁部折り返し、把手貼付 飾：外面体部～内面口縁部胎釉 + 白濁釉化粧かけ
53	2	F-2	17号	鉄製品	時計	8.0	7.5	5.8	(295.0)	形：背面ゼンマイネジ2か所 時：1940年代前半? 材：鉄 備：体部に足・ペル・吊り輪等の取付用の穴なし、別部品にはめ込む時計か
53	3	F-2	17号	磁製品	電気部品	6.9	2.5	4.3	(25.0)	成：型? 胎：2.5Y8/1灰白色 飾：上面2か所焼成前穿孔、側面染付(コバルト釉、「□ V.3A.」、上面接地面・側面スクルー以外透明釉施釉 時：近代以降 備：天井に設置するローゼットか、53図8と組み合わせる可能性あり
53	4	F-1	31号	磁器	中碗	11.8	5.8	4.6	(107.0)	飾：外面口縁部線、体部プリント(コバルト釉、草花文?)、高台二重線、高台内線 時：1960年前後～1970年代 備：長佐古分類E類
53	5	F-1	31号	磁器	中碗	12.2	6.2	4.4	(92.6)	調：高台端外面面取り 飾：外面口縁部線、体部水玉彫り(コバルト釉)、高台接合部線、高台二重線、高台内線、高台内路「善山」 時：1960年前後～1970年代 産：波佐見 備：長佐古分類E類
53	6	F-1	31号	磁製品	電気部品	6.7	2.9	5.3	(83.4)	成：型(上面内側布目圧痕) 胎：2.5Y8/1灰白色 飾：側面プリント染付(コバルト釉、「□ A25CV3A125V. [菱形の直線内に「TDK」] PAT.NO.165778.))、側面施釉 時：近代以降 備：TDK株式会社母子、金属部品付着、壁取付用スイッチか
53	7	F-1	31号	磁製品	電気部品	1.3	10.5	1.5	27.1	成：型? 形：管状 胎：2.5Y8/2灰白色 調：上面施釉 時：近代以降 備：被覆母子
53	8	F-1	31/32号	磁製品	電気部品	6.8	3.7	5.8	48.5	成：型? 形：内面スクルー状 胎：2.5Y8/1灰白色 飾：内外面以外透明釉施釉、内面スクルー部無釉 時：近代以降 備：ローゼットのキャップか、53図3と組み合わせる可能性あり
53	9	F-1	32号	磁器	瓶	2.2	7.9	-	(34.5)	飾：手描染付(コバルト釉?、葉・唐草) + 白泥筒描
53	10	F-1	32号	磁器	(蓋物)	-	(1.8)	7.6	(40.9)	成：石膏型 飾：外面底部にゴム印跡(金、「硬質磁器」 / 「S」 [富士のマーク] 「H」 / 「FUJISEITO」) 備：ティーポット?
53	11	F-1	32号	磁器	置物	6.7	(8.8)	3.3	(77.6)	成：型 形：狐 飾：外面施釉、手描上絵(金?、目・ヒゲ・耳) 備：稲荷か
54	1	F-1	32号	硬質陶器	水盤	25.8	8.0	21.8	(783.0)	成：ロクロ 飾：白濁釉、脚端無釉、外面底部中央にゴム印染付(黒、梅)
54	2	F-1	32号	陶器	ミニチュア	5.8	4.5	4.1	(28.8)	成：型打(併) 胎：硬質緻密 飾：緑色釉 時：近代(20C2/4) 産：不詳(常滑 or 万古?) 備：ミニチュア(ガスコンロ)
54	3	F-1	32号	ガラス製品	瓶	8.6	(12.0)	1.4	(89.0)	成：型吹 形：口縁外面スクルー状 材：淡緑色透明 備：菓子瓶
54	4	F-1	32号	骨角製品	歯ブラシ	1.2	16.3	0.5	14.0	成：削出 材：鯨鬚? 飾：陰刻 [鐘のマーク?] 「カネボウ」 「40」 [円内に「公」] 「一 号品3□□」
54	5	F-1	32号	骨角製品	歯ブラシ	1.1	(10.2)	0.5	(7.0)	成：削出 材：鯨鬚? 飾：陰刻「ライオン歯刷二」「二號形」
54	6	F-1	32号	銅製品	戸鍵	2.7	4.8	3.7	14.0	成：プレス?、孔部削出 材：ケース部真鍮(Cu:74.9%、Zn:24.4%、Pb:0.7%)、つまみ部真鍮(Cu:73.9%、Zn:25.8%、Pb:0.3%)、フッシャ部真鍮(Cu:74.4%、Zn:25.2%、Pb:0.3%) 備：開き戸鍵
54	7	F-1	32号	鉄製品	鍔	4.3	11.3	4.9	50.1	成：プレス?、持手溶接 材：鉄
54	8	F-1	32号	鉄製品	万力	3.1	9.2	3.5	56.0	成：プレス? 材：鉄
54	9	F-1	32号	鉄製品	脚?	4.4	13.0	5.4	138.0	成：鑄造?、底部孔削出 形：頂部ネジ取付 材：鉄 備：置物等の3本1セットの脚部か
54	10	F-1	32/34号	磁製品	電気部品	1.4	4.1	5.0	45.4	成：型 胎：2.5Y8/1灰白色 飾：内外面施釉、底面無釉 時：近代以降 備：母子
54	11	F-1	32号	磁製品	電気部品	3.1	5.1	4.2	(59.5)	成：ロクロ? 胎：2.5Y7/2灰黄色 調：底面糸切痕? 時：近代以降 備：母子
55	1	F-1	32号	磁製品	電気部品	6.2	(8.0)	3.2	(227.0)	成：型? 胎：2.5Y8/1灰白色 調：側面施釉 時：近代以降 備：端子?、金属部品付着
55	2	F-1	33号	陶器	鉢	-	(14.6)	19.0	(1158.0)	飾：外面体部手描染付(コバルト釉・黒、帆掛舟?・二重線・縦溝・線) 高台内無釉、釉薬が帯状に内面に流れ底面まで到達 使：内面底部被熱 備：火鉢
55	3	F-1	34/40号	磁器	小碗	8.4	4.8	3.4	(99.0)	飾：内外面クロム青磁地に手描染付(コバルト釉、梅?)、高台手描染付二重線 備：高台内外白磁
55	4	F-1	34号	磁器	小碗	-	(2.8)	1.8	(9.0)	調：高台端外面面取り 飾：見込み上絵ゴム印(黒・朱・金、鉄帽・旭日旗・桜・帰還) 備：復員記念品か
55	5	F-1	34号	磁器	(小碗)	-	(4.0)	-	(10.7)	飾：外面体部上絵ゴム印(コバルト釉?、「昭和十七年/泰南丸/天南丸/建□/日本製□」)
55	6	F-1	34号	磁器	瓶	1.5	10.8	2.5	(51.9)	成：石膏型 飾：銅板転写染付(コバルト釉、蛸唐草・松竹梅・蓮弁) 時：近代(19C4/後半～20C前半)
55	7	F-1	34号	硬質陶器	中皿	16.2	2.1	9.8	(74.0)	飾：口唇部線(コバルト釉?)、見込みプリント(茶、草文)、高台内ゴム印跡(緑、「マークトリボン」 「TOYOT (OKI) / KOK (URA) / JAP (AN)」) 時：近代(20C2/4頃) 産：東洋陶器(小倉)
55	8	F-1	34号	陶器	鉢	34.0	31.0	17.4	(5600.0)	形：体部平面隅丸正九角形、口縁部・台部平面円形 飾：口唇部～高台台付胎釉 + 卵の斑釉流しかけ、内面体部上方暗赤褐色塗料 + 斑点状卵の斑釉、高台内無釉、内面底部砂目積み痕、高台内刻印跡(正六角形内に「信」 / □□ (数字)) 使：内面体部下方被熱 産：信楽
55	9	F-1	34/32号	石製品	硯	6.6	12.1	(1.4)	(125.0)	材：頁岩 使：硯面擦痕
55	10	F-1	34号	磁製品	電気部品	4.4	6.1	4.3	(175.0)	成：型? 形：内面スクルー状 胎：2.5Y8/1灰白色 調：外面稀釉施釉 時：近代以降 備：母子?
56	1	F-1	40号	磁器	小碗	10.4	5.7	3.4	(70.5)	調：高台端外面面取り 飾：外面胴部ゴム印(朱・白・青・黄、梅)、高台内線(コバルト釉)、ゴム印跡(瀬323) 時：近代(1940年代前半)

図版	No	区名	遺構名	種別	器種	法量 (cm)			重量 (g)	成：成形 調：調整 文：文様 形：形態 胎：胎土 材：材質 飾：装飾 使：使用 痕等 時：時代 型：型式 産：推定生産地 備：備考
						a	b	c		
56	2	F-1	40号	磁器	小碗	10.4	5.5	3.8	(47.0)	調：高台端外面面取り 飾：ゴム印+手描染付(コバルト釉、山・帆掛舟と海・楼閣山水文?)、手描二重圏線、ゴム印蓮弁文、手描圏線、高台手描二重圏線、高台内手描圏線
56	3	F-1	40号	磁器	中碗	12.5	6.4	6.0	(169.0)	成：ロクロ 飾：口縁部手描上絵圏線(朱)、胴部プリント上絵(花草文)、胴部下方手描上絵二重圏線、底部無釉、見込み手描上絵圏線(朱)、プリント上絵(花草文)
56	4	F-1	40号	陶器	急須	6.5	7.0	6.1	(115.0)	成：ロクロ 飾：灰釉+手描染付(葉)+手描上絵(菖蒲の花?)、蓋受部・底部外面無釉 時：大正～ 産：万古(三重)
56	5	F-1	40号	陶器	焜炉	8.4	4.9	6.3	(78.9)	成：型? 調：棒状工具で火口穿孔 飾：外面全体・内面部分的に鉄釉施釉 時：近代(1940年代前半頃) 備：代用陶器(卓上用ガスコンロ)
56	6	F-1	40号	土器	焜炉	25.6	14.6	27.2	(2460.0)	成：ロクロ+煙道部貼付、煙道焼成前穿孔 調：畳付端内外面面取り 胎：10YR1.7/1 黒色、微砂粒・微小角礫・長石・雲母目立つ 飾：外面体部エンボス処理+部分的なミガキ、外面口縁部・底部・煙道部上端横位のミガキ、内外面黒色化処理
56	7	F-1	40号	瓦	丸瓦	(5.9)	(7.4)	(4.3)	(121.0)	胎：7.5Y7/1 灰白色、砂粒含 飾：煙 時：近世以降
56	8	F-1	40号	ガラス製品	瓶	1.6	5.8	2.6	(37.2)	成：型吹 形：口縁外面スクリュー 材：無色透明 飾：胴部型打陽刻「みづほ染料」 備：松浦株式会社染料瓶、容量約25ml
56	9	F-1	40号	ガラス製品	瓶	2.4	8.3	2.8	(47.0)	成：型吹 材：無色透明 飾：底面型打陽刻「134」/[菱形内に「S」、内面口縁部及び蓋外面差込部擦りガラス状 備：蓋付、日本精工硝子薬瓶、容量約55ml
56	10	F-1	40号	ガラス製品	瓶	2.4	4.5	2.8	(32.0)	成：型吹 形：口縁外面スクリュー 材：無色透明 飾：胴部型打陽刻「みやこ染(「こ」は変体仮名)」、底面型打陽刻「1」 備：桂屋ファイニングス株式会社染料瓶、容量約20ml
57	1	F-1	40号	鉄製品	剣形十能	9.9	20.5	1.2	176.0	成：プレス? 材：鉄
57	2	F-1	40号	磁製品	電気部品	10.0	6.4	5.0	(62.0)	成：型? 胎：2.5Y8/1 灰白色 飾：台部焼成前穿孔、内外面鉛釉施釉、底面目積み痕4か所 時：近代以降 備：金属部品付着 備：磚子
57	3	F-1	44号	瓦質土器	植木鉢	-	(23.5)	20.5	(1770.0)	成：ロクロ、底面・高台貼付 飾：高台・底部中央焼成前穿孔、表面黒色処理、外面体部腐食した金属線付着 使：内面体部～底部被熱 備：火鉢転用?
57	4	F-1	52号	磁器	小碗	6.0	6.4	3.0	(59.0)	飾：体部外面ロクロ筋彫+手描染付(コバルト釉、「口秋口」)、高台内ゴム印銘(岐285) 時：近代(1940年代前半)
57	5	F-1	52号	磁器	中皿	13.2	2.2	7.5	(102.0)	成：型打 調：高台端内外面面取り 飾：口縁、内面口縁部～体部上絵プリント(花草文)、底面高台内上絵ゴム印(朱、「ヤマカ陶器會社」/[不整円内に「YMK」を組み合わせたマーク]/YAMAKATOKIKAISHA/岐254) 時：近代(1940年代) 備：ソーサー
57	6	F-1	52号	陶器	火鉢	35.2	28.8	27.6	(5000.0)	成：ロクロ 飾：高台畳付～内面体部下方塩釉、底部焼成前穿孔、内面底部目積み痕 使：内面底部被熱 産：常滑 備：穿孔は台との固定用か
57	7	F-1	52号	陶器	火鉢	-	(17.7)	21.5	(1039.0)	成：ロクロ 飾：無釉、窓枠に陰刻楼閣山水文、内外面黒色化処理 使：内面体部～底部部分的に被熱
57	8	F-1	52号	陶器	焜炉	8.0	4.6	5.5	(84.4)	成：型?、五徳貼付 調：棒状工具で火口穿孔 飾：内外面白濁釉施釉(貫入あり) 時：近代(1940年代前半頃) 備：代用陶器(卓上用ガスコンロ)
57	9	F-1	52号	瓦	平瓦	22.6	28.1	4.5	2020.0	胎：7.5Y5/1 灰色、砂粒含 飾：煙 時：近世?
58	1	F-1	52号	瓦	棧瓦	29.9	30.0	5.5	(1995.0)	胎：7.5Y2/1 黒色、砂粒含 飾：煙 時：近代
58	2	F-1	53号	磁器	中碗	11.0	5.8	4.6	(58.8)	調：高台端外面面取り 飾：外面体部手描染付(呉須?、青海波・円内に「赤壁賦/是歳之望/歩白」)、高台接合部圏線、高台二重圏線、高台内圏線
58	3	F-1	53号	土製品	帯留	5.7	3.9	1.3	18.6	成：型、帯通し部貼付 調：篋状工具で線刻 形：椿 材：10Y8/1 灰白色、砂粒含
58	4	F-1	53号	骨角製品	箸	0.5	(12.2)	0.5	(4.4)	成：削出 材：象牙
58	5	F-1	53号	銅製品	蚊帳吊輪	5.2	5.2	0.2	(10.3)	成：鍛造 材：真鍮(Cu:84.0%、Zn:15.5%、Pb:0.5%) 飾：型打同心円状細線
58	6	F-1	53号	銅製品	校章	3.2	3.0	0.5	(2.0)	成：プレス 材：真鍮(Cu:70.4%、Zn:28.4%、Pb:1.0%、Sn:0.3%) 飾：型打陽刻「城高」、葉 備：城西大学附属城西高等学校校章?、クロム鍍金?
58	7	F-1	54号	鉄製品	スターター	(11.5)	8.8	(2.7)	(232.0)	成：鋳造 材：鉄
58	8	D-1	64号	磁器	小碗	8.0	4.5	3.2	(50.0)	飾：外面口縁部手描染付(コバルト釉) 圏線、体部千鳥、体部下方～高台籠目 時：近代 産：美濃
58	9	D-1	64号	陶器	中瓶	3.6	18.6	6.0	(434.0)	形：灰釉德利二合半タイプ 飾：外面体部下方～底部無釉、体部下方施釉時指跡 時：19C前半 産：瀬戸美濃
58	10	D-1	64号	ガラス製品	瓶	(1.1)	(5.1)	1.7	(10.0)	成：型吹 材：無色透明 飾：底面型打陽刻「5」 備：口縁部は意図的な破損か、容量約15ml
58	11	D-1	64号	ガラス製品	瓶	(1.1)	(5.6)	2.0	(10.0)	成：型吹 材：淡青色透明 備：口縁部器壁が極端に薄く、薄い範囲に沿って破損している、意図的な破損か、容量約15ml
58	12	D-1	64号	ガラス製品	瓶	(1.8)	(5.0)	2.4	(13.0)	成：型吹 材：淡青色透明 備：口縁部は意図的な破損か、インク瓶?、容量約15ml
58	13	D-1	65号	磁器	(中皿)	-	(1.8)	6.0	(71.8)	飾：見込み手描染付(呉須、風景文) 時：19C前半 産：肥前系
58	14	D-1	65号	磁器	瓶	-	(4.0)	-	(11.5)	飾：外面灰釉、上絵コンニャク判(朱、三重圏線)、内面無釉 時：18～19C初頭 産：肥前 備：香油瓶
59	1	D-1	79号	陶器	鉢	(6.2)	(8.0)	0.9	(44.1)	成：ロクロ 飾：内面口縁部陰刻蓮弁文、体部上方陰刻花草文?、白泥流し込み 時：18C前半
59	2	D-2	98号	磁器	小碗	-	(4.7)	4.9	(85.0)	飾：外面体部手描染付(呉須、楼閣山水文・唐草文)、高台手描染付蓮弁文、高台内手描染付圏線、手描染付銘「龍」? 時：19C中葉
59	3	D-2	102号	陶器	瓶	-	(3.2)	4.2	(81.0)	成：ロクロ 形：徳利五合タイプ 飾：外面体部・内面高台緑釉、高台畳付に重ね焼きした別の陶器の釉付着 時：18C後半
59	4	E-2	105号	磁器	中皿	20.6	3.1	10.0	(495.0)	飾：内面体部型紙染付(コバルト釉、宝相華唐草文)、手描染付二重圏線、見込み型紙染付(複合鋸歯文・松竹梅)、口唇部手描染付口鏤、外面体部型紙染付菊唐草文、高台内輪状に釉薬拭き取り、重ね焼痕 時：明治10年代～ 産：肥前系 備：イゲ皿
59	5	E-1b	110号	土製品	泥面子	2.2	2.1	0.9	4.7	成：手捏 調：側面ヘラミガキ? 胎：10YR7/6 明黄褐色、細砂粒・雲母含 飾：摩耗後篋状工具による陰刻(笠?) 使：表面摩耗後再加工?
59	6	E-1b	110号	土製品	泥面子	2.4	2.5	0.9	6.2	成：手捏 調：側面ヘラミガキ? 胎：10YR7/6 明黄褐色、細砂粒・雲母含 使：裏面側面付近摩耗 飾：篋状工具による陰刻(十字)
59	7	E-1b	110号	土製品	泥面子	2.4	2.4	0.9	5.4	成：手捏 調：側面ヘラミガキ? 胎：5YR6/6 橙色、細砂粒・雲母含 飾：篋状工具による陰刻(十字) 備：焼成前に側縁を押しつぶすように変形?
59	8	E-2	121号	石器	火打石	(2.1)	(3.2)	(0.7)	(2.9)	材：メノウ 使：側縁擦痕+黒化 時：近世～ 産：水戸 備：打面再生剥片

図版	No	区名	遺構名	種別	器種	法量 (cm)			重量 (g)	成：成形 調：調整 文：文様 形：形態 胎：胎土 材：材質 飾：装飾 使：使用痕等 時：時代 型：型式 産：推定生産地 備：備考
						a	b	c		
59	9	E-2	121号	石製品	砥石	4.4	(11.3)	2.5	(162.0)	成：裏面に繋痕 材：頁岩 使：表・右側面研磨痕、左側面被熱 備：置砥(持砥としても使用か)、仕上げ砥
59	10	E-1a	125号	磁器	小碗	7.8	4.3	3.6	(29.0)	調：高台端外面面取り 飾：外面体部銅板転写染付(コバルト釉、月・兎・芒・宝相華唐草文)、体部下端手描染付二重圏線、高台端手描染付圏線 時：1890年代
59	11	E-1a	125号	瓦	転用砥石	(5.4)	(6.6)	(4.6)	(105.0)	胎：7.5Y6/1 灰色、砂粒・微細礫含 使：右側縁擦痕 備：持砥、丸瓦か
59	12	E-1a	125号	銅製品	銭貨	2.3	2.2	0.1	(5.0)	材：銅 形：側縁平滑 飾：「□永通□」 時：近世(17C3/4～18C3/4頃) 備：寛永通宝(新寛永)
59	13	E-1a	125号	炭素製品	炭素棒	0.7	5.7	0.7	5.0	形：細い円柱状 飾：側面に連続した斜位の浅く短い刻み目 使：上面に緑青附着 時：近代 備：単一型乾電池の部品か
60	1	E-1a	126号	磁器	小碗	6.2	6.7	3.2	98.0	調：高台端外面面取り 飾：外面体部手描上絵(朱・灰・緑・白、草花文) 時：20C～
60	2	E-1a	126号	磁器	中碗	11.2	5.5	3.8	123.0	調：高台端内外面面取り 飾：外面体部ゴム印+手描染付(コバルト釉)+手描上絵(朱・黄、菊草花文) 備：長佐古分類D類
60	3	E-1a	126号	磁器	中碗	11.0	5.7	3.6	135.0	調：高台端外面面取り 飾：外面体部ゴム印上絵(朱・金・青・黒、七宝・青海波・亀甲文・四葉文)、高台接合部ゴム印圏線(朱)、高台内ゴム印銘(朱、方形内に「九谷」) 時：戦前～1950年代 産：生地は美濃か 備：長佐古分類D類
60	4	E-1a	126号	陶器	便器	56.6	25.0	25.8	3500.0	成：型? 胎：乳白色 飾：内外面白地釉、金隠し外面ゴム印(黒、「日の出の太陽と「丹」の字を意匠化した円に囲んだマーク」/「OSAKA」/「TANJI-SEITOSHO」)、体部外面刻印「2471A」/「2471A」(1行目は打ち損じか) 時：20C2/4頃 産：丹司製陶所(大阪or香川) 備：衛生陶器
60	5	E-1a	126号	ガラス製品	瓶	1.2	7.3	2.9	38.0	成：型吹 材：無色透明 飾：底面型打陽刻「4」、円内に「A」 備：容量約30ml
60	6	E-1a	126号	ガラス製品	瓶	1.8	8.0	3.4	39.0	成：型吹 材：無色透明 飾：体部側面型打陽刻目盛り線、底面型打陽刻「昭15」 備：容量約30ml
60	7	E-1a	127号	陶器	便器	5.2	9.2	7.0	(162.0)	成：型? +突出部貼付 胎：5YR6/6 橙色、細砂粒含 飾：内外面青地釉 時：20C2/4頃 産：丹司製陶所(大阪or香川) 備：青地便器
60	8	E-1a	127号	ガラス製品	瓶	2.8	11.3	4.0	118.0	成：型吹 材：褐色透明 飾：体部側面型打陽刻四重圏線・「Wakamoto」・目盛り線・五重圏線、底面型打陽刻「11」? 備：容量約140ml
60	9	E-1a	127号	ガラス製品	瓶	1.4	6.4	2.5	25.0	成：型吹 材：青色透明 形：胴部断面不整八角形 飾：胴部型打陽刻「本舗/山田安民」、「ロート目薬」 時：近代(20C前半) 備：信天堂山田安民薬房(現ロート製薬)目薬瓶、127号遺構掘方出土、容量約15ml
60	10	E-1a	127号	ガラス製品	玩具	3.7	1.6	5.8	84.0	成：型吹? 材：黒色半透明 飾：表面型打「R」 使：表面部分的・裏面著しい擦痕 備：石蹴り遊び用か、127号遺構掘方出土
60	11	E-1b	139号	石製品	砥石	5.1	(6.2)	2.6	(98.5)	材：砂岩 使：表・裏・両側面・上面研磨痕 備：持砥、荒砥
61	1	E-1a	252p	陶器	挿鉢	35.2	15.2	13.5	(1455.0)	成：紐づくり、注口手びねり 調：ヘラナデ、体部斜方向の指押さえ 胎：石英・長石の微小角礫含 飾：内面底部付近～外面体部鉄釉、口縁部縁帯外面に平行沈線、櫛目7本/2.2cm 時：17C後半 産：丹波 備：内外面体部下方に胎土目痕
61	2	E-1a	252p	石製品	板碑	(13.0)	(19.9)	(1.7)	(785.0)	材：緑泥片岩 内容：(天蓋)?、(キリーク)?、(蓮座)?/□/戊(佛?)□ 使：碑面一部・右側縁研磨 飾：側縁欠損、裏面大部分剥落
61	3	D-1	一括	磁器	容器(瓶)	3.8	6.3	4.2	141.0	成：型打 形：口縁外面スクリュー 飾：白磁、高台内陰刻銘方形内に「岐/667」
61	4	D-1	一括	磁器	容器(瓶)	4.8	4.8	3.6	97.7	成：型ロクロ 形：口縁外面スクリュー 飾：白磁、高台内プリント染付(緑、「岐/500」)
61	5	D-1	一括	土製品	玩具	2.8	1.9	2.7	11.2	成：型 飾：上面陽刻(巴) 使：上端角を焼成後面取りし平面不整七角形に加工 備：ペイゴマ
61	6	D-1	一括	瓦	転用砥石	(3.4)	(5.5)	1.1	(18.0)	胎：7.5Y7/1 灰白色、砂粒・微細礫含 使：表裏両側面擦痕 備：持砥
61	7	D-1	一括	磁製品	電気部品	2.4	3.9	4.0	44.8	成：型 胎：2.5Y8/1 灰白色 飾：外面白濁釉施釉 備：(電球用)ローゼット、金属部品端子附着
61	8	D-4	一括	磁器	(中碗)	12.0	(4.0)	-	(33.4)	飾：外面口縁部上絵圏線(朱)、体部ゴム印上絵(朱・青・緑、花草文・鳳凰)、内面口縁部上絵圏線2条(朱)、ゴム印+ダミ手描上絵雷文(黒・緑・黄)、上絵圏線(朱)
61	9	D-4	一括	磁器	小皿	8.9	1.7	6.0	(58.6)	調：高台端内外面溝状加工 飾：内面口縁部ゴム印上絵圏線(朱)、ゴム印+ダミ手描上絵雷文(黒・緑・朱)、上絵圏線(朱)、見込みゴム印+ダミ手描上絵(黒・朱・白、鳳凰)、高台内ゴム印上絵銘「大清乾隆年製」
61	10	D-4	一括	ガラス製品	瓶	0.8	7.8	6.2	102.0	成：型吹 形：口縁外面スクリュー 材：無色透明 飾：胴部型打陽刻「IZUTSU」、底面型打陽刻「12」 時：20C1/4～2/4 備：安藤井筒堂(現オリエタル)香水瓶、容量約50ml
61	11	D-4	一括	ガラス製品	瓶	2.0	17.4	5.0	208.0	成：型吹 形：口縁外面スクリュー 材：無色透明 飾：胴部型打陽刻「HIGETA」、「上」のついた弧の下に「田」 備：ヒゲタ醤油瓶、容量約180ml
61	12	D-5	一括	磁器	仏飯器	-	(4.6)	4.2	(54.0)	調：高台端面取り 飾：外面体部下下手描染付(呉須、風景文?・二重圏線)、外面底部無釉
62	1	E-1b	一括	磁器	中碗	11.2	6.1	3.8	160.0	成：型ロクロ 調：高台端外面面取り 飾：外面体部ゴム印染付(コバルト釉、幾何学文)、体部下下手描二重圏線 時：20C2/4 産：瀬戸美濃 備：長佐古分類D類
62	2	E-1b	一括	磁器	容器(瓶)	4.9	4.0	4.8	59.0	成：型? 飾：内外面白濁釉施釉、畳付無釉、外面底面型打陰刻[的に矢のマーク] 時：1940年代前半 備：ヤマト糊瓶
62	3	E-1b	一括	ガラス製品	瓶	2.3	23.4	5.3	411.0	成：型吹 材：淡青色透明 飾：胴部型打陽刻[三ツ矢のマーク]、底部付近「ASAHI BREWERIES.LTD.」、底面「13」[菱形内にS][菱形内にS]「Y」 時：～1950年代 備：朝日麦酒株式会社(現アサヒ飲料)三ツ矢サイダー瓶、容量約180ml
62	4	E-1b	一括	ガラス製品	瓶	0.8	10.5	4.0	122.0	成：型吹 材：緑色透明 飾：胴部底部付近に型打陽刻「MITSUWA」、底面に型打陽刻[円が三ツ重なり合ったマーク] 備：ミツワ石鹼化粧品瓶、容量約55ml
62	5	E-1b	一括	銅製品	銭貨	2.2	2.2	0.1	(1.2)	材：青銅(Cu:97.1%、Sn:1.6%、Zn:1.2%、Pb:0.1%) 形：側縁平滑 飾：[菊花紋][菊枝][桐枝][半銭] 時：明治6～17年 備：半銭硬貨
62	6	E-1b	一括	銀製品	銭貨	2.3	2.3	0.1	4.0	材：銀(Ag:89.6%、Cu:10.4%、コインシルバー) 形：側縁刻み 飾：[竜]「大日本明治三十年」「20SEN」/「菊花紋」[菊枝][桐枝][二十銭] 時：明治30年 備：二十銭銀貨(竜)
62	7	E-1b	一括	銅製品	銭貨	2.2	2.2	0.1	(1.8)	材：青銅(Cu:98.7%、Sn:0.9%、Pb:0.3%) 形：側縁平滑 飾：「大日本明□□□」/「菊花紋」[菊枝][桐枝][二百□]「□一圓」 時：明治10～17年 備：半銭硬貨
62	8	E-1b	一括	銅製品	銭貨	2.3	2.3	0.1	1.7	材：(鉛)青銅(Cu:69.9%、Pb:15.6%、Sn:13.4%、As:1.1%) 形：側縁平滑 飾：「寛永通宝」 時：近世(17C3/4～18C3/4頃) 備：寛永通宝(新寛永)

図版	No	区名	遺構名	種別	器種	法量 (cm)			重量 (g)	成：成形 調：調整 文：文様 形：形態 胎：胎土 材：材質 飾：装飾 使：使用痕等 時：時代 型：型式 産：推定生産地 備：備考
						a	b	c		
62	9	E-1b	一括	銅製品	銭貨	2.7	2.7	0.1	1.3	成：(鋳) 青銅 (Cu:78.6%、Pb:14.5%、Sn:3.3%、As:2.4%、Sb:1.2%) 形：側縁平滑 飾：「文久永宝」／「波形」 時：幕末 備：文久永宝 (草文)
62	10	E-1b	一括	磁製品	電気部品	3.4	4.8	3.7	71.4	成：型？ 胎：2.5Y8/1 灰白色 飾：外面白濁釉施釉 時：近代以降 備：コンセント・電球ソケット、金属部品付着
62	11	E-1	一括	木製品	下駄	8.5	21.5	1.6	234.0	成：裏面に鑿痕 材：スギ？ 飾：焼き？ 備：連歯下駄
63	1	E-2	一括	土製品	ミニチュア	5.8	11.6	6.0	(159.0)	成：型＋根石部貼付 飾：外面本体赤彩、根石部緑彩、投函口焼成前穿孔 時：1912年～ 備：貯金箱
63	2	E-2	一括	瓦	洋瓦	(13.6)	(20.2)	(2.2)	(366.0)	胎：2.5YR6/8 橙色、微細礫含 備：模倣ジェラール瓦
63	3	E-2	一括	ガラス製品	瓶	1.8	4.7	3.5	(46.0)	成：型吹 材：無色透明 飾：底面陽刻「ハヤシinkinキ」 備：林インキンク瓶、容量約 30ml
63	4	E-2	一括	ガラス製品	瓶	1.8	19.6	4.6	453.0	成：型吹 材：淡青色透明 飾：底面型打陽刻 [への下に「ト」]「1924」 備：ラムネ瓶、ビー玉遺存、容量約 180ml
63	5	E-2	一括	ガラス製品	箸置き？	(4.3)	(3.4)	1.7	(4.9)	成：手足・尾接着 形：犬？ 材：白色不透明
63	6	E-2	一括	銅製品	銭貨	2.2	2.2	0.1	1.7	材：(鋳) 青銅 (Cu:75.9%、Sn:11.7%、Pb:12.3%) 形：側縁平滑 飾：「寛永通宝」 時：近世 (17C3/4～18C3/4頃) 備：寛永通宝 (新寛永)
63	7	F-1	一括	磁器	小碗	6.4	7.1	4.4	(22.4)	飾：外面体部手描染付 (コバルト釉、十草文)
63	8	F-1	一括	磁器	中碗	11.4	6.0	3.9	(105.0)	調：口縁部外面面取り、高台端外面面取り 飾：外面口縁部ゴム印染付圏線 (コバルト釉)、体部手描染付 (草花文?)、高台接合部ゴム印染付圏線、高台手描染付圏線、高台内陽刻印「岐」31
63	9	F-1	一括	磁器	小皿	11.4	2.8	8.0	(106.0)	成：型口クロ 飾：内面口縁部手描染付 (コバルト釉) 圏線、ゴム印染付四方禪文、手描染付圏線、見込みゴム印染付よろけ文、手描二重圏線、外面高台接合部手描染付圏線、高台内手描染付圏線
63	10	F-1	一括	ガラス製品	瓶	1.9	14.6	4.6	93.6	成：型吹 形：胴部断面長楕円形 材：緑色透明 備：容量約 40ml
63	11	F-1	一括	鉄製品	角形十能	14.4	23.0	6.8	270.0	成：プレス？ 材：鉄
63	12	F-1	一括	鉄製品	栓抜き	3.9	8.9	0.5	22.0	成：プレス？ 材：鉄
64	1	F-1	一括	鉄製品	焼夷弾	37.6	37.8	8.4	(33000.0)	成：球欠状の金属塊に円形の金属板・端部波状の金属板をナットとネジで固定 材：鉄 時：近代 (1940年代前半) 産：アメリカ 備：M69 焼夷弾を収めた親爆弾頭部の重り
64	2	F-1	一括	磁製品	電気部品	8.2	2.0	(3.0)	(56.0)	成：型？ 胎：2.5Y8/1 灰白色 飾：側面施釉 時：近代以降 備：端子、緑青付着
64	3	F-2	一括	磁器	小碗	7.0	(3.0)	-	(6.0)	飾：外面口縁部プリント (朱、1mm 単位の定規)、体部プリント (朱・黒、「一センチメー(トル) × / -メートル × / -キロメートル × / -デシリットル × / -リットルは × / -平方メートルは × / -アールは 敷 × / -グラムは 敷 □ × / -キログラムは 新 □ × / この湯呑の目 × / この湯呑のフチ × / 池袋 □ ×) 時：1959 年前後か 備：メートル法の広報普及用
64	4	F-2	一括	ガラス製品	瓶	1.9	10.5	2.8	50.6	成：型吹 形：胴部断面不整八角形 材：無色透明 飾：体部表面型打陽刻「KAISHUNDO. TACHINO. / HONGO. TOKYO.」 備：固化した内容物遺存、容量約 40ml
64	5	F-2	一括	ガラス製品	置物	6.2	6.2	0.3	24.3	成：ガラス板 2 枚の間に紙糊付 飾：紙表側にプリント (花) 備：コースター
64	6	F-2	一括	銅製品	ペーパーナイフ	3.6	12.1	0.5	49.4	成：鑄造 材：真鍮 (Cu:72.9%、Zn:25.4%、Pb:0.8%、Sn:0.3%、Ag:0.6%) 飾：表面頭部「[文]」を中心に据えたエンブレム、帯に「邦文」、刃部 [10cm と 4in の目盛り]、裏面頭部型打陰刻「新築記念 / 昭和十□ (一?) 年五月 / 日本タイプライター株式会社」 備：日本タイプライター株式会社 (現キヤノン) 記念品
64	7	F-2	一括	磁製品	電気部品	(3.4)	4.4	2.0	(26.2)	成：型？ 胎：7.5Y8/2 灰白色 形：直方体状 飾：上面二か所、側面一か所焼成前穿孔、上面・左側面施釉、上面孔を通る金属ボルトをナット固定 時：近代以降 備：端子 (電燈?)
64	8	F-2	一括	磁製品	電気部品	4.4	3.4	2.3	(49.7)	成：型？ 胎：2.5Y8/1 灰白色 形：下部碍子に受け部あり 飾：上部碍子に上面三か所、下部碍子に二か所焼成前穿孔、外面施釉、上面孔二か所を通る金属ボルトと中空管で上下碍子を固定 時：近代以降 備：端子 or スイッチ
64	9	F-2	一括	磁製品	電気部品	1.8	(7.3)	1.0	(17.0)	成：型？ 胎：2.5Y8/1 灰白色 形：半裁管状 飾：外面ゴム印染付 (コバルト釉?)、[花弁状の枠内に「T」「N」を重ねたマーク]、内外面施釉、半裁面無釉 時：近代以降 備：被覆碍子

銅合金組成比の分析には、SHIMADZU EDX-8540 (東京都埋蔵文化財センター) を用いた

V 自然科学分析

1 長崎一丁目周辺遺跡出土の動物遺体

港区立郷土歴史館 山根洋子

はじめに

本遺跡では令和2年度に実施された都道補助第172号線整備事業に伴う調査において、近世や近代の遺構からイヌ、ウマなどの動物遺体が出土している。

今回の調査でも、近代の遺構を中心に魚類・鳥類・哺乳類等の動物遺体が確認された。以下に出土した動物遺体の内容を報告する。

1. 資料と分析方法

動物遺体は発掘調査時に目視により確認・採集されたものである。

魚類・鳥類・哺乳類等、いずれも種の同定が可能な主要部位について、現生標本（以下、標本とする）（註1）を用いて同定を行った。また、同定作業と共に、解体痕・病変等の観察および必要に応じて計測を実施した。

2. 出土した動物遺体（第9表）

【魚類】

魚類はE-1b区126号遺構（近代以降）からタイ類の椎骨が1点出土したのみであった。大型の個体である。

【鳥類】

E-2区の遺構外でニワトリの大腿骨、脛骨、中足骨が出土した。大腿骨は標本白色レグホンに比べて小さい。脛骨と中足骨は同一個体と思われ、標本白色レグホンよりも大きな個体である。

【哺乳類】

D-2区98号遺構（近代）からウマがまとまって出土しており、上顎歯、下顎骨、第一頸椎、大腿骨・中足骨等の四肢骨を確認した。全体に遺存状態は悪い。限られた部位の出土ではあるが、これらは同一個体の骨と思われ、出土状況の写真からは四肢骨の一部が解剖学的位置を留めていることが窺える。上顎歯が並んだ状態で確認され、下顎骨も出土していることから、元々は頭蓋骨が存在していたのであろう。当遺構は調査区外に延びており、今回出土していない部位が調査区外に存在する可能性がある。歯高から推定される年齢は12歳前後と思われる（註2）。

哺乳類は他に、F-1区32号遺構（近代）からイノシシ類の肩甲骨、肋骨が出土した。肩甲骨はその形態からブタの可能性が高い。肋骨の1点には切断痕が見られた。

また、F-1区52号遺構（近代）からは、ウサギ類の寛骨と椎骨が出土している。江戸時代中期以降には日本でカイウサギの飼育が広まることが知られるが、当資料がノウサギかカイウサギかは判然

としない。

(註 1) 現生標本は港区立郷土歴史館所蔵の資料を使用した。

(註 2) 歯高から推定される年齢については、久保和士・松井章「家畜 その 2 -ウマ・ウシ」(西本豊弘・松井章編 1999『考古学と動物学』考古学と自然科学②) P.176 の表を参照した。

[参考文献]

梶島孝雄 1997『資料 日本動物史』八坂書房

山根洋子 2021「長崎一丁目周辺遺跡出土の動物遺体」『豊島区 長崎一丁目周辺遺跡一都道補助第 172 号線整備事業に伴う調査一』東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 364 集

第 9 表 出土動物一覧

調査区	遺構	時代		No.	種名	部位	左右	残存部分	数	同一 個体	備考
D-1 区	72 号遺構	近世以降	哺乳類	001	ウシ or ウマ	脛骨	R	中間破片	+		
D-2 区	98 号遺構	近代	哺乳類	007-002	ウマ	大腿骨	L	上～中間	1	a	破損著しい
				007-003	ウマ	中足骨	R		1	a	
				007-003	ウマ	距骨	L		1	a	
				007-003	ウマ	足根骨			1	a	
				007-004	ウマ?	四肢骨		破片	+	a?	
				007-012	ウマ	第一頸椎		破片	1	a	
				007-012	ウマ	椎骨		破片	+	a	
				007-012	ウマ	頭蓋骨		後頭顆	1	a	
				007-013	ウマ	下顎骨	R	(P234M123)	1	a	咬耗あり 〔歯高〕 P2:22.3 P3:35.8 P4:25.6 M1:36.3 M2:32.6 M3:32.8
				007-014	ウマ	下顎骨	L	(P234M123)	1	a	咬耗あり〔歯高〕 P2:18.4
007-014	ウマ	上顎 P2	L		1	a	咬耗あり 計測不可				
007-014	ウマ	上顎 P3	L		1	a	咬耗あり 計測不可				
007-014	ウマ	上顎 P4	L		1	a	咬耗あり 計測不可				
007-014	ウマ	上顎 M1	L		1	a	咬耗あり 計測不可				
007-014	ウマ	上顎 M2	L	破片	1	a	咬耗あり 計測不可				
007-014	ウマ	上顎 M3	L		1	a	咬耗あり 計測不可				
007-016	ウマ	切歯			6	a	破損著しい				
E-1b 区	126 号遺構	近代以降	魚類		タイ類	椎骨			1		長さ：21.1 縦径：15.3
E-2 区	遺構外		鳥類	041	ニワトリ	大腿骨	R	上～中間	1		
					ニワトリ	脛骨	R	中間	1	b	
					ニワトリ	脛骨	R	中間～下	1	b	
					ニワトリ	中足骨	R	上	1	b?	
F-1 区	32 号遺構	近代	哺乳類		イノシシ類	肩甲骨	L		1		関節窩未癒合 若
					イノシシ類	肋骨		破片	23		内 1 点切断痕あり
F-1 区	52 号遺構	近代	哺乳類		ウサギ類	寛骨	L	腸一白	1	C	
					ウサギ類	椎骨			1	C	

〔残存部分欄〕記載のないものはほぼ完存 上：近位部片 中：骨幹部片 下：遠位部片

上・下顎の項 C：犬歯 P：前臼歯 M：後臼歯 数字は順序を、() は骨体のあることを示す。

〔数欄〕+：未カウント(破片)

〔同一個体欄〕同一個体と考えられるものには、同じ記号を記す。

〔備考欄〕数値は計測値(単位：mm) 年齢の記載のないものは成齢。

2 豊島区长崎一丁目周辺遺跡のテフラ分析

藤根 久・高木康裕 (パレオ・ラボ)

1. はじめに

東京都豊島区に所在する長崎一丁目周辺遺跡の発掘調査で検出された遺構の覆土について、堆積年代を明らかにするためにテフラ分析を行った。

2. 試料と方法

分析試料は、D1区およびF1区で検出された18号・45号・74号・87号・88号遺構（いずれも溝状遺構）の覆土で、合計9試料である（第10表）。

試料は、以下の方法で処理

第10表 分析試料とその特徴

し、火山ガラスの形態、鉱物組成を調べた。

各試料30g程度を超音波ホモジナイザー（BRANSON社製）で分散させた後、1φ（0.500mm）、2φ（0.250mm）、

3φ（0.125mm）、4φ（約0.063mm）の4枚の篩を重ね、湿式篩分けを行った。また、10g程度を秤量し、恒温乾燥機105度24時間で乾燥して、含水率（%）を求めた。

4φ篩残渣について、重液（テトラプロモエタン、比重2.96）を用いて重鉱物と軽鉱物に分離した。軽鉱物と重鉱物は、封入剤ガムクロラルを用いてプレパラートを作製した。

軽鉱物は、火山ガラス、石英（qu）、長石（pl）、不明（opq）を同定・計数した。火山ガラスは、町田・新井（2003）の分類基準に従って、バブル型平板状（b1）、バブル型Y字状（b2）、軽石型繊維状（p1）、軽石型スポンジ状（p2）、急冷破碎型フレーク状（c1）、急冷破碎型塊状（c2）に分類した。重鉱物は、斜方輝石（opx）、単斜輝石（cpx）、角閃石（ho）、カンラン石（ol）、イディングサイト（id：町田ほか、1983）、スコリア（sc）、磁鉄鉱（mg）、不明（opq）を同定・計数した。

なお、スコリアの特徴や軽石の有無を調べるために、1φ篩残渣と2φ篩残渣について実体顕微鏡を用いて観察し、記載した。

3. 結果

以下に、各遺構から採取された試料の分析結果について述べる。

[分析No.1（D1区74号遺構2層採取試料）]

試料は、黒褐色（10YR2/3）の粘土質シルトである。篩分けでは、4φ篩残渣が特に多い（第11表）。

軽鉱物では、不明（opq）が非常に多く、次いで長石（pl）と火山ガラスを少量含み、石英（qu）を僅かに含む。火山ガラスは、バブル型平板状（b1）、バブル型Y字状（b2）、軽石型スポンジ状（p2）

を含む。重鉱物では、斜方輝石 (opx) と不明 (opq) が最も多く、次いで単斜輝石 (cpx)、カンラン石 (ol)、イデイングサイト (id) が多く、スコリア (sc)、角閃石 (ho)、磁鉄鉱 (mg) を僅かに含む (第 12 表)。

1 φ 残渣中のスコリアは、黒色と黒灰色が目立ち、赤色を僅かに含む。なお、2 φ 篩残渣において軽石は含まれていなかった (第 13 表、第 66 図 -1)。

[分析 No.2 (D1 区 74 号遺構 1 層採取試料)]

試料は、黒褐色 (10YR2/3) の粘土質シルトである。篩分けでは、4 φ 篩残渣が特に多い (第 11 表)。

軽鉱物では、不明 (opq) が非常に多く、長石 (pl) と火山ガラスを少量含む。火山ガラスは、バブル型平板状 (b1) と軽石型スポンジ状 (p2) を含む。重鉱物では、不明 (opq)、斜方輝石 (opx)、カンラン石 (ol) が多く、イデイングサイト (id)、単斜輝石 (cpx)、スコリア (sc) を少量含み、角閃石 (ho) を僅かに含む (第 12 表)。

1 φ 残渣中のスコリアは、黒色と黒灰色が目立ち、赤色を僅かに含む。なお、2 φ 篩残渣において軽石は含まれていなかった (第 13 表、第 66 図 -2)。

[分析 No.3 (D1 区 74 号遺構直上 2 層採取試料)]

試料は、黒褐色 (10YR2/3) の粘土質シルトである。篩分けでは、4 φ 篩残渣が特に多い (第 11 表)。

軽鉱物では、不明 (opq) が非常に多く、長石 (pl) と火山ガラスを少量含む。火山ガラスは、バブル型平板状 (b1) と軽石型スポンジ状 (p2)、急冷破碎型フレーク状 (c1) を含む。重鉱物では、不明 (opq)、斜方輝石 (opx)、カンラン石 (ol)、イデイングサイト (id) が多く、単斜輝石 (cpx)、スコリア (sc)、角閃石 (ho)、磁鉄鉱 (mg) を少量含む (第 12 表)。

1 φ 残渣中のスコリアは、黒色と黒灰色が目立つ。なお、2 φ 篩残渣において軽石は含まれていなかった (第 13 表、第 66 図 -3)。

[分析 No.4 (D1 区 88 号遺構 1 層採取試料)]

試料は、黒褐色 (10YR2/3) の粘土質シルトである。篩分けでは、4 φ 篩残渣が特に多い (第 11 表)。

軽鉱物では、不明 (opq) が非常に多く、長石 (pl) と火山ガラスを少量含む。火山ガラスは、バブル型平板状 (b1)、軽石型繊維状 (p1)、軽石型スポンジ状 (p2)、急冷破碎型フレーク状 (c1) を含む。重鉱物では、不明 (opq) と斜方輝石 (opx) が多く、次いで単斜輝石 (cpx) とスコリア (sc) が多く、磁鉄鉱 (mg)、イデイングサイト (id)、角閃石 (ho) を僅かに含む (第 12 表)。

1 φ 残渣中のスコリアは、黒色と黒灰色が目立つ。なお、2 φ 篩残渣において軽石は含まれていなかった (第 13 表、第 66 図 -4)。

[分析 No.5 (D1 区 87 号遺構 1 層採取試料)]

試料は、黒褐色 (10YR2/3) の粘土質シルトである。篩分けでは、4 φ 篩残渣が特に多い (第 11 表)。

軽鉱物では、不明 (opq) が非常に多く、長石 (pl) と火山ガラスを僅かに含む。火山ガラスは、バブル型平板状 (b1) と軽石型スポンジ状 (p2) を含む。重鉱物では、不明 (opq) と斜方輝石 (opx) が多く、次いでカンラン石 (ol) とイデイングサイト (id) が多く、単斜輝石 (cpx)、スコリア (sc)、

磁鉄鉱 (mg)、角閃石 (ho) を少量含む (第 12 表)。

1 φ 残渣中のスコリアは、黒色と黒灰色が目立ち、赤色を僅かに含む。なお、2 φ 篩残渣において軽石は含まれていなかった (第 13 表、第 66 図 -5)。

[分析 No.6 (D1 区 88 号遺構 2 層採取試料)]

試料は、暗褐色 (10YR3/4) の粘土質シルトである。篩分けでは、4 φ 篩残渣が特に多い (第 11 表)。

軽鉱物では、不明 (opq) が非常に多く、長石 (pl) と火山ガラスをわずかに含む。火山ガラスは、バブル型平板状 (b1)、バブル型 Y 字状 (b2)、軽石型スポンジ状 (p2) を含む。重鉱物では、不明 (opq) と斜方輝石 (opx) が多く、単斜輝石 (cpx)、イデイングサイト (id)、スコリア (sc) を少量含み、磁鉄鉱 (mg)、角閃石 (ho)、カンラン石 (ol) を僅かに含む (第 12 表)。

1 φ 残渣中のスコリアは、黒色と黒灰色が目立つ。なお、2 φ 篩残渣において軽石は含まれていなかった (第 13 表、第 66 図 -6)。

[分析 No.7 (F1 区 18 号遺構 1 層採取試料)]

試料は、黒褐色 (10YR2/2) の粘土質シルトである。篩分けでは、4 φ 篩残渣が特に多い (第 11 表)。

軽鉱物では、不明 (opq) が非常に多く、長石 (pl)、火山ガラス、石英 (qu) を僅かに含む。火山ガラスは、バブル型平板状 (b1)、軽石型繊維状 (p1)、軽石型スポンジ状 (p2) を含む。重鉱物では、不明 (opq) と斜方輝石 (opx) が多く、カンラン石 (ol)、イデイングサイト (id)、単斜輝石 (cpx)、スコリア (sc) を少量含み、角閃石 (ho)、磁鉄鉱 (mg) を僅かに含む (第 12 表)。

1 φ 残渣中には、褐鉄鉱が多く、黒色と黒灰色のスコリアを含む。なお、2 φ 篩残渣において軽石は含まれていなかった (第 13 表、第 66 図 -7)。

[分析 No.8 (F1 区 18 号遺構 2 層採取試料)]

試料は、黒褐色 (10YR2/3) の粘土質シルトである。篩分けでは、4 φ 篩残渣が多い (第 11 表)。

軽鉱物では、不明 (opq) が非常に多く、長石 (pl)、火山ガラスを少量含み、石英 (qu) を僅かに含む。火山ガラスは、バブル型平板状 (b1)、バブル型 Y 字状 (b2)、軽石型スポンジ状 (p2)、急冷破碎型フレーク状 (c1) を含む。重鉱物では、不明 (opq) と斜方輝石 (opx) が多く、イデイングサイト (id)、カンラン石 (ol)、単斜輝石 (cpx) を少量含み、スコリア (sc)、角閃石 (ho)、磁鉄鉱 (mg) を僅かに含む (第 12 表)。

1 φ 残渣中には、褐鉄鉱が多く、黒色と黒灰色のスコリアを含む。なお、2 φ 篩残渣において軽石は含まれていなかった (第 13 表、第 66 図 -8)。

[分析 No.9 (F1 区 45 号遺構 1 層採取試料)]

試料は、黒褐 (10YR2/2) の粘土質シルトである。篩分けでは、4 φ 篩残渣が多い (第 11 表)。

軽鉱物では、不明 (opq) が非常に多く、長石 (pl) と火山ガラスを少量含む。火山ガラスは、バブル型平板状 (b1)、軽石型繊維状 (p1)、軽石型スポンジ状 (p2) を含む。重鉱物では、不明 (opq) と斜方輝石 (opx) が多く、イデイングサイト (id)、カンラン石 (ol)、単斜輝石 (cpx)、スコリア (sc)

を少量含み、角閃石 (ho)、磁鉄鉱 (mg) を僅かに含む (第 12 表)。

1 φ 残渣中には、褐鉄鉱が多く、黒色と黒灰色のスコリアを含む。なお、2 φ 篩残渣において、軽石は含まれていなかった (第 13 表、第 66 図 -9)。

第 11 表 試料の湿式篩分け・重液分離の結果

分析 No.	調査区	遺構名	採取層位	含水率 (%)	湿潤重量 (g)	乾燥重量 (g)	処理重量 (g)	篩分け (重量 g)				軽・重鉱物組成 (重量 g)	
								1 φ	2 φ	3 φ	4 φ	軽鉱物	重鉱物
1	D1 区	74 号 (溝状遺構)	2 層	45.61	10.13	5.51	30.06	0.04	0.18	0.62	1.31	0.01	0.00
2		74 号 (溝状遺構)	1 層	45.46	10.47	5.71	30.11	0.12	0.24	0.86	1.68	0.03	0.00
3		74 号 (溝状遺構)	直上 2 層	44.68	10.05	5.56	30.03	0.08	0.24	0.86	1.67	0.03	0.00
4		88 号 (溝状遺構)	1 層	45.85	10.01	5.42	30.08	0.02	0.13	0.54	1.03	0.03	0.01
5		87 号 (溝状遺構)	1 層	42.18	10.10	5.84	30.53	0.42	0.21	0.97	1.85	0.04	0.00
6		88 号 (溝状遺構)	2 層	49.11	10.06	5.12	30.18	0.03	0.07	0.33	0.68	0.03	0.00
7	F1 区	18 号 (溝状遺構)	1 層	39.98	10.28	6.17	30.06	0.16	0.30	1.05	1.74	0.03	0.00
8		18 号 (溝状遺構)	2 層	44.51	10.11	5.61	30.02	0.20	0.27	0.79	1.18	0.03	0.01
9		45 号 (溝状遺構)	1 層	38.82	10.15	6.21	30.21	0.32	0.38	1.05	2.01	0.04	0.00

第 12 表 4 φ 篩残渣中の鉱物組成

分析 No.	石英 (qu)	長石 (pl)	不明 (opq)	火山ガラス						ガラス 合計	軽鉱物 の合計	重鉱物								重鉱物 の合計
				バブル (泡) 型		軽石型		急冷破砕型				斜方輝石 (opx)	単斜輝石 (cpx)	角閃石 (ho)	カンラン石 (ol)	イディンク サイト (id)	スコリア (sc)	磁鉄鉱 (mg)	不明 (opq)	
				平板状 (b1)	Y 字状 (b2)	繊維状 (p1)	スポンジ状 (p2)	フレーク状 (f1)	塊状 (c2)											
1	4	12	222	5	2		5			12	250	81	21	4	23	26	11	4	80	250
2		13	228	3			6			9	250	57	23	5	48	24	15		78	250
3		12	228	2			5	3		10	250	62	13	4	52	37	8	4	70	250
4		19	218	7		1	4	1		13	250	88	27	2		4	18	9	102	250
5		7	237	3			3			6	250	58	22	5	42	31	17	10	65	250
6		9	235	2	1		3			6	250	77	29	4	1	12	10	9	108	250
7	2	12	227	4		1	4			9	250	75	19	2	23	21	15	2	93	250
8	1	20	218	2		3	5	1		11	250	70	13	5	17	26	9	1	109	250
9		17	223	5			2	3		10	250	64	18	6	23	35	13	4	87	250

第 13 表 篩残渣中のスコリア・軽石

試料 No.	調査区	遺構名	採取層位	1 φ 篩残渣のスコリア等の特徴	2 φ 篩残渣のスコリア等の特徴
1	D1 区	74 号 (溝状遺構)	2 層	黒色、黒灰色》赤色 (軽石無)	黒色、黒灰色、赤色 (軽石無)
2		74 号 (溝状遺構)	1 層	黒色、黒灰色》赤色 (軽石無)	黒色、黒灰色、赤色 (軽石無)
3		74 号 (溝状遺構)	直上 2 層	黒色、黒灰色 (軽石無)	黒色、黒灰色、赤色 (軽石無)
4		88 号 (溝状遺構)	1 層	黒色、黒灰色 (軽石無)	黒色、黒灰色、赤色 (軽石無)
5		87 号 (溝状遺構)	1 層	黒色、黒灰色》赤色 (軽石無)	黒色、黒灰色、赤色 (軽石無)
6		88 号 (溝状遺構)	2 層	黒色、黒灰色 (軽石無)	黒色、黒灰色、赤色 (軽石無)
7	F1 区	18 号 (溝状遺構)	1 層	黒色、黒灰色、褐鉄鉱多い (軽石無)	黒色、黒灰色、赤色 (軽石無)
8		18 号 (溝状遺構)	2 層	黒色、黒灰色、褐鉄鉱多い (軽石無)	黒色、黒灰色、赤色 (軽石無)
9		45 号 (溝状遺構)	1 層	黒色、黒灰色、褐鉄鉱多い (軽石無)	黒色、黒灰色、赤色 (軽石無)

4. 考察

2 調査区における 9 遺構 (溝状遺構) の 1 層または 2 層について、テフラ分析を行った。なお、これらの遺構は、表土とその下位の耕作土直下に位置する遺構であり、下位にはローム層が堆積する (遺跡調査の項を参照)。

いずれの遺構も、火山ガラスは非常に少ない。また、重鉱物は、斜方輝石やカンラン石が多く、単斜輝石やスコリアあるいは角閃石を伴う。これらの火山ガラスやカンラン石などの鉱物は、下位層の立川ローム層あるいは武蔵野ローム層中を構成する鉱物群と推定される。

これらの遺構埋土中に見られるスコリアは、富士火山起源のスコリア (テフラ) と考えられる。

この地域周辺に降灰する弥生時代以降の富士火山のスコリアとして、湯船第 2 スコリア (Yu-2 : ca 2200 BP)、延暦貞観スコリア (S-24-I, S-24-J ~ K : ca 9 世紀)、宝永スコリア (Ho : AD 1707 年) などが知られている (辻, 1989 ; 宮地, 1988)

このうち、宝永スコリア (Ho : AD 1707 年) は、噴火初期において灰白色の軽石を噴出し、富士

火山スコリアのうち唯一軽石を噴出したテフラである（宮地，1984）。今回の遺構の1層または2層中には、軽石を含んでいないため、宝永スコリアの可能性は低いと考えられる。

今回の遺構埋土が弥生時代以降であれば、湯船第2スコリア（Yu-2：ca 2200 BP）もしくは延暦貞観スコリア（ca 9世紀）の可能性が考えられる。

なお、各遺構の関係については、鉱物組成あるいはスコリアの特徴の観察において明瞭な違いはない。

引用文献

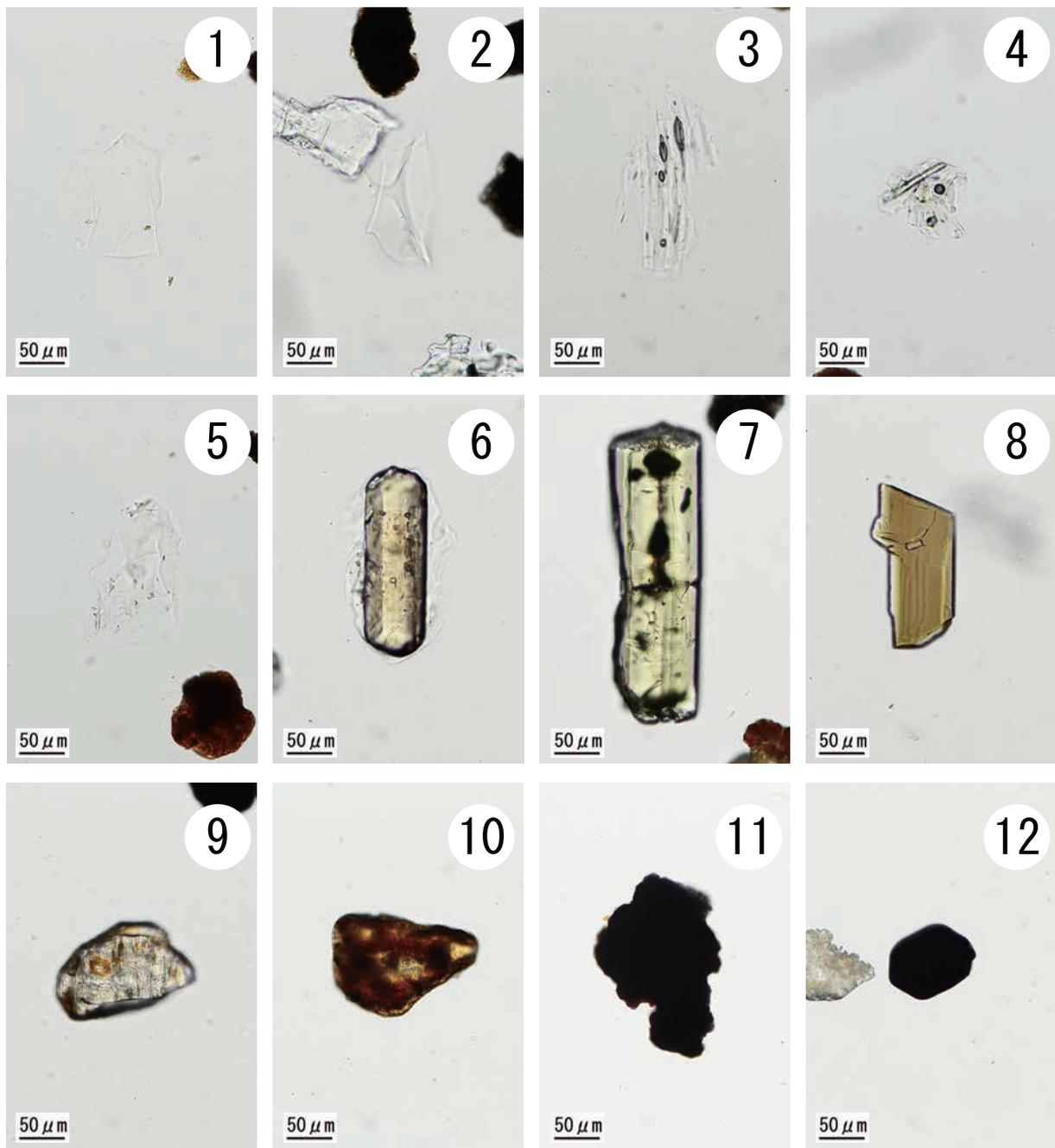
町田 洋・新井房夫（2003）新編火山灰アトラス．336p，東京大学出版会．

町田瑞男・村上雅博・斉藤幸治（1983）南関東の火山灰中の変質鉱物“イデイングサイト”について．第四紀研究，22，69-76．

宮地直道（1984）富士火山1707年火砕物の降下に及ぼした風の影響．火山，2，29，17-30．

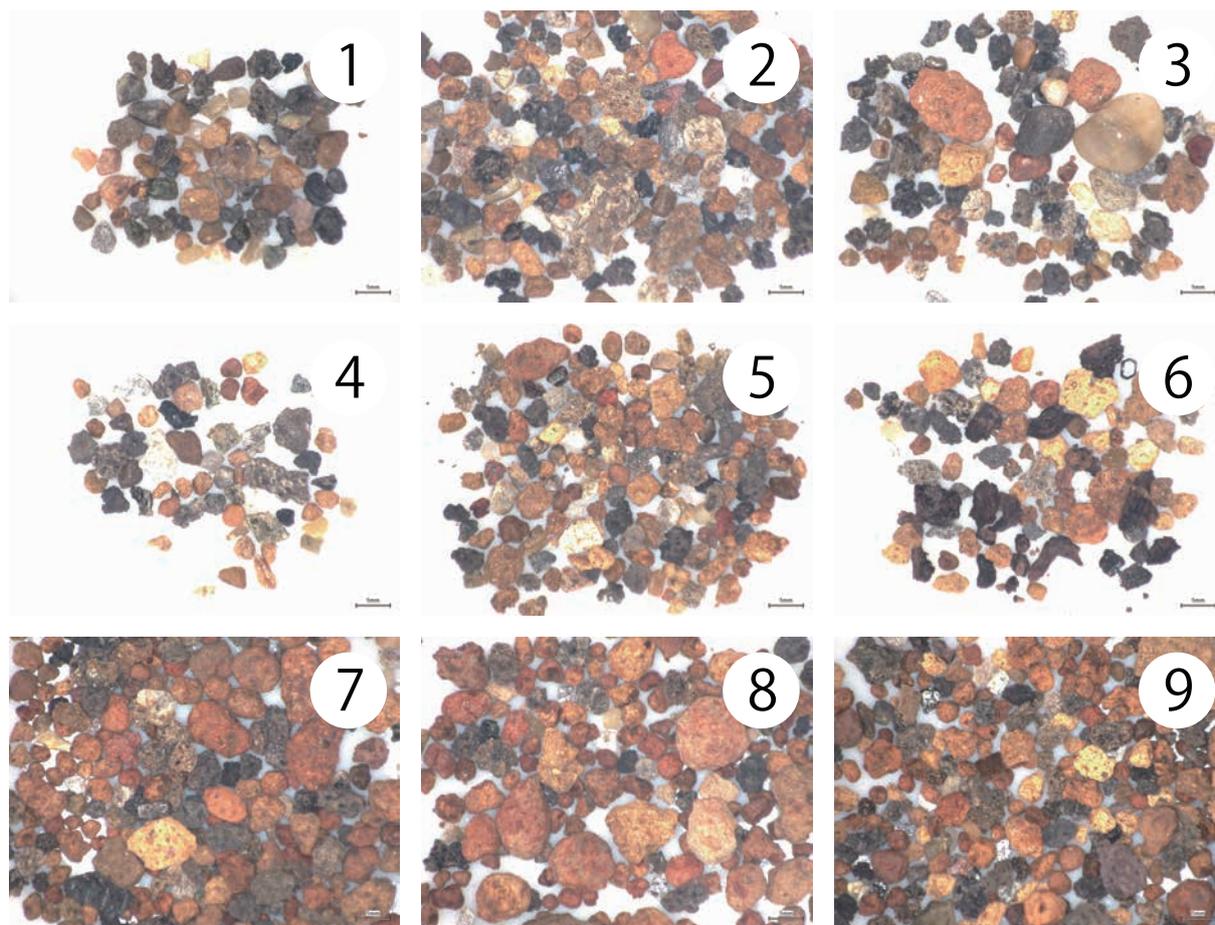
宮地直道（1988）新富士火山の活動史．地質学雑誌，94，6，433-452．

辻 誠一郎（1989）開析谷の遺跡とそれをとりまく古環境復元：関東平野中央部の川口市赤山陣屋跡遺跡における完新世の古環境．第四紀研究，27，4，331-356．



1. バブル型平板状ガラス (No.3) 2. バブル型 Y 字状ガラス (No.1) 3. 軽石型繊維状ガラス (No.9) 4. 軽石型スポンジ状ガラス (No.1) 5. 急冷破碎型フレーク状ガラス (No.3)
 6. 斜方輝石 (No.6) 7. 単斜輝石 (No.5) 8. 角閃石 (No.2) 9. カンラン石 (No.3)
 10. イディングサイト (No.3) 11. スコリア (No.6) 12. 磁鉄鉱 (No.5)

第 65 図 分析試料中の鉱物の顕微鏡写真



1.No.1 2.No.2 3.No.3 4.No.4 5.No.5 6.No.6 7.No.7 8.No.8 9.No.9

第 66 図 1φ 篩残渣中のスコリア粒子の顕微鏡写真

VI 調査の成果

今回の調査では、遺構は溝状遺構 16 条・土坑 71 基・植栽痕 17 基・畝間溝 22 条以上・井戸 4 基・レンガ柵 1 基・コンクリート構造物 1 基・コンクリートブロック柵 1 基・礎石？ 3 基・建物基礎？ 1 基・ピット 272 基が検出された。遺物は縄文時代の土器・石器、古代の土器、近世以降の陶磁器・土器・瓦・ガラス製品・骨角製品・動物骨・石器・石製品・木製品・金属製品・レンガ・電気製品などが出土した。主体をなすのは近代以降の遺構・遺物である。

1 中世以前

縄文土器は早期前半から前期後半までの小片が出土しているが、いずれも近世以降の遺構覆土からの出土であり、縄文時代に帰属すると判断できる遺構は検出されていない。また、長崎一丁目周辺遺跡の過去の調査では、古墳時代末から奈良時代初頭のカマドを伴う竪穴住居跡が 1 軒検出されている（豊島区教育委員会 2010『長崎並木Ⅱ』）が、今回の調査で出土した古代の遺物は、8 世紀後半から 9 世紀の台付甕の小片 1 点のみである。中世に帰属する遺物も見られなかったことから、今回の調査地点においては、中世以前の人類活動はごく低調であったと考えられる。

2 近世以降

調査区別にみると、西側に位置する D・E 区で近世の遺構・遺物がより多く検出され、やや離れて東側に位置する F 区では近代以降の遺構・遺物が主体となる傾向がみられる。

252p 出土の播鉢と板碑

252p からは、17 世紀後半の丹波産の播鉢と共に板碑片が出土した。板碑は側縁を欠き摩耗も著しく紀年銘などは読み取れなかったが、長崎一丁目周辺遺跡の過去の調査でも中世の板碑が砥石などに転用されたとみられる資料が多数出土していることから、252p 出土の板碑片も同様の経過をたどったと考えられる。播鉢の内面の観察では摩耗は顕著には見受けられなかったが、共伴して出土した板碑片と組み合わせて使用されたものかもしれない。

「馬埋葬遺構」

D-2 区に位置する 98 号遺構は、一個体分と考えられるウマの骨や歯が検出された土坑である。近世の江戸近郊の農村周辺においては、全身骨格が揃ったウマが検出される例が多く、死んだ牛馬を処理・利用する社会システムが整備されていたこと、そうした「馬捨場」が村落の境界域や道路付近に占地していたことが指摘されている（大八木 2001）。98 号遺構は D-1・2 区の調査区南端に位置し、東西に走る区道に接しているが、この道路はいつから存在していたのであろうか。

第 67・68 図は、鴨下亨氏所蔵の長崎地区東側を描いた鹿絵図である。谷端川、水田、主な道路、他村との境界などが色を塗り分けて描かれ、土地利用の概況、道幅やランドマーク間の距離、神社仏閣や旗本の所有する土地の広さなどが記されている。「金剛院」や「鎮守十羅刹（長崎神社）」などの寺社は、現在と同じ位置に描かれている。地図の西側で文字や図が途切れていることから、本来は長崎地区全域を描いていたものと考えられるが、現在は谷端川周辺のみが残されている。「嘉永六丑年

十月」の記載から、嘉永6（1953）年当時の長崎地区の情勢を今に残す貴重な資料である。鹿絵図北側に記載のある「岡部庄九郎」は家禄702石4斗の旗本で、武家屋敷の台帳「諸向地面取調書」（安政3年頃）によれば、長崎村に抱屋敷・抱地3000坪ずつを所持していたとあり、絵図の記載の通りだったことが確認されている。

この鹿絵図の中で、「八幡社」と「羽黒社」の間を逆S字クランク状に曲がりながら結ぶ赤い線で描かれた道路は、「東京府区郡町村区分全図 東京府北豊島郡長崎村、豊多摩郡落合村（明治44（1911）年発行）」や後年の地図にもみられる。それらを現在の地図と照らし合わせると、D区とE区を区切っている区道がこれにあたり、98号遺構構築当時からそれに接する道路が存在していた可能性が高い。98号遺構は、前述の「斃牛馬処理」システムに相当する人類活動の痕跡であると考えられる。

溝状遺構とピット

F区では、調査区全体にわたって東西に延びる18・45号遺構に沿うようにピットの多くが位置している。ピットも含め遺物がほとんど出土しなかったため、溝状遺構の帰属時期は決定しがたい。土壌のテフラ分析では、18・45号ともに鉱物組成やスコリアの特徴に大差はなく、湯船第2スコリア（Yu-2：ca2200BP）及び延暦貞観スコリア（ca9世紀）の可能性のあるスコリアが検出されている。また軽石は検出されず宝永スコリア（Ho：AD1707年）が含まれている可能性は低いと指摘されている（第V章第2節）。D-1区の溝状遺構である74号遺構直上の2-1層（黒褐色土層）でも同様であり、溝状遺構の覆土は近世以降の盛土・耕作土とみられる2層の土壌を基調としていると考えられる。

D-1区の溝状遺構では、77・78・87・88号から18～19世紀に帰属する近世の遺物が出土しているが、これらの周囲のピットの分布は希薄である。同じく溝状遺構とみられる84号遺構の周辺には、F区と同様にピットが複数重複していたり南北方向に列状とも見える配置で並んでいる。E-2区でも114・115号遺構の西側に複数のピットが南北方向に連なるように位置している。これら溝状遺構が区画溝であったとすれば、時期や場所によってそれが柵などに作り替えられていた可能性も考えられるが、ピットの配列や深度に規則性などは見いだせない。

戦災の遺構・遺物

豊島区は、昭和20（1945）年4月13日深夜から翌14日未明にかけての空襲によって大きな被害を受けている。長崎は豊島区の中では比較的被害の軽微な地域であったが、F区は戦災で焼失した区域にほぼ接しており、火事後の片付け遺構と思われる土坑や被熱した遺物が多数検出されている。被熱によって変形したガラス製品（巻頭写真11）はその好例である。17号遺構出土の時計（第53図2）は置時計の一部であると考えられ、元々の設置角度が不明なものの、内部の針は11時30分もしくは12時30分前後を指している可能性があり、上記の空襲の時間帯に合致する。

E-1b区で検出された127号遺構は、正方形のコンクリートタイルとモルタルで構築された大規模な構造物である。東半を攪乱によって失っているが、残された形状は溜池に近似しており、貯水施設もしくは防火水槽であると考えられる。

特徴的なのは、場所によって用いられているタイルの寸法が異なることである。タイルの厚さはいずれの場所でも約6cmで共通しているが、底面・北壁・西壁のタイルは約30cm四方で碁盤の目状に敷き詰められているのに対し、南壁のみ約36cm四方のタイルが用いられ、1段ごとにタイル幅半分だけ列がずれている。各壁面の傾斜も北壁で33.7°～36.4°、西壁で35.5°～36.9°、南壁で38.9°

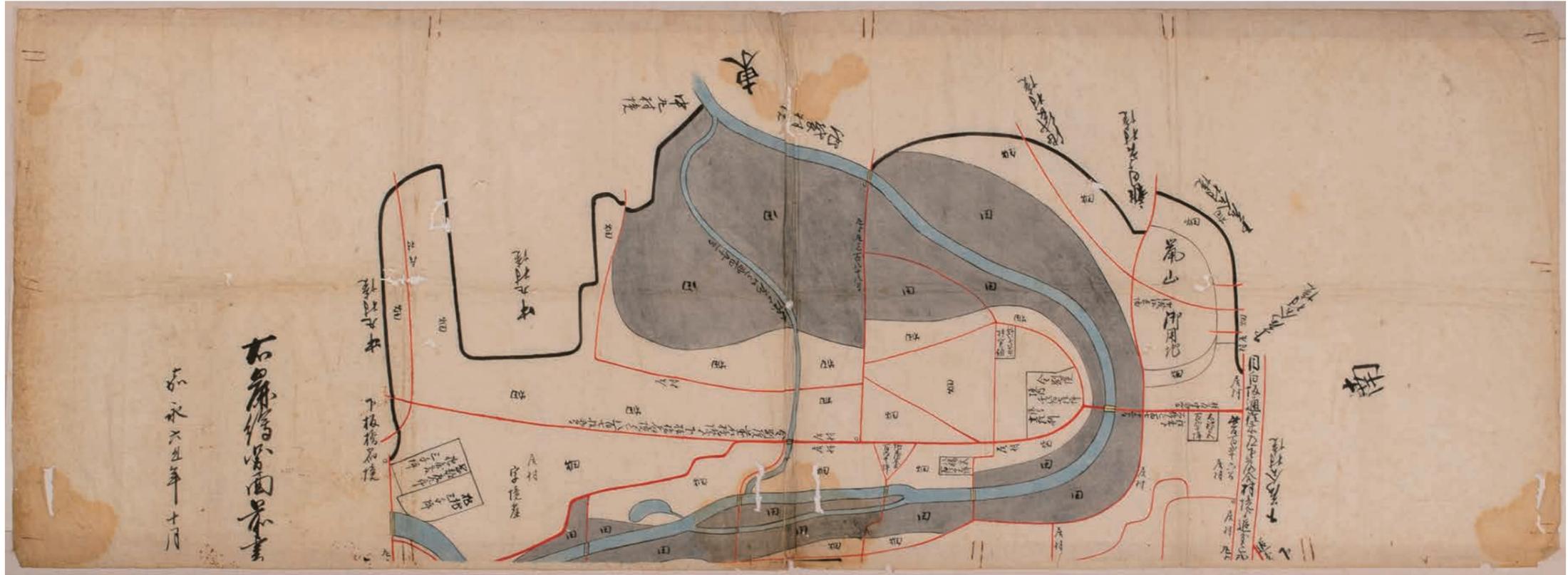
～39.9°（いずれも垂直からの角度）とやや差異がある。壁面の立ち上がり部分はモルタルが厚く塗布され緩やかな曲線を描いているが、西壁南半や南壁の立ち上がりのみ、底面と壁面の間でモルタルが段状を呈している。掘方に充填されている盛土や碎石にもタイルが混入しているほか、西壁上端付近ではタイルの表側にも碎石が付着している箇所があるなど、全体的に粗雑に構築されたような印象を受ける。

構築された時期は判然としないが、聞き取りから先述の鴨下亨氏の父親に召集令状が来た時期にはこの場所に「池」が存在していたことが明らかになっている。1936年及び1947年の航空写真では本遺構に相当する構造物を確認できないため、その間に構築・廃絶されたのであろう。先述の通り、池袋周辺は空襲の被害を受けていることから、空襲に備えて急造された可能性が考えられる。

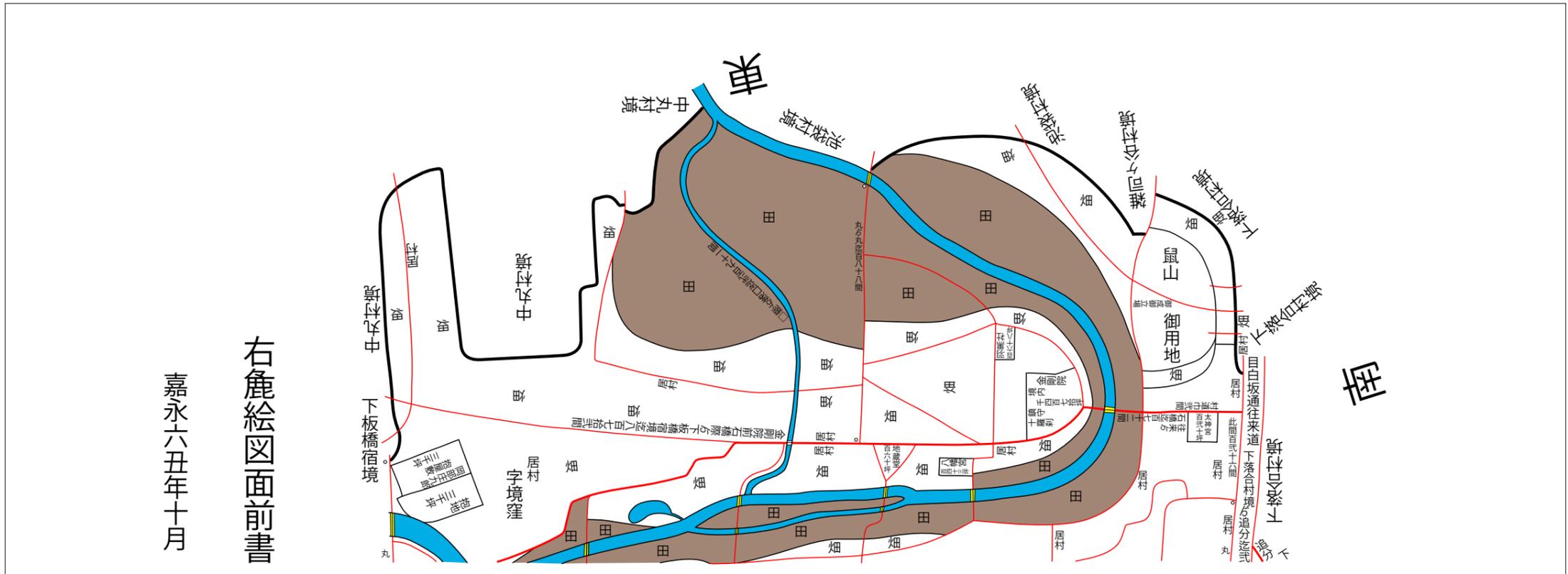
F-1区の一括遺物としての出土ではあるが、焼夷弾のノーズブロック（第64図1）も特筆すべき遺物である。ノーズブロックはM69焼夷弾を38本集束したE46集束焼夷弾の弾頭に搭載された重りであり、投下されたE46集束焼夷弾が空中で散開した際にM69焼夷弾と共に落下してきたものと考えられる。風化が著しく進んでいる範囲とそれほど風化していない範囲がみられることや、ローム面に斜位で半ばまで埋まったような状況で出土したことから、投下されて地面に斜めに突き刺さったのち、一定期間放置されていた可能性がある。出土した地点は戦災によって焼失したとされる区域からはわずかに外れるが、豊島区が受けた空襲の被害を現在にまで伝える遺物である。

これまでの長崎一丁目周辺遺跡における発掘調査では、中世後期以降の長崎村としての土地利用痕跡が主に把握されてきた。今回の調査で検出された遺構・遺物は近代以降が主体を占めるため、長崎村について得られた知見は少ない。その中では、「馬埋葬遺構」と考えられる98号遺構の検出は、江戸近郊の農村であった長崎村における人類活動の復元に新たな一面を付け加えたといえるだろう。また、近代以降では戦災に関連する遺構・遺物の検出が多数を占めた。そうした時代の知見の蓄積も進みつつあり、今後の調査によって長崎地域の幅広い時代の人類活動の復元がさらなる進展を遂げることに期待したい。

（橋本）



第 67 図 鹿絵図



第 68 図 鹿絵図トレース

引用・参考文献

- 天内克史 1989 「統制経済下における陶磁器生産の様相」『村上徹君追悼論文集』村上徹君追悼論文集編集委員会
- 江戸遺跡研究会編 2018 『遺物にみる幕末・明治』江戸遺跡研究会大会発表要旨
- 大八木謙司 2001 「37号遺構に「埋葬」されたウマをめぐる」豊島区遺跡調査会『染井Ⅶ』豊島区遺跡調査会調査報告2
- 貝塚爽平 1979 『東京の自然史 改訂第二版』紀伊國屋書店
- 久保純子 1988 「相模野台地・武蔵野台地を刻む谷の地形—風成テフラを供給された名残川の谷地形—」『地理学評論』61巻1号
- 田島俊雄 1996 「長崎村の昔を訪ねて」『長崎村物語—江戸近郊農村の伝承文化—』豊島区立郷土資料館
- 東京都埋蔵文化財センター編 2021 『豊島区 長崎一丁目周辺遺跡—都道補助第172号線整備事業に伴う調査—』東京都埋蔵文化財センター調査報告第364集
- 豊島区教育委員会 2001 『豊島区文化財年報』第1号
- 豊島区教育委員会 2003 『雑司が谷Ⅰ—東京都豊島区・雑司が谷遺跡（豊島区立みみずく公園地区）の発掘調査—』豊島区埋蔵文化財調査報告17
- 豊島区教育委員会 2004 『椎名町Ⅰ』豊島区埋蔵文化財調査報告18
- 豊島区教育委員会 2006 『長崎並木Ⅰ』豊島区遺跡調査会調査報告11
- 豊島区教育委員会 2007 『豊島区文化財年報』第5号
- 豊島区教育委員会 2008 『豊島区文化財年報』第6号
- 豊島区教育委員会 2010 『豊島区埋蔵文化財調査概報集5』豊島区埋蔵文化財調査報告30
- 豊島区教育委員会 2010 『長崎並木Ⅱ』豊島区埋蔵文化財調査報告29
- 豊島区教育委員会 2011 『豊島区埋蔵文化財調査概報集6』豊島区埋蔵文化財調査報告33
- 豊島区教育委員会 2012 『旧感応寺Ⅰ』豊島区埋蔵文化財調査報告37
- 豊島区教育委員会 2012 『豊島区埋蔵文化財調査概報集7』豊島区埋蔵文化財調査報告38
- 豊島区教育委員会 2013 『豊島区埋蔵文化財調査概報集8』豊島区埋蔵文化財調査報告41
- 豊島区教育委員会 2014 『豊島区埋蔵文化財調査概報集9』豊島区埋蔵文化財調査報告45
- 豊島区教育委員会 2015 『豊島区埋蔵文化財調査概報集10』豊島区埋蔵文化財調査報告47
- 豊島区教育委員会 2017 『長崎並木Ⅲ』豊島区埋蔵文化財調査報告51
- 豊島区教育委員会 2018 『豊島区埋蔵文化財調査概報集13』豊島区埋蔵文化財調査報告53
- 豊島区教育委員会 2019 『豊島区文化財年報』第17号
- 豊島区教育委員会 2019 『豊島区埋蔵文化財調査概報集14』豊島区埋蔵文化財調査報告54
- 豊島区教育委員会 2021 『豊島区文化財年報』第18号
- 豊島区教育委員会 2021 『豊島区埋蔵文化財調査概報集16』豊島区埋蔵文化財調査報告57
- 豊島区教育委員会 2022 『豊島区埋蔵文化財調査概報集17』豊島区埋蔵文化財調査報告59
- 豊島区教育委員会 2023 『豊島区埋蔵文化財調査概報集18』豊島区埋蔵文化財調査報告60
- 豊島区立郷土資料館 1987 『長崎アトリエ村史料』豊島区立郷土資料館調査報告書第3集
- 長佐古真也 2007 「続・お茶碗考—近代・現代の中形碗に飯碗を探る—」『考古学が語る日本の近現代』ものが語る歴史14
- 中野晴久 1997 「<寄稿>トイレと常滑焼」『トイレの考古学』大田区立郷土博物館

写真図版

図版1



1. 調査区D-1区2面東側全景（東から）



2. 調査区D-2区全景（西から）

図版2



1. 調査区D-1区2面西側全景（北から）



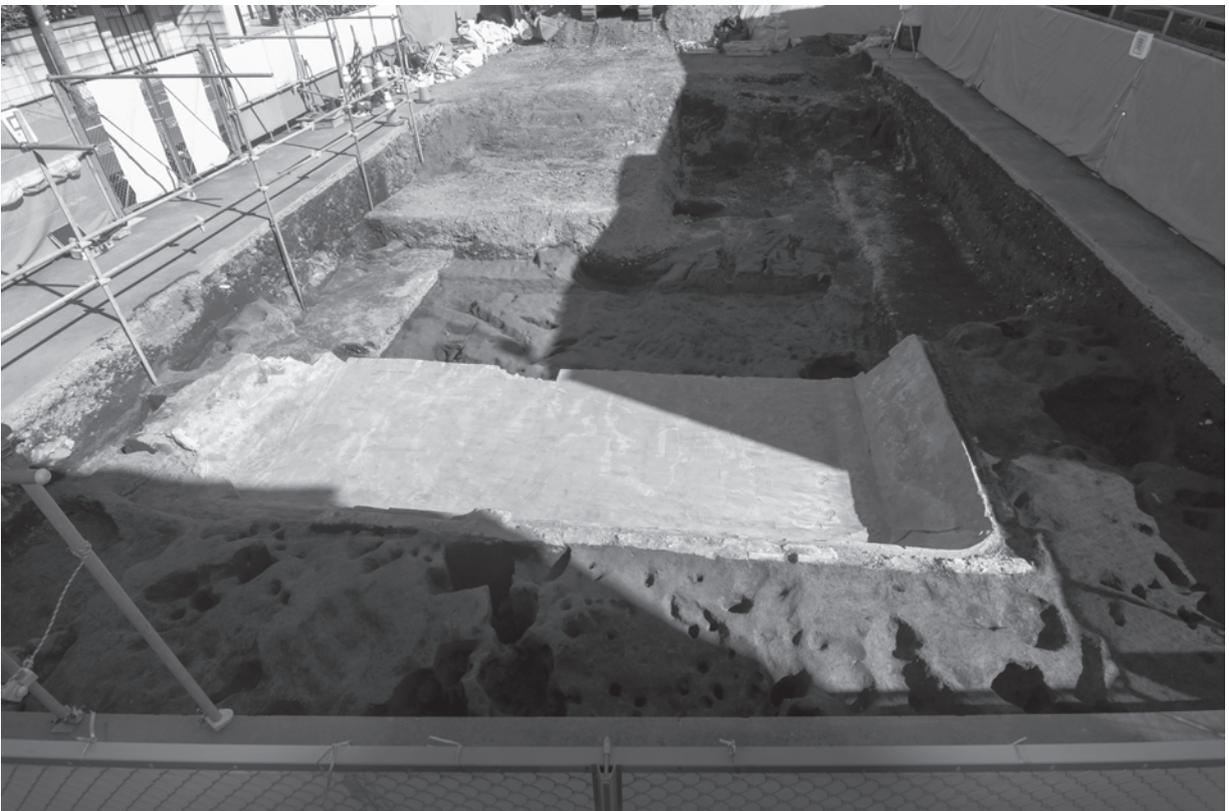
2. 調査区D-3区全景（南から）



3. 調査区D-4区全景（南から）



4. 調査区D-5区全景（東から）



5. 調査区E-1a区2面全景（西から）

図版3



1. 調査区E-1b区2面全景（東から）



2. 調査区E-2区2面全景（西から）

図版4



1. 調査区F-1区全景（東から）



2. 調査区F-2区2面全景（東から）

図版5



1. D-1区北壁土層断面（南から）



2. E-2区南西部南壁土層断面（北から）



3. F-1区北壁土層断面西側（南から）



4. E-2区旧石器時代調査坑北壁土層断面（南から）



5. E-2区旧石器時代調査坑西壁土層断面（東から）



6. F-1区旧石器時代調査坑東壁土層断面（西から）



7. 18号遺構・45号遺構土層断面A-A'（東から）



8. 18号遺構土層断面B-B'（西から）

図版6



1. 18号遺構・45号遺構土層断面D-D' (西から)



2. 18号遺構土層断面E-E' (西から)



3. 18号遺構土層断面F-F' (西から)



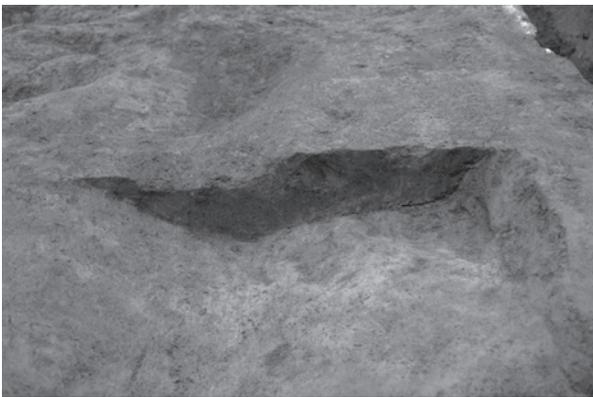
4. 45号遺構土層断面G-G' (西から)



5. 18号遺構土層断面H-H' (西から)



6. 18号遺構土層断面I-I' (西から)



7. 18号遺構土層断面J-J' (東から)



8. 36号遺構土層断面 (西から)

図版7



1. F-1区18号遺構・45号遺構完掘（東から）



2. F-2区18号遺構完掘（西から）



3. 74号遺構完掘（北から）



4. 77号遺構・78号遺構完掘（西から）



5. 114号遺構・115号遺構・ピット群全景（南から）

図版8



1. 84号遺構完掘（北から）



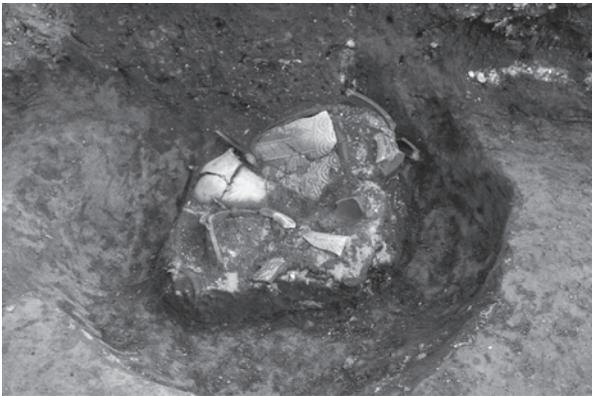
2. 2号遺構完掘（南から）



3. 6号遺構完掘（西から）



4. 8号遺構完掘（北から）



5. 9号遺構遺物出土状況（北から）



6. 10号遺構土層断面（南から）

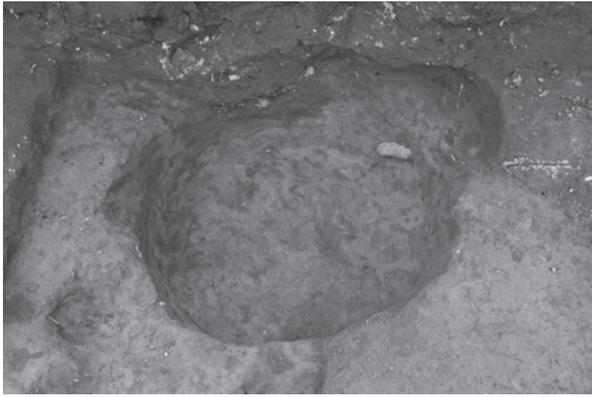


7. 14号遺構遺物出土状況（西から）



8. 17号遺構完掘（北から）

図版9



1. 31号遺構完掘（東から）



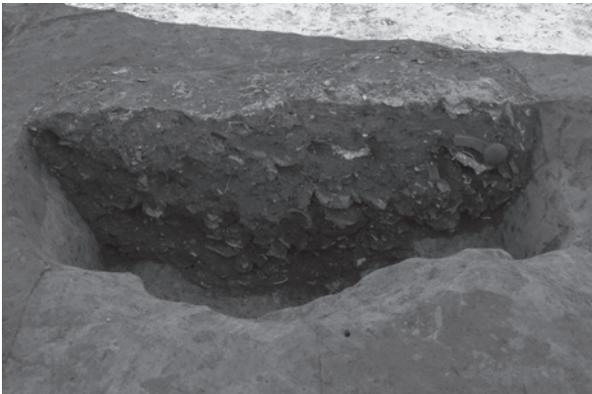
2. 32号遺構土層断面（南から）



3. 33号遺構土層断面（南から）



4. 34号遺構土層断面（南から）



5. 40号遺構土層断面（西から）



6. 44号遺構完掘（南から）



7. 52号遺構土層断面（北から）



8. 53号遺構土層断面（北から）



1. 54号遺構・55号遺構完掘（東から）



2. 56号遺構完掘（東から）



3. 79号遺構・80号遺構完掘（東から）



4. 90・94・108・144号遺構完掘（南から）



5. 97号遺構完掘（南から）



6. 98号遺構動物骨出土状況2回目（北から）



7. 98号遺構動物骨出土状況6回目（北から）



8. 99号遺構完掘（東から）



1. 102号遺構完掘（東から）



2. 104号遺構完掘（西から）



3. 105号遺構完掘（北から）



4. 109号遺構土層断面（北から）



5. 110号遺構完掘（南から）



6. 113号遺構完掘（南から）



7. 117号遺構・119号遺構完掘（東から）



8. 121号遺構完掘（東から）



1. 125号遺構完掘（南から）



2. 126号遺構完掘（東から）



3. 128号遺構完掘（東から）



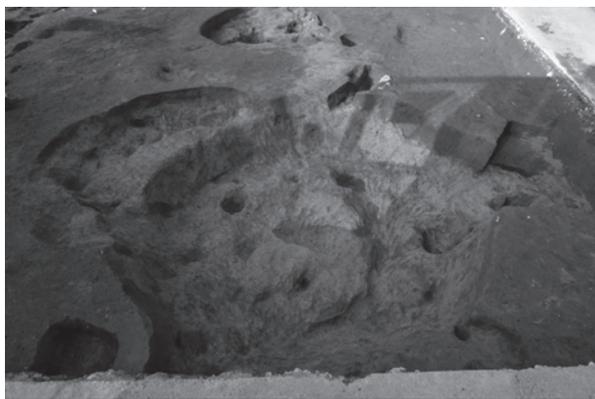
4. 139号遺構完掘（南から）



5. 35号遺構土層断面（北から）



6. 57号遺構完掘（西から）



7. 64号遺構・73号遺構完掘（南から）



8. 65号遺構・103号遺構完掘（西から）



1. 72号遺構完掘（南から）



2. 106号遺構完掘（東から）



3. 11号遺構完掘（西から）



4. 1号遺構完掘（南から）



5. 59号遺構蓋撤去後完掘（南から）



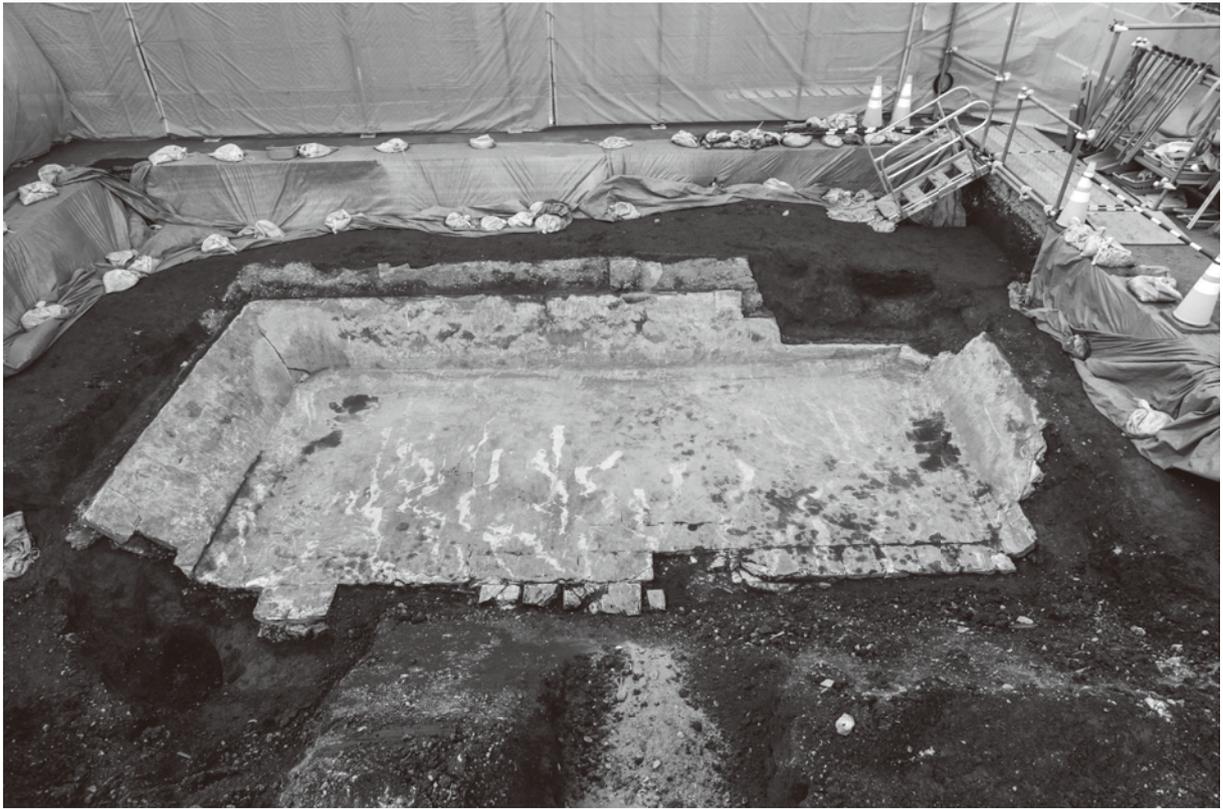
6. 131号遺構完掘（北から）



7. 143号遺構完掘（北東から）



8. 3号遺構土層断面（南から）



1. 127号遺構完掘（東から）



2. 127号遺構南西角突出部構造検出状況（南東から）



3. 127号遺構掘方（北から）

図版15



1. 12p土層断面（西から）



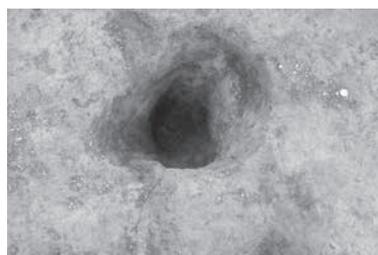
2. 20p・21p土層断面（北から）



3. 22p完掘（南から）



4. 23p・25p・26p完掘（北から）



5. 24p完掘（東から）



6. 27p完掘（南から）



7. 30p完掘（南から）



8. 31p完掘（南西から）



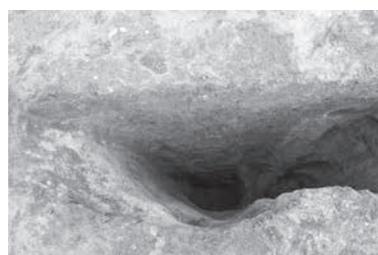
9. 37p土層断面（西から）



10. 37p完掘（西から）



11. 39p完掘（西から）



12. 40p土層断面（西から）



13. 40p完掘（西から）



14. 41p土層断面（東から）



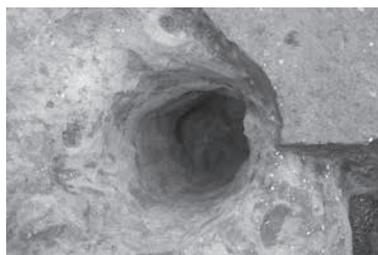
15. 41p完掘（東から）



16. 43p完掘（西から）



17. 44p土層断面（西から）



18. 50p完掘（西から）

図版16



1. 51p完掘 (西から)



2. 54p・56p・57p土層断面 (西から)



3. 56p土層断面 (北西から)



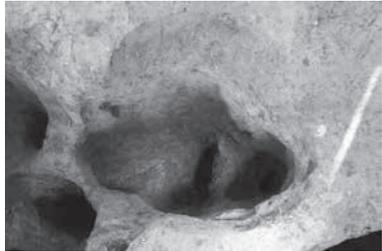
4. 54p完掘 (西から)



5. 56p完掘 (西から)



6. 55p・86p土層断面 (北西から)



7. 86p完掘 (北から)



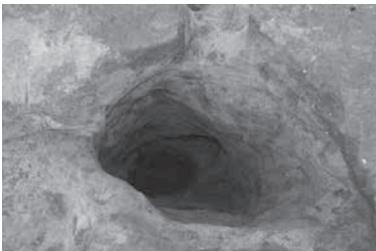
8. 58p・18・45号遺構土層断面 (西から)



9. 59p完掘 (西から)



10. 67p土層断面 (西から)



11. 67p完掘 (西から)



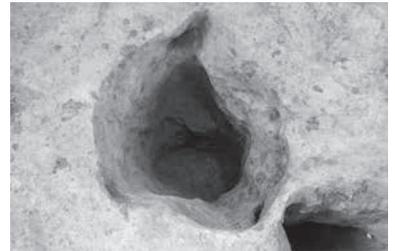
12. 70p土層断面 (西から)



13. 70p完掘 (西から)



14. 78p土層断面 (東から)



15. 78p完掘 (東から)



16. 79p土層断面 (東から)



17. 79p完掘 (東から)



18. 81p土層断面 (北西から)

図版17



1. 81p完掘 (北西から)



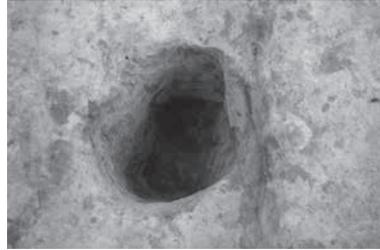
2. 82p・83p土層断面 (南から)



3. 82p・83p完掘 (南から)



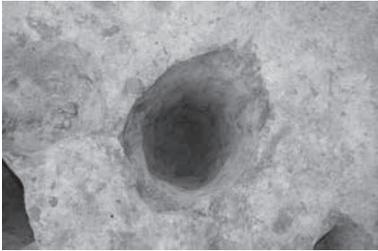
4. 84p土層断面 (西から)



5. 84p完掘 (西から)



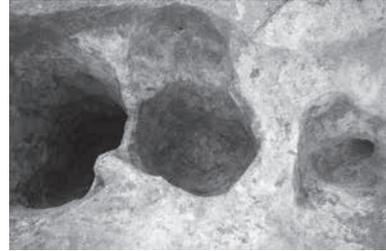
6. 95p土層断面 (東から)



7. 95p完掘 (東から)



8. 108p完掘 (東から)



9. 109p完掘 (東から)



10. 130・131p他土層断面 (北から)



11. 155p・156p土層断面 (北から)



12. 130p・158p他完掘 (北から)



13. 163p土層断面 (東から)



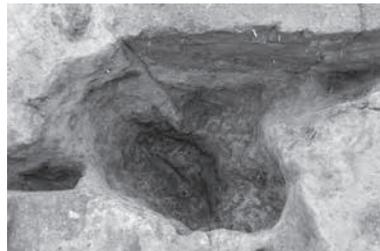
14. 177p・178p土層断面 (南から)



15. 181p土層断面 (北西から)



16. 184p土層断面 (北から)



17. 195p完掘 (南東から)



18. 197p完掘 (南東から)

図版18



1. 204p土層断面 (南西から)



2. 204p完掘 (南西から)



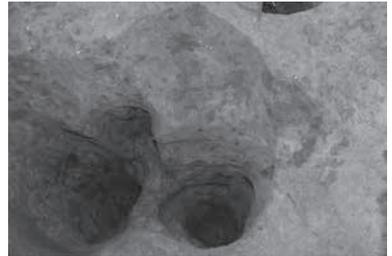
3. 206p・211p土層断面 (北から)



4. 207p・211p他土層断面 (北から)



5. 206p・223p完掘 (北から)



6. 207p・211p・212p完掘 (北から)



7. 209p土層断面 (西から)



8. 235p~237p土層断面 (西から)



9. 246p・247p土層断面 (西から)



10. 209p他完掘 (西から)



11. 229p・231p土層断面 (東から)



12. 252p土層断面 (南から)



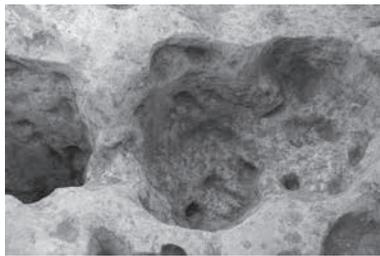
13. 252p遺物出土状況 (南から)



14. 252p完掘 (南から)



15. 256p完掘 (北から)



16. 257p完掘 (北から)



17. 259p完掘 (西から)



18. 263p完掘 (北から)



1. 近世遺物集合写真



2. 40号遺構出土近代以降遺物集合写真



3. 2号遺構出土近代以降遺物集合写真



4. 2号遺構出土ガラス製品集合写真



5. 金属製品集合写真



6. 銭貨集合写真



7. 代用陶器集合写真



8. 電気製品集合写真

報告書抄録

ふりがな	ながさきいっちょうめしゅうへんいせき2							
書名	長崎一丁目周辺遺跡2							
副書名	都道補助第172号線整備事業に伴う調査							
シリーズ名	東京都埋蔵文化財センター調査報告							
シリーズ番号	第383集							
編著者名	橋本望 西山博章 山根洋子							
編集機関	公益財団法人東京都教育支援機構 東京都埋蔵文化財センター							
所在地	〒206-0033 東京都多摩市落合一丁目14番2 TEL 042 - 374 - 8044							
発行年月日	西暦 2024年 3月 31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
ながさきいっちょうめ 長崎一丁目 しゅうへんいせき 周辺遺跡	とうきょうととしまく 東京都豊島区 ながさきいっちょうめちない 長崎一丁目地内	13116	10	35°43'43"	139°41'40"	20220720) 20230316	1,363 m ²	都道補助 第172号線 整備事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
長崎一丁目 周辺遺跡	包蔵地	縄文時代 古代 近世以降	溝状遺構 16条 土坑 71基 植栽痕 17基 井戸 4基 畝間溝 22条以上 コンクリート構 造物 1基 ピット 272基	土器・石器 土器 陶磁器・土器・瓦・ガラス製品・ 骨角製品・動物骨・石器・石製 品・木製品・金属製品・レンガ・ 電気製品			近代以降の遺構・遺 物が主体的に検出 土坑から埋葬された 可能性のあるウマー 個体分の骨や歯が出 土 第二次世界大戦期の コンクリートタイル・ モルタル製の貯水施 設検出、焼夷弾の親 爆弾のノーズブロッ ク（重り）出土	
要約	<p>長崎一丁目周辺遺跡は、豊島区长崎一丁目に所在し、武蔵野台地北東部にあたる豊島台と呼ばれる台地に立地している。</p> <p>本遺跡は中世・近世の散布地（包蔵地）と把握されており、これまでの調査では主に近世以降の礎石建物跡・溝・畝間溝・井戸などの土地利用の痕跡などが検出されている。</p> <p>今回の調査で検出された遺構・遺物は、主に近世・近代・現代に属する。主な遺構は溝・畝間溝・井戸・土坑・ピットなどが検出され、遺物は縄文土器・石器・近世以降の陶磁器・土製品・瓦・金属製品・ガラス製品・骨角製品・動物骨などが出土した。</p> <p>D-1・2区では、主に近世に属する遺構・遺物が検出されている。土坑からは埋葬された可能性のあるウマー個体分の骨や歯が出土しており、共伴する遺物から年代の上限は幕末と考えられる。</p> <p>E区では主に近代に属する遺構・遺物が検出されている。E-1a区では、貯水施設と考えられる大規模なコンクリート構造物を検出した。ピットからは、板碑片及び挿鉢片が検出された。</p> <p>F区では、主に近現代に属する遺構・遺物が検出されている。第二次世界大戦の空襲の際に投下されたとみられる焼夷弾の親爆弾のノーズブロック（重り）が出土した。</p>							

印刷仕様

表紙	レザック	215kg (四六判)
見返し	上質紙	135kg (四六判)
本文	マットコート紙	90kg (四六判)
写真図版	マットコート紙	90kg (四六判)
印刷方式	オフセット印刷	
使用インク	エコマーク商品認定基準適合	
製版線数	150線 (カラー 175線)	

本書は永久保存を考慮し、すべて中性紙を使用

豊島区

長崎一丁目周辺遺跡 2

—都道補助第 172 号線整備事業に伴う調査—

東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 383 集

2024 年 3 月 31 日 発行

編集・発行

公益財団法人東京都教育支援機構

東京都埋蔵文化財センター

東京都多摩市落合一丁目 14 番 2

TEL 042 - 374 - 8044

印刷 信毎書籍印刷株式会社

長野県長野市西和田 1-30-3